講義名	9013000100 宗教学　（幼児保育） 【ナンバリング：110001】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		石原　良明		

学習目標(到達目標)

1. 学校法人光星学院と八戸学院大学・短期大学部の建学の精神を理解し、自分の言葉で説明できるようになる。
2. 旧約聖書を通して人間と社会、世界にについて考えることを通して、人間の真のニーズをつかむ。
3. キリスト教の根幹を理解することによって、国際社会で通用する教養を身に着ける。

授業概要(教育目的)

宗教を学問として扱う方法論には様々な方法論やアプローチが考えられるが、世界の様々な諸宗教を客観的に考察する比較宗教学的な方法論には、実はあまり大きな意味はない。むしろ、本学も建学の精神とするカトリシズムやキリスト教の根幹にある、聖書という一つの普遍的な書物に対して学問的に真剣に向き合い理解を深めることで、21世紀の現代社会でも通用する気付きを得ることができるものである。
　本講義では、聖書の中でもその大部分を占め、様々な文学ジャンルを収録する『旧約聖書』を取り扱う。旧約聖書は、古代人たちの著作でありながら、極めて過酷な環境と壮大な歴史を背景のために、大変深い人間理解を持ち、また人間社会に対する鋭いまなざしを持ち合わせている。このような文学に学ぶことは、今日なお有意義であり単に「宗教学」に触れる以上の意味がある。真の目標は、聖書を学ぶのみならず、聖書を通して人間について考え、これからの日本の社会に必要なことを考えるための補助線を得ることである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」という建学の精神に基づき、幅広い教養と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

学期末に短いレポートを課す。さらに、授業におけるリアクションペーパー、質疑応答など授業参加態度などから総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

『聖書　聖書協会共同訳』または『聖書　新共同訳』
雨宮慧『図解雑学　聖書』ナツメ社、2009年。
雨宮慧『旧約聖書のこころ』女子パウロ会、1989年。
佐久間勤『四季おりおりの聖書』女子パウロ会、2002年。
月本昭雄監修『図説　一冊で学び直せるキリスト教の本』学研プラス、2020年。
その他、有用な書籍は授業時に随時紹介する。

講義時使用テキスト

教科書は用いず、資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

授業にあたっては、学生も教員も適切な緊張感を持って臨みたい。必ずしも細かな注意事項は列挙しないが、授業妨害、集中不足、非常識な行動や態度などは、取ることのないように願いたい。

実務との関連

カトリック教会の週刊誌で連載執筆した記事を授業内で用いることがある。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	キリスト教を概観する	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	建学の精神について	創立者ヨゼフ中村由太郎について、自分なりに調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	旧約聖書とは何か。背景となるパレスチナの歴史と地理	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
4	旧約聖書の世界観（創世記1章を分析する）	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
5	旧約聖書の人間論（アダムとエバ、カインとアベル　創世記2-4章）	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直す
6	旧約聖書の人間論II（ノアの方舟と世界刷新　創世記6-9章）	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
7	バベルの塔（創世記11章）、「原初史」と現代を照らし合わせて考える人間の可能性	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	アブラハムの「召命」と人間の現実 「イスラエル民族」I	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
9	ヤコブ物語とヨセフ物語に見る、神と人間 「イスラエル民族」II	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	参考文献の関連個所を読む
10	物語としての「出エジプト」：解放か救済か 「イスラエル民族」III	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	荒れ野の40年と律法授与：イスラエル誕生の史実と真実	授業内容についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直す
12	イスラエル統一王国：権力の現実と理想の平和	授業内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	分裂王国時代：預言者の社会批判と、「あるべき社会」	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
14	詩編と知恵文学から考える、「人間とは何か」	参考文献の関連個所を読む	配布資料とノートを読み直す
15	聖書が示す、人間の希望とは：新約聖書が与える「回答」	前回の配布資料とノートを読み直す	課題のレポートを作成する

講義名	9013010800 地域文化論						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	澤井　睦美		

学習目標(到達目標)

1. 八戸を中心とする南部地域の歴史と特性を説明できる
2. 八戸を中心とする南部地域の文化と特性を説明できる
3. 八戸を中心とする地域社会の現状と課題を説明できる

授業概要(教育目的)

本学のディプロマ・ポリシーには「郷土を愛する心」や「地域社会に貢献」の文言が含まれる。保育や介護の専門性を身につけ、豊かな地域社会の創造に携わる人材を育成するのが本学の大きな目的であり、そのためにはこの地域の歴史、文化、産業等について知ることが不可欠である。この授業ではオンデマンド教材を活用してそうした知識を学び、併せて地域社会の有する課題についても学修する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人を愛し、郷土を愛する心を有し、豊かな教養と人間性を身につけている。
健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

出席状況、レポート・感想文等の提出物によって合・否で評価する。

課題に対するフィードバック

提出された課題(レポート、感想文)について、次時授業でいくつか紹介しながらフィードバックする。

参考文献

なし

講義時使用テキスト

適宜、資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

この講義を通して、学び舎のある八戸を中心とする南部地域の歴史や文化の特色を知り、その魅力を子どもたちに伝えられる保育教諭になってほしい。

実務との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解し、こどもに説明できる(幼児保育学科)。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	八戸の歴史①(中世～戦国)	授業内容について文献やインターネットで調べる	配布資料とノートを読み返し、要点をまとめる
2	八戸の歴史②(～八戸藩の誕生～江戸中期)	授業内容について文献やインターネットで調べる	配布資料とノートを読み返し、要点をまとめる
3	八戸の歴史③(～幕末～近世)	授業内容について文献やインターネットで調べる	配布資料とノートを読み返し、要点をまとめる
4	八戸の文化の特性①(伝統芸能について)	授業内容について文献やインターネットで調べる	配布資料とノートを読み返し、要点をまとめる
5	八戸の文化の特性②(伝統工芸について)	授業内容について文献やインターネットで調べる	配布資料とノートを読み返し、要点をまとめる
6	八戸の文化③(現代に生きる文化)	授業内容について文献やインターネットで調べる	配布資料とノートを読み返し、要点をまとめる
7	地域活性化の現状と課題の解決策①(産業分野)	授業内容について文献やインターネットで調べる	配布資料とノートを読み返し、要点をまとめる
8	地域活性化の現状と課題の解決策②(福祉・教育分野)	授業内容について文献やインターネットで調べる	配布資料とノートを読み返し、要点をまとめる

講義名	9013010900	地域文化論実践講座Ⅰ					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	澤井　睦美			

学習目標(到達目標)

1. 地域の文化的活動に参加することで、地域の歴史と文化についての理解を深める。
2. 地域の自然を活かした活動に携わることで、地域資源のついての理解を深める。
3. 地域の社会的活動を体験し、人々と交流することによって、社会貢献への意識を高める。

授業概要(教育目的)

本学のディプロマ・ポリシーには「郷土を愛する心」や「地域社会に貢献」の文言が含まれる。保育や介護の専門性を身につけ、豊かな地域社会の創造に携わる人材を育成するのが本学の大きな目的であり、そのためにはこの地域の歴史、文化、産業等について知ることが不可欠である。この授業では実践的な活動を通して地域の自然、文化、社会活動に直接的に触れることで、地域への親しみと社会貢献への意識を醸成することを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人を愛し、郷土を愛する心を有し、豊かな教養と人間性を身につけている。
健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

貢献度・提出物・参加状況により「合・否」で判断する。

課題に対するフィードバック

各活動内容ごとの報告(発表、レポート等)に対し、担当教員よりコメント(口頭、筆記)する。

参考文献

なし

講義時使用テキスト

適宜資料を配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	＜ボランティア活動①＞ ボランティア活動の意義について学ぶ。	今まで参加したボランティア活動についてまとめておく。	ボタンティア活動の意義についてさらに理解を深めるため、文献やインターネットで調べる。
2	＜ボランティア活動②＞ ボランティア活動(1回目)に参加する。	参加するボランティア活動のねらいや内容を理解するために、問い合わせをしたり調べたりしておく。	参加したボランティア活動について報告書にまとめる。
3	＜ボランティア活動②＞ ボランティア活動(2回目)に参加する	参加するボランティア活動のねらいや内容を理解するために、問い合わせをしたり調べたりしておく。	参加したボランティア活動について報告書にまとめる。
4	＜ボランティア活動②＞ ボランティア活動(3回目)に参加する	参加するボランティア活動のねらいや内容を理解するために、問い合わせをしたり調べたりしておく。	参加したボランティア活動について報告しょにまとめる。
5	＜砂浜彫刻①＞ 砂浜彫刻の説明や注意事項を聞く。その後、それに沿って、各グループで役割分担を行う。	砂遊びとその意義について調べておく。	実施要項を読み返し、次時の実施手順とともに自分の役割を確認する。
6	＜砂浜彫刻②＞ 各グループでプラカードやマケットを作成し、作品の全体イメージの共有を図る。	どのような作品を創りたいかアイデアを出せるように考えておく。プラカードとマケット作成に必要な道具を準備しておく。	実施要項を読み返し、次時の実施手順とともに自分の役割を確認する。
7	＜砂浜彫刻③＞ 計画したアイデアを各グループで協力し、砂浜で海水と砂を利用して砂の彫刻を制作する。	実際の制作にあたり、制作手順と自分の役割を把握しておく。	実施要項を読み返し、次時の実施手順とともに自分の役割を確認する。
8	＜砂浜彫刻④＞ 計画したアイデアを各グループで協力し、砂浜で海水と砂を利用して砂の彫刻を制作する。	実際の制作にあたり、制作手順と自分の役割を把握しておく。	実施要項を読み返し、次時の実施手順とともに自分の役割を確認する。
9	＜八戸小唄流し踊り①＞ 八戸小唄流し踊りの歴史を知り、行事の概要説明を受け、踊りを習う。	自分の住んでいる地域の祭りについて調べておく。	踊りの振り付けを練習し、覚える。
10	＜八戸小唄流し踊り②＞ 踊りの振り付けを最後まで習い、浴衣の着付け等についても学ぶ。	踊りの振り付けを練習し、思い出しておく。また、年配者に浴衣の着付けなどを教えてもらっておく。	踊りの振り付けを練習し、覚える。
11	＜八戸小唄流し踊り③＞ 祭りに参加し、浴衣姿で八戸小唄流し踊りの発表を行う。	踊りの振り付けと浴衣の着付けを練習し、覚える。	9～11回目の演習を通して学んだことをまとめる。
12	＜「子どもの部屋」の企画運営①＞企画と立案① 企画内容を決定し、役割分担と手順を検討し、必要なものを作成する。	意見を出せるように各自で企画のアイデアを考えておく。	企画案を見直し、担当した役割の作業内容や手順を再確認する。
13	＜「子どもの部屋」の企画運営②＞企画と立案② 企画案の沿って遊具や道具を配置し、実際を想定してシミュレーションし、安全確認等も行う。	利用スペースの配置などのアイデアを各自で考えておく。	実施・運営に向けて、担当した役割の作業内容や手順を再確認する。
14	＜「子どもの部屋」の企画運営③＞実施と運営① 学園祭1日目に参加し、企画運営を通して子ども(幼児～児童)と触れ合う。	遊具と道具の安全性を確認し、遊び方やルールが子ども達に伝わるような説明の仕方を考えておく。	うまくできた点と苦心した点を各グループで出し合い、まとめる。
15	＜「子どもの部屋」の企画運営④＞実施と運営② 学園祭2日目に参加し、企画運営を通して子ども(幼児～児童)と触れ合う。	遊具と道具の安全性を確認し、遊び方やルールが子ども達に伝わるような説明の仕方を考えておく。	うまくできた点と苦心した点を各グループで出し合い、まとめる。
16	なし	なし	なし

講義名	9013011000	地域文化論実践講座Ⅱ ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	澤井　睦美		

学習目標(到達目標)

授業概要(教育目的)

本科目では地域社会との交流により、地域の文化や産業に直に触れ、地域についての学びを深める。また、保育という専門の枠に留まらない経験を積むことによって、社会人として他者と協働して社会的役割と責任を果たす力を育む。

卒業認定・学位授与の方針との関連

人を愛し、郷土を愛する心を有し、豊かな教養と人間性を身につけている。
健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

課題に対するフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習

講義名	9013011100 日本語表現						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	吹越　義博			

学習目標(到達目標)

国語で適切に表現する能力と伝えあう力を高め、思考力を伸ばして言語感覚を磨く
1「聞く」「話す」「書く」ことがバランスよくできる。
2 国語の基礎的知識を保育の場で活用することができる。
3 国語による表現が進んでできる。

授業概要(教育目的)

「聞く」、「話す」、「書く」それぞれの分野について、教科書、新聞、新刊図書等、新しい資料や教材を用いて講義を進め、自分の考えを文章や言葉で表現する機会を多く設ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基礎となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

定期試験・課題の提出・小テスト・授業時の取り組み状況などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

『大学生のための日本語表現トレーニング ドリル編』(安部朋世　福嶋健伸　橋本修編著　三省堂)

講義時使用テキスト

『保育者になるための国語表現』(田上貞一郎、萌文書林)

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

生きることは国語表現の連続であり、社会に出ると国語力が常に問われる。言葉によるコミュニケーション能力を身に付けるために真剣に取り組むこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	語彙力確認演習① 【アカデミックワードと日常語・仮名遣い・送り仮名・句読点・四字熟語・ことわざ・慣用句】	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
2	語彙力確認演習②【漢字の読み方・漢字の使い分け】	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
3	保育者としてよい国語表現をするために	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
4	会話表現①(聞き取りやすい話し方の基本・あいさつ)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
5	敬語の使い方①(尊敬語・謙譲語・丁寧語)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
6	敬語の使い方②(美化語・言い換える形)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
7	会話表現②(自己紹介の仕方・保育現場での話し方等)【自己紹介】	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
8	文章表現①(正しい表記・文章作成上の留意点)【あいまいな文】	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
9	文章表現②(文章作成上の留意点・文章の基本的な書き方)【わかりやすい語順】	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
10	文章表現③(実習日誌の書き方)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
11	文章表現④(指導計画の書き方)【文のねじれ】	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
12	文章表現⑤(手紙・ハガキ・メールの書き方)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
13	文章表現⑥(小論文の書き方1)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
14	文章表現⑦(小論文の書き方2)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく課題文を書写する
15	文章表現⑧(連絡帳・園だよりの書き方)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく 漢字小テストの範囲を学習する	授業で実施した漢字小テスト・演習問題を復習しておく

講義名	9013000500 日本国憲法 【ナンバリング：101003】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	髙須　則行		

学習目標(到達目標)

① 日本国憲法の理念・構造を説明できる。
② 基本的人権の尊重の精神およびその内容、平和の尊さを考え、民主政治の仕組みを説明できる。

授業概要(教育目的)

法とは何か、その要点を説明した後に国家の基本法・最高法規としての憲法の持つ意義を考え、国家の統治体制の基礎を定める法としての憲法と、近代民主主義国家になくてはならない憲法について考察し、日本国憲法を通じて、日本の政治体制、基本的人権の保障について、基礎的理論から学び、具体的判例などを通じて現実の問題点を掘り起こしていきたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

定期試験および小テスト等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

小テストの模範解答を示す。

参考文献

講義の中で、適宜紹介する。

講義時使用テキスト

『憲法概説(再訂版』(司法協会)

資格との関連

幼稚園教諭二種必修資格、保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

新聞・TVなどの報道には関心を持ってほしい。女性天皇制・天皇の国事行為・天変地異と危機管理・日本を取り巻く国際社会の変化など、憲法改正論が巷を騒がせている。他方で国民の人権はどうなるのか是非関心を持ってニュースに接してほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	憲法へのいざない：日常生活における基本的人権の問題)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
2	憲法の位置付け：憲法の最高法規性	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
3	憲法の基本原理：国民主権・基本的人権の保障・権力分立制・平和主義	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
4	憲法の歴史：近代憲法から現代憲法へ	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
5	基本的人権の性質	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
6	基本的人権の体系	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
7	法の下の平等	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
8	自由権(1)：精神的自由(信教の自由)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
9	自由権(2)：精神的自由(表現の自由)	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
10	自由権(3)：人身の自由	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
11	自由権(4)：経済的自由	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
12	社会権	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
13	統治機構(1)：三権分立制の意義	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
14	統治機構(2)：三権分立制の関係	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。
15	地方自治	テキストの該当箇所を通読し、論点を整理しておく。	授業の内容を整理し、分からない点があれば調べておく。

講義名	9013000600 心理学 【ナンバリング：100004】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	杉山　幸子		

学習目標(到達目標)

以下の2点を到達目標とする。
1. 保育や幼児教育のために必要な心理学の基礎的な概念について説明することができる。
2. 心理学の基本的な研究方法を理解し、子ども理解に活用することができる。

授業概要(教育目的)

心理学というと、心理テストやカウンセリングを連想するかもしれないが、それらは心理学のごく一部に過ぎない。実際には人の心のはたらきを知るために、多様な角度からの研究が行われており、その中には一般的な「心理学」のイメージとはかなり違っているものもあるだろう。この授業では、心理学の基礎的な知識を学び、心理学的なものの見方を知ることによって、保育や教育に関する心理学の専門科目を学ぶための土台となる力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験によって評価する。また、提出物(リアクションペーパー等)の状況を参考にする。

課題に対するフィードバック

リアクションペーパーの結果は集約して次回にフィードバックする。試験の結果(点数・内容)について知りたい学生には個別に開示するので、研究室を訪問すること。定期試験で不合格だった学生は、再試験の前に確認してほしい。

参考文献

講義時使用テキスト

テキストは使用しない。

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション、心理学の流れ	シラバスを読んでおくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
2	感覚・知覚	順応について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
3	記憶	マジックナンバーについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
4	学習(1)古典的条件づけ	古典的条件づけについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
5	学習(2)オペラント条件づけ・観察学習	オペラント条件づけについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
6	動機づけ	自己実現の欲求について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
7	パーソナリティ	内向性と外向性について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
8	知能	知能テストについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
9	自我と自己	超自我について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
10	自己呈示	セルフハンディキャッピングについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
11	対人魅力	単純接触効果について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
12	援助行動	キティ・ジェノベーゼ殺人事件について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
13	ステレオタイプ	ステレオタイプの意味を調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
14	同調行動	アッシュの同調実験について、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
15	リーダーシップ	リーダーシップについて、インターネット等を使って調べておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと

講義名	9013000900 英語Ⅰ　Aクラス（田中） 【ナンバリング：101005】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	田中　敬一			

学習目標(到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

①保育の現場で使合われる英語の語彙、表現を使える。
②毎時間行うアクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

授業概要(教育目的)

1つのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどによりより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、Listeningではdictationによる Listening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

中本幹子著・実践家からの児童英語教育法　実践編AB、APRICOT

講義時使用テキスト

Peter Vincent, Naoko Nakazato 著　Speaking of Childcare 南雲堂

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともっとコミュニケーションがとれたのに」といった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児が使う語彙や表現を「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で学び、より充実した実習にしましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Placement Test、自己採点、解説 Unit 1 What's your name? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Grammar 1 (Questions and Answers) ③Practice 1 (Matching) ④Grammar 2 (Present Tense) ⑤Practice 2 (Pair Work) ⑥Note: Present Tense	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	Placement Testの問題をもう一度解き、自分の弱点をチェックする。また、付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
2	2. Unit 1 What's your name? ①Practice 3 (Pair Work) ②Practice 4 (Listening) ③Practice 5 (Pair Work) ④Practice 6 (School Supplies)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
3	3. Unit 2 Where are you from? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Questions and Answers in Present Tense) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (Nationality and Language) ⑤Practice 3 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
4	4. Unit 2 Where are you from? Ⅱ ①Practice 4 (Pair Work) ②Practice 5 (Find Someone Who) ③Culture Note ④Practice 6 (Sounds)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
5	5. Unit 3 Good morning! Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Two-word Verbs) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 1 (Listening) ⑤Grammar 2 (Present and Present Continuous Tenses) ⑥Practice 2(Verb Practice) ⑦Practice 3(What are you doing?)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
6	6. Unit 3 Good morning! Ⅱ ①Practice 4(Nursery Teacher Activities) ②Grammar 3 (Adverbs of Frequency) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 5 (Short Answers) ⑤Practice 6 (Pair Work) ⑥Practice 7 (Listening) ⑦Practice 8 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
7	7. Unit 4 Are you OK? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Key Words: Symptoms ④Practice 1 (Listening) ⑤Practice 2 (Symptoms)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
8	8. Unit 4 Are you OK? Ⅱ ①Practice 3 (Verbs) ②Practice 4 (Medical Products) ③Practice 5 (Listening) ④Practice 6 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
9	9. Unit 5 What are you doing? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
10	10. Unit 5 What are you doing? Ⅱ ①Practice 2 (What Are the Children Doing?) ②Practice 3 (Pair Work) ③Practice 4 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
11	11. Unit 6 How are you feeling? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Key Words: Express your feeling ③Practice 1 (Feeling Words) ④Practice 2 (Feeling Words) ⑤Grammar (Answering Negative Questions)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
12	12. Unit 6 How are you feeling? Ⅱ ①Practice 3 (Writing) ②Practice 4 (Mime Activities) ③Practice 5 (Fill in the Blanks) ④Practice 6 (Pair Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
13	13. Unit 7 What's she like? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Practice 1 (Words to Describe People) ③Practice 2 (More Words to Describe People) ④Practice 3 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
14	14. Unit 7 What's she like? Ⅱ ①Practice 4 (Matching) ②Practice 5 (Family Tree) ③Practice 6 (Your Family Tree) ④Practice 7 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
15	15. Unit 8 Do's and don'ts ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Imperative) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 1 (Signs) ⑤Practice 2 (Imperative) ⑥Practice 3 (Complete the Sentences) ⑦Practice 4 (What will you say?) ⑧Practice 5 (Mime Activity)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013000901 英語Ⅰ　Aクラス（三浦） 【ナンバリング：101005】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		三浦　文恵		

学習目標(到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

①保育の現場で使合われる英語の語彙、表現を使える。
②毎時間行うアクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

授業概要(教育目的)

1つのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどによりより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、Listeningではdictationによる Listening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

中本幹子著・実践家からの児童英語教育法　実践編AB、APRICOT

講義時使用テキスト

Peter Vincent, Naoko Nakazato 著　Speaking of Childcare 南雲堂

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともっとコミュニケーションがとれたのに」といった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児が使う語彙や表現を「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で学び、より充実した実習にしましょう。

実務との関連

留学・通訳・翻訳の実務経験を活かし話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Placement Test、自己採点、解説 Unit 1 What's your name? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Grammar 1 (Questions and Answers) ③Practice 1 (Matching) ④Grammar 2 (Present Tense) ⑤Practice 2 (Pair Work) ⑥Note: Present Tense	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	Placement Testの問題をもう一度解き、自分の弱点をチェックする。また、付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
2	2. Unit 1 What's your name? ①Practice 3 (Pair Work) ②Practice 4 (Listening) ③Practice 5 (Pair Work) ④Practice 6 (School Supplies)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
3	3. Unit 2 Where are you from? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Questions and Answers in Present Tense) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (Nationality and Language) ⑤Practice 3 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
4	4. Unit 2 Where are you from? Ⅱ ①Practice 4 (Pair Work) ②Practice 5 (Find Someone Who) ③Culture Note ④Practice 6 (Sounds)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
5	5. Unit 3 Good morning! Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Two-word Verbs) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 1 (Listening) ⑤Grammar 2 (Present and Present Continuous Tenses) ⑥Practice 2(Verb Practice) ⑦Practice 3(What are you doing?)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
6	6. Unit 3 Good morning! Ⅱ ①Practice 4(Nursery Teacher Activities) ②Grammar 3 (Adverbs of Frequency) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 5 (Short Answers) ⑤Practice 6 (Pair Work) ⑥Practice 7 (Listening) ⑦Practice 8 (Skit) ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Modal Verbs) ③Practice 1 (Complete the Sentences) ④Practice 2 (Writing) ⑤Practice 3 (Pair Work) ⑥Practice 4 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
7	7. Unit 4 Are you OK? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Key Words: Symptoms ④Practice 1 (Listening) ⑤Practice 2 (Symptoms)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
8	8. Unit 4 Are you OK? Ⅱ ①Practice 3 (Verbs) ②Practice 4 (Medical Products) ③Practice 5 (Listening) ④Practice 6 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
9	9. Unit 5 What are you doing? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
10	10. Unit 5 What are you doing? Ⅱ ①Practice 2 (What Are the Children Doing?) ②Practice 3 (Pair Work) ③Practice 4 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
11	11. Unit 6 How are you feeling? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Key Words: Express your feeling ③Practice 1 (Feeling Words) ④Practice 2 (Feeling Words) ⑤Grammar (Answering Negative Questions)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
12	12. Unit 6 How are you feeling? Ⅱ ①Practice 3 (Writing) ②Practice 4 (Mime Activities) ③Practice 5 (Fill in the Blanks) ④Practice 6 (Pair Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
13	13. Unit 7 What's she like? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Practice 1 (Words to Describe People) ③Practice 2 (More Words to Describ People) ④Practice 3 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
14	14. Unit 7 What's she like? Ⅱ ①Practice 4 (Matching) ②Practice 5 (Family Tree) ③Practice 6 (Your Family Tree) ④Practice 7 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
15	15. Unit 8 Do's and don'ts ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Imperative) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 1 (Signs) ⑤Practice 2 (Imperative) ⑥Practice 3 (Complete the Sentences) ⑦Practice 4 (What will you say?) ⑧Practice 5 (Mime Activity)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013000902 英語Ⅰ　Bクラス（田中） 【ナンバリング：101005】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	田中　敬一			

学習目標(到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

①保育の現場で使合われる英語の語彙、表現を使える。
②毎時間行うアクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

授業概要(教育目的)

1つのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどによりより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、Listeningではdictationによる Listening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

中本幹子著・実践家からの児童英語教育法　実践編AB、APRICOT

講義時使用テキスト

Peter Vincent, Naoko Nakazato 著　Speaking of Childcare 南雲堂

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともっとコミュニケーションがとれたのに」といった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児が使う語彙や表現を「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で学び、より充実した実習にしましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Placement Test、自己採点、解説 Unit 1 What's your name? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Grammar 1 (Questions and Answers) ③Practice 1 (Matching) ④Grammar 2 (Present Tense) ⑤Practice 2 (Pair Work) ⑥Note: Present Tense	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	Placement Testの問題をもう一度解き、自分の弱点をチェックする。また、付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
2	2. Unit 1 What's your name? ①Practice 3 (Pair Work) ②Practice 4 (Listening) ③Practice 5 (Pair Work) ④Practice 6 (School Supplies)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
3	3. Unit 2 Where are you from? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Questions and Answers in Present Tense) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (Nationality and Language) ⑤Practice 3 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
4	4. Unit 2 Where are you from? Ⅱ ①Practice 4 (Pair Work) ②Practice 5 (Find Someone Who) ③Culture Note ④Practice 6 (Sounds)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
5	5. Unit 3 Good morning! Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Two-word Verbs) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 1 (Listening) ⑤Grammar 2 (Present and Present Continuous Tenses) ⑥Practice 2(Verb Practice) ⑦Practice 3(What are you doing?)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
6	6. Unit 3 Good morning! Ⅱ ①Practice 4(Nursery Teacher Activities) ②Grammar 3 (Adverbs of Frequency) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 5 (Short Answers) ⑤Practice 6 (Pair Work) ⑥Practice 7 (Listening) ⑦Practice 8 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
7	7. Unit 4 Are you OK? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Key Words: Symptoms ④Practice 1 (Listening) ⑤Practice 2 (Symptoms)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
8	8. Unit 4 Are you OK? Ⅱ ①Practice 3 (Verbs) ②Practice 4 (Medical Products) ③Practice 5 (Listening) ④Practice 6 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
9	9. Unit 5 What are you doing? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
10	10. Unit 5 What are you doing? Ⅱ ①Practice 2 (What Are the Children Doing?) ②Practice 3 (Pair Work) ③Practice 4 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
11	11. Unit 6 How are you feeling? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Key Words: Express your feeling ③Practice 1 (Feeling Words) ④Practice 2 (Feeling Words) ⑤Grammar (Answering Negative Questions)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
12	12. Unit 6 How are you feeling? Ⅱ ①Practice 3 (Writing) ②Practice 4 (Mime Activities) ③Practice 5 (Fill in the Blanks) ④Practice 6 (Pair Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
13	13. Unit 7 What's she like? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Practice 1 (Words to Describe People) ③Practice 2 (More Words to Describe People) ④Practice 3 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
14	14. Unit 7 What's she like? Ⅱ ①Practice 4 (Matching) ②Practice 5 (Family Tree) ③Practice 6 (Your Family Tree) ④Practice 7 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
15	15. Unit 8 Do's and don'ts ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Imperative) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 1 (Signs) ⑤Practice 2 (Imperative) ⑥Practice 3 (Complete the Sentences) ⑦Practice 4 (What will you say?) ⑧Practice 5 (Mime Activity)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013000903 英語Ⅰ　Bクラス（三浦） 【ナンバリング：101005】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		三浦　文恵		

学習目標(到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

①保育の現場で使合われる英語の語彙、表現を使える。
②毎時間行うアクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

授業概要(教育目的)

1つのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどによりより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、Listeningではdictationによる Listening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

中本幹子著・実践家からの児童英語教育法　実践編AB、APRICOT

講義時使用テキスト

Peter Vincent, Naoko Nakazato 著　Speaking of Childcare 南雲堂

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともっとコミュニケーションがとれたのに」といった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児が使う語彙や表現を「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で学び、より充実した実習にしましょう。

実務との関連

留学・通訳・翻訳の実務経験を活かし話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Placement Test、自己採点、解説 Unit 1 What's your name? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Grammar 1 (Questions and Answers) ③Practice 1 (Matching) ④Grammar 2 (Present Tense) ⑤Practice 2 (Pair Work) ⑥Note: Present Tense	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	Placement Testの問題をもう一度解き、自分の弱点をチェックする。また、付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
2	2. Unit 1 What's your name? ①Practice 3 (Pair Work) ②Practice 4 (Listening) ③Practice 5 (Pair Work) ④Practice 6 (School Supplies)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
3	3. Unit 2 Where are you from? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Questions and Answers in Present Tense) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (Nationality and Language) ⑤Practice 3 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
4	4. Unit 2 Where are you from? Ⅱ ①Practice 4 (Pair Work) ②Practice 5 (Find Someone Who) ③Culture Note ④Practice 6 (Sounds)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
5	5. Unit 3 Good morning! Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Two-word Verbs) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 1 (Listening) ⑤Grammar 2 (Present and Present Continuous Tenses) ⑥Practice 2(Verb Practice) ⑦Practice 3(What are you doing?)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
6	6. Unit 3 Good morning! Ⅱ ①Practice 4(Nursery Teacher Activities) ②Grammar 3 (Adverbs of Frequency) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 5 (Short Answers) ⑤Practice 6 (Pair Work) ⑥Practice 7 (Listening) ⑦Practice 8 (Skit) ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Modal Verbs) ③Practice 1 (Complete the Sentences) ④Practice 2 (Writing) ⑤Practice 3 (Pair Work) ⑥Practice 4 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
7	7. Unit 4 Are you OK? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Key Words: Symptoms ④Practice 1 (Listening) ⑤Practice 2 (Symptoms)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
8	8. Unit 4 Are you OK? Ⅱ ①Practice 3 (Verbs) ②Practice 4 (Medical Products) ③Practice 5 (Listening) ④Practice 6 (Skit)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
9	9. Unit 5 What are you doing? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
10	10. Unit 5 What are you doing? Ⅱ ①Practice 2 (What Are the Children Doing?) ②Practice 3 (Pair Work) ③Practice 4 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
11	11. Unit 6 How are you feeling? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Key Words: Express your feeling ③Practice 1 (Feeling Words) ④Practice 2 (Feeling Words) ⑤Grammar (Answering Negative Questions)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
12	12. Unit 6 How are you feeling? Ⅱ ①Practice 3 (Writing) ②Practice 4 (Mime Activities) ③Practice 5 (Fill in the Blanks) ④Practice 6 (Pair Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
13	13. Unit 7 What's she like? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Practice 1 (Words to Describe People) ③Practice 2 (More Words to Describe People) ④Practice 3 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
14	14. Unit 7 What's she like? Ⅱ ①Practice 4 (Matching) ②Practice 5 (Family Tree) ③Practice 6 (Your Family Tree) ④Practice 7 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。
15	15. Unit 8 Do's and don'ts ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Imperative) ③Textbook English vs. Real English ④Practice 1 (Signs) ⑤Practice 2 (Imperative) ⑥Practice 3 (Complete the Sentences) ⑦Practice 4 (What will you say?) ⑧Practice 5 (Mime Activity)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。

講義名	9013001000 英語Ⅱ Aクラス（田中） 【ナンバリング：101006】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	田中 敬一			

学習目標(到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

①保育の現場で使合われる英語の語彙、表現を使える。
②毎時間行うアクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

授業概要(教育目的)

1つのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどによりより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、Listeningではdictationによる Listening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。
また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

【使用テキスト】
Peter Vincent, Naoko Nakazato 著 Speaking of Childcare 南雲堂
【参考文献】
中本幹子著・実践家からの児童英語教育法 実践編AB、APRICOT

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともっとコミュニケーションがとれたのに」といった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児が使う語彙や表現を「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で学び、より充実した実習にしましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Unit 8 Do's and don't Ⅱ ①Practice 6 (Name Activity) ②Practice 7 (Writing) ③Practice 8 (Foll the Rules) ④Textbook English vs.Real English ⑤Practice 10 (Imperative Verbs) ⑥Review of Unit 1 to 8	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	「Review of 1 to 8 」を今一度復習し、前期の学習範囲の内容が身に着いたか確認する。
2	2. Unit 9 Let's eat lunch Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Let's learn about "let") ③Practice 1 (Translation) ④Practice 2 (Listening) ⑤Grammar 2 (Different usages of "let") ⑥Practice 3 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
3	3. Unit 9 Let's eat lunch Ⅱ ①Practice 4 (Fill in the Blanks) ②Practice 5 (Fill in the Blanks) ③Practice 6(Writing) ④Practice 7 (Scrambled Sentences) ⑤Practice 8 (Role Play)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
4	4. Unit 10 What do you want to do? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1, 2) ②Culture Note: Playing with friends ③Grammar (want/ wants to) ④Practice 1 (Writing) ⑤Practice 2 (Pair Work) ⑥Practice 3 (Writing) ⑦Practice 4 (Pair work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
5	5. Unit 10 What do you want to do? Ⅱ ①Practice 5(Gesture Game) ②Practice 6(Opposites) ③Practice 7 (Chose the Best Sentences) ④Textbook English vs. Real English (Reaction Sounds Words, and Expressions) ⑤Textbook English vs. Real English (Exclamatory Sentence)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
6	6. Unit 11 What do you have to do? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Modal Verbs) ③Practice 1 (Complete the Sentences) ④Practice 2 (Writing) ⑤Practice 3 (Pair Work) ⑥Practice 4 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
7	7. Unit 11 What do you have to do? Ⅱ ①Practice 5 (Using Modals) ②Practice 6 (Group Work) ③Practice 7 (Running Dictation) ④Practice 8 (Writing) ⑤Practice 9 (Pair Work) ⑥Practice 10 (Pair work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
8	8. Unit 12 I need go potty Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Grammar 1 (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (What are the children doing?) ⑤Practice 3 (Pair Work) ⑥Practice 4 (Writing) ⑦Grammar 2 ("Can/Could" Used for Requests)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
9	9. Unit 12 I need go potty Ⅱ ①Practice 5 (Pair Work) ②Practice 6 (Complete the Sentences) ③Practice 7 (Listening) ④Practice 8 (Writing) ⑤Practice 9 (Translation) ⑥Practice 10 (Group Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
10	10. Unit 13 Good job! Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Past Tense 1) ③Practice 1 (Giving a Compliment) ④Practice 2 (Past Tense) ⑤Practice 3 (Complete the Conversation) ⑥Practice 4 (Questions in Past Tense) ⑦Practice 5 (Complete the Conversation)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
11	11. Unit 13 Good job! Ⅱ ①Practice 6 (Matching) ②Practice 7 (Listening) ③Practice 8 (What did they do?) ④Practice 9 (Pair Work) ⑤Practice 10 (Rewrite the Dialogue)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
12	12. Unit 14 Injures an emergencies Ⅰ ①Speaking (Dialogue 1,2,3) ②Key Words(Parts of the Body) ③Practice 1 (How much do you remember?) ④Practice 2 (Questions About the Body) ⑤Practice 3 (Parts of the Body Bingo) ⑥Key Words (Injuries) ⑦Grammar (Past Present 2) ⑧Practice 4 (Verbs)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
13	13. Unit 14 Injuries an emergencies Ⅱ ①Practice 5 (Word Practice) ②Practice 6 (Listening) ③Practice 7 (Role Play) ④Practice 8 (Message Book)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
14	14. Unit 15 We're going to go outside Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Future Tense 1) ③Practice 1 (Listening) ④Grammar(Future Tense 2)) ⑤Practice 2 (Future Tense) ⑥Practice 3 (Asking About Future Plans) ⑦Practice 4 (Fill in the Blanks) ⑧Grammar 3 (Present Continuous Used for the Future) ⑨Practice 5 (Talking About the Future with ~ing) ⑩Practice 6 (Writing) ⑪Practice 7 (Find Someone Who)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
15	15. Unit 15 Review and appendix ①Review of Unit 9～15 1)Practice 1 (Listening) 2)Practice 2 (Message to a Parent) 3)Practice 3 (Feelings) 4)Practice 4 (Arts and crafts) 5) Appendix 1 6)Appendix 2 7)Appendix 3 8)Appendix 4 9) Appendix 5	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。

講義名	9013001001 英語Ⅱ　Aクラス（三浦） 【ナンバリング：101006】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	三浦　文恵			

学習目標(到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

①保育の現場で使合われる英語の語彙、表現を使える。
②毎時間行うアクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

授業概要(教育目的)

1つのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどによりより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、Listeningではdictationによる Listening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。
また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

【使用テキスト】
Peter Vincent, Naoko Nakazato 著　Speaking of Childcare 南雲堂
【参考文献】
中本幹子著・実践家からの児童英語教育法　実践編AB、APRICOT

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともっとコミュニケーションがとれたのに」といった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児が使う語彙や表現を「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で学び、より充実した実習にしましょう。

実務との関連

留学・通訳・翻訳の実務経験を活かし話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Unit 8 Do's and don't Ⅱ ①Practice 6 (Name Activity) ②Practice 7 (Writing) ③Practice 8 (Foll the Rules) ④Textbook English vs.Real English ⑤Practice 10 (Imperative Verbs) ⑥Review of Unit 1 to 8	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	「Review of 1 to 8 」を今一度復習し、前期の学習範囲の内容が身に着いたか確認する。
2	2. Unit 9　Let's eat lunch　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Let's learn about "let") ③Practice 1 (Translation) ④Practice 2 (Listening) ⑤Grammar 2 (Different usages of "let") ⑥Practice 3 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
3	3. Unit 9　Let's eat lunch Ⅱ ①Practice 4 (Fill in the Blanks) ②Practice 5 (Fill in the Blanks) ③Practice 6(Writing) ④Practice 7 (Scrambled Sentences) ⑤Practice 8 (Role Play)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
4	4. Unit 10　What do you want to do?　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1, 2) ②Culture Note: Playing with friends ③Grammar (want/ wants to) ④Practice 1 (Writing) ⑤Practice 2 (Pair Work) ⑥Practice 3 (Writing) ⑦Practice 4 (Pair work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
5	5. Unit 10　What do you want to do? Ⅱ ①Practice 5(Gesture Game) ②Practice 6(Opposites) ③Practice 7 (Chose the Best Sentences) ④Textbook English vs. Real English (Reaction Sounds Words, and Expressions) ⑤Textbook English vs. Real English (Exclamatory Sentence)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
6	6. Unit 11　What do you have to do?　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Modal Verbs) ③Practice 1 (Complete the Sentences) ④Practice 2 (Writing) ⑤Practice 3 (Pair Work) ⑥Practice 4 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
7	7. Unit 11　What do you have to do? Ⅱ ①Practice 5 (Using Modals) ②Practice 6 (Group Work) ③Practice 7 (Running Dictation) ④Practice 8 (Writing) ⑤Practice 9 (Pair Work) ⑥Practice 10 (Pair work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
8	8. Unit 12　I need go potty　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Grammar 1 (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (What are the children doing?) ⑤Practice 3 (Pair Work) ⑥Practice 4 (Writing) ⑦Grammar 2 ("Can/Could" Used for Requests)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
9	9. Unit 12　I need go potty　Ⅱ ①Practice 5 (Pair Work) ②Practice 6 (Complete the Sentences) ③Practice 7 (Listening) ④Practice 8 (Writing) ⑤Practice 9 (Translation) ⑥Practice 10 (Group Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
10	10. Unit 13　Good job!　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Past Tense 1) ③Practice 1 (Giving a Compliment) ④Practice 2 (Past Tense) ⑤Practice 3 (Complete the Conversation) ⑥Practice 4 (Questions in Past Tense) ⑦Practice 5 (Complete the Conversation)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
11	11. Unit 13 Good job! Ⅱ ①Practice 6 (Matching) ②Practice 7 (Listening) ③Practice 8 (What did they do?) ④Practice 9 (Pair Work) ⑤Practice 10 (Rewrite the Dialogue)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
12	12. Unit 14　Injures an emergencies　Ⅰ ①Speaking (Dialogue 1,2,3) ②Key Words(Parts of the Body) ③Practice 1 (How much do you remember?) ④Practice 2 (Questions About the Body) ⑤Practice 3 (Parts of the Body Bingo) ⑥Key Words (Injuries) ⑦Grammar (Past Present 2) ⑧Practice 4 (Verbs)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
13	13. Unit 14　Injures an emergencies　Ⅱ ①Practice 5 (Word Practice) ②Practice 6 (Listening) ③Practice 7 (Role Play) ④Practice 8 (Message Book)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
14	14. Unit 15　We're going to go outside　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Future Tense 1) ③Practice 1 (Listening) ④Grammar(Future Tense 2)) ⑤Practice 2 (Future Tense) ⑥Practice 3 (Asking About Future Plans) ⑦Practice 4 (Fill in the Blanks) ⑧Grammar 3 (Present Continuous Used for the Future) ⑨Practice 5 (Talking About the Future with ~ing) ⑩Practice 6 (Writing) ⑪Practice 7 (Find Someone Who)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
15	15. Unit 15　Review and appendix ①Review of Unit 9～15 1)Practice 1 (Listening)　2)Practice 2 (Message to a Parent) 3)Practice 3 (Feelings)　4)Practice 4 (Arts and crafts)　5)Appendix 1　6)Appendix 2　7)Appendix 3　8)Appendix 4　9)Appendix 5	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。

講義名	9013001004 英語Ⅱ　Bクラス（田中） 【ナンバリング：101006】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	田中　敬一			

学習目標(到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

①保育の現場で使合われる英語の語彙、表現を使える。
②毎時間行うアクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

授業概要(教育目的)

1つのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどによりより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、Listeningではdictationによる Listening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

【使用テキスト】
Peter Vincent, Naoko Nakazato 著　Speaking of Childcare 南雲堂
【参考文献】
中本幹子著・実践家からの児童英語教育法　実践編AB、APRICOT

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともっとコミュニケーションがとれたのに」といった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児が使う語彙や表現を「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で学び、より充実した実習にしましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Unit 8 Do's and don't Ⅱ ①Practice 6 (Name Activity) ②Practice 7 (Writing) ③Practice 8 (Foll the Rules) ④Textbook English vs.Real English ⑤Practice 10 (Imperative Verbs) ⑥Review of Unit 1 to 8	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	「Review of 1 to 8 」を今一度復習し、前期の学習範囲の内容が身に着いたか確認する。
2	2. Unit 9　Let's eat lunch　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Let's learn about "let") ③Practice 1 (Translation) ④Practice 2 (Listening) ⑤Grammar 2 (Different usages of "let") ⑥Practice 3 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
3	3. Unit 9　Let's eat lunch Ⅱ ①Practice 4 (Fill in the Blanks) ②Practice 5 (Fill in the Blanks) ③Practice 6(Writing) ④Practice 7 (Scrambled Sentences) ⑤Practice 8 (Role Play)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
4	4. Unit 10　What do you want to do?　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1, 2) ②Culture Note: Playing with friends ③Grammar (want/ wants to) ④Practice 1 (Writing) ⑤Practice 2 (Pair Work) ⑥Practice 3 (Writing) ⑦Practice 4 (Pair work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
5	5. Unit 10　What do you want to do? Ⅱ ①Practice 5(Gesture Game) ②Practice 6(Opposites) ③Practice 7 (Chose the Best Sentences) ④Textbook English vs. Real English (Reaction Sounds Words, and Expressions) ⑤Textbook English vs. Real English (Exclamatory Sentence)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
6	6. Unit 11　What do you have to do?　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Modal Verbs) ③Practice 1 (Complete the Sentences) ④Practice 2 (Writing) ⑤Practice 3 (Pair Work) ⑥Practice 4 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
7	7. Unit 11　What do you have to do? Ⅱ ①Practice 5 (Using Modals) ②Practice 6 (Group Work) ③Practice 7 (Running Dictation) ④Practice 8 (Writing) ⑤Practice 9 (Pair Work) ⑥Practice 10 (Pair work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
8	8. Unit 12　I need go potty　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Grammar 1 (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (What are the children doing?) ⑤Practice 3 (Pair Work) ⑥Practice 4 (Writing) ⑦Grammar 2 ("Can/Could" Used for Requests)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
9	9. Unit 12　I need go potty　Ⅱ ①Practice 5 (Pair Work) ②Practice 6 (Complete the Sentences) ③Practice 7 (Listening) ④Practice 8 (Writing) ⑤Practice 9 (Translation) ⑥Practice 10 (Group Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
10	10. Unit 13　Good job!　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Past Tense 1) ③Practice 1 (Giving a Compliment) ④Practice 2 (Past Tense) ⑤Practice 3 (Complete the Conversation) ⑥Practice 4 (Questions in Past Tense) ⑦Practice 5 (Complete the Conversation)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
11	11. Unit 13 Good job!　Ⅱ ①Practice 6 (Matching) ②Practice 7 (Listening) ③Practice 8 (What did they do?) ④Practice 9 (Pair Work) ⑤Practice 10 (Rewrite the Dialogue)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
12	12. Unit 14　Injuries an emergencies　Ⅰ ①Speaking (Dialogue 1,2,3) ②Key Words(Parts of the Body) ③Practice 1 (How much do you remember?) ④Practice 2 (Questions About the Body) ⑤Practice 3 (Parts of the Body Bingo) ⑥Key Words (Injuries) ⑦Grammar (Past Present 2) ⑧Practice 4 (Verbs)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
13	13. Unit 14　Injures an emergencies Ⅱ ①Practice 5 (Word Practice) ②Practice 6 (Listening) ③Practice 7 (Role Play) ④Practice 8 (Message Book)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
14	14. Unit 15　We're going to go outside　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Future Tense 1) ③Practice 1 (Listening) ④Grammar(Future Tense 2)) ⑤Practice 2 (Future Tense) ⑥Practice 3 (Asking About Future Plans) ⑦Practice 4 (Fill in the Blanks) ⑧Grammar 3 (Present Continuous Used for the Future) ⑨Practice 5 (Talking About the Future with `ing) ⑩Practice 6 (Writing) ⑪Practice 7 (Find Someone Who)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
15	15. Unit 15　Review and appendix ①Review of Unit 9～15 1)Practice 1 (Listening) 2)Practice 2 (Message to a Parent) 3)Practice 3 (Feelings) 4)Practice 4 (Arts and crafts) 5) Appendix 1　6)Appendix 2 7)Appendix 3　8)Appendix 4　9)Appendix 5	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。

講義名	9013001005 英語Ⅱ　Bクラス（三浦） 【ナンバリング：101006】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	三浦　文恵			

学習目標(到達目標)

保育園、幼稚園での様々なシチュエーションで使われる語彙・表現・会話を理解し使える。

①保育の現場で使合われる英語の語彙、表現を使える。
②毎時間行うアクティビティやロールプレイングを通し、英語で子どもや保護者とコミュニケーションがとれる。

授業概要(教育目的)

1つのUnitを二コマで完結する。Dialogueのロールプレイングで簡単な会話の練習を行い、Practiceでは、ペアワークなどによりより実践的な会話のレベルまで到達する。また、Grammarでは基礎文法、Listeningではdictationによる Listening Comprehensionの上達を目指す。最後に語彙の定着を確認する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

定期試験の結果をベースに、授業態度(特にPair Workなどの演習に取り組む態度)、課題の提出状況などを考慮し総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については、次の講義で板書で解答を説明し知識の定着を図る。
また、定期試験の結果が知りたい学生には解答用紙を返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

【使用テキスト】
Peter Vincent, Naoko Nakazato 著　Speaking of Childcare 南雲堂
【参考文献】
中本幹子著・実践家からの児童英語教育法　実践編AB、APRICOT

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

皆さんが実習を行う幼稚園、保育園では、近年多くの外国人の子どもが在籍しています。実習の反省会では、「少しでも英語が話せれば、子どもと保護者の方ともっとコミュニケーションがとれたのに」といった話をよく聞きます。中学、高校では学ばなかった、保育に関する英語、特に幼児が使う語彙や表現を「英語Ⅰ」、「英語Ⅱ」で学び、より充実した実習にしましょう。

実務との関連

留学・通訳・翻訳の実務経験を活かし話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. Unit 8 Do's and don't Ⅱ ①Practice 6 (Name Activity) ②Practice 7 (Writing) ③Practice 8 (Foll the Rules) ④Textbook English vs.Real English ⑤Practice 10 (Imperative Verbs) ⑥Review of Unit 1 to 8	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	「Review of 1 to 8 」を今一度復習し、前期の学習範囲の内容が身に着いたか確認する。
2	2. Unit 9　Let's eat lunch　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Let's learn about "let") ③Practice 1 (Translation) ④Practice 2 (Listening) ⑤Grammar 2 (Different usages of "let") ⑥Practice 3 (Writing)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
3	3. Unit 9　Let's eat lunch Ⅱ ①Practice 4 (Fill in the Blanks) ②Practice 5 (Fill in the Blanks) ③Practice 6(Writing) ④Practice 7 (Scrambled Sentences) ⑤Practice 8 (Role Play)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
4	4. Unit 10　What do you want to do? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1, 2) ②Culture Note: Playing with friends ③Grammar (want/ wants to) ④Practice 1 (Writing) ⑤Practice 2 (Pair Work) ⑥Practice 3 (Writing) ⑦Practice 4 (Pair work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
5	5. Unit 10　What do you want to do? Ⅱ ①Practice 5(Gesture Game) ②Practice 6(Opposites) ③Practice 7 (Chose the Best Sentences) ④Textbook English vs. Real English (Reaction Sounds Words, and Expressions) ⑤Textbook English vs. Real English (Exclamatory Sentence)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
6	6. Unit 11　What do you have to do? Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Modal Verbs) ③Practice 1 (Complete the Sentences) ④Practice 2 (Writing) ⑤Practice 3 (Pair Work) ⑥Practice 4 (Listening)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
7	7. Unit 11　What do you have to do? Ⅱ ①Practice 5 (Using Modals) ②Practice 6 (Group Work) ③Practice 7 (Running Dictation) ④Practice 8 (Writing) ⑤Practice 9 (Pair Work) ⑥Practice 10 (Pair work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
8	8. Unit 12　I need go potty　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2) ②Grammar 1 (Special Verbs) ③Practice 1 (Fill in the Blanks) ④Practice 2 (What are the children doing?) ⑤Practice 3 (Pair Work) ⑥Practice 4 (Writing) ⑦Grammar 2 ("Can/Could" Used for Requests)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
9	9. Unit 12　I need go potty　Ⅱ ①Practice 5 (Pair Work) ②Practice 6 (Complete the Sentences) ③Practice 7 (Listening) ④Practice 8 (Writing) ⑤Practice 9 (Translation) ⑥Practice 10 (Group Work)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
10	10. Unit 13　Good job!　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar 1 (Past Tense 1) ③Practice 1 (Giving a Compliment) ④Practice 2 (Past Tense) ⑤Practice 3 (Complete the Conversation) ⑥Practice 4 (Questions in Past Tense) ⑦Practice 5 (Complete the Conversation)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
11	11. Unit 13 Good job!　Ⅱ ①Practice 6 (Matching) ②Practice 7 (Listening) ③Practice 8 (What did they do?) ④Practice 9 (Pair Work) ⑤Practice 10 (Rewrite the Dialogue)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
12	12. Unit 14　Injures an emergencies　Ⅰ ①Speaking (Dialogue 1,2,3) ②Key Words(Parts of the Body) ③Practice 1 (How much do you remember?) ④Practice 2 (Questions About the Body) ⑤Practice 3 (Parts of the Body Bingo) ⑥Key Words (Injuries) ⑦Grammar (Past Present 2) ⑧Practice 4 (Verbs)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
13	13. Unit 14　Injures an emergencies　Ⅱ ①Practice 5 (Word Practice) ②Practice 6 (Listening) ③Practice 7 (Role Play) ④Practice 8 (Message Book)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
14	14. Unit 15　We're going to go outside　Ⅰ ①Speaking(Dialogue 1,2,3) ②Grammar(Future Tense 1) ③Practice 1 (Listening) ④Grammar(Future Tense 2)) ⑤Practice 2 (Future Tense) ⑥Practice 3 (Asking About Future Plans) ⑦Practice 4 (Fill in the Blanks) ⑧Grammar 3 (Present Continuous Used for the Future) ⑨Practice 5 (Talking About the Future with ~ing) ⑩Practice 6 (Writing) ⑪Practice 7 (Find Someone Who)	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。
15	15. Unit 15　Review and appendix ①Review of Unit 9～15 1)Practice 1 (Listening)　2)Practice 2 (Message to a Parent) 3)Practice 3 (Feelings)　4)Practice 4 (Arts and crafts) 5)Appendix 1　6)Appendix 2　7)Appendix 3　8)Appendix 4 9)Appendix 5	シラバスに記載されている範囲の英文を読み、辞書を使い、語彙の意味、発音、アクセント、文全体の意味を確認する。	付属のCDを使い、本時で学んだ語彙の発音や意味、表現、文法をおさらいする。また、冒頭で行うチャンツ、歌などのアクティビティもreviewしてみる。

講義名	9013008100 海外事情 【ナンバリング：100007】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	グレゴリー・アンソニー		

学習目標(到達目標)

「海外事情」は国際理解教育の観点から、外国に一定期間滞在して、人的交流と語学研修等を通して、具体的かつ実践的な海外各国の異文化の事情等を学ぶことを目的とする。異文化や異国でのビジネス等に触れることにより、広い視野と積極性に基づく国際理解を身につけ説明できる。

授業概要(教育目的)

①＜アメリカ合衆国＞ワシントン州シアトル市にあるKAPLAN語学研修および同校学生との交流に参加し、ホームステイや同校における米国人学生および各国からの留学生との交流を通じて海外生活を体験する。また、米国シアトル市などにおいて、米国企業見学や市庁舎訪問を実施することや、引率教員による「異文化理解」現地講義を予定している。
②＜タイ＞ファーイースタン大学の見学および学生との交流。タイ国チェンマイ市の歴史や専物館、病院、福祉施設などの見学を通して、異文化を理解し、国際感覚を培うことを目的として実施する。
③＜CNE1フィリピン＞学校法人光星学院が協定を結んでいるフィリピンの語学学校「CNE1」での語学トレーニングを通して英語でコミュニケーションする能力を高め、現地研修によって外国の歴史や文化や習慣に触れることで、国際的な視野を広げる。
④＜EF＞学校法人光星学院が協定を結んでいるEF(イー・エフ・エデュケーション・ファースト・ジャパン株式会社)が提供する世界各地への語学留学プログラムに参加する。
＊注意事項
上記①～④の研修に参加する予定の学生は、あらかじめ「海外事情」を履修登録すること。また、研修参加後に「海外事情」と「英語コミュニケーション」の単位認定を希望する学生は、教務学生課において修了証等の写しとともに、「単位認定願」を必ず提出すること。
なお、参加費は実費で、費用に含まれるのは次の通りである。
1)交通費(国内の移動費。航空運賃)と海外旅行傷害保険料
2)英語研修費と諸活動費の一部及び宿泊費(ホテル・ホームステイ費用)
3)その他費用(現地移動費等)

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

海外事情に関する事前講義、現地における各種研修、帰国後に行う事後講義・レポート提出・プレゼンテーション等により、教員が必要に応じて受講や発表を決定しその内容で評価する。

課題に対するフィードバック

事前研修プログラム最中にプログラム担当者が口頭でフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

後日指定する。
団体行動を基本としたスケジュールを組んでいるので、その自覚と意欲ある者の履修を求める。

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	事前研修(必要である場合数回実施) 海外研修プログラム期間: ＜アメリカ合衆国＞　約2週間 ＜タイ＞　約2週間 ＜CNE1フィリピン＞　1週間～ ＜EF＞　2週間～	プログラムによる海外行く前に事前研修または独学	プログラムによる帰国後に行う事後講義・レポート提出・プレゼンテーション等の作成

講義名	9013011200 情報処理　Aクラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	馬場　祥次		

学習目標(到達目標)

1.レポート作成、図表作成技術を活用できる。
2.プレゼンテーション資料を作成できる。
3.グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができるようにする。

授業概要(教育目的)

今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。
本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

課題の提出状況等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出してください。

参考文献

授業用Webサイト(webclass)にて随時紹介する。

講義時使用テキスト

「情報リテラシー　Windows 10・Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム(株)

資格との関連

幼稚園教諭免許必修科目

学生へのメッセージ

1.実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。テキストは随時改訂されているので必ず購入し、ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。

実務との関連

システムエンジニアとして、コンピュータシステム会社に勤務。技術者としての経験を活かして、社会で必要とされる情報技術を解説します。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.コンピュータとネットワークの基礎知識	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
2	2.キャンパスグループウェアの利用方法	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
3	3.情報セキュリティとネチケット	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
4	4.文書処理(1)－Wordの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
5	5.文書処理(2)－書式の設定	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
6	6.文書処理(3)－表作成、図の挿入	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
7	7.文書処理(4)－表現力アップ機能の利用	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
8	8.文書処理(5)－長文レポート編集と文書校閲	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
9	9.表計算(1)－Excelの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
10	10.表計算(2)－数式、関数の利用	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
11	11.表計算(3)－グラフ作成	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
12	12.表計算(4)－WordとExcelの連携	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
13	13.プレゼンテーション(1)－PowerPointの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
14	14.プレゼンテーション(2)－スライド作成	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
15	15.プレゼンテーション(3)－プレゼンテーション	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。

講義名	9013011201 情報処理　Bクラス						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	馬場　祥次		

学習目標(到達目標)

1.レポート作成、図表作成技術を活用できる。
2.プレゼンテーション資料を作成できる。
3.グループウェアの活用、インターネットでの情報検索ができるようにする。

授業概要(教育目的)

今日、コンピュータは職場や家庭で広く使われており、大学においてもレポート課題、データ整理・分析、諸計算、卒業論文作成など多くの局面で利用されている。また、インターネットの急速な普及により、ブラウザでの情報検索や電子メールによるコミュニケーションが一般化してきており、現代社会において必要不可欠なものとなっている。
本授業は、コンピュータやインターネットを利用する上で必要な基礎的理論と技術について実習を通して習得し、学業において日常的なコンピュータ利用が主体的にできる力を身につけることを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

豊かな人間性と高い倫理観、主体的な判断力、行動力、コミュニケーション能力を身につけ、地域の文化や特性について理解している。

評価方法

課題の提出状況等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出してください。

参考文献

授業用Webサイトにて随時紹介する。

講義時使用テキスト

「情報リテラシー　Windows 10・Office 2019対応」富士通エフ・オー・エム(株)

資格との関連

幼稚園教諭免許取得必修科目

学生へのメッセージ

1.実習はステップを踏んで進むので、欠席をしないよう留意し、各時間内で課題を提出できるよう努力すること。遅れた場合は、自習で補うことが必要である。テキストは随時改訂されているので必ず購入し、ファイル保存用のUSBメモリを各自準備すること。

実務との関連

システムエンジニアとして、コンピュータシステム会社に勤務。技術者としての経験を活かして、社会で必要とされる情報技術を解説します。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1.コンピュータとネットワークの基礎知識	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
2	2.キャンパスグループウェアの利用方法	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
3	3.情報セキュリティとネチケット	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
4	4.文書処理(1)－Wordの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
5	5.文書処理(2)－書式の設定	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
6	6.文書処理(3)－表作成、図の挿入	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
7	7.文書処理(4)－表現力アップ機能の利用	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
8	8.文書処理(5)－長文レポート編集と文書校閲	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
9	9.表計算(1)－Excelの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
10	10.表計算(2)－数式、関数の利用	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
11	11.表計算(3)－グラフ作成	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
12	12.表計算(4)－WordとExcelの連携	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
13	13.プレゼンテーション(1)－PowerPointの基本操作	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
14	14.プレゼンテーション(2)－スライド作成	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。
15	15.プレゼンテーション(3)－プレゼンテーション	テキストの該当箇所を読むおよび実践する。	実践した内容を再度実施する。

講義名	9013008600 デザイン基礎　Aクラス 【ナンバリング：100015】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	船山　哲郎		

学習目標(到達目標)

デザインについての基礎的知識や技術を説明できる。
幼児教育や子育てに関する知識、保育者の啓発的な伝達者としての役割を説明できる。

授業概要(教育目的)

パソコンを使い、イラストやポップを活用して「園だより」や「おたより」を作成することを通して、デザインについての基礎的知識や技術を学ぶ。また、幼児教育や子育てにする知識、生活する上で必要な情報や子どもの様子を保護者に伝えるなど、保育者の啓発的な伝達者としての役割を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業中に課すレポート、実技課題等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	芸術とデザイン	シラバスの内容を確認する	授業の内容を整理しノートにまとめる
2	人とデザインの歴史	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
3	近代デザインとバウハウス	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
4	バウハウスと日本への影響	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
5	日本のかたちと用の美	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
6	文字・記号と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
7	色彩・光と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
8	現代社会・生活とデザイン活動の展開	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
9	保育者の啓発的な伝達者としての役割	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
10	デザイン構成理論と基礎演習 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
11	デザイン構成理論と基礎演習 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
12	デザイン構成理論と基礎演習 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
13	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
14	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
15	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる

講義名	9013008601 デザイン基礎　Bクラス 【ナンバリング：100015】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	船山　哲郎			

学習目標(到達目標)

デザインについての基礎的知識や技術を説明できる。
幼児教育や子育てに関する知識、保育者の啓発的な伝達者としての役割を説明できる。

授業概要(教育目的)

パソコンを使い、イラストやポップを活用して「園だより」や「おたより」を作成することを通して、デザインについての基礎的知識や技術を学ぶ。また、幼児教育や子育てにする知識、生活する上で必要な情報や子どもの様子を保護者に伝えるなど、保育者の啓発的な伝達者としての役割を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業中に課すレポート、実技課題等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	芸術とデザイン	シラバスの内容を確認する	授業の内容を整理しノートにまとめる
2	人とデザインの歴史	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
3	近代デザインとバウハウス	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
4	バウハウスと日本への影響	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
5	日本のかたちと用の美	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
6	文字・記号と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
7	色彩・光と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
8	現代社会・生活とデザイン活動の展開	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
9	保育者の啓発的な伝達者としての役割	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
10	デザイン構成理論と基礎演習 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
11	デザイン構成理論と基礎演習 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
12	デザイン構成理論と基礎演習 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
13	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
14	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
15	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる

講義名	9013008603 デザイン基礎　Aクラス（1年生） 【ナンバリング：100015】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	船山　哲郎			

学習目標(到達目標)

デザインについての基礎的知識や技術を説明できる。
幼児教育や子育てに関する知識、保育者の啓発的な伝達者としての役割を説明できる。

授業概要(教育目的)

パソコンを使い、イラストやポップを活用して「園だより」や「おたより」を作成することを通して、デザインについての基礎的知識や技術を学ぶ。また、幼児教育や子育てにする知識、生活する上で必要な情報や子どもの様子を保護者に伝えるなど、保育者の啓発的な伝達者としての役割を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業中に課すレポート、実技課題等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	芸術とデザイン	シラバスの内容を確認する	授業の内容を整理しノートにまとめる
2	人とデザインの歴史	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
3	近代デザインとバウハウス	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
4	バウハウスと日本への影響	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
5	日本のかたちと用の美	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
6	文字・記号と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
7	色彩・光と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
8	現代社会・生活とデザイン活動の展開	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
9	保育者の啓発的な伝達者としての役割	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
10	デザイン構成理論と基礎演習 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
11	デザイン構成理論と基礎演習 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
12	デザイン構成理論と基礎演習 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
13	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
14	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
15	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる

講義名	9013008604 デザイン基礎　Bクラス（1年生） 【ナンバリング：100015】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	船山　哲郎		

学習目標(到達目標)

デザインについての基礎的知識や技術を説明できる。
幼児教育や子育てに関する知識、保育者の啓発的な伝達者としての役割を説明できる。

授業概要(教育目的)

パソコンを使い、イラストやポップを活用して「園だより」や「おたより」を作成することを通して、デザインについての基礎的知識や技術を学ぶ。また、幼児教育や子育てにする知識、生活する上で必要な情報や子どもの様子を保護者に伝えるなど、保育者の啓発的な伝達者としての役割を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業中に課すレポート、実技課題等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	芸術とデザイン	シラバスの内容を確認する	授業の内容を整理しノートにまとめる
2	人とデザインの歴史	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
3	近代デザインとバウハウス	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
4	バウハウスと日本への影響	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
5	日本のかたちと用の美	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
6	文字・記号と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
7	色彩・光と表現・デザイン	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
8	現代社会・生活とデザイン活動の展開	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
9	保育者の啓発的な伝達者としての役割	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
10	デザイン構成理論と基礎演習 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
11	デザイン構成理論と基礎演習 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
12	デザイン構成理論と基礎演習 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
13	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ①	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
14	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ②	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる
15	イラストやポップを活用した「園だより」作成演習 ③	授業内容についてインターネットなどで調べる	授業の内容を整理しノートにまとめる

講義名	9013000300 音楽　Aクラス 【ナンバリング：110010】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		中嶋　栄子		

学習目標(到達目標)

1. 音楽理論・音楽用語を理解し実践できる。
2. 楽譜・音符・リズムを理解し表現できる。
3. 音と言葉を通し、脳・身体を使った自由表現活動の概要を理解し表現できる。
4. 感覚と感情を脳に銘記させ美的音楽表現を理解し、表現できる。

授業概要(教育目的)

保育者に求められる音楽の基礎知識を習得するため、楽譜を正しく読んだり、書いたり、演奏したりして、基本的な音楽の技能を活用できるようにする。また、正しい音程で歌を歌ったり、簡単なリズムで感じたことや考えたことを自由に表現し楽しむことが出来る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

リズム実践、実技試験、レポート課題を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の評価結果は開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

1、最新・幼児の音楽教育　幼児教育教員・ 保育士養成のための音楽的表現の指導　井口太編著　出版:朝日出版社
2、保育者のための 手あそび 歌あそび60　伊藤嘉子編著　出版:音楽之友社

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

音楽を楽しみ感じる心、表現する喜びを培ってほしい。授業に参加する姿勢としては基本的生活習慣、モラル、秩序等を考え、社会人としてのマナーを守って授業に参加して下さい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 基礎楽典確認調査	テキストの準備	基礎楽典の確認
2	リズムカードつくり	楽典のテキスト確認 定規・カッター・ハサミの準備	音符の種類と音価の確認
3	基礎楽典① 五線と加線、オクターブ記号、音部記号、幹音・派生音、変化記号	音符カードの準備 楽典テキストの確認	楽典テキストp80～89の確認
4	基礎楽典② 音符と休符、リズムと拍子	音符カードの準備 楽典テキストの確認	楽典テキストp80～89の確認
5	基礎楽典③ 弱起と強起、シンコペーション、音程	音符カードの準備 楽典テキストの確認	楽典テキストp80～89の確認
6	基礎楽典④長音階・短音階、カデンツ	楽典テキストの確認	楽典テキストp80～89の確認
7	基礎楽典⑤楽語・記号・略語	楽典テキストの確認	楽典テキストp80～89の確認
8	コードネーム①	楽典テキストの確認	楽典テキストp90～98の確認
9	コードネーム②	楽典テキストの確認	楽典テキストp90～98の確認
10	コードネーム③	楽典テキストの確認	楽典テキストp90～98の確認
11	カール・オルフ、コダーイ・ゾルターン、ジャック＝ダルクローズの音楽教育について	テキストP56～72の確認	テキストP56～72の確認
12	ジャック＝ダルクローズの音楽教育について リトミック演習①	テキストP68～72の確認 音符カードの準備 動きやすい服装と内履き用意	テキストP68～72の確認
13	ジャック＝ダルクローズの音楽教育について リトミック演習②	テキストP68～72を読んでおく　音符カードの準備 動きやすい服装と内履き用意	テキストP68～72の振り返り
14	リズム試験	リズム課題の確認	楽典テキストの確認
15	楽典試験	楽典テキストの確認	楽典・リズムの振り返り

講義名	9013000301 音楽　Bクラス 【ナンバリング：110010】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		中嶋　栄子		

学習目標(到達目標)

1. 音楽理論・音楽用語を理解し実践できる。
2. 楽譜・音符・リズムを理解し表現できる。
3. 音と言葉を通し、脳・身体を使った自由表現活動の概要を理解し表現できる。
4. 感覚と感情を脳に銘記させ美的音楽表現を理解し、表現できる。

授業概要(教育目的)

保育者に求められる音楽の基礎知識を習得するため、楽譜を正しく読んだり、書いたり、演奏したりして、基本的な音楽の技能を活用できるようにする。また、正しい音程で歌を歌ったり、簡単なリズムで感じたことや考えたことを自由に表現し楽しむことが出来る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

リズム実践、実技試験、レポート課題を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

試験の評価結果は開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

1、最新・幼児の音楽教育　幼児教育教員・ 保育士養成のための音楽的表現の指導　井口太編著　出版:朝日出版社
2、保育者のための 手あそび 歌あそび60　伊藤嘉子編著　出版:音楽之友社

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

音楽を楽しみ感じる心、表現する喜びを培ってほしい。授業に参加する姿勢としては基本的生活習慣、モラル、秩序等を考え、社会人としてのマナーを守って授業に参加して下さい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 基礎楽典確認調査	テキストの準備	基礎楽典の確認
2	リズムカードつくり	楽典のテキスト確認 定規・カッター・ハサミの準備	音符の種類と音価の確認
3	基礎楽典① 五線と加線、オクターブ記号、音部記号、幹音・派生音、変化記号	音符カードの準備 楽典テキストの確認	楽典テキストp80～89の確認
4	基礎楽典② 音符と休符、リズムと拍子	音符カードの準備 楽典テキストの確認	楽典テキストp80～89の確認
5	基礎楽典③ 弱起と強起、シンコペーション、音程	音符カードの準備 楽典テキストの確認	楽典テキストp80～89の確認
6	基礎楽典④長音階・短音階、カデンツ	楽典テキストの確認	楽典テキストp80～89の確認
7	基礎楽典⑤楽語・記号・略語	楽典テキストの確認	楽典テキストp80～89の確認
8	コードネーム①	楽典テキストの確認	楽典テキストp90～98の確認
9	コードネーム②	楽典テキストの確認	楽典テキストp90～98の確認
10	コードネーム③	楽典テキストの確認	楽典テキストp90～98の確認
11	カール・オルフ、コダーイ・ゾルターン、ジャック＝ダルクローズの音楽教育について	テキストP56～72の確認	テキストP56～72の確認
12	ジャック＝ダルクローズの音楽教育について リトミック演習①	テキストP68～72の確認 音符カードの準備 動きやすい服装と内履き用意	テキストP68～72の確認
13	ジャック＝ダルクローズの音楽教育について リトミック演習②	テキストP68～72を読んでおく　音符カードの準備 動きやすい服装と内履き用意	テキストP68～72の振り返り
14	リズム試験	リズム課題の確認	楽典テキストの確認
15	楽典試験	楽典テキストの確認	楽典・リズムの振り返り

講義名	9013008200　合唱Ⅰ 【ナンバリング：110011】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科	担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子				

学習目標(到達目標)

1. ソルフェージュを用い実践的な基礎知識を修得する。
2. 発声のための身体機能を学び、楽譜・音符・リズムを理解し表現できる。
3. ハーモニーの重厚さを培い、オーケストラ化を図る。
4. 歌の内容を充分に理解し豊かな感性と集中力を養う。

授業概要(教育目的)

1. 発声における横隔膜、腹式呼吸の活用ができる。
2. 発声器官、共鳴腔の基本トレーニングができる。
3. 声帯の仕組みを学び声の響きを引き出すことができる。
4. 音楽を積極的に学ぶ意欲と、本学のカトリック精神に基く宗教音楽を通し、音楽性豊かな合唱表現とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

表現発表、受講態度(自己評価チェックシート)にて総合評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

学歌、オラトリオ「メサイア」よりHallelujah
八戸学院大学短期大学部幼児保育学科編纂

資格との関連

卒業必修単位

学生へのメッセージ

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、美しいハーモニーづくりを通して、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけていきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション ・パート分け ソプラノ、メゾソプラノ、アルト	歌いやすい服装	テキストで、パート譜の確認
2	・発声と呼吸法①姿勢 ・讃美歌「ちいさなひとびとの」階名唱	各パートの確認	「ことりたちは」 「マリアさまのこころ」
3	・発声と呼吸法②口腔の仕組みと開き方 ・讃美歌「ごらんよ空の鳥」「マリアさまのこころ」 「八戸学院大学短期大学部学歌」リズム唱 ・発声と呼吸法②姿勢 ・讃美歌「ごらんよ空の鳥」階名唱	「ことりたちは」 「マリアさまのこころ」	「ごらんよ空の鳥」 「八戸学院大学短期大学部学歌」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah
4	・発声と呼吸法③母音と子音の発声法 ・「八戸学院大学学歌」音程 ・オラトリオ「メサイア」よりHallelujah①読譜	「ごらんよ空の鳥」 「八戸学院大学短期大学部学歌」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah	「八戸学院大学学歌」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah
5	・発声と呼吸法④ブレスコントロール 讃美歌「With Christ」①読譜 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah②音程	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 「With Christ」	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 「With Christ」
6	・発声と呼吸法⑤子音と母音の発声 讃美歌「With Christ」②音程 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah③発音	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 「With Christ」	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 「With Christ」
7	・発声と呼吸法⑥頭声発声と胸声発声 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah④ハーモニー	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah
8	・リズム反応 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah⑥ピッチ	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah
9	・アリアとレチタティーヴォ 讃美歌「愛の賛歌」①読譜 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah⑦	「愛の賛歌」	「愛の賛歌」
10	・発声とリズム 讃美歌「愛の賛歌」② オラトリオ「メサイア」よりHallelujah⑧	「愛の賛歌」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah	「愛の賛歌」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah
11	・発声とリズム 讃美歌「私をお使い下さい」 ～マザーテレサの祈り～① オラトリオ「メサイア」よりHallelujah⑨	「私をお使い下さい」 ～マザーテレサの祈り～ オラトリオ「メサイア」よりHallelujah	「私をお使い下さい」 ～マザーテレサの祈り～ オラトリオ「メサイア」よりHallelujah
12	・発声とリズム 讃美歌「私をお使い下さい」 ～マザーテレサの祈り～② オラトリオ「メサイア」よりHallelujah⑩	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 「私をお使い下さい」 ～マザーテレサの祈り～	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 「私をお使い下さい」 ～マザーテレサの祈り～
13	式歌練習① 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌
14	式歌練習② 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah
15	表現発表 ・オラトリオ「メサイア」よりHallelujah	オラトリオ「メサイア」よりHallelujah	学歌 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah

講義名	9013008300 合唱Ⅱ 【ナンバリング：110012】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. 合唱における基礎知識を修得する。
2. 発声のための身体機能を体現できる。
3. ハーモニーの重厚さを培い、オーケストラ化を図る。
4. 歌の内容を充分に理解し豊かな感性と集中力を養う。

授業概要(教育目的)

1. 発声における呼吸法・発音・音色の方向性を身につける。
2. 理論と実践の融合を図りながら、カトリシズムに則した品性を培う。
3. 合唱の喜びや意義を考えさせ、心豊かな楽しい演奏を体現する。
4. カトリシズムに則り、宗教音楽の精神性を柱とした合唱表現ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

・受講態度(合唱評価シート)、表現発表にて総合評価する。
・星の子シアター参加を必須とする。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

学歌、オラトリオ「メサイア」よりHallelujah
八戸学院大学短期大学部幼児保育学科編纂

資格との関連

卒業必修単位

学生へのメッセージ

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、美しいハーモニーづくりを通して、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけていきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	授業内容説明 讃美歌 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌	合唱のためのコンディション作り	讃美歌「愛の讃歌」 「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌
2	・発声と呼吸法 讃美歌「愛の讃歌」「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌	讃美歌「愛の讃歌」 「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌	讃美歌「愛の讃歌」 「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌
3	・発声と呼吸法 讃美歌「私をお使いください～マザーテレサの祈り～」「愛の讃歌」「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌	讃美歌「愛の讃歌」 「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌	讃美歌「愛の讃歌」 「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌
4	・子音と母音の表現法 讃美歌「私をお使いください～マザーテレサの祈り～」「愛の讃歌」「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌	讃美歌「愛の讃歌」 「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌	讃美歌「愛の讃歌」 「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌
5	・発声器官の仕組み 讃美歌「愛の讃歌」「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌	讃美歌「愛の讃歌」 「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌	讃美歌「愛の讃歌」 「With Christ」 オラトリオ「メサイア」よりHallelujah 八戸学院大学学歌 八戸学院大学短期大学部学歌
6	・ハーモニーづくり 「ノアの方舟」天地創造場面 グレゴリオ聖歌	ノアの方舟台本確認	ノアの方舟台本確認
7	・音楽表現 「ノアの方舟」 方舟制作	ノアの方舟台本確認	ノアの方舟台本確認
8	「ノアの方舟」 学内リハーサル①	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜
9	「ノアの方舟」 学内リハーサル②	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜
10	「ノアの方舟」 学内リハーサル③	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜
11	表現発表 『星の子シアター』 ノアの方舟 八戸市公会堂リハーサル①	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜
12	表現発表 『星の子シアター』 ノアの方舟 八戸市公会堂リハーサル②	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜
13	表現発表 『星の子シアター』 ノアの方舟 八戸市公会堂リハーサル③	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜
14	表現発表 『星の子シアター』 ノアの方舟 八戸市公会堂リハーサル④	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜
15	表現発表 『星の子シアター』 ノアの方舟 八戸市公会堂リハーサル⑤	ノアの方舟台本確認 全曲暗譜	音楽表現の振り返り

講義名	9013000400 美術Ⅰ　A1クラス 【ナンバリング：100013】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

・色彩の違いを造形に反映することができるようになる。
・知的技能の習得として、立体作品の制作を行い、制作における素材の違いについて説明できる。

授業概要(教育目的)

美術の基礎を、演習と講義を通じて学ぶ。後期「幼児美術Ⅰ」につながる美術の基礎的事項を中心に講義の中に、制作も織り交ぜ展開する。美術の創作活動を通して美的体験を豊かにし、表現活動、鑑賞能力の向上を図り、美術に対する愛好心を育てる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

試験もしくはレポート(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

『保育をひらく造形表現』槇 英子著、、萌文書林
『日本のおりがみ事典』、ナツメ社

講義時使用テキスト

『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
講義内容を後期「幼児美術Ⅰ」に続くものとして捉え、保育者としての基本的美術感覚の向上が目的であることを理解すること。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション・演習「千代紙を利用した名札の制作」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
2	色彩基礎 ① 講義「色の配色と心理効果」・演習「ステンシル技法を用いたトートバッグの装飾」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
3	色彩基礎 ② 講義「色の三原色・あざやかさと明るさについて」・演習「にじみを利用した虹の描画」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
4	デッサン基礎① 講義「明度のグラデーションから立体表現へ」・演習「陰影法を用いた立体表現」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
5	デッサン基礎② 講義「透視図法と遠近表現」・演習「擦りだし技法フロッタージュとコラージュ」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
6	版画基礎　講義「版表現とモダン技法について」・演習「デカルコマニーと糸引き絵」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
7	講義「グループワークについて」・演習『七夕飾りのアイデア決め』(ディスカッション・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
8	八戸七夕祭り吹き流しの制作(お花作り・飾りの制作・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
9	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
10	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
11	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
12	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
13	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
14	講義「描画材料の組成」・演習1[七夕飾り制作の振り返り」演習2演習「オイルパステルを用いたはじき絵」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
15	講義「青森の美術施設と建築について」・演習「オイルパステルを用いたスクラッチ技法」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する

講義名	9013000401 美術Ⅰ　A2クラス 【ナンバリング：100013】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

・色彩の違いを造形に反映することができるようになる。
・知的技能の習得として、立体作品の制作を行い、制作における素材の違いについて説明できる。

授業概要(教育目的)

美術の基礎を、演習と講義を通じて学ぶ。後期「幼児美術Ⅰ」につながる美術の基礎的事項を中心に講義の中に、制作も織り交ぜ展開する。美術の創作活動を通して美的体験を豊かにし、表現活動、鑑賞能力の向上を図り、美術に対する愛好心を育てる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

試験もしくはレポート(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

『保育をひらく造形表現』槇 英子著、、萌文書林
『日本のおりがみ事典』、山口　真著、ナツメ社

講義時使用テキスト

『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。講義内容を後期「幼児美術Ⅰ」に続くものとして捉え、保育者としての基本的美術感覚の向上が目的であることを理解すること。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション・演習「千代紙を利用した名札の制作」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
2	色彩基礎 ① 講義「色の配色と心理効果」・演習「ステンシル技法を用いたトートバッグの装飾」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
3	色彩基礎 ② 講義「色の三原色・あざやかさと明るさについて」・演習「にじみを利用した虹の描画」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
4	デッサン基礎① 講義「明度のグラデーションから立体表現へ」・演習「陰影法を用いた立体表現」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
5	デッサン基礎② 講義「透視図法と遠近表現」・演習「擦りだし技法フロッタージュとコラージュ」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
6	版画基礎　講義「版表現とモダン技法について」・演習「デカルコマニーと糸引き絵」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
7	講義「グループワークについて」・演習『七夕飾りのアイデア決め』(ディスカッション・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
8	八戸七夕祭り吹き流しの制作(お花作り・飾りの制作・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
9	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
10	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
11	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
12	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
13	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
14	講義「描画材料の組成」・演習1「七夕飾り制作の振り返り」演習2演習「オイルパステルを用いたはじき絵」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
15	講義「青森の美術施設と建築について」・演習「オイルパステルを用いたスクラッチ技法」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する

講義名	9013000402 美術Ⅰ　B1クラス 【ナンバリング：100013】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

・色彩の違いを造形に反映することができるようになる。
・知的技能の習得として、立体作品の制作を行い、制作における素材の違いについて説明できる。

授業概要(教育目的)

美術の基礎を、演習と講義を通じて学ぶ。後期「幼児美術Ⅰ」につながる美術の基礎的事項を中心に講義の中に、制作も織り交ぜ展開する。美術の創作活動を通して美的体験を豊かにし、表現活動、鑑賞能力の向上を図り、美術に対する愛好心を育てる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

試験もしくはレポート(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

『保育をひらく造形表現』槇 英子著、、萌文書林
『日本のおりがみ事典』、山口　真著、ナツメ社

講義時使用テキスト

『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
講義内容を後期「幼児美術Ⅰ」に続くものとして捉え、保育者としての基本的美術感覚の向上が目的であることを理解すること。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション・演習「千代紙を利用した名札の制作」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
2	色彩基礎 ① 講義「色の配色と心理効果」・演習「ステンシル技法を用いたトートバッグの装飾」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
3	色彩基礎 ② 講義「色の三原色・あざやかさと明るさについて」・演習「にじみを利用した虹の描画」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
4	デッサン基礎① 講義「明度のグラデーションから立体表現へ」・演習「陰影法を用いた立体表現」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
5	デッサン基礎② 講義「透視図法と遠近表現」・演習「擦りだし技法フロッタージュとコラージュ」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
6	版画基礎　講義「版表現とモダン技法について」・演習「デカルコマニーと糸引き絵」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
7	講義「グループワークについて」・演習『七夕飾りのアイデア決め』(ディスカッション・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
8	八戸七夕祭り吹き流しの制作(お花作り・飾りの制作・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
9	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
10	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
11	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
12	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
13	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
14	講義「描画材料の組成」・演習1「七夕飾り制作の振り返り」演習2演習「オイルパステルを用いたはじき絵」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
15	講義「青森の美術施設と建築について」・演習「オイルパステルを用いたスクラッチ技法」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する

講義名	9013000403 美術Ⅰ　B2クラス 【ナンバリング：100013】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

・色彩の違いを造形に反映することができるようになる。
・知的技能の習得として、立体作品の制作を行い、制作における素材の違いについて説明できる。

授業概要(教育目的)

美術の基礎を、演習と講義を通じて学ぶ。後期「幼児美術Ⅰ」につながる美術の基礎的事項を中心に講義の中に、制作も織り交ぜ展開する。美術の創作活動を通して美的体験を豊かにし、表現活動、鑑賞能力の向上を図り、美術に対する愛好心を育てる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

試験もしくはレポート(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

『保育をひらく造形表現』槇 英子著、、萌文書林
『日本のおりがみ事典』、山口　真著、ナツメ社

講義時使用テキスト

『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。講義内容を後期「幼児美術Ⅰ」に続くものとして捉え、保育者としての基本的美術感覚の向上が目的であることを理解すること。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション・演習「千代紙を利用した名札の制作」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
2	色彩基礎 ① 講義「色の配色と心理効果」・演習「ステンシル技法を用いたトートバッグの装飾」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
3	色彩基礎 ② 講義「色の三原色・あざやかさと明るさについて」・演習「にじみを利用した虹の描画」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
4	デッサン基礎① 講義「明度のグラデーションから立体表現へ」・演習「陰影法を用いた立体表現」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
5	デッサン基礎② 講義「透視図法と遠近表現」・演習「擦りだし技法フロッタージュとコラージュ」	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
6	版画基礎　講義「版表現とモダン技法について」・演習「デカルコマニーと糸引き絵」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
7	講義「グループワークについて」・演習『七夕飾りのアイデア決め』(ディスカッション・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
8	八戸七夕祭り吹き流しの制作(お花作り・飾りの制作・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
9	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
10	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
11	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
12	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	おりがみ課題 講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
13	八戸七夕祭り吹き流しの制作(チームに分かれ飾り制作・組み立て続き・グループワーク)	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
14	講義「描画材料の組成」・演習1「七夕飾り制作の振り返り」演習2演習「オイルパステルを用いたはじき絵」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する
15	講義「青森の美術施設と建築について」・演習「オイルパステルを用いたスクラッチ技法」	講義内容を教科書やインターネット等で調べ把握する	疑問点や興味を持った点を振り返り、保育につなげ生かせる部分を記述する

講義名	9013008500 美術Ⅱ 【ナンバリング：100014】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

絵画や彫刻の歴史的な成り立ちを理解した上で、自由でのびのびとした表現力を発揮できる。
また鑑賞において幼児をや児童を対象とした鑑賞教育の事例を知り、実施計画を立てられる。

授業概要(教育目的)

「美術Ⅰ」において習得した基本的な知識や技能から、さらに専門的な美術技法や方法を知り実践する。
座学では美術の歴史をわかりやすく紹介するとともに、デッサンや油絵など個人では実践しにくい専門的な実技を演習形式で取り組む。
近年では実技教育のほか鑑賞教育が重要視されていることから、鑑賞の基本的なルールや対話型鑑賞など現代の鑑賞方法も学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

作品及びレポート(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を学生にフィードバックし、返却する。
成績について疑問のある学生は個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

美術についてより深く理解したい、もっと色々な技法を習得したいという学生は積極的に受講してください。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。
各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。
現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	デッサン演習(静物デッサン)	事前に配布した資料を元に技法や関連作品について調べ把握すること	疑問点や興味を持った点を振り返り、記録に残す
2	水彩画演習(水彩画)	事前に配布した資料を元に技法や関連作品について調べ把握すること	疑問点や興味を持った点を振り返り、記録に残す
3	オーブン陶土を用いた陶芸制作	事前に配布した資料を元に技法や関連作品について調べ把握すること	疑問点や興味を持った点を振り返り、記録に残す
4	油彩画演習(油彩画1)	事前に配布した資料を元に技法や関連作品について調べ把握すること	疑問点や興味を持った点を振り返り、記録に残す
5	油彩画演習(油彩画2)	事前に配布した資料を元に技法や関連作品について調べ把握すること	疑問点や興味を持った点を振り返り、記録に残す
6	油彩画演習(油彩画3)	事前に配布した資料を元に技法や関連作品について調べ把握すること	疑問点や興味を持った点を振り返り、記録に残す
7	油彩画演習(油彩画4)	事前に配布した資料を元に技法や関連作品について調べ把握すること	疑問点や興味を持った点を振り返り、記録に残す
8	油彩画演習(額装制作)	事前に配布した資料を元に技法や関連作品について調べ把握すること	疑問点や興味を持った点を振り返り、記録に残す

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013011300 保育の文章表現Ⅰ						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	吹越　義博			

学習目標(到達目標)

保育現場で求められる文章力や表現力を身につける。
1　言いたいことが伝わる文章を作成することができる。
2　保育の現場における基本的な文章を作成することができる。
3　基本的なプレゼンテーションができる。
4　基本的なレポートを作成することができる。

授業概要(教育目的)

4人の教員によるオムニバス方式により、文章力を高めるための基礎的な知識について多角的な講義を進めるとともに、保育者としての考えを文章化したり、保育現場で必要とされる基本的な文章を作成したりする機会を設けて、作文力を高める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

課題(レポート・作文)の提出・授業時の取り組み状況などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、作文)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

『「基礎演習とプレゼンテーション」の手引き』(八戸学院大学・八戸学院短期大学部)

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

保育現場で求められる文章力は保育者として重要な資質である。コミュニケーション能力を身に付けるために真剣に取り組むこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	文章力を高めるために必要なこと―言いたいことが伝わる表現にするために(基本編)	文章力向上についてインターネットなどで事前に調べておく	授業で使用した資料を読み直して授業内容の理解を深める
2	プレゼンテーションについて―わかりやすく伝えるとは(基本編)	文章力向上についてインターネットなどで事前に調べておく	授業で使用した資料を読み直して授業内容の理解を深める
3	レポートの書き方―レポートの形式など(基本編)	文章力向上についてインターネットなどで事前に調べておく	授業で使用した資料を読み直して授業内容の理解を深める
4	保育者としての文章力・表現力―保育で使う表現を中心にして(基本編)	文章力向上についてインターネットなどで事前に調べておく	授業で使用した資料を読み直して授業内容の理解を深める
5	レポートの書き方―レポートの形式など(活用編)	文章力向上についてインターネットなどで事前に調べておく	授業で使用した資料を読み直して授業内容の理解を深める
6	文章力を高めるために必要なこと―言いたいことが伝わる表現にするために(活用編)	文章力向上についてインターネットなどで事前に調べておく	授業で使用した資料を読み直して授業内容の理解を深める
7	プレゼンテーションについて―わかりやすく伝えるとは(活用編)	文章力向上についてインターネットなどで事前に調べておく	授業で使用した資料を読み直して授業内容の理解を深める
8	保育者としての文章力・表現力―保育で使う表現を中心にして(活用編)	文章力向上についてインターネットなどで事前に調べておく	授業で使用した資料を読み直して授業内容の理解を深める

講義名	9013011400	保育の文章表現Ⅱ ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	
対象学科	幼児保育学科	担当教員(単位認定者)	吹越　義博				

学習目標(到達目標)

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。

評価方法

講義時使用テキスト

資格との関連

実務との関連

授業概要(教育目的)

保育の基本用語を理解し、実習日誌や指導案を作成する表現力を養う。文章を正確に記述できるよう漢字の書き取りなどの基本的な事項から、参考文献の書写やビデオ視聴等をもとにした模擬的な実習日誌の作成など保育の文章表現における実践的な表現力と構成力を身に着ける。

課題に対するフィードバック

参考文献

学生へのメッセージ

授業計画表

	内容	予習	復習

講義名	9013001200 体育概論 【ナンバリング：103016】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	本吉　好		

学習目標(到達目標)

健康についての知識を深め、生涯にわたり健康に過ごす資質を養うために、以下の3点を学習目標とする。
1. 日本の健康をめぐる施策の変遷を説明することができる。
2. 日本を取り巻く健康問題や国民の健康増進に関する目標等を説明することができる。
3. 運動の意義や重要性を説明することができる。

授業概要(教育目的)

本講義は、健康の維持増進を図るために健康の概念や健康に影響を与える生活習慣、環境要因などを学ぶ。そして、自分自身の健康を見直し、生涯にわたりからだとこころを健康に保つための知識を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

レポート課題の提出と試験の結果から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

レポートはコメントを添え返却する。

参考文献

健康作りのための運動の科学(化学同人)
健康増進課学概論―運動・栄養・休養―(東京教学社)

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

幼稚園教諭二種必修資格、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

自分自身の健康を見直すきっかけになればと思っています。
日常生活から少しずつ健康について考えてみてください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション・身体組成	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
2	健康の概念	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
3	現代社会と健康	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
4	生活習慣病	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
5	妊娠・出産	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
6	運動と健康	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
7	トレーニング理論と運動処方	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
8	栄養と健康	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
9	休養と健康【レポート提出】	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
10	青森県のスポーツについて(ゲストティーチャー)	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
11	メンタルヘルス・動機付け	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
12	アルコールと喫煙と薬物	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
13	性感染症の実態	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
14	する・みる・ささえるスポーツ	授業内容についてインターネット等で調べる	配布プリントをまとめる
15	オリンピックの変遷	授業内容についてインターネット等で調べる これまでの講義資料をまとめる	配布プリントをまとめる

講義名	9013001100 体育実技　Aクラス 【ナンバリング：103017】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		本吉　好		

学習目標(到達目標)

スポーツの実践を通し、スポーツへの理解を深め、生涯にわたり心身共に健康で活動的な身体づくりを行うために、以下の2点を学習目標とする。
1. 体力の向上と健康の維持・増進を目指した運動を実践することができる。
2. キッズリーダーの資格を取得し、保育の中で積極的な運動あそびを計画し実践することができる。

授業概要(教育目的)

球技を中心に運動を実践する。また、キッズリーダー養成講習会を授業内で受講し、キッズリーダー（U－6）の資格を取得する。さらに、地域の伝統文化である八戸小唄流し踊りを習得し、七夕まつりで踊りを披露する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

毎時間の講義でのミニレポートとレポート課題の提出の結果から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

レポートはコメントを添え返却する。
レポート評価については各自教員研究室まで問い合わせること。

参考文献

授業内で適宜指示する。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修免許

学生へのメッセージ

服装は運動着と運動靴を着用してください。
ピアスやネックレスなどの装飾品は必ず外して受講してください。
髪が長い場合には結んでください。
服装等が整っていない場合は受講を認めません。
実技科目になりますので、積極的に体を動かしてください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス 体づくり運動（ストレッチ、レジスタンス等）	体調管理を行うこと	授業内で経験した運動やトレーニング方法を日常生活に取り入れ、体力の維持・増進に努める
2	体力テスト	体調管理を行うこと 体力テストについて調べておくこと	反省点と課題をノートにまとめ、日常生活にトレーニングを取り入れる
3	ドッジビー＆ドッジボール	体調管理を行うこと	反省点と課題をノートにまとめる
4	バドミントン①（基本練習）	体調管理を行うこと 図書館等でルールを調べる	反省点と課題をノートにまとめる
5	バドミントン②（試合形式）	体調管理を行うこと	反省点と課題をノートにまとめる
6	青森県サッカー協会キッズリーダー養成講習会①（講義）	テキストを読んでおくこと	反省点と課題をノートにまとめる
7	青森県サッカー協会キッズリーダー養成講習会②（実技） 【レポート提出】	体調管理を行うこと	反省点と課題をノートにまとめる
8	青森県サッカー協会キッズリーダー養成講習会③（指導実践）	体調管理を行うこと	課題のレポートを作成する
9	青森県サッカー協会キッズリーダー養成講習会④（実技）	体調管理を行うこと	反省点と課題をノートにまとめる
10	八戸小唄流し踊り①	体調管理を行うこと 事前に見本の動画を確認し、練習してくること	踊りの振り付けを忘れないよう、次時まで練習しておく 反省点と課題をノートにまとめる
11	八戸小唄流し踊り② バスケットボール①（基本練習）	体調管理を行うこと 図書館等でルールを調べる	反省点と課題をノートにまとめる
12	八戸小唄流し踊り③ バスケットボール②（試合形式）	体調管理を行うこと 審判ができるようルールを覚える	反省点と課題をノートにまとめる
13	八戸小唄流し踊り④ ソフトバレーボール①（基本練習）	体調管理を行うこと 図書館等でルールを調べる	反省点と課題をノートにまとめる
14	八戸小唄流し踊り⑤ ソフトバレーボール②（試合形式）	体調管理を行うこと 審判ができるようルールを覚える	反省点と課題をノートにまとめる
15	バレーボール【レポート提出】	体調管理を行うこと 図書館等でルールを調べる 審判ができるようルールを覚える	反省点と課題をノートにまとめる

講義名	9013001101 体育実技　Bクラス 【ナンバリング：103017】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	本吉　好			

学習目標(到達目標)

スポーツの実践を通し、スポーツへの理解を深め、生涯にわたり心身共に健康で活動的な身体づくりを行うために、以下の2点を学習目標とする。
1. 体力の向上と健康の維持・増進を目指した運動を実践することができる。
2. キッズリーダーの資格を取得し、保育の中で積極的な運動あそびを計画し実践することができる。

授業概要(教育目的)

球技を中心に運動を実践する。また、キッズリーダー養成講習会を授業内で受講し、キッズリーダー（U－6）の資格を取得する。さらに、地域の伝統文化である八戸小唄流し踊りを習得し、七夕まつりで踊りを披露する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

毎時間の講義でのミニレポートとレポート課題の提出の結果から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

レポートはコメントを添え返却する。
レポート評価については各自教員研究室まで問い合わせること。

参考文献

授業内で適宜指示する。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修免許

学生へのメッセージ

服装は運動着と運動靴を着用してください。
ピアスやネックレスなどの装飾品は必ず外して受講してください。
髪が長い場合には結んでください。
服装等が整っていない場合は受講を認めません。
実技科目になりますので、積極的に体を動かしてください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス 体づくり運動（ストレッチ、レジスタンス等）	体調管理を行うこと	授業内で経験した運動やトレーニング方法を日常生活に取り入れ、体力の維持・増進に努める
2	体力テスト	体調管理を行うこと 体力テストについて調べておくこと	反省点と課題をノートにまとめ、日常生活にトレーニングを取り入れる
3	ドッジビー＆ドッジボール	体調管理を行うこと	反省点と課題をノートにまとめる
4	バドミントン①（基本練習）	体調管理を行うこと 図書館等でルールを調べる	反省点と課題をノートにまとめる
5	バドミントン②（試合形式）	体調管理を行うこと	反省点と課題をノートにまとめる
6	青森県サッカー協会キッズリーダー養成講習会①（講義）	テキストを読んでおくこと	反省点と課題をノートにまとめる
7	青森県サッカー協会キッズリーダー養成講習会②（実技） 【レポート提出】	体調管理を行うこと	反省点と課題をノートにまとめる
8	青森県サッカー協会キッズリーダー養成講習会③（指導実践）	体調管理を行うこと	課題のレポートを作成する
9	青森県サッカー協会キッズリーダー養成講習会④（実技）	体調管理を行うこと	反省点と課題をノートにまとめる
10	八戸小唄流し踊り①	体調管理を行うこと 事前に見本の動画を確認し、練習してくること	踊りの振り付けを忘れないよう、次時まで練習しておく 反省点と課題をノートにまとめる
11	八戸小唄流し踊り② バスケットボール①（基本練習）	体調管理を行うこと 図書館等でルールを調べる	反省点と課題をノートにまとめる
12	八戸小唄流し踊り③ バスケットボール②（試合形式）	体調管理を行うこと 審判ができるようルールを覚える	反省点と課題をノートにまとめる
13	八戸小唄流し踊り④ ソフトバレーボール①（基本練習）	体調管理を行うこと 図書館等でルールを調べる	反省点と課題をノートにまとめる
14	八戸小唄流し踊り⑤ ソフトバレーボール②（試合形式）	体調管理を行うこと 審判ができるようルールを覚える	反省点と課題をノートにまとめる
15	バレーボール【レポート提出】	体調管理を行うこと 図書館等でルールを調べる 審判ができるようルールを覚える	反省点と課題をノートにまとめる

講義名	9013011500	子どもの遊戯と表現 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		本吉　好		

学習目標(到達目標)

身体表現に必要な体づくりおよび基本的な動きの習熟を目指すとともに、音やリズムに合わせて自由に伸び伸びと表現したり、自ら設定したテーマに沿って動きを創ったりするなど、体を動かすことの楽しさを自らの体で伝えることができる。

授業概要(教育目的)

保育者として子どもと共に身体を動かし表現運動に取り組むために、ダンスを中心とした身体表現の基礎を身に付ける。他者とコミュニケーションをとりながら豊かな表現力や創造力、また表現の多様性を認めることのできる感受性を養い、身体表現に対する理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

次の観点から総合的に評価する。
①授業参加度やグループ活動貢献度
②毎時の課題の達成度
③発表作品の独自性や完成度
④その他
詳細は授業時に説明する。

課題に対するフィードバック

実技中心の授業であるため、その都度直接の言葉かけによるフィードバックを行うほか、発表時にはルーブリックを提示した上で評価・講評する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 表現活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
2	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 表現活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
3	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 表現活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
4	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 創作活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
5	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 創作活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
6	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 創作活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
7	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 創作活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
8	作品の発表を行う。	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	発表終了後に、創作過程～実践練習までのレポートを作成し、自己評価を行うこと。
9	発表作品の鑑賞をし、各自講評する。	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	各自、今後の課題を立てる。

講義名	9013008700	身体表現の基礎 【ナンバリング：100018】　開講せず					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

身体表現に必要な体づくりおよび基本的な動きの習熟を目指すとともに、音やリズムに合わせて自由に伸び伸びと表現したり、自ら設定したテーマに沿って動きを創ったりするなど、体を動かすことの楽しさを自らの体で伝えることができる。

授業概要(教育目的)

本授業「身体表現の基礎」は、「ダンスが上手な人」を求めるものではありません。自分の意志に随って伸び伸びと動かせる身体と豊かで自由な感性や情緒を育むことにあります(ただ、そのためには多少の体づくりや動きづくりが必要なので、そういった内容も含まれています)。
⇒「他者への理解、価値観の共有」に繋げる
また、ダンスだけではなくゲームやスタンツ、模倣遊びなどを通して身体表現を幅広く体験し、自分の内面の外面化を図ることも目的としています。
⇒「他者との円滑なコミュニケーション」に繋げる

卒業認定・学位授与の方針との関連

「神を敬し、人を愛する」というカトリック精神に基づき、幅広い教養および総合的な判断力と豊かな人間性を身につけている。

評価方法

次の観点から総合的に評価する。
①授業参加度やグループ活動貢献度
②毎時の課題の達成度
③発表作品の独自性や完成度
④その他
詳細は授業時に説明する。

課題に対するフィードバック

実技中心の授業であるため、その都度直接の言葉かけによるフィードバックを行うほか、発表時にはルーブリックを提示した上で評価・講評する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 表現活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
2	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 表現活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
3	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 表現活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
4	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 創作活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
5	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 創作活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
6	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 創作活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
7	体づくり・動きづくり(約30分) 柔軟性を高める 筋力を向上させる バランス感覚を養う 姿勢を整える　等 創作活動(約60分)	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	授業終了後に実践内容を記録、省察し、次時の目標を立てておくこと。
8	作品の発表を行う。	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	発表終了後に、創作過程～実践練習までのレポートを作成し、自己評価を行うこと。
9	発表作品の鑑賞をし、各自講評する。	表現の幅を広げるため、体づくりエクササイズを毎日10～20分継続して実践すること。	各自、今後の課題を立てる。

講義名	9013001700 保育原理 【ナンバリング：202001】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	鈴木 康弘			

学習目標(到達目標)

① 日本と海外の保育に関する基礎的な知識と考え方(思想・理念、歴史・制度、法・行政など)を理解する。
②「保育所保育指針」・「幼稚園教育要領」等で示された保育の理念や考え方を理解し、それらを用いてさまざまな保育実践を読み解くことができる。
③グループワークやディスカッションの取り組み方、レポート課題の作成方法など、短大生としての学びの技法を習得し、実践する。

授業概要(教育目的)

この授業では、保育者を目指す学生のために、保育に関する基礎的な知識や考え方を紹介します。この授業で使用するテキスト[佐伯一弥編『Workで学ぶ保育原理(改訂版)』(わかば社、2019年)]は、指針や要領、法律等のキーワードが穴埋め形式になっていますが、授業では、映像資料の視聴やディスカッションなども取り入れながら、さまざまな理念、制度や実践に関する必要な知識の学びを深めていきます。他の受講生とのコミュニケーションを通じて、異なる見方や考え方に触れながら、それぞれの理想とする保育観を深めていってほしいと思います。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験(6割)、授業内のコメントペーパーや小テスト、ディスカッション、アサインメント(主にレポート課題)の取り組み等(4割)から、総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

授業終盤で記入してもらうコメントシートは、次回の授業冒頭でいくつか取り上げ、リプライを共有する予定です。

参考文献

参考資料やブックガイド等は、授業中に配布します。

講義時使用テキスト

佐伯一弥編『Workで学ぶ保育原理(改訂版)』(わかば社、2019年)
厚生労働省編『保育所保育指針解説(平成30年3月)』(フレーベル館、2018年)
文部科学省編『幼稚園教育要領解説(平成30年3月)』(フレーベル館、2018年)
内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月)』(フレーベル館、2018年)

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

この授業を通じて、子どもや保育を語る言葉を磨くとともに、お互いを高め合えるたくさんの仲間を作ってください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション:短大での学び方を学ぶ	シラバスで授業内容を確認されたうえで、出席してください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	保育者の世界:「教育」と「養護(ケア)」	保育者を志望した動機や仕事として魅力に感じたことを、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
3	子どもの世界:「遊び」と「学び」	子どもの頃、楽しかった遊びを思い出し、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
4	保育者の専門性:「子ども理解」と「環境を通した教育」	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
5	乳児保育と発達研究の新展開:「非認知能力」と「アタッチメント」	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
6	「領域」で捉える子どもの育ちと教材研究の重要性 ゲスティーチャー:戸田山みどり先生(八戸高専)(予定)	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
7	西洋の歴史からみた保育の成り立ち:「近代教育」と「近代家族」との関連から	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
8	保育の理想を語った人たち:フレーベル・モンテッソーリ・倉橋惣三	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
9	日本の歴史からみた保育の展開:「蹄開保育園」・「ポストの数ほど保育所を」・「子どもの権利条約」	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
10	小学校教育との接続と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」	小学校に入学するときに楽しみにしていたことや不安だったこと、入学後に戸惑ったことなどを思い出し、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
11	保育の質を高めるための計画と評価:PDCAとカリキュラム・マネジメント	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
12	「気になる子」とインクルーシブな保育	保育園・幼稚園～高校までの間に、同じクラスに在籍していた障害のある園児・児童・生徒との印象的なエピソードがあれば、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
13	行政からみた保育の課題:幼保一元化と子ども・子育て支援新制度	待機児童問題に関する新聞記事を見つけ出し、コメントを添えて提出する。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
14	世界の保育改革と「レッジョ・エミリア・アプローチ」	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
15	子どもの育ちを捉える言葉と記録(ドキュメンテーション)	指定されたテーマに関するレポート課題を提出する。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。

講義名	9013004700 教育原理 【ナンバリング：203002】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

1. 教育に関する事柄を理論的、歴史的に説明できる。
2. これまで受けてきた自身の教育を振り返り、深く理解することができる。

授業概要(教育目的)

講義では、教育とはなにか、子どもとはなにか、といった問題を歴史的に考察するとともに、現代の教育制度、教育における課題を広く知ることができるようにする。また、授業テーマについて、個人やグループで調査したり(第1回、第5回)、調査した内容について協議し発表するなど(第15回)しながら、アクティブラーナーであると共に、教育者としての実践力も高められるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

遅刻や居眠り、私語や携帯電話の使用などのふさわしくない受講態度について2割、本試験で8割の配分によって評価する。

課題に対するフィードバック

・本試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

幼稚園教育要領解説

講義時使用テキスト

西本望　編著『シリーズ知のゆりかご　いまがわかる教育原理』株式会社みらい

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

・幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。実務経験をもとに、主に幼児教育における「環境を通して行う教育」という基本と、教育全般のつながりを踏まえて講義を展開する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	これまでの「教育」を振り返る	自分自身が受けてきた「教育」の有り様について振り返り、その課題について考えておく。	配布資料とノートを読み直す。
2	教育の意義	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
3	教育の目的	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
4	教育と児童福祉のつながり	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
5	人間形成のための家庭・地域・社会との連携	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
6	教育制度の基礎	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
7	さまざまな国の教育思想家たち	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
8	日本の教育思想と歴史	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
9	近代教育成立の歴史	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
10	子ども観と教育観の変遷	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
11	教育行政および学校経営の基礎と学校安全	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
12	保育・教育実践の基礎理論	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
13	教育実践の多様な取り組み	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
14	生涯学習社会と教育	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
15	現代の教育課題	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013009100	子ども家庭福祉 【ナンバリング：202003】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	今　清孝			

学習目標(到達目標)

1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義を理解し説明できる。
2. 子ども家庭福祉サービスについて知見を得ることができる。
3. 子ども家庭福祉における専門職としての保育者の役割を理解し説明できる。

授業概要(教育目的)

社会福祉の構成要素のひとつである子ども家庭福祉は、対象者を子どもだけではなく、子どもの育つ環境全体を視野に入れた理解により、知識を豊かなものにすることができる。
本講義では、子ども家庭福祉の基本的理念、制度、施設等の運営、ソーシャルワークなどの子ども家庭福祉援助について体系的に学び、保育者として必要な知識と思考方法を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題レポート(宿題)、授業態度を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題レポートは、次の授業でコメントを添えて返却する。
課題レポートは、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
課題レポートは、次の授業で作成例を配布する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出す

参考文献

講義時使用テキスト

「子ども家庭福祉」『最新保育士養成講座』総括編纂委員会／編　全国社会福祉協議会　2022年改訂

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

この科目は保育士養成科目の基礎知識となる科目であり、ほかの科目との結びつきもあるので、しっかりと身につけてほしい。

実務との関連

保育園保父(6年間)と園長(18年間)の経験から、子ども家庭福祉を保育の視点から捉え授業を展開する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション (1)授業の概要と目標 (2)授業内容と評価方法及び留意点 「子ども家庭福祉」を学ぶ前に	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	現代社会と子ども家庭福祉	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	子ども家庭福祉の概念と理念	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題レポート「子ども家庭福祉の理念について」を作成する
4	子ども家庭福祉の歴史的展開	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	子どもの権利擁護に関する取り組みの現状と課題 子ども家庭福祉の法体系	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	子ども家庭福祉の実施体制	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	児童福祉施設と子ども家庭福祉の専門職	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題レポート「子ども家庭福祉の専門職について」を作成する
8	少子化と地域子育て支援 母子保健	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	子どもの健全育成 多様な保育ニーズへの対応	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	障害のある子どもへの支援	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	児童虐待・DVとその防止 DVD視聴「児童虐待」「ドメスティック・バイオレンス」	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	社会的養護 少年非行等への対応	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	ひとり親家庭への支援	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への支援 子ども家庭福祉の動向と新しい理念	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題レポート「子ども家庭福祉を学んで」を作成する
15	子ども家庭福祉の現在の課題と視野に入れるべき動向 子ども家庭福祉における包括的・継続的支援の可能性	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	9013001300 社会福祉 【ナンバリング：202004】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	天摩　雅和		

学習目標(到達目標)

本科目では、現代社会における社会福祉の意義や歴史、制度や実施体系等について理解する。また、社会福祉の動向や今後の課題について理解することを目的とする。

・社会福祉の意義と歴史的変遷について説明できる。
・社会福祉の制度や実施体系について説明できる。
・社会福祉の動向と課題について説明できる。

授業概要(教育目的)

社会福祉の意義や歴史的変遷、そして、保育者にとって必要な社会福祉の法律や福祉を支える機関についての基礎的知識を習得し、現代の求める福祉とは何かについて理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

1. 社会福祉(ミネルヴァ)

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

保育士は福祉分野の専門職ですので、社会福祉について学んでいきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	社会福祉とは	シラバスを読む	授業内容のポイントを整理する
2	社会福祉を取り巻く環境	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
3	社会福祉の歴史	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
4	社会福祉の仕組み	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
5	社会福祉サービスの利用と仕組み	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
6	社会福祉の機関と施設	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
7	社会保障とは	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
8	低所得者福祉	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
9	児童家庭福祉	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
10	高齢者福祉	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
11	障害者福祉	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
12	地域福祉	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
13	利用者保護制度	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
14	社会福祉援助技術	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
15	社会福祉の担い手	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する

講義名	9013009200	子ども家庭支援論　Aクラス 【ナンバリング：202005】					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	今　清孝			

学習目標(到達目標)

1. 子ども家庭支援の対象が子どもと親を含めた家族であることを理解し説明できる。
2. 家族構成員が抱える生活の諸問題を理解し、多様なニーズに対して、保育士らによる「子ども家庭支援」の重要な役割を説明できる。
3. それぞれの家庭ニーズに応じた多様な支援を実施するため、保育者として適切な支援について説明できる。
4. 保育所等児童福祉施設における「子ども家庭支援」に関係する専門機関との連携について理解し説明できる。

授業概要(教育目的)

保育士らが支援する保護者が、子育てについてどのような問題を抱えているのかを事例を通して学び、よりよい支援のあり方を考える。
保護者に対する子育て支援に関係する社会資源を把握し、具体的に活用できる力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

定期試験、課題レポート(宿題)、授業態度を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題レポートは、次の授業でコメントを添えて返却する。
課題レポートは、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
課題レポートは、次の授業で作成例を配布する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

講義時使用テキスト

子ども家庭支援論(保育ニュー・スタンダード)　太田光洋／編　同文書院

参考文献

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

児童福祉法に規定されている保育士の業務のひとつとである保護者に対する子育て支援は、様々な知識と技術により行われる。
その知識の枠を学ぶのがこの科目であり、保育士に必要な基礎知識であるため、しっかりと身につけてほしい。

実務との関連

保育園保父(6年間)と園長(18年間)の経験から、子ども家庭支援を保育の視点から捉え授業を展開する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション (1)授業の概要と目標 (2)授業内容と評価方法及び留意点 子ども家庭支援とは	テキスト全体を読み授業の枠組みを把握しておく テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	家庭生活の現在	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	求められる保育、子ども家庭支援の内容	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	保育者の専門性を活かした子ども家庭支援のあり方とその意義	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題レポート「子ども家庭支援の意義」を作成する
5	保育者に求められる基本的役割と姿勢	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	子育て家庭の福祉を図るための社会資源	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題レポート「あなたが考える家庭支援に必要な資源について」を作成する
8	子ども家庭支援の内容と対象	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	子育て初期の子ども家庭支援	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	就学前保育・教育施設を利用する子ども家庭への支援	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	地域の子育て家庭への支援	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題レポート「あなたが取り組みたい家庭支援について」を作成する
12	要保護児童等と家庭への支援	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	子ども家庭支援者を支える関係としくみ	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	保育の場における子ども家庭支援の現状と課題	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	授業のふりかえり レポート作成 「わたしが考える『子ども家庭支援』とは」	これまでの配布資料とレポートを確認しておく 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	9013009201	子ども家庭支援論　Bクラス 【ナンバリング：202005】					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	今　清孝			

学習目標(到達目標)

1. 子ども家庭支援の対象が子どもと親を含めた家族であることを理解し説明できる。
2. 家族構成員が抱える生活の諸問題を理解し、多様なニーズに対して、保育士らによる「子ども家庭支援」の重要な役割を説明できる。
3. それぞれの家庭ニーズに応じた多様な支援を実施するため、保育者として適切な支援について説明できる。
4. 保育所等児童福祉施設における「子ども家庭支援」に関係する専門機関との連携について理解し説明できる。

授業概要(教育目的)

保育士らが支援する保護者が、子育てについてどのような問題を抱えているのかを事例を通して学び、よりよい支援のあり方を考える。
保護者に対する子育て支援に関係する社会資源を把握し、具体的に活用できる力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

定期試験、課題レポート(宿題)、授業態度を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題レポートは、次の授業でコメントを添えて返却する。
課題レポートは、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
課題レポートは、次の授業で作成例を配布する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

子ども家庭支援論(保育ニュー・スタンダード)　太田光洋／編　同文書院

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

児童福祉法に規定されている保育士の業務のひとつとである保護者に対する子育て支援は、様々な知識と技術により行われる。
その知識の枠を学ぶのがこの科目であり、保育士に必要な基礎知識であるため、しっかりと身につけてほしい。

実務との関連

保育園保父(6年間)と園長(18年間)の経験から、子ども家庭支援を保育の視点から捉え授業を展開する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション (1)授業の概要と目標 (2)授業内容と評価方法及び留意点 子ども家庭支援とは	テキスト全体を読み授業の枠組みを把握しておく テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	家庭生活の現在	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	求められる保育、子ども家庭支援の内容	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	保育者の専門性を活かした子ども家庭支援のあり方とその意義	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題レポート「子ども家庭支援の意義」を作成する
5	保育者に求められる基本的役割と姿勢	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	子育て家庭の福祉を図るための社会資源	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題レポート「あなたが考える家庭支援に必要な資源について」を作成する
8	子ども家庭支援の内容と対象	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	子育て初期の子ども家庭支援	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	就学前保育・教育施設を利用する子ども家庭への支援	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	地域の子育て家庭への支援	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す 課題レポート「あなたが取り組みたい家庭支援について」を作成する
12	要保護児童等と家庭への支援	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	子ども家庭支援者を支える関係としくみ	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	保育の場における子ども家庭支援の現状と課題	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	授業のふりかえり レポート作成 「わたしが考える『子ども家庭支援』とは」	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	9013009300 社会的養護Ⅰ 【ナンバリング：202006】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	天摩　雅和		

学習目標(到達目標)

本科目では、社会的養護の意義、制度や実施体系及び児童の権利擁護について習得する。また、児童福祉施設の役割や養護の実際、今日的動向について理解することを目的とする。

・児童福祉施設の種別や児童養護の歴史、施設の形態、里親制度について説明できる。
・社会的養護の体系や関係機関との連携について説明できる。
・児童福祉施設の役割について説明できる。

授業概要(教育目的)

社会的養護における基本的な福祉の仕組みや施設における生活支援方法、施設保育士の専門性について学び、保育士が社会的養護の中でとるべき適切な児童との関わり方について理解を深める。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

保育実践と社会的養護(勁草書房)

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

社会的養護とは家庭に代わって、社会が子どもを養育することです。
児童養護施設等の施設での養護、里親等の家庭での養護について学んでいきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	社会的養護の定義と理念	シラバスを読む	授業のポイントを整理する
2	社会的養護の歴史	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
3	児童家庭福祉の一分野としての社会的養護	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
4	児童の権利擁護と社会的養護	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
5	社会的養護の制度と法体系	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
6	社会的養護の仕組みと実施体系	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
7	家庭養護と施設養護	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
8	社会的養護の専門職	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
9	施設養護の基本原理	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
10	施設養護の実態	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
11	施設養護とソーシャルワーク	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
12	施設等の運営管理	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
13	専門職の倫理の確立	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
14	被措置児童等の虐待の防止	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する
15	社会的養護と地域福祉	テキストの該当箇所を読む	授業のポイントを整理する

講義名	9013004500 保育者論　Aクラス 【ナンバリング：202007】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　康弘			

学習目標(到達目標)

①保育士・保育教諭等の専門的な職務内容や資格形態を、正しく説明することができる。
②保育者としてのライフコースやキャリアデザインを見通しながら、それぞれの段階における役割や課題を理解することができる。
③他の授業や実習を通じて学んだことと関連させながら、子どもの育ちや発達課題を、文章やイラスト、写真を通じてわかりやすく発信することができる。
④グループワークやディスカッションの取り組み方、レポート課題の作成方法など、学び続ける保育者であるための技法を習得し、実践する。

授業概要(教育目的)

この授業では、保育者としてのライフコースやキャリアデザインを見据えながら、「学び続ける保育者」になるための知識と技法を学びます。時事的なトピックやデータも扱いながら、保育者という職業に課せられている社会的な役割を、多角的な角度から検討していきます。保育者として就職・勤務をするうえで知識や技能を身につけるだけでなく、子どもや子育てにやさしい社会づくりに寄与するような、現代における新しい保育者像を模索しましょう。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

・授業内のコメントペーパーやディスカッション、アサインメント(主にレポート課題)の取り組みから、総合的に評価します。
・昨年度の保育者論のレポート課題は、「短大生としての学びや成長」をテーマとしたドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)の作成でした。授業の最終回に、各学生による1分間で発表を行い、提出物と合わせて評価をしました。今年度も、同様の課題を、レポート課題として実施したいと考えています。
【授業課題について】授業コメントやアンケート、クイズの結果を共有したり、授業課題として写真や動画の提出をしてもらうために、Google Formsを活用したいと考えています。

課題に対するフィードバック

授業終盤で記入してもらう授業コメントは、次回の授業冒頭でいくつか取り上げ、リプライを共有する予定です。

講義時使用テキスト

厚生労働省編『保育所保育指針解説(平成30年3月)』(フレーベル館、2018年)
文部科学省編『幼稚園教育要領解説(平成30年3月)』(フレーベル館、2018年)
内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月)』(フレーベル館、2018年)

参考文献

参考資料やブックガイド等は、授業中に配布します。

資格との関連

保育士資格必須科目

学生へのメッセージ

【授業課題について】授業コメントやアンケート、クイズの結果を共有したり、授業課題として写真や動画の提出をしてもらうために、Google Formsを活用したいと考えています。
【遅刻について】授業開始後20分以内に入室した学生は、【遅刻】とし、それ以降の入室は、【欠席】とします。また、事前に連絡がない提出物の遅れは、大幅な減点をします。
【グループワークの取り組みについて】保育現場から離職する人の理由として挙げられるものに、人間関係があります。さまざまな考えを持つ人と一緒に保育を作り上げていくためには、授業のグループワーク・ディスカッションを通して、意見の主張、気持ちの共感・協同の技法を身につけていってほしいと考えています。
【目指す保育者像について】保育者になるというプロセスは、養成校の卒業や資格の取得、園への就職をもって完結するわけではありません。この授業を通して、学び合う保育者、そして学び続ける保育者になってほしいと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育者の「いま」:「#保育園落ちた日本死ね」・「無償化」・「保育士確保プラン」	シラバスで授業内容を確認されたうえで、出席してください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	保育者の仕事と資格・ジェンダー・ライフコース	子どもの頃、好きだった／楽しみにしていた園の行事があれば、それに関するメモをまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
3	保育者の専門性と倫理:「反省的実践家」としての保育者	実習の経験を踏まえて、保育スタイルや価値観が変わったこと、考え続けたことなどがあれば、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
4	保育者の同僚性・チーム保育・感情労働	実習の経験から感じた／見えてきた保育者同士が信頼を築くためのコツやエピソードを、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
5	園の環境構成における保育者の役割	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
6	領域「環境」・「健康」からみた子どもの育ち	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
7	領域「言葉」・「人間関係」からみた子どもの育ち	インターネットでおもしろい形の園舎や園庭環境のある園を検索し、Webサイトの写真や文章をもとに、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
8	領域「表現」からみた子どもの育ち	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
9	保幼小連携とカリキュラム・マネジメント	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
10	子ども理解と「気になる子」への配慮と支援	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
11	多様化する家庭と保育者による子育て支援	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
12	子どもの姿が見える保育記録(ドキュメンテーション)の役割	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
13	児童虐待・事故を防ぐ制度と専門家のネットワーク	児童虐待や事故に関する新聞記事を見つけ出し、コメントを添えて提出する。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
14	働きやすい園づくりとリーダーシップ:主任保育士と園長の役割 ゲストティーチャー:横田貞延園長(城下保育園)(予定)	あなたが園長となり、園を新しく立ち上げるなら、どのような園の理念や教育方針を掲げようと考えるか、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
15	保育者の「これから」	指定されたテーマに関するレポート課題を提出する。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。

講義名	9013004501 保育者論　Bクラス 【ナンバリング：202007】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	鈴木　康弘		

学習目標(到達目標)

①保育士・保育教諭等の専門的な職務内容や資格形態を、正しく説明することができる。
②保育者としてのライフコースやキャリアデザインを見通しながら、それぞれの段階における役割や課題を理解することができる。
③他の授業や実習を通じて学んだことと関連させながら、子どもの育ちや発達課題を、文章やイラスト、写真を通じてわかりやすく発信することができる。
④グループワークやディスカッションの取り組み方、レポート課題の作成方法など、学び続ける保育者であるための技法を習得し、実践する。

授業概要(教育目的)

この授業では、保育者としてのライフコースやキャリアデザインを見据えながら、「学び続ける保育者」になるための知識と技法を学びます。時事的なトピックやデータも扱いながら、保育者という職業に課せられている社会的な役割を、多角的な角度から検討していきます。保育者として就職・勤務をするうえで知識や技能を身につけるだけでなく、子どもや子育てにやさしい社会づくりに寄与するような、現代における新しい保育者像を模索しましょう。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

・授業内のコメントペーパーやディスカッション、アサインメント(主にレポート課題)の取り組みから、総合的に評価します。
・昨年度の保育者論のレポート課題は、「短大生としての学びや成長」をテーマとしたドキュメンテーション(写真を用いた保育記録)の作成でした。授業の最終回に、各学生による1分間で発表を行い、提出物と合わせて評価をしました。今年度も、同様の課題を、レポート課題として実施したいと考えています。

課題に対するフィードバック

授業終盤で記入してもらう授業コメントは、次回の授業冒頭でいくつか取り上げ、リプライを共有する予定です。

講義時使用テキスト

厚生労働省編『保育所保育指針解説(平成30年3月)』(フレーベル館、2018年)
文部科学省編『幼稚園教育要領解説(平成30年3月)』(フレーベル館、2018年)
内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月)』(フレーベル館、2018年)

参考文献

参考資料やブックガイド等は、授業中に配布します。

資格との関連

保育士資格必須科目

学生へのメッセージ

【授業課題について】授業コメントやアンケート、クイズの結果を共有したり、授業課題として写真や動画の提出をしてもらうために、Google Formsを活用したいと考えています。
【遅刻について】授業開始後20分以内に入室した学生は、【遅刻】とし、それ以降の入室は、【欠席】とします。また、事前に連絡がない提出物の遅れは、大幅な減点をします。
【グループワークの取り組みについて】保育現場から離職する人の理由として挙げられるものに、人間関係があります。さまざまな考えを持つ人と一緒に保育を作り上げていくためには、授業のグループワーク・ディスカッションを通して、意見の主張、気持ちの共感、協同の技法を身につけていってください。
【目指す保育者像について】保育者になるというプロセスは、養成校の卒業や資格の取得、園への就職をもって完結するわけではありません。この授業を通して、学び合う保育者、そして学び続ける保育者になってほしいと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育者の「いま」:「#保育園落ちた日本死ね」・「無償化」・「保育士確保プラン」	シラバスで授業内容を確認されたうえで、出席してください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	保育者の仕事と資格・ジェンダー・ライフコース	子どもの頃、好きだった／楽しみにしていた園の行事があれば、それに関するメモをまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
3	保育者の専門性と倫理:「反省的実践家」としての保育者	実習の経験を踏まえて、保育スタイルや価値観が変わったこと、考え続けたことなどがあれば、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
4	保育者の同僚性・チーム保育・感情労働	実習の経験から感じた／見えてきた保育者同士が信頼を築くためのコツやエピソードを、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
5	園の環境構成における保育者の役割	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
6	領域「環境」・「健康」からみた子どもの育ち	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
7	領域「言葉」・「人間関係」からみた子どもの育ち	インターネットでおもしろい形の園舎や園庭環境のある園を検索し、Webサイトの写真や文章をもとに、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
8	領域「表現」からみた子どもの育ち	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
9	保幼小連携とカリキュラム・マネジメント	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
10	子ども理解と「気になる子」への配慮と支援	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
11	多様化する家庭と保育者による子育て支援	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
12	子どもの姿が見える保育記録(ドキュメンテーション)の役割	配布資料に目を通した上で、疑問点やコメントをメモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
13	児童虐待・事故を防ぐ制度と専門家のネットワーク	児童虐待や事故に関する新聞記事を見つけ出し、コメントを添えて提出する。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
14	働きやすい園づくりとリーダーシップ:主任保育士と園長の役割 ゲストティーチャー:横田貞延園長(城下保育園)(予定)	あなたが園長となり、園を新しく立ち上げるなら、どのような園の理念や教育方針を掲げようと考えるか、メモにまとめる。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
15	保育者の「これから」	指定されたテーマに関するレポート課題を提出する。	授業内容を整理しながら、テキストの該当箇所を読み進める。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。

講義名	9013004600 教職概論 【ナンバリング：201008】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	根城　隆幸			

学習目標(到達目標)

以下の4点を到達目標とする。
1. 我が国における今日の保育・教育や教職の社会的意義を説明できる。
2. 保育・教育の動向を踏まえ、今日の教員に求められる役割を説明できる。
3. 教員の職務内容の全体像や教員に課せられた服務上・身分上の義務を説明できる。
4. 保育所・幼稚園・こども園が内外の専門家等と連携・分担して対応する必要性を説明できる。

授業概要(教育目的)

乳幼児を育てることにおける教職の意義及び役割について理解し、自分なりの教職の理想像を理解する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成する。

評価方法

授業態度、課題提出、課題発表、定期試験等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

保育を取り巻く社会状況や課題等について、毎回、講評する。

参考文献

必要に応じて、講義時に紹介する

講義時使用テキスト

「乳幼児の保育・教育」 岡崎友典・梅澤実　 放送大学教育振興会

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

乳幼児にかかわることに興味関心を持ち、教職についての責任を自覚する。

実務との関連

高等学校教諭として青森県内の高等学校や県教育委員会に勤務。実務経験をもとに教職について指導する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 教職の意義及び役割、乳幼児を育てる	シラバスを読む	授業内容を振り返る
2	2. 乳幼児の発達課題(特別の支援を必要とする幼児)	乳幼児の発達を調べる	授業内容を振り返る
3	3. 家庭での生活と育ち	家庭での好ましい環境を調べる	授業内容を振り返る
4	4. 保育所・幼稚園の生活	保育所・幼稚園での生活を創造する	授業内容を振り返る
5	5. 地域社会での生活と育ち	地域社会での育ちを調べる	授業内容を振り返る
6	6. 遊びと環境を通しての保育・教育	遊びでの留意点を調べる	授業内容を振り返る
7	7. 表現活動と心の育ち (ICTの活用)	子どもの表現活動を調べる	授業内容を振り返る
8	8. 言葉の発達と教育 (ICTの活用)	語彙爆発について調べる	授業内容を振り返る
9	9. 児童文学を通しての保育・教育 (ICTの活用)	大きな声で絵本を読む	授業内容を振り返る
10	10. 国際化社会における保育・教育(ICTの活用)	諸外国の保育・教育について調べる	授業内容を振り返る
11	11. 子育て支援とファミリーサポート	子育て支援について調べる	授業内容を振り返る
12	12. 保幼小の接続	保幼小の連携について調べる	授業内容を振り返る
13	13. 保育・教育専門者の育ち(チーム学校への対応を含む)	研修の必要性について調べる	授業内容を振り返る
14	14. 特別な支援を必要とする子ども(ICTの活用)	特別な支援について調べる	授業内容を振り返る
15	15. 乳幼児の保育・教育の現状と課題(情報モラル)	これまでの学びを振り返る	【教職概論】を振り返る

講義名	9013009400 発達心理学 【ナンバリング：203009】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		杉山　幸子		

学習目標(到達目標)

以下の3点を到達目標とする。
1. 学習の基盤となる乳幼児期の認知的発達、言葉の発達、情緒の発達、社会性の発達について説明することができる。
2. 愛着と基本的信頼感の形成過程について述べることができる。
3. 保護者や保育者が子どもの学習・発達に及ぼす影響について述べることができる。

授業概要(教育目的)

発達には成熟と学習の面がある。この講義では発達と学習の基本的な原理を踏まえて、学習を支える成熟の過程および学習による発達の過程について、特に乳幼児期を中心に学ぶ。
乳幼児期は人間の基礎が形成される時期であり、心身の発達が著しい。子どもは周囲の人々との関わりを通して学習し発達するので、保護者との関わりとともに、保育者との関わりも子どもに大きな影響を与える。本講義では乳幼児期の心理特性および発達の過程について学ぶとともに、そこに見られる他者との関わりの重要性についても理解を深めたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験で評価する。授業中に行う小テストや提出物を参考にする。

課題に対するフィードバック

小テストについては授業中に解説し、返却する。
定期試験の結果は個別に開示する。不合格になった学生は必ず答案を確認に来てください。

参考文献

1. 保育の心理学[第2版]子どもたちの輝く未来のために(相良順子・村田カズ・大熊光穂・小泉左江子、ナカニシヤ出版)
2. 子どもへのまなざし(佐々木正美、福音館書店)

講義時使用テキスト

テキストは使用しない。

資格との関連

保育士資格および幼稚園教諭二種免許状必修科目

学生へのメッセージ

授業中に使用したパワーポイントのデータは、授業終了後にWebClassに資料としてアップします。復習や試験勉強に活用して下さい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション、ビデオ視聴と記録	シラバスに目を通し、その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
2	発達と学習の原理	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
3	乳児の認知的発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
4	情緒の発達と愛着の形成	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
5	乳児期のことばの発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
6	幼児期のことばの発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
7	幼児の認知的発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
8	基本的信頼感の形成	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
9	自己の形成	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
10	心の理論	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
11	対人関係・社会性の発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
12	記憶・カテゴリー化の発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
13	文字・数との出会いー就学に向けてー	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
14	保育者による発達援助	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
15	学習の総合：学習内容に基づいたビデオ視聴と記録	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと

講義名	9013009401 発達心理学（再履修） 【ナンバリング：203009】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	杉山　幸子			

学習目標(到達目標)

以下の3点を到達目標とする。
1. 学習の基盤となる乳幼児期の認知的発達、言葉の発達、情緒の発達、社会性の発達について説明することができる。
2. 愛着と基本的信頼感の形成過程について述べることができる。
3. 保護者や保育者が子どもの学習・発達に及ぼす影響について述べることができる。

授業概要(教育目的)

発達には成熟と学習の面がある。この講義では発達と学習の基本的な原理を踏まえて、学習を支える成熟の過程および学習による発達の過程について、特に乳幼児期を中心に学ぶ。
乳幼児期は人間の基礎が形成される時期であり、心身の発達が著しい。子どもは周囲の人々との関わりを通して学習し発達するので、保護者との関わりとともに、保育者との関わりも子どもに大きな影響を与える。本講義では乳幼児期の心理特性および発達の過程について学ぶとともに、そこに見られる他者との関わりの重要性についても理解を深めたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験で評価する。授業中に行う小テストや提出物を参考にする。

課題に対するフィードバック

小テストについては授業中に解説し、返却する。
定期試験の結果は個別に開示する。不合格になった学生は必ず答案を確認に来てください。

参考文献

1. 保育の心理学[第2版]子どもたちの輝く未来のために(相良順子・村田カズ・大熊光穂・小泉左江子、ナカニシヤ出版)
2. 子どもへのまなざし(佐々木正美、福音館書店)

講義時使用テキスト

テキストは使用しない。

資格との関連

保育士資格および幼稚園教諭二種免許状必修科目

学生へのメッセージ

授業中に使用したパワーポイントのデータは、授業終了後にWebClassに資料としてアップします。復習や試験勉強に活用して下さい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション、ビデオ視聴と記録	シラバスに目を通し、その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
2	発達と学習の原理	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
3	乳児の認知的発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
4	情緒の発達と愛着の形成	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
5	乳児期のことばの発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
6	幼児期のことばの発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
7	幼児の認知的発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
8	基本的信頼感の形成	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
9	自己の形成	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
10	心の理論	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
11	対人関係・社会性の発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
12	記憶・カテゴリー化の発達	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
13	文字・数との出会いー就学に向けてー	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
14	保育者による発達援助	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと
15	学習の総合：学習内容に基づいたビデオ視聴と記録	その回の授業内容について、事前に参考文献やインターネットで調べておくこと	ノートを読み返しておくこと

講義名	9013009500 子ども家庭支援の心理学 【ナンバリング：202062】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	野口　和也			

学習目標(到達目標)

1.生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解することができる。
2.家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達的な観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得することができる。
3.子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について説明することができる。
4.子どもの精神保健とその課題について理解し説明することができる。

授業概要(教育目的)

子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について考え、環境の中に生きる私たちの生涯発達の心理学的プロセスについて理解しながら、家族や家庭の意義や機能について学びを深めていく。そして、子どもの精神保健とその課題について基本的な知識を学ぶとともに、その支援や援助について考えを巡らせながら、保育実践に結びつけられるよう学びを深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

授業への意欲・関心、態度(10%)、定期試験(60%)、授業内のグループワークへの取り組み、リアクションペーパー(30%)からにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

皆さんに取り組んでもらうリアクションペーパーは、授業の冒頭でいくつか取り上げ、フィードバックします。 定期試験の結果の開示を希望する学生は、研究室に来てください。

参考文献

授業時に適宜紹介する。
・幼稚園教諭教育要領解説平成30年3月(文部科学省)
・保育所保育指針解説平成30年3月(厚生労働省編)
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(内閣府・文部科学省・厚生労働省)

講義時使用テキスト

『事例で楽しく学ぶ　子ども家庭支援の心理学』(2023)中央法規及びプリント配付

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	乳児期の発達の特徴と課題	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
2	幼児期前期の発達の特徴と課題	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
3	幼児期後期の発達の特徴と課題	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
4	児童期の発達の特徴と課題	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
5	青年期の発達の特徴と課題	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
6	成人期・老年期の発達の特徴と課題	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
7	子どもの生活・生育環境とその影響	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
8	子どもの心の健康に関わる問題	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
9	子育てを取り囲む社会的状況	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
10	ライフコースと仕事・子育て	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
11	多様な家庭とその理解	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
12	特別な配慮を要する家庭	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
13	家族・家庭の意義と機能	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
14	親子関係・家族関係の理解	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
15	子育て経験と親としての育ち	教科書の指定された章を熟読し、事前知識を得て論点を理解しておく。	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく

講義名	9013009600 幼児理解の理論と方法　Aクラス 【ナンバリング：203010】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	杉山　幸子			

学習目標(到達目標)

以下の3点を到達目標とする。
1. 学習の仕組みについて説明できる。
2. 子どもの学びのための環境を構成できる。
3. 発達の個人差を考慮した支援ができる。

授業概要(教育目的)

子どもは生活や遊びを通してさまざまなことを学んでいく。保育・幼児教育においては、保育者が環境となって子どもの学びを支えなくてはならない。この授業では、そうした子どもの学び(学習)の過程を理解し、それを支援する保育・教育実践についての理解を深めることを目標とする。また、学びを支援するためには、教育に関する理論・技能とともに、発達に関する知識が欠かせない。したがって、保育の実践へとつなげることを意識して、発達や個人差に応じた援助の仕方についても理解を深めていきたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、子どもの心情に寄り添う専門的態度を有する。保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

学期末試験によって評価する。また、提出物の内容を平常点として参考にする。

課題に対するフィードバック

レスポンスカードへの回答を取りまとめ、次回の授業でフィードバックする。また、定期試験の結果は個別に開示するので、希望する学生は研究室に来ること。特に、定期試験で不合格だった学生は、再試験の前に必ず答案を確認してほしい。

参考文献

保育士・教師のためのティーチャーズ・トレーニング(中央法規)

講義時使用テキスト

テキストは指定しない。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

「覚える」よりも、「理解する」「考える」ことに力点があるので、主体的に学ぶ姿勢をもってほしい。また、グループワークを通して、自分の意見を述べ、他者の意見に耳を傾ける態度を養うことを期待する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション、乳児の発達に関するビデオ視聴とレポート	シラバスを読んでおくこと	「発達心理学」のノートの関連箇所を読み返し、不明な点は質問できるようにしておくこと
2	0,1,2歳児の発達を振り返る(グループ課題)	対象年齢の実習日誌を読み返しておくこと	返却された提出物を読み返しておくこと
3	4歳児の発達に関するビデオ視聴とレポート	「発達心理学」のノートの関連箇所を読み返しておくこと	返却された提出物を読み返しておくこと
4	3,4,5歳児の発達を振り返る(グループ課題)	対象年齢の実習日誌を読み返しておくこと	返却された提出物を読み返しておくこと
5	学習の仕組み(講義)	「心理学」および「発達心理学」のノートの関連箇所を読み返しておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
6	日常における行動の分析(1)強化	提出した事例について、分析してみること	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
7	日常における行動の分析(2)消去と弱化	提出した事例について、分析してみること	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
8	「行動を変える」支援について(1)観察と立案(講義)	事前に配布した資料を読んでおくこと	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
9	「行動を変える」支援について(2)好子タイプ①②の事例検討	課題について自分の考えをまとめておくこと	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
10	「行動を変える」支援について(2)好子タイプ③④の事例検討	課題について自分の考えをまとめておくこと	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
11	「行動が変わった」事例の検討(1)資料の作成	実習日誌を読み返しておくこと	講義時間に作成した資料を見直しておくこと
12	「行動が変わった」事例の検討(2)グループ発表	グループごとに発表の練習をしておくこと	発表の振り返りをしておくこと
13	効果的な指示の仕方について(講義)	事前に配布した資料を読んでおくこと	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
14	シェイピングについて(1)講義と課題	事前に配布した資料を読んでおくこと	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
15	シェイピングについて(2)課題の検討	前回の資料を読み返しておくこと	ノートや資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと

講義名	9013009601 幼児理解の理論と方法　Bクラス 【ナンバリング：203010】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	杉山　幸子			

学習目標(到達目標)

以下の3点を到達目標とする。
1. 学習の仕組みについて説明できる。
2. 子どもの学びのための環境を構成できる。
3. 発達の個人差を考慮した支援ができる。

授業概要(教育目的)

子どもは生活や遊びを通してさまざまなことを学んでいく。保育・幼児教育においては、保育者が環境となって子どもの学びを支えなくてはならない。この授業では、そうした子どもの学び(学習)の過程を理解し、それを支援する保育・教育実践についての理解を深めることを目標とする。また、学びを支援するためには、教育に関する理論・技能とともに、発達に関する知識が欠かせない。したがって、保育の実践へとつなげることを意識して、発達や個人差に応じた援助の仕方についても理解を深めていきたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

健全で豊かな情操と、子どもの心情に寄り添う専門的態度を有する。保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

学期末試験によって評価する。また、提出物の内容を平常点として参考にする。

課題に対するフィードバック

レスポンスカードへの回答を取りまとめ、次回の授業でフィードバックする。また、定期試験の結果は個別に開示するので、希望する学生は研究室に来ること。特に、定期試験で不合格だった学生は、再試験の前に必ず答案を確認してほしい。

参考文献

講義時使用テキスト

テキストは指定しない。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

「覚える」よりも、「理解する」「考える」ことに力点があるので、主体的に学ぶ姿勢をもってほしい。また、グループワークを通して、自分の意見を述べ、他者の意見に耳を傾ける態度を養うことを期待する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション、乳児の発達に関するビデオ視聴とレポート	シラバスを読んでおくこと	「発達心理学」のノートの関連箇所を読み返し、不明な点は質問できるようにしておくこと
2	0,1,2歳児の発達を振り返る(グループ課題)	対象年齢の実習日誌を読み返しておくこと	返却された提出物を読み返しておくこと
3	4歳児の発達に関するビデオ視聴とレポート	「保育の心理学Ⅰ」のノートの関連箇所を読み返しておくこと	返却された提出物を読み返しておくこと
4	3,4,5歳児の発達を振り返る(グループ課題)	対象年齢の実習日誌を読み返しておくこと	返却された提出物を読み返しておくこと
5	学習の仕組み(講義)	「心理学」および「保育の心理学Ⅰ」のノートの関連箇所を読み返しておくこと	ノートを読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
6	日常における行動の分析(グループ課題)	自分で考えた事例について、分析してみること	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
7	「行動を変える」支援について(1)好子タイプ①②	自分が提出した事例について、分析してみること	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
8	「行動を変える」支援について(2)好子タイプ③④	前回の事例について、どのように関わったら良いか、自分なりに考えてみること	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
9	「強化」の実践(シェイピングゲーム)	シェイピングについて、インターネット等で調べておくこと	実践した活動について、振り返りをすること
10	「行動を変える」ための声かけ(講義)	課題について自分の考えをまとめておくこと	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
11	「行動を変える」ための声かけ(演習)	自分が提出した事例について考えておくこと	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
12	「行動を変える」ための支援の立案	課題について事前に考えておくこと	自分たちが考えたストーリーを再検討すること(レポート提出)
13	褒めることについて	事前に配布した課題を提出すること	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
14	傾聴と応答について	事前に配布した課題を提出すること	資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと
15	モチベーションについて	「心理学」の動機づけに関するノートを読み返しておくこと	ノートや資料を読み返し、分からない点は質問できるようにしておくこと

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013009700	子どもの保健 【ナンバリング：202011】					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	佐々木　真湖			

学習目標(到達目標)

1.子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義について説明できる。
2.子どもの身体的な発育・発達と保健について説明できる。
3.保育における環境及び安全管理について説明できる。
4.子どもの疾病とその予防法及び子どもの心身の健康状態に対する適切な対応について説明できる。

授業概要(教育目的)

子どもの保健は、子どもの健康を守るだけではなく増進していくための活動が必要である。それは、正常な日常生活の中から生まれ、実践されていくものである。まずは、子どもの正常な心身の発育・発達を学び、影響する栄養・生活・母子関係・環境・社会制度や施策などを学ぶ。そして、健康を逸脱した状態について学び、予防や早期発見に役立てる能力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

小テスト、課題レポート、定期試験で総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題については次回の講義時に講評を伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

佐藤益子／中根淳子編著「新版　子どもの保健Ⅰ」ななみ書房

資格との関連

学生へのメッセージ

子どもは常に成長発達していくことため、子どもの出生や発育・発達を十分に理解し、保育者として子どもの病気や健康管理、安全管理についての基礎的知識を身につけて欲しい。そのため欠席することなく講義に集中して参加して欲しい。

実務との関連

看護師として、病院での小児病棟の実務経験があり、小児看護学を専門とし、病気や障がいを持つ子どもとその家族の健康増進に携わってきた経験をもとに講義を進める。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 子どもの保健とは、その意義	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
2	子どもの発育・発達 ヒトの成り立ち	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
3	子どもの発育・発達 新生児・乳児期	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
4	子どもの発育・発達 幼児期・学童期	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
5	子どもの発育・発達 青年期・思春期	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
6	生理機能の発達 呼吸機能～水分代謝	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
7	生理機能の発達 体温調節～情緒・行動発達	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
8	小児の主な病気 小児の病気の特徴 保健現場でよくある疾患①	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
9	小児の主な病気 保健現場でよくある疾患②	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
10	子どもの精神保健	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
11	環境と衛生管理・安全管理①	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
12	環境と衛生管理・安全管理②	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
13	健康及び安全の実施体制①	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
14	健康及び安全の実施体制②	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと
15	子どもの保健の今後の課題	テキストの該当部分を通読し要点を整理しておく	テキストの該当部分、配布資料を読み直し、不明な点は調べておくこと

講義名	9013009800	子どもの健康と安全　Aクラス 【ナンバリング：202013】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	柏葉　英美			

学習目標(到達目標)

1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境と援助について理解し実践できる。
2. 子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境について説明し実践できる。
3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応について説明できる。
4. 子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全管理について説明できる。

授業概要(教育目的)

本講義では子どもの特性及び発育・発達を助ける養護技術を学ぶとともに、子どもの健やかな発育・発達のための教育的関わり、子どもの安全を守るための物理的・人的環境への配慮、健康上の問題に適切に対応できる知識と技術、社会環境が子どもに及ぼす影響や健康被害などについて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループワーク、定期試験や課題等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。
課題(レポート、小テスト)は模範解答を示す。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

鈴木美枝子(編著)　これだけはおさえておきたい！　保育者のための子どもの保健と安全　　創成社

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保健的観点を踏まえた保育環境と援助	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
2	保育における健康と安全(衛生管理)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
3	保育における健康と安全(安全管理①)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
4	保育における健康と安全(安全管理②)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
5	保育における健康と安全(危機管理)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
6	子どもの体調不良への対応(①(体調不良・障害)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
7	子どもの体調不良への対応②(応急処置・骨折・捻挫・創傷・出血)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	子どもの体調不良への対応③(応急処置・骨折・捻挫・創傷・出血)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
9	子どもの体調不良への対応④(一次救命処置)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
10	子どものかかりやすい感染症対策(PPT含む))	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
11	保育における保健的対応①(子どもの健康観察)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
12	保育における保健的対応②(身体計測の方法と評価)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
13	保育における保健的対応③(3歳児未満児への対応)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
14	保育における保健的対応④(アレルギー疾患((エピペン演習含む))	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	健康及び安全への管理の実施体制	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013009801	子どもの健康と安全　Bクラス 【ナンバリング：202013】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	柏葉　英美			

学習目標(到達目標)

1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境と援助について理解し実践できる。
2. 子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境について説明し実践できる。
3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応について説明できる。
4. 子どもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び管理について説明できる。

授業概要(教育目的)

本講義では子どもの特性及び発育・発達を助ける養護技術を学ぶとともに、子どもの健やかな発育・発達のための教育的関わり、子どもの安全を守るための物理的・人的環境への配慮、健康上の問題に適切に対応できる知識と技術、社会環境が子どもに及ぼす影響や健康被害などについて学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループワーク、定期試験や課題等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。
試験(レポート、小テスト)は模範解答を示す。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

鈴木美枝子(編著)　これだけはおさえておきたい！　保育者のための子どもの保健と安全　　創成社

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保健的観点を踏まえた保育環境と援助	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
2	保育における健康と安全(衛生管理)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
3	保育における健康と安全(安全管理①)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
4	保育における健康と安全(安全管理②)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
5	保育における健康と安全(危機管理)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
6	子どもの体調不良への対応①(体調不良・障害)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
7	子どもの体調不良への対応②(応急処置・骨折・捻挫・創傷・出血)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
8	子どもの体調不良への対応③(応急処置・骨折・捻挫・創傷・出血)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
9	子どもの体調不良への対応④(一次救命処置)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
10	子どものかかりやすい感染症対策(PPT含む)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
11	保育における保健的対応①(子どもの健康観察)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
12	保育における保健的対応②(身体計測の方法と評価)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
13	保育における保健的対応③(3歳児未満児への対応)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 振り返りテストの実施、配布資料とノートを読み直す
14	保育における保健的対応④(アレルギー疾患(エピペン演習含む))	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	健康及び安全への管理の実施体制	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007000	子どもの食と栄養Ⅰ　Aクラス 【ナンバリング：202014】					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	加藤　康子			

学習目標(到達目標)

1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得する。
2. 栄養の基礎知識を習得し、生活者として望ましい食生活が実践できる。
3. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。

授業概要(教育目的)

健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解し、子どもの年齢や発育・発達過程における食生活や食生活に特別な配慮を要する子どもへの対応を学ぶ。また、食を通した保護者への支援や保育実践に係る食育の基本と内容について学ぶことを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポート・感想は、次の授業で代表的なものを紹介するとともに、個別に評価し、コメントを付けて返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

堤ちはる・土井正子編著／子育て・子育ちを支援する　子どもの食と栄養／萌文書林
食品解説つき　新ビジュアル食品成分表　新訂第二版／大修館書店

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

食と栄養に関することは、生涯を通じた健康を考えるうえでとても重要です。食や栄養に興味を持ち、積極的に情報を取り入れて学んでいきましょう。あらかじめテキストを読んで講義に臨むとともに、講義の復習を行なうことを望みます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	子どもの健康と食生活の意義	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、不明な点があれば調べておく。
2	子どもの発育・発達と食生活(身体発達、精神・運動機能発達と栄養・食生活、食べる機能・消化吸収機能の発達と栄養・食生活)	テキストの該当箇所を読み、前回の資料とともに確認をしておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておく。
3	栄養に関する基礎的知識1(糖質)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、要点を理解しておく。
4	栄養に関する基礎的知識2(脂質・たんぱく質)	テキストの該当箇所を読み、栄養素について確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
5	栄養に関する基礎的知識3(ビタミン・ミネラル)	テキストの該当箇所を読み、栄養素について確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
6	栄養に関する基礎的知識4(ファイトケミカル・水分)	テキストの該当箇所を読み、栄養素について確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
7	栄養に関する基礎的知識5(エネルギー・食事摂取基準)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
8	栄養に関する基礎的知識6(献立作成・調理の基本1)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
9	栄養に関する基礎的知識7(献立作成・調理の基本2)	テキスト(教科書・食品成分表)の該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習しておく。
10	妊娠期(胎児期)の食生活1 (妊娠のメカニズムと正常な妊婦の食生活、妊娠期・授乳期の栄養・食生活)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、課題レポートを提出すること。
11	妊娠期(胎児期)の食生活2 (妊娠期にみられる主なトラブルと栄養・食生活)	テキストの該当箇所を読み、前回の資料とともに確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習しておく。
12	妊娠期(胎児期)の食生活3 (母乳分泌と食生活、妊娠期・授乳期の嗜好品)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習しておく。
13	乳児期の授乳・離乳の意義と食生活1 (乳児期の心身の特徴と食生活の関係、乳汁栄養)	テキストの該当箇所を読み、前回の資料とともに確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習しておく。
14	乳児期の授乳・離乳の意義と食生活2 (離乳の意義とその実践)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習しておく。
15	乳児期の授乳・離乳の意義と食生活3 (乳児期の栄養上の問題と健康への対応)	テキストの該当箇所を読み、前回の資料とともに確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておくこと。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007001	子どもの食と栄養Ⅰ　Bクラス 【ナンバリング：202014】					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	加藤　康子			

学習目標(到達目標)

1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を習得する。
2. 栄養の基礎知識を習得し、生活者として望ましい食生活が実践できる。
3. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。

授業概要(教育目的)

健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解し、子どもの年齢や発育・発達過程における食生活や食生活に特別な配慮を要する子どもへの対応を学ぶ。また、食を通した保護者への支援や保育実践に係る食育の基本と内容について学ぶことを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポート・感想は、次の授業で代表的なものを紹介するとともに、個別に評価し、コメントを付けて返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

堤ちはる・土井正子編著／子育て・子育ちを支援する　子どもの食と栄養／萌文書林
食品解説つき　新ビジュアル食品成分表　新訂第二版／大修館書店

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

食と栄養に関することは、生涯を通じた健康を考えるうえでとても重要です。食や栄養に興味を持ち、積極的に情報を取り入れて学んでいきましょう。あらかじめテキストを読んで講義に臨むとともに、講義の復習を行なうことを望みます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	子どもの健康と食生活の意義	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、不明な点があれば調べておく。
2	子どもの発育・発達と食生活(身体発達、精神・運動機能発達と栄養・食生活、食べる機能・消化吸収機能の発達と栄養・食生活)	テキストの該当箇所を読み、前回の資料とともに確認をしておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておく。
3	栄養に関する基礎的知識1(糖質)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、要点を理解しておく。
4	栄養に関する基礎的知識2(脂質・たんぱく質)	テキストの該当箇所を読み、栄養素について確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
5	栄養に関する基礎的知識3(ビタミン・ミネラル)	テキストの該当箇所を読み、栄養素について確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
6	栄養に関する基礎的知識4(ファイトケミカル・水分)	テキストの該当箇所を読み、栄養素について確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
7	栄養に関する基礎的知識5(エネルギー・食事摂取基準)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
8	栄養に関する基礎的知識6(献立作成・調理の基本1)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
9	栄養に関する基礎的知識7(献立作成・調理の基本2)	テキスト(教科書・食品成分表)の該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習しておく。
10	妊娠期(胎児期)の食生活1 (妊娠のメカニズムと正常な妊婦の食生活、妊娠期・授乳期の栄養・食生活)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、課題レポートを提出すること。
11	妊娠期(胎児期)の食生活2 (妊娠期にみられる主なトラブルと栄養・食生活)	テキストの該当箇所を読み、前回の資料とともに確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習しておく。
12	妊娠期(胎児期)の食生活3 (母乳分泌と食生活、妊娠期・授乳期の嗜好品)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習しておく。
13	乳児期の授乳・離乳の意義と食生活1 (乳児期の心身の特徴と食生活の関係、乳汁栄養)	テキストの該当箇所を読み、前回の資料とともに確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習しておく。
14	乳児期の授乳・離乳の意義と食生活2 (離乳の意義とその実践)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習しておく。
15	乳児期の授乳・離乳の意義と食生活3 (乳児期の栄養上の問題と健康への対応)	テキストの該当箇所を読み、前回の資料とともに確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておくこと。

講義名	9013007100	子どもの食と栄養Ⅱ　Aクラス 【ナンバリング：202015】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	加藤　康子			

学習目標(到達目標)

1. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。
2. 食育の基本とその内容および食育のための環境を地域社会の文化とのかかわりのなかで理解する。
3. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について理解する。
4. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。

授業概要(教育目的)

健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解し、子どもの年齢や発育・発達過程における食生活や食生活に特別な配慮を要する子どもへの対応を学ぶ。また、食を通した保護者への支援や保育実践に係る食育の基本と内容について学ぶことを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポート・感想は、次の授業で代表的なものを紹介するとともに、個別に評価し、コメントをつけて返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

堤ちはる・土井正子編著／子育て・子育ちを支援する　子どもの食と栄養／萌文書林
食品解説つき　新ビジュアル食品成分表　新訂第二版／大修館書店

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

食と栄養に関することは、生涯を通じた健康を考えるうえでとても重要です。食や栄養に興味を持ち、積極的に情報を取り入れて学んでいきましょう。あらかじめテキストを読んで講義に臨むとともに、講義の復習を行うことを望みます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	幼児期の心身の発達と食生活1(心身の特徴と食生活の関係)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておく。
2	幼児期の心身の発達と食生活2(食生活の特徴とその実践)	テキストの該当箇所を読み、前回の講義資料も合わせて確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
3	幼児期の心身の発達と食生活3(間食の意義とその実践)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、不明な点については調べておく。
4	幼児期の心身の発達と食生活4(食生活上の問題と健康への対応)	テキストの該当箇所を読んでおくことと、前期の講義で出てきた事柄について、該当する資料も読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておく。
5	学童期・思春期の心身の発達と食生活	テキストの該当箇所を読んでおくとともに、前期の講義で学んだ内容についても振り返る。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
6	生涯発達と食生活	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておく。
7	食育の基本と内容1 (保育における食育の意義・目的と基本的考え方)	テキストの該当箇所を読んでおく。食育について背景を確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認する。
8	食育の基本と内容2 (就学前の子どもに対する食育の推進)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておく。
9	食育の基本と内容3 (食育の内容と計画および評価)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
10	食育の基本と内容4 (食育のための環境づくり)	テキストの該当箇所を読むとともに食育について学習した内容を振り返り、これまでの配付資料を読み返しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直すとともに、食に関する子ども向きの図書を調べ、レポートを提出する。
11	家庭や児童福祉施設における食事と栄養1	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習する。
12	家庭や児童福祉施設における食事と栄養2	テキストの該当箇所を読んでおくとともに前回の資料も合わせて確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習する。
13	特別な配慮を要する子どもの食と栄養1 ～疾病および体調不良の子どもへの対応	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習する。
14	特別な配慮を要する子どもの食と栄養2 ～食物アレルギーのある子どもへの対応	テキストの該当箇所を読んでおく。特別な配慮を要する子どもの食と栄養について、前回の講義内容を振り返っておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習する。
15	特別な配慮を要する子どもの食と栄養3 ～障がいのある子どもへの対応	テキストの該当箇所を読み、特別な配慮を要する子どもの食と栄養について、前回、前々回の講義内容を振り返っておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておくこと。

講義名	9013007101	子どもの食と栄養Ⅱ　Bクラス 【ナンバリング：202015】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	加藤　康子			

学習目標(到達目標)

1. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。
2. 食育の基本とその内容および食育のための環境を地域社会の文化とのかかわりのなかで理解する。
3. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について理解する。
4. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解する。

授業概要(教育目的)

健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を理解し、子どもの年齢や発育・発達過程における食生活や食生活に特別な配慮を要する子どもへの対応を学ぶ。また、食を通した保護者への支援や保育実践に係る食育の基本と内容について学ぶことを目的としている。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出などにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

提出されたレポート・感想は、次の授業で代表的なものを紹介するとともに、個別に評価し、コメントをつけて返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

堤ちはる・土井正子編著／子育て・子育ちを支援する　子どもの食と栄養／萌文書林
食品解説つき　新ビジュアル食品成分表　新訂第二版／大修館書店

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

食と栄養に関することは、生涯を通じた健康を考えるうえでとても重要です。食や栄養に興味を持ち、積極的に情報を取り入れて学んでいきましょう。あらかじめテキストを読んで講義に臨むとともに、講義の復習を行うことを望みます。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	幼児期の心身の発達と食生活1(心身の特徴と食生活の関係)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておく。
2	幼児期の心身の発達と食生活2(食生活の特徴とその実践)	テキストの該当箇所を読み、前回の講義資料も合わせて確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
3	幼児期の心身の発達と食生活3(間食の意義とその実践)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、不明な点については調べておく。
4	幼児期の心身の発達と食生活4(食生活上の問題と健康への対応)	テキストの該当箇所を読んでおくことと、前期の講義で出てきた事柄について、該当する資料も読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておく。
5	学童期・思春期の心身の発達と食生活	テキストの該当箇所を読んでおくとともに、前期の講義で学んだ内容についても振り返る。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
6	生涯発達と食生活	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておく。
7	食育の基本と内容1 (保育における食育の意義・目的と基本的考え方)	テキストの該当箇所を読んでおく。食育について背景を確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認する。
8	食育の基本と内容2 (就学前の子どもに対する食育の推進)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておく。
9	食育の基本と内容3 (食育の内容と計画および評価)	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直す。
10	食育の基本と内容4 (食育のための環境づくり)	テキストの該当箇所を読むとともに食育について学習した内容を振り返り、これまでの配付資料を読み返しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直すとともに、食に関する子ども向きの図書を調べ、レポートを提出する。
11	家庭や児童福祉施設における食事と栄養1	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習する。
12	家庭や児童福祉施設における食事と栄養2	テキストの該当箇所を読んでおくとともに前回の資料も合わせて確認しておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習する。
13	特別な配慮を要する子どもの食と栄養1 ～疾病および体調不良の子どもへの対応	テキストの該当箇所を読んでおく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習する。
14	特別な配慮を要する子どもの食と栄養2 ～食物アレルギーのある子どもへの対応	テキストの該当箇所を読んでおく。特別な配慮を要する子どもの食と栄養について、前回の講義内容を振り返っておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直し、確認テストを復習する。
15	特別な配慮を要する子どもの食と栄養3 ～障がいのある子どもへの対応	テキストの該当箇所を読み、特別な配慮を要する子どもの食と栄養について、前回、前々回の講義内容を振り返っておく。	テキストの該当箇所を読み返し、配付資料とノートを見直しておくこと。

講義名	9013009900 教育相談 【ナンバリング：201018】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	野口　和也			

学習目標(到達目標)

①保育・教育場面における相談活動の基礎を学び、乳幼児の発達支援、家族への援助することができる。
②カウンセリングマインドによる基礎的な話の聴き方を学び、気持ちの汲み方を身につけることができる。
②子どもの心と体のつながりを理解し、説明することができる。
④子どもだけではなく保護者等との教育相談の必要性を理解し、その計画や進め方を説明することができる。
⑤医療、福祉、心理、その他の関係機関との連携することの重要性を理解することができる。

授業概要(教育目的)

保育・教育場面における教育相談の意義とその必要性を理解し、その相談を支える心理学の基礎知識及びカウンセリングの初歩的な技法を身につけ、具体的な目標の立て方や進め方について学びを深める。さらに、子ども理解をすすめるための発達及び学びの過程で生じるつまずき、その要因について触れながら、子ども自身の自己理解、好ましい人間関係を築き、集団への適応していく力を育む人的な環境としての支援を学ぶことを目的とする。日常的な保護者との教育相談のあり方や現場における行動問題等の現状と課題を意識して、子どもたちの心身の発達を支える確かな予防や未然の防止、適切な対応ができるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

授業への意欲・関心、態度(10%)、定期試験(60%)、授業内のグループワークへの取り組み、リアクションペーパー(30%)からにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

皆さんに取り組んでもらうリアクションペーパーは、授業の冒頭でいくつか取り上げ、フィードバックします。 定期試験の結果の開示を希望する学生は、研究室に来てください。

参考文献

・幼稚園教諭教育要領解説平成30年3月(文部科学省)
・保育所保育指針解説平成30年3月(厚生労働省編)
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(内閣府・文部科学省・厚生労働省)

講義時使用テキスト

特になし(プリントを配布します)

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	教育相談とは何か 幼稚園・保育所等における教育相談活動	シラバスに目を通して、科目全体の学びの内容のイメージを持つ	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
2	教育相談におけるカウンセリング・マインド	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
3	子どもを理解する視点①	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
4	子どもを理解する視点②	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
5	教育相談活動を展開する環境や態度	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
6	子どもの発達を理解するさまざまな方法①	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
7	子どもの発達を理解するさまざまな方法②	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
8	教育相談におけるカウンセリング技法	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
9	教育相談における行動論的アプローチ	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
10	保育・教育場面にかかわる諸問題の理解と対応①	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
11	保育・教育場面おける諸問題の理解とその対応②	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
12	幼稚園・保育所等における教育相談体制と外部機関との連携	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
13	子どもの成長を支える発達教育相談	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
14	保護者への理解と対応	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく
15	保育者のメンタルヘルスの現状と課題	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく

講義名	9013010000 保育の計画と評価　Aクラス 【ナンバリング：202019】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	油川　育子		

学習目標(到達目標)

1.全体的な計画に関して基本の姿勢を学び、乳幼児期特有のカリキュラムについて説明できる。
2.全体的な計画の事例から、子どもの遊びと生活を通して環境に働きかけていくことの重要性について説明できる。
3.保育の記録と保育実践の評価と省察ついて学びを深め「評価」が専門性の向上に繋がるという流れについて説明できる。

授業概要(教育目的)

本講義では、「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」また「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づいた基本的な考え方（特に保育所保育指針）や乳幼児の視点に立った指導計画の作成の要件について学ぶことで、自分の保育を構想し構成できるようになり、保育内容の充実と質の向上に資するための『保育計画』『実践』『省察』『評価』『改善』『改善した保育実践』の過程についての重要性を学ぶことを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

レポート課題、授業への取り組み方、定期試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「保育の計画と評価」宮川萬寿美氏編著　萌文書林

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

「計画」と「実践」と「評価」は、互に強く関連して成り立っている。包括的に取り組むことが保育の質を高める。「計画」「実践」「評価の仕方」について学んでまいりましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	教育・保育の計画と評価の基本 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
2	教育・保育の計画と評価の基本 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
3	幼稚園、保育所、認定こども園における教育・保育の計画 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
4	幼稚園、保育所、認定こども園における教育・保育の計画 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
5	教育課程および全体的な計画等の編成の実際 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
6	教育課程および全体的な計画等の編成の実際 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
7	教育・保育の指導計画の作成にあたって 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
8	教育・保育の指導計画の作成にあたって 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
9	指導計画(長期的・短期的)の作成 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
10	指導計画(長期的・短期的)の作成 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
11	指導計画の実際 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
12	指導計画の実際 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
13	教育・保育の記録と省察 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
14	教育・保育の記録と省察 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
15	教育・保育の評価と改善	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する

講義名	9013010001 保育の計画と評価　Bクラス 【ナンバリング：202019】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	油川　育子		

学習目標(到達目標)

1.全体的な計画に関して基本の姿勢を学び、乳幼児期特有のカリキュラムについて説明できる。
2.全体的な計画の事例から、子どもの遊びと生活を通して環境に働きかけていくことの重要性について説明できる。
3.保育の記録と保育実践の評価と省察ついて学びを深め「評価」が専門性の向上に繋がるという流れについて説明できる。

授業概要(教育目的)

本講義では、「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」また「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づいた基本的な考え方（特に保育所保育指針）や乳幼児の視点に立った指導計画の作成の要件について学ぶことで、自分の保育を構想し構成できるようになり、保育内容の充実と質の向上に資するための『保育計画』『実践』『省察』『評価』『改善』『改善した保育実践』の過程についての重要性を学ぶことを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

レポート課題、授業への取り組み方、定期試験により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

「保育の計画と評価」宮川萬寿美氏編著　萌文書林

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

「計画」と「実践」と「評価」は、互に強く関連して成り立っている。包括的に取り組むことが保育の質を高める。「計画」「実践」「評価の仕方」について学んでまいりましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	教育・保育の計画と評価の基本 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
2	教育・保育の計画と評価の基本 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
3	幼稚園、保育所、認定こども園における教育・保育の計画 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
4	幼稚園、保育所、認定こども園における教育・保育の計画 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
5	教育課程および全体的な計画等の編成の実際 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
6	教育課程および全体的な計画等の編成の実際 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
7	教育・保育の指導計画の作成にあたって 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
8	教育・保育の指導計画の作成にあたって 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
9	指導計画(長期的・短期的)の作成 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
10	指導計画(長期的・短期的)の作成 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
11	指導計画の実際 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
12	指導計画の実際 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
13	教育・保育の記録と省察 1	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
14	教育・保育の記録と省察 2	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する
15	教育・保育の評価と改善	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直し、内容を整理する

講義名	9013011600 幼児と健康　Aクラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	澤井　睦美			

学習目標(到達目標)

基本の運動をはじめとする多種多様な動きの実践を通して、子どもの発育発達に応じた運動遊びや身体表現活動を展開することができる知識と実践力を身につけることをめざし、下記を到達目標とする。
①それぞれの教材から引き出される運動特性とその援助の仕方を理解し、楽しく安全に子どもの運動あそびを展開することができる。
②自らの表現力や創造力を高めることで、子どもが主体的に遊びを豊かに展開するための言葉掛けや指導ができる。
③ひとりひとりの子どもの心身の特性や安全に配慮し、環境設定ができる。

授業概要(教育目的)

基本の運動の実践と展開、用具や遊具を使う運動あそび、身体表現活動等の実践と指導法を学ぶ。乳幼児期の感覚あそびや運動あそびの意義を理解し、保育者として必要なからだづくりや動きづくりを図るとともに、自由で豊かな表現力と創造力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

課題に取り組む姿勢や参加・貢献度、授業内テスト等から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・毎回授業終了時、学生にはシャトルカードに本時の考察および次時の課題への記載を求め、必要に応じて教員はコメントする。
・実技試験・発表等で受講者間で評価し合ったものについては集計し、後日授業内にて公表する。

参考文献

・幼児期運動指針ガイドブック(文部科学省)
・幼児期の運動に関する指導参考資料ガイドブック第一集(スポーツ庁)
・幼児期の運動に関する指導参考資料ガイドブック第二集(スポーツ庁)

講義時使用テキスト

【指定テキスト】
特に指定しない。必要に応じて、資料を配布する。
推薦テキストは授業内で紹介する。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

・「保育者としての視点」、「こどもの視点、こどもの遊び心」の両方を持ち、積極的に参加してください。
・受講の際の決まりごと
①実技ができる服装(上下ジャージ)で参加すること。
体育館用のシューズを着用のこと。
(※Gパン、スカート、シューズ無し等は安全・衛生面から問題があり、
実技参加不可＝欠席扱いとなる)。
②肩より長い髪は結ぶかまとまめること。
③使用した用具・器具等の片づけと整頓は各自で行うこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	自分のからだの動きの確認をしてみよう(保育者自身が視覚教材であること)	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
2	基本の運動とその展開(1)歩く・走る・跳ぶ等 緩急、強弱、高低、ひとり～2人～4人組などの変化を持たせ、様々な歩き方やステップを体得する。	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
3	基本の運動とその展開(2)仲間づくりのあそび からだの動きを通してコミュニケーションを図り、仲間づくりを楽しむ。後半は、テーマ(目的や条件等)に沿った動きのアレンジや創作をグループで行い発表する(AL)。	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
4	基本の運動とその展開(3)組み体操 子どもの身体構造を理解しつつ合理的な方法で、かつ自他の安全に配慮し、組体操ができる指導力を養う。	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
5	小型遊具を使った運動あそび(1)フープ・縄を使って	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
6	小型遊具を使った運動あそび(2)ボールを使って	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
7	小型遊具を使った運動あそび(3)身近にあるものを使って	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
8	小型遊具を使った遊びの創作と発表 小型遊具を使用し、対象年齢別グループで小型遊具の特徴を理解し、その特性を活かした運動遊び(オリジナル)を考え、実践する(AL)。また、他のグループの評価を行う。	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
9	パラバルーンを使った運動あそびと作品例	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
10	大型遊具を使った運動あそび(1)マットを使って	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
11	大型遊具を使った運動あそび(2)跳び箱を使って	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
12	身体表現活動(1)模倣運動・模倣ダンス	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
13	身体表現活動(2)ダンスの創作法	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
14	身体表現活動(3)ダンス作品の創作、振付け	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
15	身体表現活動(4)創作作品の発表と評価	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。

講義名	9013011601 幼児と健康　Bクラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	澤井　睦美			

学習目標(到達目標)

基本の運動をはじめとする多種多様な動きの実践を通して、子どもの発育発達に応じた運動遊びや身体表現活動を展開することができる知識と実践力を身につけることをめざし、下記を到達目標とする。
①それぞれの教材から引き出される運動特性とその援助の仕方を理解し、楽しく安全に子どもの運動あそびを展開することができる。
②自らの表現力や創造力を高めることで、子どもが主体的に遊びを豊かに展開するための言葉掛けや指導ができる。
③ひとりひとりの子どもの心身の特性や安全に配慮し、環境設定ができる。

授業概要(教育目的)

基本の運動の実践と展開、用具や遊具を使う運動あそび、身体表現活動等の実践と指導法を学ぶ。乳幼児期の感覚あそびや運動あそびの意義を理解し、保育者として必要なからだづくりや動きづくりを図るとともに、自由で豊かな表現力と創造力を身につけることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

課題に取り組む姿勢や参加・貢献度、授業内テスト等から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・毎回授業終了時、学生にはシャトルカードに本時の考察および次時の課題への記載を求め、必要に応じて教員はコメントする。
・実技試験・発表等で受講者間で評価し合ったものについては集計し、後日授業内にて公表する。

参考文献

・幼児期運動指針ガイドブック(文部科学省)
・幼児期の運動に関する指導参考資料ガイドブック第一集(スポーツ庁)
・幼児期の運動に関する指導参考資料ガイドブック第二集(スポーツ庁)

講義時使用テキスト

【指定テキスト】
特に指定しない。必要に応じて、資料を配布する。
推薦テキストは授業内で紹介する。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

・「保育者としての視点」、「こどもの視点、こどもの遊び心」の両方を持ち、積極的に参加してください。
・受講の際の決まりごと
①実技ができる服装(上下ジャージ)で参加すること。
体育館用のシューズを着用のこと。
(※Gパン、スカート、シューズ無し等は安全・衛生面から問題があり、
実技参加不可＝欠席扱いとなる)。
②肩より長い髪は結ぶかまとまめること。
③使用した用具・器具等の片づけと整頓は各自で行うこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	自分のからだの動きの確認をしてみよう(保育者自身が視覚教材であること)	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
2	基本の運動とその展開(1)歩く・走る・跳ぶ等 緩急、強弱、高低、ひとり～2人～4人組などの変化を持たせ、様々な歩き方やステップを体得する。	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
3	基本の運動とその展開(2)仲間づくりのあそび からだの動きを通してコミュニケーションを図り、仲間づくりを楽しむ。後半は、テーマ(目的や条件等)に沿った動きのアレンジや創作をグループで行い発表する(AL)。	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
4	基本の運動とその展開(3)組み体操 子どもの身体構造を理解しつつ合理的な方法で、かつ自他の安全に配慮し、組体操ができる指導力を養う。	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
5	小型遊具を使った運動あそび(1)フープ・縄を使って	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
6	小型遊具を使った運動あそび(2)ボールを使って	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
7	小型遊具を使った運動あそび(3)身近にあるものを使って	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
8	小型遊具を使った遊びの創作と発表 小型遊具を使用し、対象年齢別グループで小型遊具の特徴を理解し、その特性を活かした運動遊び(オリジナル)を考え、実践する(AL)。また、他のグループの評価を行う。	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
9	パラバルーンを使った運動あそびと作品例	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
10	大型遊具を使った運動あそび(1)マットを使って	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
11	大型遊具を使った運動あそび(2)跳び箱を使って	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
12	身体表現活動(1)模倣運動・模倣ダンス	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
13	身体表現活動(2)ダンスの創作法	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
14	身体表現活動(3)ダンス作品の創作、振付け	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。
15	身体表現活動(4)創作作品の発表と評価	次時に必要な教材を準備する。 (場合によっては、各自で作成してくる) 体調を整える。	シャトルカードに本時の考察および次時の課題を記入する。

講義名	9013011700 幼児と環境 ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科	担当教員(単位認定者)					

学習目標(到達目標)

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

講義時使用テキスト

資格との関連

実務との関連

授業概要(教育目的)

周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養い、幼稚園教育要領・保育所保育指針に示される領域「環境」の内容に関する基礎的知識を学修する。

課題に対するフィードバック

参考文献

学生へのメッセージ

授業計画表

	内容	予習	復習

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013011800 幼児と言葉 ※2023年度開講せず						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)			

学習目標(到達目標)

授業概要(教育目的)

講義、演習(絵本の読み聞かせ、紙芝居披露等)により、言葉の領域に関する教材の選択や、指導方法を具体的に学修する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

課題に対するフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習

講義名	9013011900 幼児と造形表現　A1クラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

・基本的知識を習得し、知識を演習に応用し作品を制作することができる。
・造形物を製作する上での、手順・道具の使用方法・環境構成を含めた製作の方法を説明できる。

授業概要(教育目的)

造形活動(表現)において、子どもがどのような発達段階と特徴をもって表現活動を行うのかという基本的な理解をもとに、表現に表出される幼児の心的概念を理解するための方法と題材を学ぶ。描画や造形素材、道具の特性を知り、活用方法や造形技法についての知識を深める。遊びを通じた制作から自然環境や季節との関わり、子どもの絵の模写などのワークショップなどの体験的活動を通して、楽しみながら制作する姿勢と子どもの気持ちを汲み取ることのできる資質の獲得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義中に行う確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

『保育をひらく造形表現』、槇 英子著、萌文書林
『日本のおりがみ事典』、山口　真著、ナツメ社

講義時使用テキスト

【使用テキスト】
『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

幼稚園二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

　実技と講義を織り交ぜた科目として捉え、実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
1年次、前期「美術」からの発展的なものとして捉えること。保育者として体験を楽しみながら各素材や道具の使用方法等を学ぶこと。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション・講義　造形活動への導入p14「上手！」は褒め言葉？p17・演習「まぜいろで心を描こう」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
2	講義「1.1-5子どもの造形表現を学ぶために」・演習「染め紙」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
3	講義「1.6幼稚園教育要領と保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領」・演習「染め紙を用いたフラッグ制作」(発展)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
4	講義「1.7幼幼稚園教育要領と学習指導要領」・演習「手づくり玩具かざぐるまの制作」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
5	講義「2.1造形教育の歴史」・演習「手のひらスタンプで描こう」(身体を用いた描画表現)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
6	講義「2.2子どもの描画理解」・演習「壁面装飾の制作」(環境構成、空間デザイン)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
7	講義「2.3-4子どもの絵の見方」・演習「子どもの絵を模写しよう」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
8	講義「3.1素材と出会う-紙」・演習「シャボン玉で描こう」(科学現象を利用した描画表現)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
9	講義「3.1素材と出会う-自然素材」・演習「秋の落し物で描こう」(枯葉等の自然素材を用いたコラージュ)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
10	講義「3.1素材と出会う-ねんど」・演習「秋の落し物で描こう」続き	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
11	講義「3.1素材と出会う-身近な素材」・演習「光の箱」の制作(透過・反射素材用いた光の造形)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
12	講義「3.2道具と出会う-切る・うつす」・演習「スチレン版画」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
13	講義「3.2道具と出会う-金つち・写真」・演習「クレヨンステンシルを用いたクリスマスツリー制作」(造形活動に季節行事を取り入れることについて)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
14	講義「4.1見つけて話して楽しむ」・演習「オリジナルカード作り」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
15	講義「6.1題材を考える　6.2指導案を立てる」・演習「新聞紙を用いた立体造形演習」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013011901 幼児と造形表現　A2クラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

・基本的知識を習得し、知識を演習に応用し作品を制作することができる。
・造形物を製作する上での、手順・道具の使用方法・環境構成を含めた製作の方法を説明できる。

授業概要(教育目的)

造形活動(表現)において、子どもがどのような発達段階と特徴をもって表現活動を行うのかという基本的な理解をもとに、表現に表出される幼児の心的概念を理解するための方法と題材を学ぶ。描画や造形素材、道具の特性を知り、活用方法や造形技法についての知識を深める。遊びを通じた制作から自然環境や季節との関わり、子どもの絵の模写などのワークショップなどの体験的活動を通して、楽しみながら制作する姿勢と子どもの気持ちを汲み取ることのできる資質の獲得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義中に行う確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

『保育をひらく造形表現』、槇 英子著、萌文書林
『日本のおりがみ事典』、山口　真著、ナツメ社

講義時使用テキスト

【使用テキスト】
『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

幼稚園二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

　実技と講義を織り交ぜた科目として捉え、実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
1年次、前期「美術」からの発展的なものとして捉えること。保育者として体験を楽しみながら各素材や道具の使用方法等を学ぶこと。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション・講義　造形活動への導入p14「上手！」は褒め言葉？p17・演習「まぜいろで心を描こう」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
2	講義「1.1-5子どもの造形表現を学ぶために」・演習「染め紙」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
3	講義「1.6幼稚園教育要領と保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領」・演習「染め紙を用いたフラッグ制作」(発展)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
4	講義「1.7幼幼稚園教育要領と学習指導要領」・演習「手づくり玩具かざぐるまの制作」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
5	講義「2.1造形教育の歴史」・演習「手のひらスタンプで描こう」(身体を用いた描画表現)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
6	講義「2.2子どもの描画理解」・演習「壁面装飾の制作」(環境構成、空間デザイン)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
7	講義「2.3-4子どもの絵の見方」・演習「子どもの絵を模写しよう」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
8	講義「3.1素材と出会う-紙」・演習「シャボン玉で描こう」(科学現象を利用した描画表現)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
9	講義「3.1素材と出会う-自然素材」・演習「秋の落し物で描こう」(枯葉等の自然素材を用いたコラージュ)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
10	講義「3.1素材と出会う-ねんど」・演習「秋の落し物で描こう」続き	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
11	講義「3.1素材と出会う-身近な素材」・演習「光の箱」の制作(透過・反射素材用いた光の造形)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
12	講義「3.2道具と出会う-切る・うつす」・演習「スチレン版画」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
13	講義「3.2道具と出会う-金つち・写真」・演習「クレヨンステンシルを用いたクリスマスツリー制作」(造形活動に季節行事を取り入れることについて)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
14	講義「4.1見つけて話して楽しむ」・演習「オリジナルカード作り」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
15	講義「6.1題材を考える　6.2指導案を立てる」・演習「新聞紙を用いた立体造形演習」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる

講義名	9013011902 幼児と造形表現　B1クラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

・基本的知識を習得し、知識を演習に応用し作品を制作することができる。
・造形物を製作する上での、手順・道具の使用方法・環境構成を含めた製作の方法を説明できる。

授業概要(教育目的)

造形活動(表現)において、子どもがどのような発達段階と特徴をもって表現活動を行うのかという基本的な理解をもとに、表現に表出される幼児の心的概念を理解するための方法と題材を学ぶ。描画や造形素材、道具の特性を知り、活用方法や造形技法についての知識を深める。遊びを通じた制作から自然環境や季節との関わり、子どもの絵の模写などのワークショップなどの体験的活動を通して、楽しみながら制作する姿勢と子どもの気持ちを汲み取ることのできる資質の獲得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義中に行う確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

『保育をひらく造形表現』、槇 英子著、萌文書林
『日本のおりがみ事典』、山口　真著、ナツメ社

講義時使用テキスト

【使用テキスト】
『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

幼稚園二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

　実技と講義を織り交ぜた科目として捉え、実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
1年次、前期「美術」からの発展的なものとして捉えること。保育者として体験を楽しみながら各素材や道具の使用方法等を学ぶこと。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション・講義　造形活動への導入p14「上手！」は褒め言葉？p17・演習「まぜいろで心を描こう」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
2	講義「1.1-5子どもの造形表現を学ぶために」・演習「染め紙」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
3	講義「1.6幼稚園教育要領と保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領」・演習「染め紙を用いたフラッグ制作」(発展)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
4	講義「1.7幼幼稚園教育要領と学習指導要領」・演習「手づくり玩具かざぐるまの制作」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
5	講義「2.1造形教育の歴史」・演習「手のひらスタンプで描こう」(身体を用いた描画表現)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
6	講義「2.2子どもの描画理解」・演習「壁面装飾の制作」(環境構成、空間デザイン)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
7	講義「2.3-4子どもの絵の見方」・演習「子どもの絵を模写しよう」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
8	講義「3.1素材と出会う-紙」・演習「シャボン玉で描こう」(科学現象を利用した描画表現)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
9	講義「3.1素材と出会う-自然素材」・演習「秋の落し物で描こう」(枯葉等の自然素材を用いたコラージュ)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
10	講義「3.1素材と出会う-ねんど」・演習「秋の落し物で描こう」続き	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
11	講義「3.1素材と出会う-身近な素材」・演習「光の箱」の制作(透過・反射素材用いた光の造形)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
12	講義「3.2道具と出会う-切る・うつす」・演習「スチレン版画」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
13	講義「3.2道具と出会う-金つち・写真」・演習「クレヨンステンシルを用いたクリスマスツリー制作」(造形活動に季節行事を取り入れることについて)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
14	講義「4.1見つけて話して楽しむ」・演習「オリジナルカード作り」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
15	講義「6.1題材を考える　6.2指導案を立てる」・演習「新聞紙を用いた立体造形演習」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013011903 幼児と造形表現　B2クラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

・基本的知識を習得し、知識を演習に応用し作品を制作することができる。
・造形物を製作する上での、手順・道具の使用方法・環境構成を含めた製作の方法を説明できる。

授業概要(教育目的)

造形活動(表現)において、子どもがどのような発達段階と特徴をもって表現活動を行うのかという基本的な理解をもとに、表現に表出される幼児の心的概念を理解するための方法と題材を学ぶ。描画や造形素材、道具の特性を知り、活用方法や造形技法についての知識を深める。遊びを通じた制作から自然環境や季節との関わり、子どもの絵の模写などのワークショップなどの体験的活動を通して、楽しみながら制作する姿勢と子どもの気持ちを汲み取ることのできる資質の獲得を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義中に行う確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

『保育をひらく造形表現』、槇 英子著、萌文書林
『日本のおりがみ事典』、山口　真著、ナツメ社

講義時使用テキスト

【使用テキスト】
『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

幼稚園二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

　実技と講義を織り交ぜた科目として捉え、実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
1年次、前期「美術」からの発展的なものとして捉えること。保育者として体験を楽しみながら各素材や道具の使用方法等を学ぶこと。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション・講義　造形活動への導入p14「上手！」は褒め言葉？p17・演習「まぜいろで心を描こう」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
2	講義「1.1-5子どもの造形表現を学ぶために」・演習「染め紙」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
3	講義「1.6幼稚園教育要領と保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領」・演習「染め紙を用いたフラッグ制作」(発展)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
4	講義「1.7幼幼稚園教育要領と学習指導要領」・演習「手づくり玩具かざぐるまの制作」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
5	講義「2.1造形教育の歴史」・演習「手のひらスタンプで描こう」(身体を用いた描画表現)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
6	講義「2.2子どもの描画理解」・演習「壁面装飾の制作」(環境構成、空間デザイン)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
7	講義「2.3-4子どもの絵の見方」・演習「子どもの絵を模写しよう」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
8	講義「3.1素材と出会う-紙」・演習「シャボン玉で描こう」(科学現象を利用した描画表現)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
9	講義「3.1素材と出会う-自然素材」・演習「秋の落し物で描こう」(枯葉等の自然素材を用いたコラージュ)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
10	講義「3.1素材と出会う-ねんど」・演習「秋の落し物で描こう」続き	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
11	講義「3.1素材と出会う-身近な素材」・演習「光の箱」の制作(透過・反射素材用いた光の造形)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
12	講義「3.2道具と出会う-切る・うつす」・演習「スチレン版画」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
13	講義「3.2道具と出会う-金つち・写真」・演習「クレヨンステンシルを用いたクリスマスツリー制作」(造形活動に季節行事を取り入れることについて)	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
14	講義「4.1見つけて話して楽しむ」・演習「オリジナルカード作り」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる
15	講義「6.1題材を考える　6.2指導案を立てる」・演習「新聞紙を用いた立体造形演習」	教科書を事前に読み講義内容を確認する	確認テストに出題された箇所を再度教科書にチェックを入れ復讐する。教科書に付箋をふる

講義名	9013012000 幼児と音楽表現　Aクラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	橋本　知子			

学習目標(到達目標)

幼児の発達に応じた音楽指導が出来る。

授業概要(教育目的)

保育の現場における音楽指導の技能・技術及び音楽を通して表現力を育む事の出来る指導法を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

課題の取り組み及び提出物等総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

その他の音楽科目と連携し、表現方法の理解を深める。

参考文献

講義時使用テキスト

「保育者養成のための音楽表現」(大学図書出版)
「うたって、つくって、あそぼう」(音楽之友社)

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状
保育士資格

学生へのメッセージ

講義では、保育実習及び保育の現場にて実践できる音楽指導を目指します。また、前期の講義「音楽」での学び踏まえ、子どもの発達段階に応じた音楽表現の指導展開を考察します。音楽を通して子どもの表現力を育む事を目的とした指導法を習得しましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育内容「表現」の位置付けと表現を考察する。	テキスト「保育者養成のための音楽表現」第1章第1～2節を読んでくる。	講義の内容を確認しておく。
2	前期の「音楽」で学んだ手遊びを復習する。	保育の現場で活用されている手遊びを調べてくる。	講義の内容を確認しておく。
3	テキスト「うたって、つくって、あそぼう」の曲から、表現方法を考察する。	テキスト「うたって、つくって、あそぼう」を一読してくる。	講義の内容を確認しておく。
4	前回の講義で考察し創作した表現をグループワークにて実践する。	実践に向けて練習してくる。	実践を通して学んだ事、感じた事をまとめておく。
5	歌唱(子どもの声域、保育における歌唱の位置付けを考察する)	テキスト「保育者養成のための音楽表現」第5章第1～2節を読んでくる。	講義の内容を確認しておく。
6	「わらべうた」の実践及び考察をする。	保育現場で活用されている「わらべうた」を調べてくる。	講義で実践した「わらべうた」を練習し定着させる。
7	保育の中で音楽指導に用いられる打楽器の実践。	幼児が演奏出来るであろう打楽器を考えてくる。	講義で実践した打楽器奏法の確認をしておく。
8	ラテン楽器のルーツ及び奏法の考察をする。	ラテン楽器について調べてくる。	講義で実践したラテン楽器の奏法を確認しておく。
9	合奏を体験する。	幼児が演奏出来るであろう合奏曲をテキスト「うたって、つくって、あそぼう」から選んでくる。	講義で実践した合奏曲を自身でアレンジしてみる。
10	保育の中で行う子どもと一緒に制作及び演奏を目的とした「手作り楽器」の考察。	テキスト「保育者養成のための音楽表現」P.108～109のルボを読んでくる。	課題プリントを見直しておく。
11	幼児の発達(3～5歳児)に応じた「手作り楽器」を実践する。	制作に用いる材料を準備しておく。	手作り楽器を制作してみた感想及び改善点をまとめておく。
12	制作した「手作り楽器」を用いて演奏発表をする。	発表に向けて練習してくる。	他の学生がどの様な楽器を制作していたかをまとめておく。
13	幼児の発達に応じた「手遊び」の考察をする。	保育の現場で活用されている「手遊び」を調べてくる。	講義の内容を確認しておく。
14	幼児の発達に応じた「手遊び」をグループワークにて実践及び考察する。	グループワークを想定し「手遊び」を練習してくる。	グループワークにて感じた事をまとめておく。
15	保育実習Ⅰ期に向けて「手遊び」の模擬保育を実践する。	実践に向けて「手遊び」を練習してくる。	保育実習Ⅰ期に向けて「手遊び」のレパートリーを増やしておく。

講義名	9013012001	幼児と音楽表現　Bクラス					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	橋本　知子			

学習目標(到達目標)

幼児の発達に応じた音楽指導が出来る。

授業概要(教育目的)

保育の現場における音楽指導の技能・技術及び音楽を通して表現力を育む事の出来る指導法を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

課題の取り組み及び提出物等総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

その他の音楽科目と連携し、表現方法の理解を深める。

参考文献

講義時使用テキスト

「保育者養成のための音楽表現」(大学図書出版)
「うたって、つくって、あそぼう」(音楽之友社)

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状
保育士資格

学生へのメッセージ

講義では、保育実習及び保育の現場にて実践できる音楽指導を目指します。また、前期の講義「音楽」での学び踏まえ、子どもの発達段階に応じた音楽表現の指導展開を考察します。音楽を通して子どもの表現力を育む事を目的とした指導法を習得しましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育内容「表現」の位置付けと表現を考察する。	テキスト「保育者養成のための音楽表現」第1章第1～2節を読んでくる。	講義の内容を確認しておく。
2	前期の「音楽」で学んだ手遊びを復習する。	保育の現場で活用されている手遊びを調べてくる。	講義の内容を確認しておく。
3	テキスト「うたって、つくって、あそぼう」の曲から、表現方法を考察する。	テキスト「うたって、つくって、あそぼう」を一読してくる。	講義の内容を確認しておく。
4	前回の講義で考察し創作した表現をグループワークにて実践する。	実践に向けて練習してくる。	実践を通して学んだ事、感じた事をまとめておく。
5	歌唱(子どもの声域、保育における歌唱の位置付けを考察する)	テキスト「保育者養成のための音楽表現」第5章第1～2節を読んでくる。	講義の内容を確認しておく。
6	「わらべうた」の実践及び考察をする。	保育現場で活用されている「わらべうた」を調べてくる。	講義で実践した「わらべうた」を練習し定着させる。
7	保育の中で音楽指導に用いられる打楽器の実践。	幼児が演奏出来るであろう打楽器を考えてくる。	講義で実践した打楽器奏法の確認をしておく。
8	ラテン楽器のルーツ及び奏法の考察をする。	ラテン楽器について調べてくる。	講義で実践したラテン楽器の奏法を確認しておく。
9	合奏を体験する。	幼児が演奏出来るであろう合奏曲をテキスト「うたって、つくって、あそぼう」から選んでくる。	講義で実践した合奏曲を自身でアレンジしてみる。
10	保育の中で行う子どもと一緒に制作及び演奏を目的とした「手作り楽器」の考察。	テキスト「保育者養成のための音楽表現」P.108～109のルボを読んでくる。	課題プリントを見直しておく。
11	幼児の発達(3～5歳児)に応じた「手作り楽器」を実践する。	制作に用いる材料を準備しておく。	手作り楽器を制作してみた感想及び改善点をまとめておく。
12	制作した「手作り楽器」を用いて演奏発表をする。	発表に向けて練習してくる。	他の学生がどの様な楽器を制作していたかをまとめておく。
13	幼児の発達に応じた「手遊び」の考察をする。	保育の現場で活用されている「手遊び」を調べてくる。	講義の内容を確認しておく。
14	幼児の発達に応じた「手遊び」をグループワークにて実践及び考察する。	グループワークを想定し「手遊び」を練習してくる。	グループワークにて感じた事をまとめておく。
15	保育実習Ⅰ期に向けて「手遊び」の模擬保育を実践する。	実践に向けて「手遊び」を練習してくる。	保育実習Ⅰ期に向けて「手遊び」のレパートリーを増やしておく。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013005300 保育内容総論　Aクラス 【ナンバリング：203020】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

人間形成の基礎を培うために必要とされる乳幼児期の発達過程、生活を理解するとともに、それぞれの子どもの発達を見通し、子どもの実情に即した指導計画を作成、保育を展開することができるよう保育者としての専門的な視点を捉え、資質を養う。
1. 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における共有すべき事項から目指す子どもの姿のイメージを深め、保育実践につなげる。
2. 乳幼児期の生活と発達段階及び発達特性を結び付けながら、総合的な子ども理解を深め保育内容を展開することができる。
3. 指導計画作成の意義や構造、指導計画の作成手順、項目等について理解し、計画の立案、子どもの活動、保育活動に対する適切な評価ができる
4.模擬保育により、自分が目指すべき保育を具現化し実習や実践の場につなげることができる。
5.家庭、地域、小学校等の連携の意義や重要性、またその内容を理解する。

授業概要(教育目的)

保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領などの各法令や、この国の保育・幼児期の教育の全体的な内容に適宜触れつつ、学生一人一人が自分なりの理解を進めていく。特に、3歳児以上の教育に関わる5領域の理解については、グループごとに調べたり、それをまとめて発表することなどを通して、この幼児期に育まれるべきものを理解していく。
また、全体的な計画(教育課程)や指導計画の基本的な概要を理解し、それを説明できる力を養う。さらに、発達の段階に応じた子どもたちの姿を想像しながら、簡単な保育の構想を立て、指導計画の立案をする機会を設ける。その指導計画をもとに、模擬保育も実施する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験(6割)、課題の提出状況と模擬保育の取組(2割)、遅刻や居眠りなどの授業態度(2割)において総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題の提出に関しては、内容を精査し必要に応じて添削する。

参考文献

「遊びの指導　乳・幼児編」 幼少年教育研究所著

講義時使用テキスト

江津和也　幸喜健　編著『グループワークで学ぶ保育内容総論』大学図書出版
「幼稚園教育要領解説」　フレーベル館
「保育所保育指針解説書」　フレーベル館
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館

資格との関連

幼稚園教諭・保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

本科目では、学生一人一人が指導計画を作成するスキルを身に付けてもらえるよう指導していきます。自ら学ぶ姿勢を忘れず、理解できるまでやり遂げることを大切に時間を使ってほしいと思います。
また、知識を集積するためには、もちろん経験も大切ですが、多くの資料や雑誌、文献、メディアに触れることも必要です。様々なところにアンテナを張りめぐらしながら多くの保育のヒントを探してほしいと思います。

実務との関連

差波が担当する第1・4・8・11・15回では、幼稚園での実務経験を踏まえ、幼児との関わりの実際や、カリキュラム・指導計画を元にした保育・教育のあり方について解説し、実践的な学びを獲得できるようにする。
野口が担当する第3、5、7、9回においては、教育相談や特別支援教育の視座も取り入れながら保育内容とのつながりを解説し、幼児教育や保育への理解がより広がるようにする。
鈴木が担当する第2・6・10回においては、幼児教育や保育の現代的課題を最新の研究の見地から捉えて教授し、より実践的な考察ができるようにする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領から見た保育の基本及び保育内容の理解	テキスト該当箇所を読む。 保育原理で学習した内容を振り返る。	テキストの該当箇所を読む。 講義で配布した資料を読み、内容を振り返る。
2	わが国における保育の内容の歴史的変遷	テキスト該当箇所を読む。 保育原理で学習した内容を振り返る。	テキストの該当箇所を読む。 講義で配布した資料を読み、内容を振り返る。
3	幼稚園、保育所及び認定こども園における保育の基本	テキスト該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を確認する。 講義の配布資料を読み、内容を振り返る。
4	保育の基本を踏まえた保育内容の展開～領域「健康」の視点から	テキスト該当箇所・保育所保育指針解説等を読んでおく。	演習で取り組んだ課題を振り返ったり、テキストの事例を読み返したりする。
5	保育の基本を踏まえた保育内容の展開～領域「人間関係」の視点から	テキスト該当箇所・保育所保育指針解説等を読んでおく。	演習で取り組んだ課題を振り返ったり、テキストの事例を読み返したりする。
6	保育の基本を踏まえた保育内容の展開～領域「環境」の視点から	テキスト該当箇所・保育所保育指針解説等を読んでおく。	演習で取り組んだ課題を振り返ったり、テキストの事例を読み返したりする。
7	保育の基本を踏まえた保育内容の展開～領域「言葉」の視点から	テキスト該当箇所・保育所保育指針解説等を読んでおく。	演習で取り組んだ課題を振り返ったり、テキストの事例を読み返したりする。
8	保育の基本を踏まえた保育内容の展開～領域「表現」の視点から	テキスト該当箇所・保育所保育指針解説等を読んでおく。	演習で取り組んだ課題を振り返ったり、テキストの事例を読み返したりする。
9	特別な配慮を要する子どもの保育	テキストや参考資料を確認しておく。	講義の配布資料を読み、内容を振り返る。
10	保育の計画と評価① 全体的な計画と長期・短期の指導計画、ねらいと内容の理解	テキスト該当箇所を読んでおく。	テキストや講義の配布資料を読み返す。
11	保育の計画と評価② ねらいに基づく援助と環境の構成	テキスト該当箇所を読んでおく。	テキストや講義の配布資料を読み返す。
12	模擬保育の概要説明 指導計画案の作成(部分案)① ねらい、内容、保育の流れの作成、全体の記載	前回までの「ねらいと内容」、「援助と環境構成」について振り返っておく。	模擬保育での保育実践をイメージし、具体的な活動の流れを構想する。
13	指導計画案の作成(部分案)②指導計画の修正、全体の記載	テキストの該当箇所を読み、作成する指導計画に生かすよう努める。	教員に添削してもらった指導計画をグループ内で見合いながら、自分の指導計画に取り入れたり、友達にアドバイスをしたりする。
14	指導計画案の作成(部分案)③模擬保育の準備(教材作成・リハーサル)	完成した指導計画を読み返しておき、必要な準備や練習ができるようにしておく。	指導計画をできる限り覚えるようにし、模擬保育本番に備える。
15	「遊び」による総合的な保育を考える、模擬保育振り返り	テキストの該当箇所を読んでおく	テキストの該当箇所を確認する。 講義で配布した資料を読み、内容を振り返る。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013005301 保育内容総論　Bクラス 【ナンバリング：203020】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

人間形成の基礎を培うために必要とされる乳幼児期の発達過程、生活を理解するとともに、それぞれの子どもの発達を見通し、子どもの実情に即した指導計画を作成、保育を展開することができるよう保育者としての専門的な視点を捉え、資質を養う。
1. 保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における共有すべき事項から目指す子どもの姿のイメージを深め、保育実践につなげる。
2. 乳幼児期の生活と発達段階及び発達特性を結び付けながら、総合的な子ども理解を深め保育内容を展開することができる。
3. 指導計画作成の意義や構造、指導計画の作成手順、項目等について理解し、計画の立案、子どもの活動、保育活動に対する適切な評価ができる
4.模擬保育により、自分が目指すべき保育を具現化し実習や実践の場につなげることができる。
5.家庭、地域、小学校等の連携の意義や重要性、またその内容を理解する。

授業概要(教育目的)

保育所保育指針や幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領などの各法令や、この国の保育・幼児期の教育の全体的な内容に適宜触れつつ、学生一人一人が自分なりの理解を進めていく。特に、3歳児以上の教育に関わる5領域の理解については、グループごとに調べたり、それをまとめて発表することなどを通して、この幼児期に育まれるべきものを理解していく。
また、全体的な計画(教育課程)や指導計画の基本的な概要を理解し、それを説明できる力を養う。さらに、発達の段階に応じた子どもたちの姿を想像しながら、簡単な保育の構想を立て、指導計画の立案をする機会を設ける。その指導計画をもとに、模擬保育も実施する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験(6割)、課題の提出状況と模擬保育の取組(2割)、遅刻や居眠りなどの授業態度(2割)において総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題の提出に関しては、内容を精査し必要に応じて添削する。

参考文献

「遊びの指導　乳・幼児編」 幼少年教育研究所著

講義時使用テキスト

江津和也　幸喜健　編著『グループワークで学ぶ保育内容総論』大学図書出版
「幼稚園教育要領解説」　フレーベル館
「保育所保育指針解説書」　フレーベル館
「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館

資格との関連

幼稚園教諭・保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

本科目では、学生一人一人が指導計画を作成するスキルを身に付けてもらえるよう指導していきます。自ら学ぶ姿勢を忘れず、理解できるまでやり遂げることを大切に時間を使ってほしいと思います。
また、知識を集積するためには、もちろん経験も大切ですが、多くの資料や雑誌、文献、メディアに触れることも必要です。様々なところにアンテナを張りめぐらしながら多くの保育のヒントを探してほしいと思います。

実務との関連

差波が担当する第1・4・8・11・15回では、幼稚園での実務経験を踏まえ、幼児との関わりの実際や、カリキュラム・指導計画を元にした保育・教育のあり方について解説し、実践的な学びを獲得できるようにする。
野口が担当する第3、5、7、9回においては、教育相談や特別支援教育の視座も取り入れながら保育内容とのつながりを解説し、幼児教育や保育への理解がより広がるようにする。
鈴木が担当する第2・6・10回においては、幼児教育や保育の現代的課題を最新の研究の見地から捉えて教授し、より実践的な考察ができるようにする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領から見た保育の基本及び保育内容の理解	テキスト該当箇所を読む。 保育原理で学習した内容を振り返る。	テキストの該当箇所を読む。 講義で配布した資料を読み、内容を振り返る。
2	わが国における保育の内容の歴史的変遷	テキスト該当箇所を読む。 保育原理で学習した内容を振り返る。	テキストの該当箇所を読む。 講義で配布した資料を読み、内容を振り返る。
3	幼稚園、保育所及び認定こども園における保育の基本	テキスト該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を確認する。 講義の配布資料を読み、内容を振り返る。
4	保育の基本を踏まえた保育内容の展開～領域「健康」の視点から	テキスト該当箇所・保育所保育指針解説等を読んでおく。	演習で取り組んだ課題を振り返ったり、テキストの事例を読み返したりする。
5	保育の基本を踏まえた保育内容の展開～領域「人間関係」の視点から	テキスト該当箇所・保育所保育指針解説等を読んでおく。	演習で取り組んだ課題を振り返ったり、テキストの事例を読み返したりする。
6	保育の基本を踏まえた保育内容の展開～領域「環境」の視点から	テキスト該当箇所・保育所保育指針解説等を読んでおく。	演習で取り組んだ課題を振り返ったり、テキストの事例を読み返したりする。
7	保育の基本を踏まえた保育内容の展開～領域「言葉」の視点から	テキスト該当箇所・保育所保育指針解説等を読んでおく。	演習で取り組んだ課題を振り返ったり、テキストの事例を読み返したりする。
8	保育の基本を踏まえた保育内容の展開～領域「表現」の視点から	テキスト該当箇所・保育所保育指針解説等を読んでおく。	演習で取り組んだ課題を振り返ったり、テキストの事例を読み返したりする。
9	特別な配慮を要する子どもの保育	テキストや参考資料を確認しておく。	講義の配布資料を読み、内容を振り返る。
10	保育の計画と評価① 全体的な計画と長期・短期の指導計画、ねらいと内容の理解	テキスト該当箇所を読んでおく。	テキストや講義の配布資料を読み返す。
11	保育の計画と評価② ねらいに基づく援助と環境の構成	テキスト該当箇所を読んでおく。	テキストや講義の配布資料を読み返す。
12	模擬保育の概要説明 指導計画案の作成(部分案)① ねらい、内容、保育の流れの作成、全体の記載	前回までの「ねらいと内容」、「援助と環境構成」について振り返っておく。	模擬保育での保育実践をイメージし、具体的な活動の流れを構想する。
13	指導計画案の作成(部分案)②指導計画の修正、全体の記載	テキストの該当箇所を読み、作成する指導計画に生かすよう努める。	教員に添削してもらった指導計画をグループ内で見合いながら、自分の指導計画に取り入れたり、友達にアドバイスをしたりする。
14	指導計画案の作成(部分案)③模擬保育の準備(教材作成・リハーサル)	完成した指導計画を読み返しておき、必要な準備や練習ができるようにしておく。	指導計画をできる限り覚えるようにし、模擬保育本番に備える。
15	「遊び」による総合的な保育を考える、模擬保育振り返り	テキストの該当箇所を読んでおく	テキストの該当箇所を確認する。 講義で配布した資料を読み、内容を振り返る。

講義名	9013012100	保育内容「健康」の指導法 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

健康教育のねらいと内容を理解し、総合的に保育を展開していくための知識と技術を身につけることを到達目標とする。具体の姿として、
①乳幼児期の発育発達について理解し、「健康」領域の計画立案と実践ができる。
②子どもの実態やその背景を理解し、運動遊びの活動の中で適切な言葉掛けや支援ができる。
③保育現場における安全および衛生管理、健康の保持増進のための環境づくりの実施ができる。

授業概要(教育目的)

保育内容領域「健康」のねらいは、「健康なこころとからだを育み、子ども自らが健康で安全な生活を送れるような力を養う」ことにある。したがって、本講義では、子どもの心身の発育発達に関する知識と理解を深め、保育者として子どもの健康な心身の成長を促す保育とはどのようなものかを考え、学ぶ。また、保育現場における安全管理・安全教育の指導と援助についても学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

学習への取組み姿勢および参加・貢献度、課題レポート、試験等から総合的に評価する。
詳細は、初回講義にて伝達する。

課題に対するフィードバック

・レポート提出についてはコメントと評価を付して返却する。
・授業終了時に記入するシャトルカードにより質問等を受けつけ、回答する。
・授業内で受講者間で評価し合ったものについては集計して公表する。
・定期試験については結果を公表しないが、再試験該当者に関しては希望をすれば応じる。

講義時使用テキスト

特に指定しないが、推薦テキストを授業内にて紹介する。
講義では適宜資料を配布する。

・保育所保育指針(厚生労働省)
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、他)
・幼稚園教育要領(文部科学省)
・幼児期運動指針((文部科学省)

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	健康とは？健康の定義・健康観について考える AL…60%(グループディスカッション、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
2	子どものからだの発達について知る・考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
3	子どものこころの発達について知る・考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
4	運動技能の習得と運動指導の在り方について考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
5	運動あそびの実施計画(1)発育発達に合った運動あそびの検討を行う AL…50%(グループディスカッション、調査)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
6	運動あそびの実施計画(2)運動あそび指導案を作成する AL…70%(グループワーク)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
7	運動あそびの実施計画(3)作成した指導案の実施および再検討 AL…70%(グループワーク、実践)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
8	フィールドワーク(1)園児の遠足に同行する AL…100%(グループワーク、実践)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
9	フィールドワーク(2)子どもたちに運動あそびを指導する AL…100%(グループワーク、実践)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
10	フィールドワーク(遠足同行、運動あそびの指導)の省察・発表 AL…70%(グループディスカッション、発表)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	レポート作成(次時に提出)
11	子どもを取りまく健康に関する諸問題について知る・考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
12	現代社会と子どもの基本的生活習慣について様々なデータを読む AL…50%(グループワーク、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
13	保育現場における健康教育の取り組みについて(実践例から学ぶ)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
14	安全管理と安全教育について(1) 保育・幼児教育の現場の事故の実態を知る AL…50%(グループワーク、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
15	安全管理と安全教育について(2) AL…50%(グループワーク、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する

講義名	9013012200	保育内容「人間関係」の指導法 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

1.「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における領域「人間関係」のねらいや内容、内容の取扱いについて説明することができる。
2.人間関係の発達や自立心・道徳性の発達など、子どもを深く理解する視点を持ち、保育実践を考察することができる。
3. 指導計画作成にあたって、「人間関係」の内容を生かし、適切に表現することができる。
4. 保護者・保育者など子どもを取り巻く人的環境における関係性について、実際の場面に応用することができる。

授業概要(教育目的)

子どもたちを取り巻く「人間関係」や「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における領域「人間関係」のねらいや内容の理解を深めるとともに、様々なかかわりをとおした子どもの人間関係の発達について、実践のエピソードを取り上げて解説していきます。そして、子どもたちの人とかかわる力の育ちのプロセスやその育ちを支える保育者には、どのような役割、援助が求められるのかについての知識を習得し考えを深めることを目的とします。また、「保育者としての人との関係」における様々な関係性の構築、協働にも目を向けていきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業への意欲・関心、態度(10%)、定期試験(60%)、授業内のグループワークへの取り組み、リアクションペーパー(30%)からにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

皆さんに取り組んでもらうリアクションペーパーは、授業の冒頭でいくつか取り上げ、フィードバックします。 定期試験の結果の開示を希望する学生は、研究室に来てください。

参考文献

幼稚園教諭教育要領解説平成30年3月(文部科学省)・保育所保育指針解説平成30年3月(厚生労働省編)・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(内閣府・文部科学省・厚生労働省)

講義時使用テキスト

特になし(プリントを配布します)

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

「人間関係」という領域は、日常の保育の中に溢れています。保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域について確かな理解を進めるとともに、保育実践活動を意識しながら知識・技術を積み上げていきましょう。また、この授業で取り上げる「人間関係」は広範囲に渡りますので、それは私たち自分自身のことを考える機会になりえるかも知れませんし、私たちが出会えた大切な人々、仲間との関係についても考えを巡らせる時間になれば良いと思っています。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	人間関係と取り巻く環境	シラバスに目を通して、科目全体の学びの内容のイメージを持つ	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
2	領域「人間関係」のねらいと内容及びその取り扱い1	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
3	領域「人間関係」のねらいと内容及びその取り扱い2 保育者としての役割	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
4	人間関係をつむぐこどもの発達1 対人意識、自己概念(理解)の育ち	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
5	人間関係をつむぐこどもの発達2 自立心、協同性の芽生え 自己制御の育ち	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
6	人間関係をつむぐこどもの発達3 規範意識と道徳性の芽生え ルール、決まり事の意味と意義	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
7	人間関係と子どもの遊び1 遊びの中で育つ乳児の人間関係	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
8	人間関係と子どもの遊び2 遊びの中で育つ幼児の人間関係	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
9	人間関係とこどもの生活 家庭、地域とのかかわりと子どもの発達	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
10	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助1 自己理解と他者理解を支える保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
11	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助2 個と集団の育ちの姿 子どもの心の拠り所である保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
12	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助3 人とのかかわりと子どもの心の揺れ動きを支える保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
13	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助4 子ども同士を結ぶ保育者の遊びの工夫 集団における子ども同士の芽生え、調和を支える保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
14	現代の保育の課題と領域「人間関係」	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
15	指導計画の作成(保育内容「人間関係」と指導計画、援助と留意点の考察)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。

講義名	9013012300	保育内容「環境」の指導法 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

領域「環境」が幼保連携型認定こども園教育保育要領ならびに幼稚園教育要領や保育指針の中でどのように位置付けられ、保育者としてそれをどのように受け止め、子ども達の育ちを読みとっていくのかという基本的な姿勢を持てるようにする。また「環境の構成」が保育において重要な意味を持っているということを理解するとともに、子どもを取り巻く人的・物的「環境」や自然環境について知識を得ることをねらいとする。

授業概要(教育目的)

学校教育法第22条に記されているように、幼稚園教育の目的は「幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする」ことにある。また、幼保連携型認定こども園教育・保育要領には乳幼児の特性および保護者や地域の実情をふまえ、環境を通して行うものであることを基本とし、家庭や地域での生活を含め、園児の生活全体が豊かなものとなるように努めなくてはならないとされている。
「環境」というキーワードは、就学前の教育・保育において、非常に重要なものであることを認識してほしい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度・試験・レポートの提出などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

資格との関連

幼稚園教諭二種必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

保育者に必要な感性を豊かにする為にも、日常の中で見るもの、聞くもの、触れるものに敏感に対応し、心で感じ取る力を身につけて欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	環境とは	シラバスの内容を確認する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	保育内容「環境」の意義	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	保育内容「環境」と幼児理解	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	好奇心・探究心を育てる指導	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	思考力の芽生えをはぐくむ指導	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	人的環境としての友だち・保育者	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	物的環境としての園具・遊具・素材	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	自然環境としての動植物	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	日常生活のなかでの興味や関心	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	地域・行事とのかかわり	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	「環境」からみた道徳性の芽生えを培う指導	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	乳幼児期の安全環境	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	保育内容「環境」からみた実践的課題	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	保育者の専門性と人間性①	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	保育者の専門性と人間性②	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9013012400	保育内容「言葉」の指導法 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

子どもが言葉を獲得していく過程や発達の道筋をとらえ理解を深める。
・子どもがどのような過程を経て正しい言葉を習得するか説明することができる。
・言葉の音声表現について、実践などを伝えることができる。

授業概要(教育目的)

講義、演習(絵本の読み聞かせ、紙芝居披露)などにより、「言葉」の領域に関する教材の選択や指導方法を具体的に学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

試験、課題レポート、制作物、演習(絵本の読み聞かせ・紙芝居)などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・課題のプリントは次の授業で解説し、模範解答をフィードバックする。
・試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

新訂　保育内容指導法「言葉」(　田上貞一郎、高荒正子)・萌文書林

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

日常生活における会話や情報の「言葉」がどのように使われているかに、普段から注意を向けてほしい。また、保育の現場や実習に直結する演習や制作が多いので、積極的に授業に臨んでほしい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コミュニケーションとしてのことば	自分が使う言葉に関しての考えをまとめておく。	自分が考える言葉と、社会で実際に使われている言葉との違いについてまとめておく。
2	保育者のことば	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
3	子どものことば	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
4	ことばの発達・指導	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
5	言語と非言語(グループワーク)	自分が使う言葉に関しての考えをまとめておく。	授業の内容を整理する。
6	ことばとメディア	テキストの該当箇所を読む。	授業の内容を整理する。
7	ことばの発声(実技)	自分の呼吸状態と地声を把握しておく。	授業の内容を整理する。
8	ことば遊び(グループワーク)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
9	絵本①絵本の特性・選択・読み聞かせ時の留意点(グループワーク)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
10	絵本②名前絵本の読み聞かせ(実技)	絵本の読み聞かせを練習する。	授業の内容を整理する。
11	パネルシアター・劇遊び・ペープサート・エプロンシアター(グループワーク)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
12	紙芝居①紙芝居の特性・選択・留意点(グループワーク、ディスカッション)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
13	紙芝居②紙芝居の効果的な演じ方(グループワーク、プレゼンテーション)	グループで選んだ紙芝居を練習する。	授業の内容を整理する。
14	グループ毎の演目発表準備(グループワーク、ディスカッション)	グループの発表演目を考えておく。	グループの発表演目の準備をする。
15	グループ発表・評価(グループワーク、プレゼンテーション)	グループの発表演目の準備・練習をする。	授業の内容を整理する。

講義名	9013012500	保育内容「造形表現」の指導法 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

制作を通して感性を磨き、造形表現の専門性を理解し知識と技術を活かした指導をする事ができる。
①幼児期の子どもの表現について年齢ごとの発達段階を理解し、発達に応じた表現の方法を習得する。
②子どもが、興味関心を持ち創造力を発揮できる題材とその活動に使用する素材について学ぶ。
③自分で立案した活動を実施し、指導方法を習得する。

授業概要(教育目的)

授業内容を講義と演習の2部構成とし、前半に造形に関わる講義をし、その後内容に沿った演習を行う。
幼児期を特別な時期と捉え、子どもが創造力を十分に発揮し誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義内の確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

槙 英子著、『保育をひらく造形表現』、萌文書林
佐善 圭編、『造形のじかん』、愛智出版

講義時使用テキスト

『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵 著、開成出版

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状 必修科目
保育士資格 必修科目

学生へのメッセージ

実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
課題制作に十分時間を取るようにし、
日々の生活の中から造形表現に関わる内容を常に考え発見できるようになること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス／幼児造形表現の発達について／表現の個人差についての造形表現	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	子どもの発達に即した造形表現について／発達に関わる身体性からの造形制作①(0、1歳児～2歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	子どもの表現の特性／発達に関わる身体性からの造形制作②(3歳児～4歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	発達に即した援助と活動内容について／発達に関わる身体性からの造形制作③(5歳児～6歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	造形表現の指導について／造形表現指導3形体に沿った制作①(T型造形制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	造形表現における指導計画の作成について／造形表現指導3形体に沿った制作②(G、OG型造形制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	表現の動機と意欲について／身体表現複合造形制作	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	表現の個人差と読み取りについて／絵画表現と造形表現の制作物に関する読みとり	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	感性・イメージを豊かにする表現について／絵画表現と造形表現の制作	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	遊びを豊かにする造形表現／壁面制作①(経過的壁面制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	環境を豊かにする造形表現／ 壁面制作②(造形作品を用いた壁面制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	行事を豊かにする造形表現／身体に身につける造形制作(えんぶり帽子)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	作ることから考える造形表現／諸材料造形制作(ミクストメディア)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	創造的な生活から考える造形表現1(体験から産まれる表現)／廃材を用いた造形表現①(牛乳パック、トレイ)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	創造的な生活から考える造形表現2(経験から産まれる表現)／廃材を用いた造形表現②(缶、ペットボトル)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9013012600	保育内容「音楽表現」の指導法 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

1. 音楽要素を通し、楽譜・音符・リズムを理解し、表現できる。
2. 音や音楽を聴く能力と共に、脳・身体を使った自由表現活動を実践できる。
3. 子どもの遊びを出発点とする創造的な音楽指導力と即興性を最大限に生かし表現できる。
4. 身体動作を通して音楽の模倣表現と集中力を教育的、心理学的(クラバレード理論)に表現できる。

授業概要(教育目的)

音楽的感覚と身体的感覚の要素となるリズム感覚を、時間、空間、エネルギーの変化と融合させながら鍛え、保育の現場で実践的に活用できる豊かな表現を身につける。
音楽的刺激に対し身体全体でリズム感覚を即時反応させ、それらを鋭敏に訓練する。
音楽的要素を身体感覚で活用し内的・外的表現を膨らませ、総合表現であるオペレッタに繋げていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度、オペレッタ発表、提出物にて総合評価する。

課題に対するフィードバック

指導案は採点の上、返却する。
オペレッタ、手遊びの発表のアンケート結果を開示する。

参考文献

保育者のための手遊び歌あそび60　音楽之友社
ダルクローズ・システムによる リトミック指導2[4才児用]　全音楽譜出版社

講義時使用テキスト

資格との関連

幼稚園教諭2種免許状、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

学生間の連携を図った活動を展開する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	授業内容説明 手遊びとオペレッタ発表までのスケジュール	実習で行った手遊びを準備する	手遊びのレパートリーを広げる
2	音楽表現における感覚的身体表現(美しさ、優しさ、楽しさ、感動、etc.)	感覚的身体表現(美しさ、優しさ、楽しさ)の表現を考えてくる	美しさ、優しさ、楽しさの表現の工夫
3	音楽記号、標語にある情緒的身体表現活動(喜び、悲しみ、憧れ、怒り,etc.)	情緒的身体表現活動(喜び、悲しみ、憧れ、怒り)の表現を考えてくる	情緒的身体表現活動(喜び、悲しみ、憧れ、怒り)の表現の工夫
4	表現リズムに見る感覚表現(脱力表現、内的リズム表現)	脱力表現、内的リズム表現を考えてくる	脱力表現、内的リズム表現の工夫
5	手遊び、指遊び創作活動(わらべ歌)①	手遊び発表の準備	手遊び発表の準備
6	手遊び、指遊び表現(絵描き歌、わらべ歌)②	手遊び発表の準備	手遊び発表の準備
7	手遊び、指遊び創作準備(指導案課題)	手遊び発表の準備	手遊び発表の準備
8	手遊びグループ発表 指導案課題提出	指導案と手遊び集の清書	オペレッタについて調べる
9	ミニオペレッタ作業開始 過年度のオペレッタ表現発表の映像視聴	手遊び・演目選考	照明・音響・美術など、必要なスタッフ活動について調べる
10	総合表現に向けたグループ活動① ・演題決め ・台本作成	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。
11	総合表現に向けたグループ活動② ・役割分担決め ・台本作成	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。
12	総合表現に向けたグループ活動③ ・キャスト決定 ・台本読み合わせ	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。
13	総合表現に向けたグループ活動④ ・台本読み合わせ ・公演までのスケジュール決め	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。
14	総合表現に向けたグループ活動⑤ ・衣装決め ・舞台用語の理解	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。
15	総合表現に向けたグループ活動⑥ ・群舞の表現活動 ・舞台装置の掌握	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013005400 健康　Aクラス 【ナンバリング：203021】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	澤井　睦美			

学習目標(到達目標)

健康教育のねらいと内容を理解し、総合的に保育を展開していくための知識と技術を身につけることを到達目標とする。具体の姿として、
①乳幼児期の発育発達について理解し、「健康」領域の計画立案と実践ができる。
②子どもの実態やその背景を理解し、運動遊びの活動の中で適切な言葉掛けや支援ができる。
③保育現場における安全および衛生管理、健康の保持増進のための環境づくりの実施ができる。

授業概要(教育目的)

保育内容領域「健康」のねらいは、「健康なこころとからだを育み、子ども自らが健康で安全な生活を送れるような力を養う」ことにある。したがって、本講義では、子どもの心身の発育発達に関する知識と理解を深め、保育者として子どもの健康な心身の成長を促す保育とはどのようなものかを考え、学ぶ。また、保育現場における安全管理・安全教育の指導と援助についても学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

学習への取組み姿勢および参加・貢献度、課題レポート、試験等から総合的に評価する。
詳細は、初回講義にて伝達する。

課題に対するフィードバック

・レポート提出についてはコメントと評価を付して返却する。
・授業終了時に記入するシャトルカードにより質問等を受けつけ、回答する。
・授業内で受講者間で評価し合ったものについては集計して公表する。
・定期試験については結果を公表しないが、再試験該当者に関しては希望をすれば応じる。

講義時使用テキスト

特に指定しないが、推薦テキストを授業内にて紹介する。
講義では適宜資料を配布する。

・保育所保育指針(厚生労働省)
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、他)
・幼稚園教育要領(文部科学省)
・幼児期運動指針((文部科学省)

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	健康とは？健康の定義・健康観について考える AL…60%(グループディスカッション、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
2	子どものからだの発達について知る・考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
3	子どものこころの発達について知る・考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
4	運動技能の習得と運動指導の在り方について考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
5	運動あそびの実施計画(1)発育発達に合った運動あそびの検討を行う AL…50%(グループディスカッション、調査)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
6	運動あそびの実施計画(2)運動あそび指導案を作成する AL…70%(グループワーク)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
7	運動あそびの実施計画(3)作成した指導案の実施および再検討 AL…70%(グループワーク、実践)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
8	フィールドワーク(1)園児の遠足に同行する AL…100%(グループワーク、実践)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
9	フィールドワーク(2)子どもたちに運動あそびを指導する AL…100%(グループワーク、実践)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
10	フィールドワーク(遠足同行、運動あそびの指導)の省察・発表 AL…70%(グループディスカッション、発表)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	レポート作成(次時に提出)
11	子どもを取りまく健康に関する諸問題について知る・考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
12	現代社会と子どもの基本的生活習慣について様々なデータを読む AL…50%(グループワーク、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
13	保育現場における健康教育の取り組みについて(実践例から学ぶ)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
14	安全管理と安全教育について(1) 保育・幼児教育の現場の事故の実態を知る AL…50%(グループワーク、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
15	安全管理と安全教育について(2) AL…50%(グループワーク、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する

講義名	9013005401 健康　Bクラス 【ナンバリング：203021】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	澤井　睦美			

学習目標(到達目標)

健康教育のねらいと内容を理解し、総合的に保育を展開していくための知識と技術を身につけることを到達目標とする。具体の姿として、
①乳幼児期の発育発達について理解し、「健康」領域の計画立案と実践ができる。
②子どもの実態やその背景を理解し、運動遊びの活動の中で適切な言葉掛けや支援ができる。
③保育現場における安全および衛生管理、健康の保持増進のための環境づくりの実施ができる。

授業概要(教育目的)

保育内容領域「健康」のねらいは、「健康なこころとからだを育み、子ども自らが健康で安全な生活を送れるような力を養う」ことにある。したがって、本講義では、子どもの心身の発育発達に関する知識と理解を深め、保育者として子どもの健康な心身の成長を促す保育とはどのようなものかを考え、学ぶ。また、保育現場における安全管理・安全教育の指導と援助についても学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

学習への取組み姿勢および参加・貢献度、課題レポート、試験等から総合的に評価する。
詳細は、初回講義にて伝達する。

課題に対するフィードバック

・レポート提出についてはコメントと評価を付して返却する。
・授業終了時に記入するシャトルカードにより質問等を受けつけ、回答する。
・授業内で受講者間で評価し合ったものについては集計して公表する。
・定期試験については結果を公表しないが、再試験該当者に関しては希望をすれば応じる。

講義時使用テキスト

特に指定しないが、推薦テキストを授業内にて紹介する。
講義では適宜資料を配布する。

・保育所保育指針(厚生労働省)
・幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、他)
・幼稚園教育要領(文部科学省)
・幼児期運動指針((文部科学省)

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	健康とは？健康の定義・健康観について考える AL…60%(グループディスカッション、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
2	子どものからだの発達について知る・考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
3	子どものこころの発達について知る・考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
4	運動技能の習得と運動指導の在り方について考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
5	運動あそびの実施計画(1)発育発達に合った運動あそびの検討を行う AL…50%(グループディスカッション、調査)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
6	運動あそびの実施計画(2)運動あそび指導案を作成する AL…70%(グループワーク)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
7	運動あそびの実施計画(3)作成した指導案の実施および再検討 AL…70%(グループワーク、実践)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
8	フィールドワーク(1)園児の遠足に同行する AL…100%(グループワーク、実践)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
9	フィールドワーク(2)子どもたちに運動あそびを指導する AL…100%(グループワーク、実践)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
10	フィールドワーク(遠足同行、運動あそびの指導)の省察・発表 AL…70%(グループディスカッション、発表)	必要な資料や教材の準備をし、持参すること	レポート作成(次時に提出)
11	子どもを取りまく健康に関する諸問題について知る・考える	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
12	現代社会と子どもの基本的生活習慣について様々なデータを読む AL…50%(グループワーク、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
13	保育現場における健康教育の取り組みについて(実践例から学ぶ)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
14	安全管理と安全教育について(1) 保育・幼児教育の現場の事故の実態を知る AL…50%(グループワーク、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する
15	安全管理と安全教育について(2) AL…50%(グループワーク、発表)	配布資料を事前に読み込み、語句・用語を調べておくこと。	小テスト、もしくはリアクションペーパーにて理解度を確認する

講義名	9013005500 人間関係　Aクラス 【ナンバリング：203022】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	野口　和也			

学習目標(到達目標)

1.「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における領域「人間関係」のねらいや内容、内容の取扱いについて説明することができる。
2.人間関係の発達や自立心・道徳性の発達など、子どもを深く理解する視点を持ち、保育実践を考察することができる。
3. 指導計画作成にあたって、「人間関係」の内容を生かし、適切に表現することができる。
4. 保護者・保育者など子どもを取り巻く人的環境における関係性について、実際の場面に応用することができる。

授業概要(教育目的)

子どもたちを取り巻く「人間関係」や「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における領域「人間関係」のねらいや内容の理解を深めるとともに、様々なかかわりをとおした子どもの人間関係の発達について、実践のエピソードを取り上げて解説していきます。そして、子どもたちの人とかかわる力の育ちのプロセスやその育ちを支える保育者には、どのような役割、援助が求められるのかについての知識を習得し考えを深めることを目的とします。また、「保育者としての人との関係」における様々な関係性の構築、協働にも目を向けていきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業への意欲・関心、態度(10%)、定期試験(60%)、授業内のグループワークへの取り組み、リアクションペーパー(30%)からにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

皆さんに取り組んでもらうリアクションペーパーは、授業の冒頭でいくつか取り上げ、フィードバックします。 定期試験の結果の開示を希望する学生は、研究室に来てください。

参考文献

幼稚園教諭教育要領解説平成30年3月(文部科学省)・保育所保育指針解説平成30年3月(厚生労働省編)・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(内閣府・文部科学省・厚生労働省)

講義時使用テキスト

特になし(プリントを配布します)

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

「人間関係」という領域は、日常の保育の中に溢れています。保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域について確かな理解を進めるとともに、保育実践活動を意識しながら知識・技術を積み上げていきましょう。また、この授業で取り上げる「人間関係」は広範囲に渡りますので、それは私たち自分自身のことを考える機会になりえるかも知れませんし、私たちが出会えた大切な人々、仲間との関係についても考えを巡らせる時間になれば良いと思っています。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	人間関係と取り巻く環境	シラバスに目を通して、科目全体の学びの内容のイメージを持つ	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
2	領域「人間関係」のねらいと内容及びその取り扱い1	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
3	領域「人間関係」のねらいと内容及びその取り扱い2　保育者としての役割	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
4	人間関係をつむぐこどもの発達1 対人意識、自己概念(理解)の育ち	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
5	人間関係をつむぐこどもの発達2 自立心、協同性の芽生え　自己制御の育ち	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
6	人間関係をつむぐこどもの発達3 規範意識と道徳性の芽生え　ルール、決まり事の意味と意義	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
7	人間関係と子どもの遊び1 遊びの中で育つ乳児の人間関係	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
8	人間関係と子どもの遊び2 遊びの中で育つ幼児の人間関係	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
9	人間関係とこどもの生活 家庭、地域とのかかわりと子どもの発達	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
10	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助1 自己理解と他者理解を支える保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
11	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助2 個と集団の育ちの姿　子どもの心の拠り所である保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
12	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助3 人とのかかわりと子どもの心の揺れ動きを支える保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
13	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助4 子ども同士を結ぶ保育者の遊びの工夫 集団における子ども同士の芽生え、調和を支える保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
14	現代の保育の課題と領域「人間関係」	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
15	指導計画の作成(保育内容「人間関係」と指導計画、援助と留意点の考察)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。

講義名	9013005501 人間関係　Bクラス 【ナンバリング：203022】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	野口　和也			

学習目標(到達目標)

1.「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における領域「人間関係」のねらいや内容、内容の取扱いについて説明することができる。
2.人間関係の発達や自立心・道徳性の発達など、子どもを深く理解する視点を持ち、保育実践を考察することができる。
3. 指導計画作成にあたって、「人間関係」の内容を生かし、適切に表現することができる。
4. 保護者・保育者など子どもを取り巻く人的環境における関係性について、実際の場面に応用することができる。

授業概要(教育目的)

子どもたちを取り巻く「人間関係」や「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における領域「人間関係」のねらいや内容の理解を深めるとともに、様々なかかわりをとおした子どもの人間関係の発達について、実践のエピソードを取り上げて解説していきます。そして、子どもたちの人とかかわる力の育ちのプロセスやその育ちを支える保育者には、どのような役割、援助が求められるのかについての知識を習得し考えを深めることを目的とします。また、「保育者としての人との関係」における様々な関係性の構築、協働にも目を向けていきます。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業への意欲・関心、態度(10%)、定期試験(60%)、授業内のグループワークへの取り組み、リアクションペーパー(30%)からにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

皆さんに取り組んでもらうリアクションペーパーは、授業の冒頭でいくつか取り上げ、フィードバックします。 定期試験の結果の開示を希望する学生は、研究室に来てください。

参考文献

幼稚園教諭教育要領解説平成30年3月(文部科学省)・保育所保育指針解説平成30年3月(厚生労働省編)・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(内閣府・文部科学省・厚生労働省)

講義時使用テキスト

特になし(プリントを配布します)

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

「人間関係」という領域は、日常の保育の中に溢れています。保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の領域について確かな理解を進めるとともに、保育実践活動を意識しながら知識・技術を積み上げていきましょう。また、この授業で取り上げる「人間関係」は広範囲に渡りますので、それは私たち自分自身のことを考える機会になりえるかも知れませんし、私たちが出会えた大切な人々、仲間との関係についても考えを巡らせる時間になれば良いと思っています。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	人間関係と取り巻く環境	シラバスに目を通して、科目全体の学びの内容のイメージを持つ	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
2	領域「人間関係」のねらいと内容及びその取り扱い1	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
3	領域「人間関係」のねらいと内容及びその取り扱い2　保育者としての役割	前回の配布資料とノートを読み直し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
4	人間関係をつむぐこどもの発達1 対人意識、自己概念(理解)の育ち	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
5	人間関係をつむぐこどもの発達2 自立心、協同性の芽生え　自己制御の育ち	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
6	人間関係をつむぐこどもの発達3 規範意識と道徳性の芽生え　ルール、決まり事の意味と意義	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
7	人間関係と子どもの遊び1 遊びの中で育つ乳児の人間関係	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
8	人間関係と子どもの遊び2 遊びの中で育つ幼児の人間関係	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
9	人間関係とこどもの生活 家庭、地域とのかかわりと子どもの発達	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
10	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助1 自己理解と他者理解を支える保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
11	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助2 個と集団の育ちの姿　子どもの心の拠り所である保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
12	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助3 人とのかかわりと子どもの心の揺れ動きを支える保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
13	子どもの人間関係の育ちと保育者の役割と援助4 子ども同士を結ぶ保育者の遊びの工夫 集団における子ども同士の芽生え、調和を支える保育者の工夫	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
14	現代の保育の課題と領域「人間関係」	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。
15	指導計画の作成(保育内容「人間関係」と指導計画、援助と留意点の考察)	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようにする。

講義名	9013005600 環境　Aクラス 【ナンバリング：203023】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	田頭　初美		

学習目標(到達目標)

領域「環境」が幼保連携型認定こども園教育保育要領ならびに幼稚園教育要領や保育指針の中でどのように位置付けられ、保育者としてそれをどのように受け止め、子ども達の育ちを読みとっていくのかという基本的な姿勢を持てるようにする。また「環境の構成」が保育において重要な意味を持っているということを理解するとともに、子どもを取り巻く人的・物的「環境」や自然環境について知識を得ることをねらいとする。

授業概要(教育目的)

学校教育法第22条に記されているように、幼稚園教育の目的は「幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする」ことにある。また、幼保連携型認定こども園教育・保育要領には乳幼児の特性および保護者や地域の実情をふまえ、環境を通して行うものであることを基本とし、家庭や地域での生活を含め、園児の生活全体が豊かなものとなるように努めなくてはならないとされている。
「環境」というキーワードは、就学前の教育・保育において、非常に重要なものであることを認識してほしい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度・試験・レポートの提出などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

資格との関連

幼稚園教諭二種必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

保育者に必要な感性を豊かにする為にも、日常の中で見るもの、聞くもの、触れるものに敏感に対応し、心で感じ取る力を身につけて欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	環境とは	シラバスの内容を確認する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	保育内容「環境」の意義	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	保育内容「環境」と幼児理解	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	好奇心・探究心を育てる指導	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	思考力の芽生えをはぐくむ指導	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	人的環境としての友だち・保育者	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	物的環境としての園具・遊具・素材	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	自然環境としての動植物	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	日常生活のなかでの興味や関心	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	地域・行事とのかかわり	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	「環境」からみた道徳性の芽生えを培う指導	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	乳幼児期の安全環境	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	保育内容「環境」からみた実践的課題	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	保育者の専門性と人間性①	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	保育者の専門性と人間性②	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9013005601 環境　Bクラス 【ナンバリング：203023】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	田頭　初美		

学習目標(到達目標)

領域「環境」が幼保連携型認定こども園教育保育要領ならびに幼稚園教育要領や保育指針の中でどのように位置付けられ、保育者としてそれをどのように受け止め、子ども達の育ちを読みとっていくのかという基本的な姿勢を持てるようにする。また「環境の構成」が保育において重要な意味を持っているということを理解するとともに、子どもを取り巻く人的・物的「環境」や自然環境について知識を得ることをねらいとする。

授業概要(教育目的)

学校教育法第22条に記されているように、幼稚園教育の目的は「幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする」ことにある。また、幼保連携型認定こども園教育・保育要領には乳幼児の特性および保護者や地域の実情をふまえ、環境を通して行うものであることを基本とし、家庭や地域での生活を含め、園児の生活全体が豊かなものとなるように努めなくてはならないとされている。
「環境」というキーワードは、就学前の教育・保育において、非常に重要なものであることを認識してほしい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度・試験・レポートの提出などを総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説

資格との関連

幼稚園教諭二種必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

保育者に必要な感性を豊かにする為にも、日常の中で見るもの、聞くもの、触れるものに敏感に対応し、心で感じ取る力を身につけて欲しい。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	環境とは	シラバスの内容を確認する	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	保育内容「環境」の意義	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	保育内容「環境」と幼児理解	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	好奇心・探究心を育てる指導	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	思考力の芽生えをはぐくむ指導	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	人的環境としての友だち・保育者	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	物的環境としての園具・遊具・素材	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	自然環境としての動植物	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	日常生活のなかでの興味や関心	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	地域・行事とのかかわり	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	「環境」からみた道徳性の芽生えを培う指導	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	乳幼児期の安全環境	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	保育内容「環境」からみた実践的課題	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	保育者の専門性と人間性①	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	保育者の専門性と人間性②	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9013005700 言葉　Aクラス 【ナンバリング：203024】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	三浦　文恵			

学習目標(到達目標)

子どもが言葉を獲得していく過程や発達の道筋をとらえ理解を深める。
・子どもがどのような過程を経て正しい言葉を習得するか説明することができる。
・言葉の音声表現について、実践などを伝えることができる。

授業概要(教育目的)

講義、演習(絵本の読み聞かせ、紙芝居披露)などにより、「言葉」の領域に関する教材の選択や指導方法を具体的に学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

試験、課題レポート、制作物、演習(絵本の読み聞かせ・紙芝居)などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・課題のプリントは次の授業で解説し、模範解答をフィードバックする。
・試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

新訂　保育内容指導法「言葉」(　田上貞一郎、高荒正子)・萌文書林

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

日常生活における会話や情報の「言葉」がどのように使われているかに、普段から注意を向けてほしい。また、保育の現場や実習に直結する演習や制作が多いので、積極的に授業に臨んでほしい。

実務との関連

アナウンサーとしての実務経験や読み聞かせ活動を活かし、保育現場でのコミュニケーション指導歴をもとに話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コミュニケーションとしてのことば	自分が使う言葉に関しての考えをまとめておく。	自分が考える言葉と、社会で実際に使われている言葉との違いについてまとめておく。
2	保育者のことば	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
3	子どものことば	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
4	ことばの発達・指導	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
5	言語と非言語(グループワーク)	自分が使う言葉に関しての考えをまとめておく。	授業の内容を整理する。
6	ことばとメディア	テキストの該当箇所を読む。	授業の内容を整理する。
7	ことばの発声(実技)	自分の呼吸状態と地声を把握しておく。	授業の内容を整理する。
8	ことば遊び(グループワーク)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
9	絵本①絵本の特性・選択・読み聞かせ時の留意点(グループワーク)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
10	絵本②名前絵本の読み聞かせ(実技)	絵本の読み聞かせを練習する。	授業の内容を整理する。
11	パネルシアター・劇遊び・ペープサート・エプロンシアター(グループワーク)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
12	紙芝居①紙芝居の特性・選択・留意点(グループワーク、ディスカッション)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
13	紙芝居②紙芝居の効果的な演じ方(グループワーク、プレゼンテーション)	グループで選んだ紙芝居を練習する。	授業の内容を整理する。
14	グループ毎の演目発表準備(グループワーク、ディスカッション)	グループの発表演目を考えておく。	グループの発表演目の準備をする。
15	グループ発表・評価(グループワーク、プレゼンテーション)	グループの発表演目の準備・練習をする。	授業の内容を整理する。

講義名	9013005701 言葉　Bクラス 【ナンバリング：203024】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	三浦　文恵		

学習目標(到達目標)

子どもが言葉を獲得していく過程や発達の道筋をとらえ理解を深める。
・子どもがどのような過程を経て正しい言葉を習得するか説明することができる。
・言葉の音声表現について、実践などを伝えることができる。

授業概要(教育目的)

講義、演習(絵本の読み聞かせ、紙芝居披露)などにより、「言葉」の領域に関する教材の選択や指導方法を具体的に学習する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

試験、課題レポート、制作物、演習(絵本の読み聞かせ・紙芝居)などで総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

・課題のプリントは次の授業で解説し、模範解答をフィードバックする。
・試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

新訂　保育内容指導法「言葉」(　田上貞一郎、高荒正子)・萌文書林

資格との関連

幼稚園教諭二種免許必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

日常生活における会話や情報の「言葉」がどのように使われているかに、普段から注意を向けてほしい。また、保育の現場や実習に直結する演習や制作が多いので、積極的に授業に臨んでほしい。

実務との関連

アナウンサーとしての実務経験や読み聞かせ活動を活かし、保育現場でのコミュニケーション指導歴をもとに話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コミュニケーションとしてのことば	自分が使う言葉に関しての考えをまとめておく。	自分が考える言葉と、社会で実際に使われている言葉との違いについてまとめておく。
2	保育者のことば	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
3	子どものことば	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
4	ことばの発達・指導	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
5	言語と非言語(グループワーク)	自分が使う言葉に関しての考えをまとめておく。	授業の内容を整理する。
6	ことばとメディア	テキストの該当箇所を読む。	授業の内容を整理する。
7	ことばの発声(実技)	自分の呼吸状態と地声を把握しておく。	授業の内容を整理する。
8	ことば遊び(グループワーク)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
9	絵本①絵本の特性・選択・読み聞かせ時の留意点(グループワーク)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
10	絵本②名前絵本の読み聞かせ(実技)	絵本の読み聞かせを練習する。	授業の内容を整理する。
11	パネルシアター・劇遊び・ペープサート・エプロンシアター(グループワーク)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
12	紙芝居①紙芝居の特性・選択・留意点(グループワーク、ディスカッション)	テキストの該当箇所を読む。	テキストの該当箇所を読み返し 授業の内容を整理する。
13	紙芝居②紙芝居の効果的な演じ方(グループワーク、プレゼンテーション)	グループで選んだ紙芝居を練習する。	授業の内容を整理する。
14	グループ毎の演目発表準備(グループワーク、ディスカッション)	グループの発表演目を考えておく。	グループの発表演目の準備をする。
15	グループ発表・評価(グループワーク、プレゼンテーション)	グループの発表演目の準備・練習をする。	授業の内容を整理する。

講義名	9013005800 表現Ⅰ　A1クラス 【ナンバリング：203025】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

制作を通して感性を磨き、造形表現の専門性を理解し知識と技術を活かした指導をする事ができる。
①幼児期の子どもの表現について年齢ごとの発達段階を理解し、発達に応じた表現の方法を習得する。
②子どもが、興味関心を持ち創造力を発揮できる題材とその活動に使用する素材について学ぶ。
③自分で立案した活動を実施し、指導方法を習得する。

授業概要(教育目的)

授業内容を講義と演習の2部構成とし、前半に造形に関わる講義をし、その後内容に沿った演習を行う。
幼児期を特別な時期と捉え、子どもが創造力を十分に発揮し誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義内の確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

槙　英子著、『保育をひらく造形表現』、萌文書林
佐善　圭編、『造形のじかん』、愛智出版

講義時使用テキスト

『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状　必修科目
保育士資格　必修科目

学生へのメッセージ

　実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
課題制作に十分時間を取るようにし、
日々の生活の中から造形表現に関わる内容を常に考え発見できるようになること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス／幼児造形表現の発達について／表現の個人差についての造形表現	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	子どもの発達に即した造形表現について／発達に関わる身体性からの造形制作①(0、1歳児～2歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	子どもの表現の特性／発達に関わる身体性からの造形制作②(3歳児～4歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	発達に即した援助と活動内容について／発達に関わる身体性からの造形制作③(5歳児～6歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	造形表現の指導について／造形表現指導3形体に沿った制作①(T型造形制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	造形表現における指導計画の作成について／造形表現指導3形体に沿った制作②(G、OG型造形制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	表現の動機と意欲について／身体表現複合造形制作	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	表現の個人差と読み取りについて／絵画表現と造形表現の制作物に関する読みとり	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	感性・イメージを豊かにする表現について／絵画表現と造形表現の制作	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	遊びを豊かにする造形表現／壁面制作①(経過的壁面制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	環境を豊かにする造形表現／　壁面制作②(造形作品を用いた壁面制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	行事を豊かにする造形表現／身体に身につける造形制作(えんぶり帽子)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	作ることから考える造形表現／諸材料造形制作(ミクストメディア)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	創造的な生活から考える造形表現1(体験から産まれる表現)／　廃材を用いた造形表現①(牛乳パック、トレイ)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	創造的な生活から考える造形表現2(経験から産まれる表現)／　廃材を用いた造形表現②(缶、ペットボトル)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9013005801 表現Ⅰ　A2クラス 【ナンバリング：203025】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

制作を通して感性を磨き、造形表現の専門性を理解し知識と技術を活かした指導をする事ができる。
①幼児期の子どもの表現について年齢ごとの発達段階を理解し、発達に応じた表現の方法を習得する。
②子どもが、興味関心を持ち創造力を発揮できる題材とその活動に使用する素材について学ぶ。
③自分で立案した活動を実施し、指導方法を習得する。

授業概要(教育目的)

授業内容を講義と演習の2部構成とし、前半に造形に関わる講義をし、その後内容に沿った演習を行う。
幼児期を特別な時期と捉え、子どもが創造力を十分に発揮し誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義内の確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

槙 英子著、『保育をひらく造形表現』、萌文書林
佐善 圭編、『造形のじかん』、愛智出版

講義時使用テキスト

『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状　必修科目
保育士資格　必修科目

学生へのメッセージ

　実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
課題制作に十分時間を取るようにし、
日々の生活の中から造形表現に関わる内容を常に考え発見できるようになること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス／幼児造形表現の発達について／表現の個人差についての造形表現	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	子どもの発達に即した造形表現について／発達に関わる身体性からの造形制作①(0、1歳児～2歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	子どもの表現の特性／発達に関わる身体性からの造形制作②(3歳児～4歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	発達に即した援助と活動内容について／発達に関わる身体性からの造形制作③(5歳児～6歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	造形表現の指導について／造形表現指導3形体に沿った制作①(T型造形制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	造形表現における指導計画の作成について／造形表現指導3形体に沿った制作②(G、OG型造形制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	表現の動機と意欲について／身体表現複合造形制作	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	表現の個人差と読み取りについて／絵画表現と造形表現の制作物に関する読みとり	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	感性・イメージを豊かにする表現について／絵画表現と造形表現の制作	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	遊びを豊かにする造形表現／壁面制作①(経過的壁面制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	環境を豊かにする造形表現／　壁面制作②(造形作品を用いた壁面制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	行事を豊かにする造形表現／身体に身につける造形制作(えんぶり帽子)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	作ることから考える造形表現／諸材料造形制作(ミクストメディア)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	創造的な生活から考える造形表現1(体験から産まれる表現)／　廃材を用いた造形表現①(牛乳パック、トレイ)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	創造的な生活から考える造形表現2(経験から産まれる表現)／　廃材を用いた造形表現②(缶、ペットボトル)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9013005802 表現Ⅰ　B1クラス 【ナンバリング：203025】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

制作を通して感性を磨き、造形表現の専門性を理解し知識と技術を活かした指導をする事ができる。
①幼児期の子どもの表現について年齢ごとの発達段階を理解し、発達に応じた表現の方法を習得する。
②子どもが、興味関心を持ち創造力を発揮できる題材とその活動に使用する素材について学ぶ。
③自分で立案した活動を実施し、指導方法を習得する。

授業概要(教育目的)

授業内容を講義と演習の2部構成とし、前半に造形に関わる講義をし、その後内容に沿った演習を行う。
幼児期を特別な時期と捉え、子どもが創造力を十分に発揮し誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義内の確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

槙 英子著、『保育をひらく造形表現』、萌文書林
佐善 圭編、『造形のじかん』、愛智出版

講義時使用テキスト

『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状　必修科目
保育士資格　必修科目

学生へのメッセージ

　実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
課題制作に十分時間を取るようにし、
日々の生活の中から造形表現に関わる内容を常に考え発見できるようになること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス／幼児造形表現の発達について／表現の個人差についての造形表現	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	子どもの発達に即した造形表現について／発達に関わる身体性からの造形制作①(0、1歳児～2歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	子どもの表現の特性／発達に関わる身体性からの造形制作②(3歳児～4歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	発達に即した援助と活動内容について／発達に関わる身体性からの造形制作③(5歳児～6歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	造形表現の指導について／造形表現指導3形体に沿った制作①(T型造形制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	造形表現における指導計画の作成について／造形表現指導3形体に沿った制作②(G、OG型造形制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	表現の動機と意欲について／身体表現複合造形制作	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	表現の個人差と読み取りについて／絵画表現と造形表現の制作物に関する読みとり	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	感性・イメージを豊かにする表現について／絵画表現と造形表現の制作	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	遊びを豊かにする造形表現／壁面制作①(経過的壁面制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	環境を豊かにする造形表現／　壁面制作②(造形作品を用いた壁面制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	行事を豊かにする造形表現／身体に身につける造形制作(えんぶり帽子)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	作ることから考える造形表現／諸材料造形制作(ミクストメディア)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	創造的な生活から考える造形表現1(体験から産まれる表現)／　廃材を用いた造形表現①(牛乳パック、トレイ)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	創造的な生活から考える造形表現2(経験から産まれる表現)／　廃材を用いた造形表現②(缶、ペットボトル)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9013005803 表現Ⅰ　B2クラス 【ナンバリング：203025】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

制作を通して感性を磨き、造形表現の専門性を理解し知識と技術を活かした指導をする事ができる。
①幼児期の子どもの表現について年齢ごとの発達段階を理解し、発達に応じた表現の方法を習得する。
②子どもが、興味関心を持ち創造力を発揮できる題材とその活動に使用する素材について学ぶ。
③自分で立案した活動を実施し、指導方法を習得する。

授業概要(教育目的)

授業内容を講義と演習の2部構成とし、前半に造形に関わる講義をし、その後内容に沿った演習を行う。
幼児期を特別な時期と捉え、子どもが創造力を十分に発揮し誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

講義内の確認テスト(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

作品は一定期間保管し、代表的な作品に対する評価を口頭で説明し、各学生へ返却する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

槙 英子著、『保育をひらく造形表現』、萌文書林
佐善 圭編、『造形のじかん』、愛智出版

講義時使用テキスト

『子どもの造形表現―ワークシートで学ぶ―第2版』北沢昌代／畠山智宏／中村光絵　著、開成出版

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状　必修科目
保育士資格　必修科目

学生へのメッセージ

　実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
課題制作に十分時間を取るようにし、
日々の生活の中から造形表現に関わる内容を常に考え発見できるようになること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス／幼児造形表現の発達について／表現の個人差についての造形表現	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	子どもの発達に即した造形表現について／発達に関わる身体性からの造形制作①(0、1歳児～2歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	子どもの表現の特性／発達に関わる身体性からの造形制作②(3歳児～4歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	発達に即した援助と活動内容について／発達に関わる身体性からの造形制作③(5歳児～6歳児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	造形表現の指導について／造形表現指導3形体に沿った制作①(T型造形制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	造形表現における指導計画の作成について／造形表現指導3形体に沿った制作②(G、OG型造形制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	表現の動機と意欲について／身体表現複合造形制作	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	表現の個人差と読み取りについて／絵画表現と造形表現の制作物に関する読みとり	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	感性・イメージを豊かにする表現について／絵画表現と造形表現の制作	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	遊びを豊かにする造形表現／壁面制作①(経過的壁面制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	環境を豊かにする造形表現／　壁面制作②(造形作品を用いた壁面制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	行事を豊かにする造形表現／身体に身につける造形制作(えんぶり帽子)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	作ることから考える造形表現／諸材料造形制作(ミクストメディア)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	創造的な生活から考える造形表現1(体験から産まれる表現)／　廃材を用いた造形表現①(牛乳パック、トレイ)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	創造的な生活から考える造形表現2(経験から産まれる表現)／　廃材を用いた造形表現②(缶、ペットボトル)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9013005900	表現Ⅱ　Aクラス 【ナンバリング：203026】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. 音楽要素を通し、楽譜・音符・リズムを理解し、表現できる。
2. 音や音楽を聴く能力と共に、脳・身体を使った自由表現活動を実践できる。
3. 子どもの遊びを出発点とする創造的な音楽指導力と即興性を最大限に生かし表現できる。
4. 身体動作を通して音楽の模倣表現と集中力を教育的、心理学的(クラバレード理論)に表現できる。

授業概要(教育目的)

音楽的感覚と身体的感覚の要素となるリズム感覚を、時間、空間、エネルギーの変化と融合させながら鍛え、保育の現場で実践的に活用できる豊かな表現を身につける。
音楽的刺激に対し身体全体でリズム感覚を即時反応させ、それらを鋭敏に訓練する。
音楽的要素を身体感覚で活用し内的・外的表現を膨らませ、総合表現であるオペレッタに繋げていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度、オペレッタ発表、提出物にて総合評価する。

課題に対するフィードバック

指導案は採点の上、返却する。
オペレッタ、手遊びの発表のアンケート結果を開示する。

参考文献

保育者のための手遊び歌あそび60　音楽之友社
ダルクローズ・システムによる リトミック指導2[4才児用]　全音楽譜出版社

講義時使用テキスト

資格との関連

幼稚園教諭2種免許状、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

学生間の連携を図った活動を展開する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	授業内容説明 手遊びとオペレッタ発表までのスケジュール	実習で行った手遊びを準備する	手遊びのレパートリーを広げる
2	音楽表現における感覚的身体表現(美しさ、優しさ、楽しさ、感動、etc.)	感覚的身体表現(美しさ、優しさ、楽しさ)の表現を考えてくる	美しさ、優しさ、楽しさの表現の工夫
3	音楽記号、標語にある情緒的身体表現活動(喜び、悲しみ、憧れ、怒り,etc.)	情緒的身体表現活動(喜び、悲しみ、憧れ、怒り)の表現を考えてくる	情緒的身体表現活動(喜び、悲しみ、憧れ、怒り)の表現の工夫
4	表現リズムに見る感覚表現(脱力表現、内的リズム表現)	脱力表現、内的リズム表現を考えてくる	脱力表現、内的リズム表現の工夫
5	手遊び、指遊び創作活動(わらべ歌)①	手遊び発表の準備	手遊び発表の準備
6	手遊び、指遊び表現(絵描き歌、わらべ歌)②	手遊び発表の準備	手遊び発表の準備
7	手遊び、指遊び創作準備(指導案課題)	手遊び発表の準備	手遊び発表の準備
8	手遊びグループ発表 指導案課題提出	指導案と手遊び集の清書	オペレッタについて調べる
9	ミニオペレッタ作業開始 過年度のオペレッタ表現発表の映像視聴	手遊び・演目選考	照明・音響・美術など、必要なスタッフ活動について調べる
10	総合表現に向けたグループ活動① ・演題決め ・台本作成	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。
11	総合表現に向けたグループ活動② ・役割分担決め ・台本作成	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。
12	総合表現に向けたグループ活動③ ・キャスト決定 ・台本読み合わせ	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。
13	総合表現に向けたグループ活動④ ・台本読み合わせ ・公演までのスケジュール決め	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。
14	総合表現に向けたグループ活動⑤ ・衣装決め ・舞台用語の理解	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。
15	総合表現に向けたグループ活動⑥ ・群舞の表現活動 ・舞台装置の掌握	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の考察及び次回の取り組みを記入する。

講義名	9013005901	表現Ⅱ　Bクラス 【ナンバリング：203026】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. 音楽要素を通し、楽譜・音符・リズムを理解し、表現できる。
2. 音や音楽を聴く能力と共に、脳・身体を使った自由表現活動を実践できる。
3. 子どもの遊びを出発点とする創造的な音楽指導力と即興性を最大限に生かし表現できる。
4. 身体動作を通して音楽の模倣表現と集中力を教育的、心理学的(クラバレード理論)に表現できる。

授業概要(教育目的)

音楽的感覚と身体的感覚の要素となるリズム感覚を、時間、空間、エネルギーの変化と融合させながら鍛え、保育の現場で実践的に活用できる豊かな表現を身につける。
音楽的刺激に対し身体全体でリズム感覚を即時反応させ、それらを鋭敏に訓練する。
音楽的要素を身体感覚で活用し内的・外的表現を膨らませ、総合表現であるオペレッタに繋げていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度、オペレッタ発表、提出物にて総合評価する。

課題に対するフィードバック

指導案は採点の上、返却する。
オペレッタ、手遊びの発表のアンケート結果を開示する。

参考文献

保育者のための手遊び歌あそび60　音楽之友社
ダルクローズ・システムによる リトミック指導2[4才児用]　全音楽譜出版社

講義時使用テキスト

資格との関連

幼稚園教諭2種免許状、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

学生間の連携を図った活動を展開する。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	授業内容説明 手遊びとオペレッタ発表までのスケジュール	実習で行った手遊びを準備する	手遊びのレパートリーを広げる
2	音楽表現における感覚的身体表現(美しさ、優しさ、楽しさ、感動、etc.)	感覚的身体表現(美しさ、優しさ、楽しさ)の表現を考えてくる	美しさ、優しさ、楽しさの表現の工夫
3	音楽記号、標語にある情緒的身体表現活動(喜び、悲しみ、憧れ、怒り,etc.)	情緒的身体表現活動(喜び、悲しみ、憧れ、怒り)の表現を考えてくる	情緒的身体表現活動(喜び、悲しみ、憧れ、怒り)の表現の工夫
4	表現リズムに見る感覚表現(脱力表現、内的リズム表現)	脱力表現、内的リズム表現を考えてくる	脱力表現、内的リズム表現の工夫
5	手遊び、指遊び創作活動(わらべ歌)①	インターネット等で資料収集する	手遊び発表の準備
6	手遊び、指遊び表現(絵描き歌、わらべ歌)②	インターネット等で資料収集する	手遊び発表の準備
7	手遊び、指遊び創作準備(指導案課題)	手遊び発表の準備	手遊び発表の準備
8	手遊びグループ発表 指導案課題提出	指導案と手遊び集の清書	オペレッタについて調べる
9	ミニオペレッタの制作開始 過年度のオペレッタ表現発表の映像視聴	手遊び・演目選考	照明・音響・美術など、必要なスタッフ活動について調べる
10	総合表現に向けたグループ活動① ・演題決め ・台本作成	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の活動の考察及び次回の取り組みを記入する。
11	総合表現に向けたグループ活動② ・役割分担決め ・台本作成	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の活動の考察及び次回の取り組みを記入する。
12	総合表現に向けたグループ活動③ ・キャスト決定 ・台本読み合わせ	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の活動の考察及び次回の取り組みを記入する。
13	総合表現に向けたグループ活動④ ・台本読み合わせ ・公演までのスケジュール決め	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の活動の考察及び次回の取り組みを記入する。
14	総合表現に向けたグループ活動⑤ ・衣装決め ・舞台用語の理解	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の活動の考察及び次回の取り組みを記入する。
15	総合表現に向けたグループ活動⑥ ・群舞の表現活動 ・舞台装置の掌握	インターネット等で資料収集する	進度票に本時の活動の考察及び次回の取り組みを記入する。

講義名	9013010100 乳児保育Ⅰ 【ナンバリング：202063】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		加藤　康子		

学習目標(到達目標)

1. 乳児保育の意義・目的と歴史的変遷および役割などについて理解することができる。
2. 保育所、乳児院など多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解することができる。
3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解することができる。
4. 乳児保育における職員間の連携・協働および保護者や地域の関係機関との連携について理解することができる。

授業概要(教育目的)

乳児保育の現状と課題についての理解を深め、保育現場における乳児やその保護者を取り巻く地域環境と連携する必要性や、3歳未満児の発育を促進する保育の役割について理解することができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

筆記試験、課題レポートなどにより評価する。

課題に対するフィードバック

課題レポート、小テスト、毎時間提出された振り返りシートにコメントを記入し、返却する。

参考文献

保育所保育指針解説　平成30年3月　厚生労働省/編　フレーベル館

講義時使用テキスト

松本峰雄監修、池田りな/才郷眞弓/土屋　由/堀　科/著　乳児保育演習ブック[第2版]ミネルヴァ書房

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 乳児保育とは何か	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
2	2. 乳児保育の理念と概念	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
3	3. 乳児保育の歴史	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
4	4. 乳児保育の基礎知識1	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
5	5. 乳児保育の基礎知識2	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
6	6. 保育所の基礎知識3	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
7	7. 保育所・認定こども園における乳児保育1	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
8	8. 保育所・認定こども園における乳児保育2	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
9	9. 乳児院における乳児保育	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
10	10. 家庭的保育等における乳児保育	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
11	11. 乳児保育が行われるそのほかの保育	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
12	12. 子育て支援における乳児保育	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
13	13. 保護者とのパートナーシップ1	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
14	14. 保護者とのパートナーシップ2	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す
15	15. 職員間・地域の関係期間との連携 乳児保育の現状と課題	テキストの該当箇所を読む	授業内容を整理し、配布資料とテキストを読み返す

講義名	9013010200 乳児保育Ⅱ　Aクラス 【ナンバリング：202027】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	加藤　康子			

学習目標(到達目標)

1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解することができる。
2. 養護および教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的な方法を述べることができる。
3. 乳児保育における配慮の実際について、具体的な保育について述べることができる。
4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成の仕方を理解することができる。

授業概要(教育目的)

3歳児未満児の発育・発達の特性を踏まえて、生活と遊び、心と身体の育ちの相互関係を考えて、保育の関わり方の基本を学ぶことを目的とする。発達と学びの連続性のために3歳未満児の生活や遊び、環境、保育について実践できるように学んでいく。また、乳児保育の全体的な計画や指導計画について考えることができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

筆記試験、課題レポートなどにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

提出された課題レポート、小テスト、毎時間提出された振り返りシートにコメントを記入し、返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

松本峰雄監修、池田りな・才郷眞弓・土屋由・堀科　著　乳児保育演習ブック[第2班]ミネルヴァ書房

資格との関連

学生へのメッセージ

講義中は私語をせず、質問に対しては積極的に発言しましょう。また、グループワークは積極的に参加し、きちんと自分を意見を述べ、他人の意見にも耳を傾け、円滑なディスカッションできるように努力しましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	学習内容のオリエンテーション 3歳未満時の発達を踏まえた関わり	前期の乳児保育Ⅰのテキスト、配布資料など読み返し、復習する。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
2	6か月未満の子どもの育ちと保育内容1	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
3	6か月未満の子どもの育ちと保育内容2	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
4	6か月以上1歳未満の子供の育ちと保育内容1	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
5	6か月以上1歳未満の子供の育ちと保育内容2	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
6	1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容1	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
7	1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容2	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
8	2歳～3歳の子どもの育ちと保育内容1	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
9	2歳～3歳の子どもの育ちと保育内容2	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配付資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
10	乳児保育における指導計画	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配付資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
11	観察・記録及び自己評価	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配付資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
12	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境1	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配付資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
13	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境2	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配付資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
14	集団での生活における配慮	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる
15	環境の変化や移行に対する配慮	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。

講義名	9013010201 乳児保育Ⅱ　Bクラス 【ナンバリング：202027】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	加藤　康子			

学習目標(到達目標)

1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解することができる。
2. 養護および教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について、具体的な方法を述べることができる。
3. 乳児保育における配慮の実際について、具体的な保育について述べることができる。
4. 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成の仕方を理解することができる。

授業概要(教育目的)

3歳児未満児の発育・発達の特性を踏まえて、生活と遊び、心と身体の育ちの相互関係を考えて、保育の関わり方の基本を学ぶことを目的とする。発達と学びの連続性のために3歳未満児の生活や遊び、環境、保育について実践できるように学んでいく。また、乳児保育の全体的な計画や指導計画について考えることができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

筆記試験、課題レポートなどにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

提出された課題レポート、小テスト、毎時間提出された振り返りシートにコメントを記入し、返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

松本峰雄監修、池田りな・才郷眞弓・土屋由・堀科　著　乳児保育演習ブック[第2班]ミネルヴァ書房

資格との関連

学生へのメッセージ

講義中は私語をせず、質問に対しては積極的に発言しましょう。また、グループワークは積極的に参加し、きちんと自分を意見を述べ、他人の意見にも耳を傾け、円滑なディスカッションできるように努力しましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	学習内容のオリエンテーション 3歳未満時の発達を踏まえた関わり	前期の乳児保育Ⅰのテキスト、配布資料など読み返し、復習する。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
2	6か月未満の子どもの育ちと保育内容1	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
3	6か月未満の子どもの育ちと保育内容2	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
4	6か月以上1歳未満の子供の育ちと保育内容1	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
5	6か月以上1歳未満の子供の育ちと保育内容2	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
6	1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容1	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
7	1歳以上2歳未満の子どもの育ちと保育内容2	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
8	2歳～3歳の子どもの育ちと保育内容1	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
9	2歳～3歳の子どもの育ちと保育内容2	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配付資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
10	乳児保育における指導計画	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配付資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
11	観察・記録及び自己評価	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配付資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
12	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境1	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配付資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
13	子どもの生活と遊びが豊かになる保育環境2	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配付資料をみて振り返り、ノートにまとめる。
14	集団での生活における配慮	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる
15	環境の変化や移行に対する配慮	本時のテーマの部分のテキストや参考資料を読む。	講義内容をテキストや配布資料をみて振り返り、ノートにまとめる。

講義名	9013012700 特別支援の理解　Aクラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	天摩　雅和			

学習目標(到達目標)

本科目では、障害のとらえ方、各障害の特性、障害児への支援方法について理解する。そして、保護者や家族への支援方法や家族や関係機関との連携・協働のあり方について理解する。

・障害の特性と障害児への支援方法について説明できる。
・保護者や家族への支援方法について説明できる。。
・家庭や関係機関との連携・協働の重要性について説明できる。

授業概要(教育目的)

障害児保育の理念、障害の特性、障害児や家族への支援方法について概説する。また、家庭や関係機関との連携・協働のあり方と障害児保育の現状と課題について講じる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

1.障害児保育(萌文書林)

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

障害について理解していきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	障害とは	シラバスを読む	授業内容のポイントを整理する
2	障害児保育の基本	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
3	障害の理解と支援 (肢体不自由児、視覚障害・聴覚障害児)	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
4	障害の理解と支援(知的障害児)	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
5	障害の理解と支援(発達障害児)	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
6	障害児保育を支える記録	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
7	発達を促す生活と遊びの環境	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
8	子ども同士の関わりと育ち合い	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
9	職員間の協働	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
10	保護者や家族に対する理解と支援方法	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
11	地域の専門機関との連携	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
12	小学校などとの連携	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
13	保健・医療における現状と課題	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
14	福祉・教育における現状と課題	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
15	支援の広がりとつながり	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する

講義名	9013012701 特別支援の理解　Bクラス						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	天摩　雅和		

学習目標(到達目標)

本科目では、障害のとらえ方、各障害の特性、障害児への支援方法について理解する。そして、保護者や家族への支援方法や家族や関係機関との連携・協働のあり方について理解する。

・障害の特性と障害児への支援方法について説明できる。
・保護者や家族への支援方法について説明できる。。
・家庭や関係機関との連携・協働の重要性について説明できる。

授業概要(教育目的)

障害児保育の理念、障害の特性、障害児や家族への支援方法について概説する。また、家庭や関係機関との連携・協働のあり方と障害児保育の現状と課題について講じる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

1.障害児保育(萌文書林)

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

障害について理解していきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	障害とは	シラバスを読む	授業内容のポイントを整理する
2	障害児保育の基本	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
3	障害の理解と支援 (肢体不自由児、視覚障害・聴覚障害児)	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
4	障害の理解と支援(知的障害児)	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
5	障害の理解と支援(発達障害児)	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
6	障害児保育を支える記録	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
7	発達を促す生活と遊びの環境	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
8	子ども同士の関わりと育ち合い	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
9	職員間の協働	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
10	保護者や家族に対する理解と支援方法	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
11	地域の専門機関との連携	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
12	小学校などとの連携	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
13	保健・医療における現状と課題	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
14	福祉・教育における現状と課題	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
15	支援の広がりとつながり	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する

講義名	9013010400	特別支援の理解Ⅱ 【ナンバリング：200029】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	前田　淳裕			

学習目標(到達目標)

1.発達障害の基本的理解を深める。
2.発達と母子相互作用の関係について知る。
3.発達支援の視点と支援方法について学ぶ。
4.行動支援と記録について学ぶ。
5.保護者支援のあり方と専門機関の役割・連携について知る。

授業概要(教育目的)

障害児保育Ⅰで学んだ知識を基に、現在保育の現場で重要となっている発達障害についてさらに深く学習し、保護者への支援や専門機関との連携についても具体的に学んでいく。発達障害を有する子どもにとっても、そうでない子どもにとっても有益な保育の技術を身につけ、両者が一緒に成長できる環境を創造する力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

演習を含めた課題提出状況、受講態度など総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

毎時間、講義内容の重要課題と重要用語については問題形式にして配布し、各自、講義中に記述する。また、学習目標に沿った演習課題を作成した上で、効果測定を行いながら、正答率の低い箇所は、次の講義内容に反映させながら全体的な理解の底上げを図る。

参考文献

講義時使用テキスト

「障害児ほいくワークブック」星山麻木編　(株)萌文書林(2012年10月発行)

資格との関連

学生へのメッセージ

講義及び演習形式で授業を進める。
保育・療育現場で実例に基づいた内容となっているため、テキスト以外にも自分で文献を調べるなど、自主的に学ぶ姿勢が求められる。

実務との関連

3歳児健診での発達相談員及び心理判定員。保育所等訪問支援員並びに児童発達支援事業所での管理者として勤務。
実例をもとに保育現場での「気になる子どもたち」の見立てと対応について実例から話をする。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	障害の概念と合理的配慮	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
2	障がい特性について(自閉症スペクトラム)①	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 配布資料とノートを読み直す
3	障がい特性について(自閉症スペクトラム)②	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 配布資料とノートを読み直す
4	障がい特性について(AD/HD)	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 配布資料とノートを読み直す
5	演習.Ⅰ	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
6	演習.Ⅱ	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
7	発達段階と発達の順序性	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	愛着形成と基本的信頼感	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
9	発達支援と保育現場での環境調整による支援①	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
10	発達支援と保育現場での環境調整による支援②	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	演習.Ⅲ	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
12	行動支援の基本的理解	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	自尊感情と行動支援	テキストの該当箇所を読む 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
14	行動記録と分析	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直す
15	障害受容と保護者支援	テキストの該当箇所を読む	テキストの該当箇所を読む 配布資料とノートを読み直す

講義名	9013012800	発達障害の理解と支援 ※2023年度開講せず					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)				

学習目標(到達目標)

1.発達障害の基本的理解を深める。
2.発達と母子相互作用の関係について知る。
3.発達支援の視点と支援方法について学ぶ。
4.行動支援と記録について学ぶ。
5.保護者支援のあり方と専門機関の役割・連携について知る。

授業概要(教育目的)

障害児保育Ⅰで学んだ知識を基に、現在保育の現場で重要となっている発達障害についてさらに深く学習し、保護者への支援や専門機関との連携についても具体的に学んでいく。発達障害を有する子どもにとっても、そうでない子どもにとっても有益な保育の技術を身につけ、両者が一緒に成長できる環境を創造する力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子ども一人ひとりの育ちの多面的な理解から、心身の発達を引き出す豊かな保育環境・計画を創り上げることができる。

評価方法

演習を含めた課題提出状況、受講態度など総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

毎時間、講義内容の重要課題と重要用語については問題形式にして配布し、各自、講義中に記述する。また、学習目標に沿った演習課題を作成した上で、効果測定を行いながら、正答率の低い箇所は、次の講義内容に反映させながら全体的な理解の底上げを図る。

参考文献

講義時使用テキスト

「障害児ほいくワークブック」星山麻木編 (株)萌文書林(2012年10月発行)

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	障害の概念と合理的配慮	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
2	障がい特性について(自閉症スペクトラム)①	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
3	障がい特性について(自閉症スペクトラム)②	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
4	障がい特性について(AD/HD)	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
5	演習.Ⅰ	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
6	演習.Ⅱ	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
7	発達段階と発達の順序性	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
8	愛着形成と基本的信頼感	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
9	発達支援と保育現場での環境調整による支援①	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
10	発達支援と保育現場での環境調整による支援②	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
11	演習.Ⅲ	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
12	行動支援の基本的理解	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
13	自尊感情と行動支援	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
14	行動記録と分析	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す
15	障害受容と保護者支援	テキストの該当箇所を読む	配布資料とノートを読み直す

講義名	9013010500	社会的養護Ⅱ　Aクラス 【ナンバリング：202030】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	今　清孝			

学習目標(到達目標)

1. 社会的養護の体系を振り返り、それぞれの機能とサービス内容を理解し実践につなげることができる。
2. 個々の児童の自立支援に向けた個別支援計画の作成ができる。
3. 社会的養護にかかわるソーシャルワークの基礎的な技法を使うことができる。
4. 社会的養護を通じて、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉等との関連性を理解するとともに、総合的な視点に立って支援することの必要性を説明できる。

授業概要(教育目的)

子どもの養護に携わる保育士が、子どもの権利を擁護していくために必要となる具体的な援助の視点や方法について学ぶとともに、社会的養護のもとで生活する子どもたちの支援計画の立て方やその内容等について事例を用いながら具体的に学ぶことを目的とする。さらに今後の社会的養護の課題と今後の展望についても自分で考え、説明できることを目指している。
この科目は演習科目であり、グループディスカッションにより、個々の知識と思考を外化することで、ブラッシュアップしていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

定期試験、グループ討議での参加度、課題提出状況、受講態度等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

毎時間、重要課題や重要用語について、問題形式にしてプリントし配布するので、各自で授業の中で記述する。さらに次の授業で解答を示して理解の徹底を図る。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

講義時使用テキスト

「児童の福祉を支える＜演習＞社会的養護Ⅱ」 吉田　眞理　編著 萌文書林

参考文献

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

子どもを取り巻く社会問題に関心を持ち、新聞を意識して読むようにすること。
また、県内の児童福祉施設について、どこにどのような施設があるのか、その施設の機能と役割についても自分で調べて理解を深めること。

実務との関連

保育園保父(6年間)と園長(18年間)の経験から、社会的養護を保育の視点から捉え授業を展開する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション (1)授業の概要と目標 (2)授業内容と評価方法及び留意点 子どもの最善の利益	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	生存と発達の保障 児童自立支援計画の作成と記録及び自己評価	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	子どもの権利を守る仕組み 支援者としての資質と倫理	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	バーンアウトと共依存の予防 児童養護の体系と児童福祉施設	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	児童養護施設の暮らし 乳児院と母子生活支援施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	医療型障害児入所施設の暮らし 治療的支援と児童自立支援施設・児童心理治療施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	福祉型障害児入所施設の暮らし 里親制度の特徴とその実際	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	保育士の業務 虐待された子どもへの支援 虐待への対応	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	親子関係の調整	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	相談援助の技術の活用	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援① (アドミッションケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援② (「日課」や「生活のルール」の意味について考えよう) (基本的日常生活支援)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援③ (リービングケアについて考えよう) (アフターケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	地域連携と家庭支援	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	地域住民と施設	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	9013010501	社会的養護Ⅱ　Bクラス 【ナンバリング：202030】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	今　清孝			

学習目標(到達目標)

1. 社会的養護の体系を振り返り、それぞれの機能とサービス内容を理解し実践につなげることができる。
2. 個々の児童の自立支援に向けた個別支援計画の作成ができる。
3. 社会的養護にかかわるソーシャルワークの基礎的な技法を使うことができる。
4. 社会的養護を通じて、家庭支援、児童家庭福祉、地域福祉等との関連性を理解するとともに、総合的な視点に立って支援することの必要性を説明できる。

授業概要(教育目的)

子どもの養護に携わる保育士が、子どもの権利を擁護していくために必要となる具体的な援助の視点や方法について学ぶとともに、社会的養護のもとで生活する子どもたちの支援計画の立て方やその内容等について事例を用いながら具体的に学ぶことを目的とする。さらに今後の社会的養護の課題と今後の展望についても自分で考え、説明できることを目指している。
この科目は演習科目であり、グループディスカッションにより、個々の知識と思考を外化することで、ブラッシュアップしていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

定期試験、グループ討議での参加度、課題提出状況、受講態度等により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

毎時間、重要課題や重要用語について、問題形式にしてプリントし配布するので、各自で授業の中で記述する。さらに次の授業で解答を示して理解の徹底を図る。
試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。
期末試験の成績について疑問のある学生は「成績に関する申立書」を提出すること。

講義時使用テキスト

「児童の福祉を支える＜演習＞社会的養護Ⅱ」 吉田　眞理　編著 萌文書林

参考文献

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

子どもを取り巻く社会問題に関心を持ち、新聞を意識して読むようにすること。
また、県内の児童福祉施設について、どこにどのような施設があるのか、その施設の機能と役割についても自分で調べて理解を深めること。

実務との関連

保育園保父(6年間)と園長(18年間)の経験から、社会的養護を保育の視点から捉え授業を展開する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション (1)授業の概要と目標 (2)授業内容と評価方法及び留意点 子どもの最善の利益	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
2	生存と発達の保障 児童自立支援計画の作成と記録及び自己評価	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
3	子どもの権利を守る仕組み 支援者としての資質と倫理	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
4	バーンアウトと共依存の予防 児童養護の体系と児童福祉施設	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
5	児童養護施設の暮らし 乳児院と母子生活支援施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
6	医療型障害児入所施設の暮らし 治療的支援と児童自立支援施設・児童心理治療施設の暮らし	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
7	福祉型障害児入所施設の暮らし 里親制度の特徴とその実際	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
8	保育士の業務 虐待された子どもへの支援 虐待への対応	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
9	親子関係の調整	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
10	相談援助の技術の活用	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
11	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援① (アドミッションケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
12	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援② (「日課」や「生活のルール」の意味について考えよう) (基本的日常生活支援)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
13	入所から退所後に至る支援と基本的日常生活支援③ (リービングケアについて考えよう) (アフターケアについて考えよう)	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
14	地域連携と家庭支援	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す
15	地域住民と施設	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する 前回の配布資料とノートを読み直す	テキストの該当箇所を読む 授業内容についてインターネットで調べる 授業の内容を整理し、論点を整理する 配布資料とノートを読み直す

講義名	9013010600	子育て支援　Aクラス 【ナンバリング：202031】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	天摩　雅和			

学習目標(到達目標)

本科目では、主として就学前の乳幼児の保育に関して、保護者等の疑問、質問、相談に応じ、保護者自らが考え、工夫して乳幼児を育てていくことができるように支援するための知識・技術を習得する。

・子育て支援の意義について説明できる。
・子育て支援の原則について説明できる。
・子育て支援を行う上での技術や留意点について説明できる

授業概要(教育目的)

子育て支援の意義と原則について理解すると共に、子育て支援の実際を事例を通して学び、保護者支援の意義や内容について理解する。また、保護者支援の事例から現在の子育て支援の抱える課題についても明らかにし、その解決策について講じる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

1.「演習・保育と子育て支援」(株)みらい

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

保護者への子育て支援について考えていきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育と子育て支援	シラバスを読む	授業内容のポイントを整理する
2	子どもの権利と子育て支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
3	保育の専門性と子育て支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
4	子育て支援の展開過程	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
5	子育て支援における計画・記録・評価	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
6	保護者との信頼関係の構築	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
7	保護者の理解とかかわり方	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
8	地域資源の活用と関係機関との連携・協力	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
9	保育所の特性を活かした保護者への支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
10	特別な支援を必要とする保護者への支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
11	障害のある子どもを育てる保護者への子育て支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
12	問題・課題のある保護者への支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
13	保護者間トラブルを抱える保護者への支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
14	保育所における子育て支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
15	児童発達支援センターにおける子育て支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する

講義名	9013010601	子育て支援　Bクラス 【ナンバリング：202031】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	天摩　雅和			

学習目標(到達目標)

本科目では、主として就学前の乳幼児の保育に関して、保護者等の疑問、質問、相談に応じ、保護者自らが考え、工夫して乳幼児を育てていくことができるように支援するための知識・技術を習得する。

・子育て支援の意義について説明できる。
・子育て支援の原則について説明できる。
・子育て支援を行う上での技術や留意点について説明できる

授業概要(教育目的)

子育て支援の意義と原則について理解すると共に、子育て支援の実際を事例を通して学び、保護者支援の意義や内容について理解する。また、保護者支援の事例から現在の子育て支援の抱える課題についても明らかにし、その解決策について講じる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

定期試験、課題提出状況、受講態度等により総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

試験の成績を知りたい学生には個別に伝える。

参考文献

講義時使用テキスト

1.「演習・保育と子育て支援」(株)みらい

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

保護者への子育て支援について考えていきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育と子育て支援	シラバスを読む	授業内容のポイントを整理する
2	子どもの権利と子育て支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
3	保育の専門性と子育て支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
4	子育て支援の展開過程	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
5	子育て支援における計画・記録・評価	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
6	保護者との信頼関係の構築	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
7	保護者の理解とかかわり方	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
8	地域資源の活用と関係機関との連携・協力	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
9	保育所の特性を活かした保護者への支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
10	特別な支援を必要とする保護者への支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
11	障害のある子どもを育てる保護者への子育て支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
12	問題・課題のある保護者への支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
13	保護者間トラブルを抱える保護者への支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
14	保育所における子育て支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する
15	児童発達支援センターにおける子育て支援	テキストの該当箇所を読む	授業内容のポイントを整理する

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013002600	児童文化 【ナンバリング：200032】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	高橋　昌樹			

学習目標(到達目標)

・児童(子ども)文化に関心を持つことにより、幼児期の発達と遊びとの関係を理解し、子どもの支援に活かすことができる。
・地域のお祭りなど伝統行事の歴史や文化的並びに教育的価値を理解し、子どもの関係において自身の考えを述べることができる。
・授業で習得した知識や技術をもとに実際に現場を見学、体験しながら活動を行うことができる。

授業概要(教育目的)

・様々な遊びの支援に必要な知識や技術、その方法を学ぶ。
・地域のお祭りなど伝統行事を理解し、子どもの文化との関係性を見出す。
・実際に現場を見学、体験することにより学んだ知識や技術を体現する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

ワークシートの提出、活動の状況から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じて資料を配付する。

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

講義と演習(実技も含む)を併用し授業を進めます。
講義では、幼児期の発達と遊びとの関係や地域行事の文化的・教育的価値を理解し、子どもの支援に活かせることを目指します。
演習では、伝統的遊びの体験のほか遊びに係る支援の方法や創作などの学びを通じて、現場での活動に活用できることを目指します。
児童(子ども)文化とは何か、子どもの発達における遊びなどについてその知識や技術、方法を楽しみながら学びましょう。
尚、授業の進め方の関係により、履修者10名未満のときは開講しない場合があります。

実務との関連

幼稚園勤務の経験と地域文化の担い手であるとともに、長年の子ども会など少年団体での遊び支援の実績を活かし、子どもの遊びと文化を指導します。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	これから学ぶ児童(子ども)文化とは何か	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを整理する
2	子どもの発達と遊びの概念について学ぶ	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを整理する
3	遊びを科学する	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを整理する
4	ごっこ遊びなど伝統的遊びを体験する①	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを整理する
5	ごっこ遊びなど伝統的遊びを体験する②	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを整理する
6	年間行事と通過(成長)儀礼を知る	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを整理する
7	お祭りなど伝統行事を理解する	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを整理する
8	地域の行事と子どもの文化について考える	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを整理する
9	遊びの支援方法について学ぶ①	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを整理する
10	遊びの支援方法について学ぶ②	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを整理する
11	遊びの支援方法について学ぶ③	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを理解する
12	遊びを創る①	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを理解する
13	遊びを創る②	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを理解する
14	遊びを創る③	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを理解する
15	現代に必要な児童(子ども)文化とは何か	授業内容の「キーワード」について、事前に文献やインターネットなどで調べる	授業で得た知識などを理解、必要に応じて調べるなどしながら自分の考えを理解する

講義名	9013003600 幼児音楽Ⅱ 【ナンバリング：200034】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	橋本　知子			

学習目標(到達目標)

幼児の発達に即した音楽表現を理解し、わくわくする音楽表現を実践出来る。
①幼児の感性を受け止め、適切な声かけや援助ができるようになる
②子どもの発達段階に応じた、適切な音環境を設定できる。

授業概要(教育目的)

子どもの発達段階を理解し、表現活動を楽しめるよう援助できる事が保育者にとって必要とされる。子どもたちの内に生じる思いやイメージを膨らませ、豊かな感性と美意識を育てることができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達に応じた保育指導を展開することができる。

評価方法

受講態度及び表現発表等において総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

講義において学んだ事を基に、表現発表する。

参考文献

講義時使用テキスト

ありません

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

音楽の基礎を学ぶだけにとどまらず、想像力や集中力を育む事へつながる指導の展開が出来る保育者を目指しましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	音楽表現への導入	シラバスを一読してくる。	講義内容を再確認する。
2	物語の背景音楽づくり①素材	物語の背景音楽づくりを想定しどの様な素材が適切かを考えてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
3	物語の背景音楽づくり②身体表現	物語の背景音楽づくりを想定した身体表現を考えてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
4	物語の背景音楽づくり③声	物語の背景音楽づくりにおける声とは何かを考えてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
5	物語の背景音楽づくり④楽器	物語の背景音楽づくりを想定しどの様な楽器が適切かを考えてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
6	効果音作製①波・水・嵐	効果音について調べてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
7	効果音作製②風・雨	身の回りにある素材を用いての効果音を考えてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
8	効果音作製③虹・晴れ	虹・晴れからイメージする効果音を考えてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
9	効果音作製④感情	感情を表現する効果音を考えてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
10	身体表現リトミック①模倣活動	模倣活動の例えを考えてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
11	身体表現リトミック②音の高低	音の高低の身体表現を考えてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
12	身体表現リトミック③音の強弱	音の強弱の身体表現を考えてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
13	身体表現リトミック④フレーズ	フレーズの表現方法を考えてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
14	身体表現リトミック⑤即時反応	リトミックにおける即時反応を調べてくる。	本講義で学んだ事項を確認しておく。
15	表現発表	発表に向けての準備をしてくる。	全講義を通して学修した事項をまとめておく。

講義名	9013003800 幼児美術Ⅱ　Aクラス 【ナンバリング：200036】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

保育の表現に関わる方向性の一つとして美術があることを理解した上で、幼児の造形表現を掘り下げていく。
①造形表現の保育内容を立案し、運営できるようになる。
②様々な素材を保育現場の観点から理解し、扱い方や指導方法など表現の時間を設定できるようになる。
③表現活動時の子どもの心理状態を理解し、適切な声かけや援助が出来るようになる。

授業概要(教育目的)

幼児期を特別な時期と捉え、子どもが創造力を十分に発揮し誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。
豊かな感性を育てるため、幼児の造形表現の活動の意義について理解を深めてもらう。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

試験(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

槙　英子著、『保育をひらく造形表現』、萌文書林
佐善　圭編、『造形のじかん』、愛智出版

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

　実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
課題制作に十分時間を取るようにし、
日々の生活の中から造形表現に関わる内容を常に考え発見できるようになること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	造形活動への導入	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	色彩表現について①(色相関制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	色彩表現について②(色特性を用いた制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	色彩表現について③(平面作品制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	マテリアル表現①(素材収集)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	マテリアル表現②(環境構成)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	マテリアル表現③(指導案作成)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	立体造形表現①(紙立体制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	立体造形表現②(新聞紙を用いた作品制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	立体造形表現③(粘土を用いた作品制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	造形表現教材研究①(乳幼児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	造形表現教材研究②(年少児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	造形表現教材研究③(年中児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	造形表現教材研究④(年長児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	特別講義(保育園での造形表現について)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9013003801 幼児美術Ⅱ　Bクラス 【ナンバリング：200036】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	池田　拓馬		

学習目標(到達目標)

保育の表現に関わる方向性の一つとして美術があることを理解した上で、幼児の造形表現を掘り下げていく。
①造形表現の保育内容を立案し、運営できるようになる。
②様々な素材を保育現場の観点から理解し、扱い方や指導方法など表現の時間を設定できるようになる。
③表現活動時の子どもの心理状態を理解し、適切な声かけや援助が出来るようになる。

授業概要(教育目的)

幼児期を特別な時期と捉え、子どもが創造力を十分に発揮し誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。
豊かな感性を育てるため、幼児の造形表現の活動の意義について理解を深めてもらう。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

試験(授業内容の理解評価)、提出物(期限と内容による評価)、受講態度(制作評価と作品評価)

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

槙　英子著、『保育をひらく造形表現』、萌文書林
佐善　圭編、『造形のじかん』、愛智出版

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

　実制作と講義の関係性が強いので目的意識を持って受講すること。
課題制作に十分時間を取るようにし、
日々の生活の中から造形表現に関わる内容を常に考え発見できるようになること。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	造形活動への導入	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
2	色彩表現について①(色相関制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
3	色彩表現について②(色特性を用いた制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
4	色彩表現について③(平面作品制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	マテリアル表現①(素材収集)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
6	マテリアル表現②(環境構成)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
7	マテリアル表現③(指導案作成)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
8	立体造形表現①(紙立体制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	立体造形表現②(新聞紙を用いた作品制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
10	立体造形表現③(粘土を用いた作品制作)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
11	造形表現教材研究①(乳幼児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
12	造形表現教材研究②(年少児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
13	造形表現教材研究③(年中児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
14	造形表現教材研究④(年長児)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する
15	特別講義(保育園での造形表現について)	テキストの該当箇所を読む	授業の内容を整理し、論点を整理する

講義名	9013004000 幼児体育Ⅱ 【ナンバリング：200038】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		本吉　好		

学習目標(到達目標)

幼児体育Ⅰで学んだ知識や技術を基礎とし、運動あそびの知識をさらに深め、実践する力を身に付けるために、以下の3点を学習目標とする。
1. 幼児期の発達特性を理解し、一人ひとりの発達に応じた援助ができる。
2. 安全に配慮し、自発的で自由な活動を展開するための環境構成を整えることができる。
3. 豊かな表現力で運動あそびの指導や声掛けを行うことができる。

授業概要(教育目的)

幼児期に行われる運動あそびの重要性を理解し、実際に体験しながら子どもの発達特性に応じた援助の方法を学ぶ。また、グループでの教材研究や運動あそびの指導計画の作成を行い、実践や発表を通して保育者として必要な豊かな表現力や指導法を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

レポート課題、実技テスト等から評価する。

課題に対するフィードバック

レポートはコメントを添え返却する。
テストの成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

授業内で適宜指示をする。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

服装は運動着と運動靴を着用してください。
ピアスやネックレスなどの装飾品は必ず外して受講してください。
髪が長い場合には結んでください。
服装等が整っていない場合は受講を認めません。
実技科目になりますので、積極的に体を動かしてください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス・幼児の体力・運動能力測定	資料を読んでおくこと	体力・運動能力測定の方法や注意点をまとめること
2	リズム体操①・体力テスト	体調管理を行うこと	リズム体操の振り付けをプリントに記入すること。 体力テストの得点表を確認し、自身の体力を把握すること
3	リズム体操②・鉄棒	体調管理を行うこと 図書館等で鉄棒の資料を読んでおくこと	リズム体操の振り付けをプリントに記入すること。 講義内で行ったあそびをプリントにまとめること
4	リズム体操③・跳び箱・平均台	体調管理を行うこと 図書館等で跳び箱および平均台の資料を読んでおくこと	リズム体操の振り付けをプリントに記入すること。 講義内で行ったあそびをプリントにまとめること
5	マット運動	体調管理を行うこと 図書館等でマット運動の資料を読んでおくこと	講義内で行ったあそびをプリントにまとめること
6	リズム体操④・なわあそび	体調管理を行うこと 図書館等でなわあそびの資料を読んでおくこと	リズム体操の振り付けをプリントに記入すること。 講義内で行ったあそびをプリントにまとめること
7	リズム体操⑤・フラフープ	体調管理を行うこと 図書館等でフラフープの資料を読んでおくこと	リズム体操の振り付けをプリントに記入すること。 講義内で行ったあそびをプリントにまとめること
8	ボールあそび	体調管理を行うこと 図書館等でフラフープの資料を読んでおくこと	講義内で行ったあそびをプリントにまとめること
9	リズム体操⑥・鬼ごっこ	体調管理を行うこと 図書館等で鬼ごっこの資料を調べておくこと	リズム体操の振り付けをプリントに記入すること。 講義内で行ったあそびをプリントにまとめること
10	リズム体操⑦・運動あそび創作	体調管理を行うこと 図書館等で運動あそびの資料を調べておくこと	リズム体操の振り付けをプリントに記入すること。 講義内で行ったあそびをプリントにまとめること
11	運動あそび発表	発表の準備を行うこと	発表後の反省点をグループで話し合いプリントにまとめること
12	リズム体操⑧(振り付け創作)	体調管理を行うこと リズム体操の振り付けを練習しておくこと	講義内で行った体操および各自作成した振り付けをプリントにまとめること
13	リズム体操⑨(振り付け練習)	体調管理を行うこと リズム体操の振り付けを練習しておくこと	講義内で行った体操および各自作成した振り付けをプリントにまとめること
14	リズム体操⑩【実技テスト】	体調管理を行うこと リズム体操の振り付けを練習しておくこと	テストの反省点をプリントにまとめること
15	伝承あそび	体調管理を行うこと	講義内で行ったあそびをプリントにまとめること

講義名	9013004200	児童文学Ⅱ 【ナンバリング：200040】　開講せず					
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	平間　恵美			

学習目標(到達目標)

1. 様々な絵本のテーマについて考えることができる。
2. プログラミングの実践を行える。
（パネルシアター・紙芝居・ペープサート、エプロンシアターの手法の実践）

授業概要(教育目的)

絵本に託されたメッセージを読み取るため、絵本のテーマを絞り、個人そしてグループで課題本について、掘り下げて考えてみる。
1.「食育」「平和」「人権」をテーマにした絵本について、グループ発表する。
2. パネルシアターをはじめ、様々な手法を実践し効果的に使用する手法を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

提出課題・演習の総合点で評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。
試験(レポート、小テスト)は採点の上返却する。

参考文献

1. 三宅興子・多田昌美「児童文学12の扉を開く」（翰林書房）
2. パネルシアターを作る2　古宇田亮順　東洋文化出版

講義時使用テキスト

使用しない

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

同じテーマの絵本でも、作者のテーマへのアプローチは実に多種多様です。多くの作品に触れ、選択する目を養い、学習と創造することの楽しさを知り、さらに、お話を演じることで、表現力を高め、現場での様々な場面で活用できるスキルを身に付ける。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	読み聞かが子どもたちに与える影響を考える　　児童文学基礎定義の確認	授業の内容についてインターネットで調べる	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
2	「食育」の絵本①グループテーマ本からグループ推薦本の選択、　発表練習	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
3	「食育」の絵本②グループ発表	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
4	想像力を養う　おてて絵本　定義と実演	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
5	「平和」の絵本末　①今「おこりじぞう」「おしっこぼうや」テーマの本から考える	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
6	「平和」の絵本②　推薦本の発表と内容についてグループ討議	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
7	「人権」の絵本①今、読む「すべての子ども達のために」グループ討議 グループテーマの本の選択、発表練習	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
8	「人権」の絵本②　SDGsを学ぶ絵本から学ぶ	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
9	パネルシアター・ブラックシアター・段ボールシアター、エプロンシアター実演で手法を学ぶ	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
10	ペープサート・パネルシアター、エルロンシアター①実演のための、準備練習	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
11	ペープサート・パネルシアター、エプロンシアター②作成の手順の説明、発表練習	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
12	ペープサート・パネルシアター、エプロンシアター③作成の手順の説明、発表練習	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
13	紙芝居・群読　①　手法と定義	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
14	紙芝居・群読　②　発表	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
15	紙芝居・群読　②　発表	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。

講義名	9013012900	絵本と紙芝居の世界					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

1. 伝承のお話を子どもに伝えることができる。
2. 子どもの年齢、発達に応じた絵本の読み聞かせができる。
3. 自分の名前絵本を製作し、自己紹介ができる。
4. 絵本の読み聞かせのプログラム作りや手法を学べる。

授業概要(教育目的)

1. 子どもの感性、創造力を育てる「読み聞かせ」や「お話」をするために伝承の文学の成り立ちを知り、物語を読み、確認する。また、テキストに
紹介された長く読まれている絵本や、新刊の話題作など、多くの絵本に触れる。
2. 実習で使用する、自己紹介の自分だけの絵本を作る。
3. 年齢にあった、読み聞かせのプログラムを作る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

提出課題・演習の総合点で評価する。

課題に対するフィードバック

課題(制作絵本、計画書)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

1. 三宅興子・多田昌美「児童文学12の扉を開く（翰林書房）
2. 中村柾子「絵本は友達」(福音館)
3. 松居　直「絵本とは何か」(日本デユケータースクール出版部)

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

子ども達に読み聞かせを楽しんでもらうため、また自分が読み聞かせを通してたくさんの絵本に触れ、絵本の魅力を知り、読み聞かせのスペシャリストを目指しましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	名前の絵本製作の為の計画準備　①本作りの手順説明、②自分の名前を使った文章作り	参考文献の関連個所を読む。	参考文献の関連個所を読む。 授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
2	名前の絵本製作の為の計画準備　③各ページ割と挿し絵のレイアウト、④作成	参考文献の関連個所を読む。 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	参考文献の関連個所を読む。 授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
3	名前の絵本製作①	参考文献の関連個所を読む。 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	参考文献の関連個所を読む。 授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
4	名前の絵本製作②	参考文献の関連個所を読む。 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	参考文献の関連個所を読む。 授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
5	名前の絵本製作③	参考文献の関連個所を読む。 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	参考文献の関連個所を読む。 授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
6	現場を想定した、読み聞かせプログラム作成①グループ作り、②グループごとにプログラム作成	参考文献の関連個所を読む。 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	参考文献の関連個所を読む。 授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
7	読み聞かせプログラムの実践準備、練習	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	テキストの該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。
8	読み聞かせプログラムの実践発表	テキストの該当箇所を読む。 前回の授業の内容を整理し、論点を整理する。 前回の配布資料とノートを読み直す。	テキストの該当箇所を読む。 授業の内容を整理し、論点を整理する。 配布資料とノートを読み直す。

講義名	9013007200	ピアノレッスンⅠ　A1クラス 【ナンバリング：210041】					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. 音楽理論を理解し、階名読みやリズムなどの読譜力を身に着ける。
2. 継続的に、ピアノに取り組む姿勢を養う。
3. バイエル、弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
4. ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

授業概要(教育目的)

子どもが音楽表現に触れることで、感性豊かに育ち、音楽を通して誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。子どもの豊かな感性を育てるため、指導者が楽しんでピアノや弾き歌いができるよう、基礎・基本の定着を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表、受講態度(ピアノレッスン進度票・自己チェックシート)によって評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

1. バイエル教則本
2. ブルグミュラー25の練習曲
3. ツェルニー100番練習曲
4. ツェルニー30番練習曲
5. ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

講義時使用テキスト

幼児のための表現指導　うたって・つくって・あそぼう　幼児表現教育研究会＝編著　出版:音楽之友社

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

ピアノレッスンに慣れるまで時間がかかります。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をしレッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

ピアノ表現発表は皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション クラス分け 使用テキスト・楽曲決め	テキストが手元にある方は持参する うたって、つくって、あそぼう 持参	「うたって、つくって、あそぼう」歌詞の確認
2	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
3	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
4	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
5	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
6	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
7	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
8	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
9	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
10	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
11	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 自由曲	個人練習チェックシートに沿った練習 自由曲
12	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
13	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
14	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
15	自由曲表現発表	個人練習チェックシートに記入 自由曲	個人練習チェックシートに沿った練習 ・夏の童謡弾き歌い

講義名	9013007201 ピアノレッスンⅠ　A2クラス 【ナンバリング：210041】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子		

学習目標(到達目標)

1. 音楽理論を理解し、階名読みやリズムなどの読譜力を身に着ける。
2. 継続的に、ピアノに取り組む姿勢を養う。
3. バイエル、弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
4. ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

授業概要(教育目的)

子どもが音楽表現に触れることで、感性豊かに育ち、音楽を通して誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。子どもの豊かな感性を育てるため、指導者が楽しんでピアノや弾き歌いができるよう、基礎・基本の定着を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表、受講態度(ピアノレッスン進度票・自己チェックシート)によって評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

1. バイエル教則本
2. ブルグミュラー25の練習曲
3. ツェルニー100番練習曲
4. ツェルニー30番練習曲
5. ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

講義時使用テキスト

幼児のための表現指導　うたって・つくって・あそぼう　幼児表現教育研究会＝編著　出版:音楽之友社

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

ピアノレッスンに慣れるまで時間がかかります。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をしレッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

ピアノ表現発表は皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション クラス分け 使用テキスト・楽曲決め	テキストが手元にある方は持参する うたって、つくって、あそぼう 持参	「うたって、つくって、あそぼう」歌詞の確認
2	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
3	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
4	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
5	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
6	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
7	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
8	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
9	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
10	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
11	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 自由曲	個人練習チェックシートに沿った練習 自由曲
12	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
13	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
14	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
15	自由曲表現発表	個人練習チェックシートに記入 自由曲	個人練習チェックシートに沿った練習 ・夏の童謡弾き歌い

講義名	9013007202 ピアノレッスンⅠ　B1クラス 【ナンバリング：210041】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子		

学習目標(到達目標)

1. 音楽理論を理解し、階名読みやリズムなどの読譜力を身に着ける。
2. 継続的に、ピアノに取り組む姿勢を養う。
3. バイエル、弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
4. ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

授業概要(教育目的)

子どもが音楽表現に触れることで、感性豊かに育ち、音楽を通して誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。子どもの豊かな感性を育てるため、指導者が楽しんでピアノや弾き歌いができるよう、基礎・基本の定着を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表、受講態度(ピアノレッスン進度票・自己チェックシート)によって評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

1. バイエル教則本
2. ブルグミュラー25の練習曲
3. ツェルニー100番練習曲
4. ツェルニー30番練習曲
5. ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

講義時使用テキスト

幼児のための表現指導　うたって・つくって・あそぼう　幼児表現教育研究会＝編著　出版:音楽之友社

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

ピアノレッスンに慣れるまで時間がかかります。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をしレッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

ピアノ表現発表は皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション クラス分け 使用テキスト・楽曲決め	テキストが手元にある方は持参する うたって、つくって、あそぼう 持参	「うたって、つくって、あそぼう」歌詞の確認
2	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
3	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
4	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
5	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
6	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
7	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
8	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
9	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
10	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
11	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 自由曲	個人練習チェックシートに沿った練習 自由曲
12	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
13	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
14	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
15	自由曲表現発表	個人練習チェックシートに記入 自由曲	個人練習チェックシートに沿った練習 ・夏の童謡弾き歌い

講義名	9013007203 ピアノレッスンⅠ　B2クラス 【ナンバリング：210041】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子		

学習目標(到達目標)

1. 音楽理論を理解し、階名読みやリズムなどの読譜力を身に着ける。
2. 継続的に、ピアノに取り組む姿勢を養う。
3. バイエル、弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
4. ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

授業概要(教育目的)

子どもが音楽表現に触れることで、感性豊かに育ち、音楽を通して誰もが表現を楽しめるよう援助できる事が、保育者の専門性にとって不可欠なものとなる。子どもの豊かな感性を育てるため、指導者が楽しんでピアノや弾き歌いができるよう、基礎・基本の定着を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表、受講態度(ピアノレッスン進度票・自己チェックシート)によって評価する。

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

1. バイエル教則本
2. ブルグミュラー25の練習曲
3. ツェルニー100番練習曲
4. ツェルニー30番練習曲
5. ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

講義時使用テキスト

幼児のための表現指導　うたって・つくって・あそぼう　幼児表現教育研究会＝編著　出版:音楽之友社

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

ピアノレッスンに慣れるまで時間がかかります。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をしレッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験を有している。その他、演奏活動多数。

ピアノ表現発表は皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション クラス分け 使用テキスト・楽曲決め	テキストが手元にある方は持参する うたって、つくって、あそぼう 持参	「うたって、つくって、あそぼう」歌詞の確認
2	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
3	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
4	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
5	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(ハ長調の曲)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
6	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
7	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
8	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
9	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(春の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
10	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
11	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 自由曲	個人練習チェックシートに沿った練習 自由曲
12	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
13	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
14	自由曲(担当教員の指示) 童謡弾き歌い(夏の童謡)	個人練習チェックシートに記入 ・自由曲 ・童謡	個人練習チェックシートに沿った練習 ・自由曲 ・童謡
15	自由曲表現発表	個人練習チェックシートに記入 自由曲	個人練習チェックシートに沿った練習 ・夏の童謡弾き歌い

講義名	9013007300	ピアノレッスンⅡ　A1クラス 【ナンバリング：210042】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. 音楽理論、読譜、和声づけ等を理解し、表現できる。
2. バイエル、弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
3. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いができる。
4. ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

授業概要(教育目的)

1. ピアノを弾く姿勢、楽譜を読む能力、音楽用語、和声等を理解する。
2. バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ等の基礎力を養う。
3.「うたってつくってあそぼう」の冊子から現場で活用できる曲を数多く身に付ける。
4. 弾き歌いは保育者にとって必要不可欠な技能であるので実習で活用できる様に学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度・弾き歌いとピアノ実技試験によって評価する。

課題に対するフィードバック

ピアノ練習記録(ダイアリー)、ピアノ進度票、弾き歌い確認シートを活用し振り返りを行う。

参考文献

1. うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
2. バイエル教則本
3. ブルクミューラー25の練習曲
4. ツェルニー100番練習曲
5. ツェルニー30番練習曲
6. ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

ピアノレッスンに慣れるまで時間がかかります。担当教員の助言を良く聞いて、個人で練習した曲を見てもらいましょう。
ピアノの表現発表は、皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。
爪は、ピアノを弾くのに適切な長さにし、受講しましょう。
日々の練習の積み重ねが大切です、欠席しないようにしましょう。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	カノン・三度・六度の平行・コラール コードネームの活用	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
2	三連符・付点音符と和声の関係	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
3	アッチェルランド・リタルダンド奏法	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
4	夏:課題表現発表「歌詞が聞こえるように歌う」	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
5	楽譜を読み取る力を養う	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
6	内的表現を養う	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
7	音量表現・内的・外的表現(歌唱も含む)	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
8	拍子感と音の始まりと終わりの音色の工夫	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
9	ペタリング・ノンレガート・アクセント奏法	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
10	歌いながら伴奏付けをする	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
11	おはよう・おかえり・さよならのうた	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
12	冬:課題表現発表「歌詞が聞こえるように歌う」	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
13	ハ長調・ヘ長調・ト長調等音階上の副三和音	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
14	音楽表現における内的・外的演奏法を確認する	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
15	ピアノ表現発表	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007301	ピアノレッスンⅡ　A2クラス 【ナンバリング：210042】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. 音楽理論、読譜、和声づけ等を理解し、表現できる。
2. バイエル、弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
3. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いができる。
4. ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

授業概要(教育目的)

1. ピアノを弾く姿勢、楽譜を読む能力、音楽用語、和声等を理解する。
2. バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ等の基礎力を養う。
3.「うたってつくってあそぼう」の冊子から現場で活用できる曲を数多く身に付ける。
4. 弾き歌いは保育者にとって必要不可欠な技能であるので実習で活用できる様に学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度・前期・後期のピアノ試験によって評価する。

課題に対するフィードバック

レッスン担当教員より練習方法の指示を仰ぎ、レッスン進度票による振り返りを行う。

参考文献

1. うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
2. バイエル教則本
3. ブルクミューラー25の練習曲
4. ツェルニー100番練習曲
5. ツェルニー30番練習曲
6. ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

ピアノレッスンに慣れるまで時間がかかります。先生方の助言を良く聞いて、個人で練習した曲を見て頂く事。
ピアノの表現発表は、皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を学ぶ事。
レッスンを欠席しないこと。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	カノン・三度・六度の平行・コラール コードネームの活用	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
2	三連符・付点音符と和声の関係	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
3	アッチェルランド・リタルダンド奏法	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
4	夏:課題表現発表「歌詞が聞こえるように歌う」	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
5	楽譜を読み取る力を養う	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
6	内的表現を養う	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
7	音量表現・内的・外的表現(歌唱も含む)	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
8	拍子感と音の始まりと終わりの音色の工夫	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
9	ペタリング・ノンレガート・アクセント奏法	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
10	歌いながら伴奏付けをする	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
11	おはよう・おかえり・さよならのうた	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
12	冬:課題表現発表「歌詞が聞こえるように歌う」	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
13	ハ長調・ヘ長調・ト長調等音階上の副三和音	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
14	音楽表現における内的・外的演奏法を確認する	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
15	ピアノ表現発表	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習

講義名	9013007302 ピアノレッスンⅡ　B1クラス 【ナンバリング：210042】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. 音楽理論、読譜、和声づけ等を理解し、表現できる。
2. バイエル、弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
3. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いができる。
4. ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

授業概要(教育目的)

1. ピアノを弾く姿勢、楽譜を読む能力、音楽用語、和声等を理解する。
2. バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ等の基礎力を養う。
3.「うたってつくってあそぼう」の冊子から現場で活用できる曲を数多く身に付ける。
4. 弾き歌いは保育者にとって必要不可欠な技能であるので実習で活用できる様に学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度・前期・後期のピアノ試験によって評価する。

課題に対するフィードバック

レッスン担当教員より練習方法の指示を仰ぎ、レッスン進度票による振り返りを行う。

参考文献

2. バイエル教則本
3. ブルクミューラー25の練習曲
4. ツェルニー100番練習曲
5. ツェルニー30番練習曲
6. ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

講義時使用テキスト

1. うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

ピアノレッスンに慣れるまで時間がかかります。先生方の助言を良く聞いて、個人で練習した曲を見て頂く事。
ピアノの表現発表は、皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を学ぶ事。
レッスンを欠席しないこと。

実務との関連

48年に及ぶピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。
その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	カノン・三度・六度の平行・コラール コードネームの活用	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
2	三連符・付点音符と和声の関係	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
3	アッチェルランド・リタルダンド奏法	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
4	夏:課題表現発表「歌詞が聞こえるように歌う」	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
5	楽譜を読み取る力を養う	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
6	内的表現を養う	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
7	音量表現・内的・外的表現(歌唱も含む)	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
8	拍子感と音の始まりと終わりの音色の工夫	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
9	ペタリング・ノンレガート・アクセント奏法	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
10	歌いながら伴奏付けをする	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
11	おはよう・おかえり・さよならのうた	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
12	冬:課題表現発表「歌詞が聞こえるように歌う」	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
13	ハ長調・ヘ長調・ト長調等音階上の副三和音	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
14	音楽表現における内的・外的演奏法を確認する	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
15	ピアノ表現発表	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習

講義名	9013007303	ピアノレッスンⅡ　B2クラス 【ナンバリング：210042】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実技	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. 音楽理論、読譜、和声づけ等を理解し、表現できる。
2. バイエル、弾き歌いのためのコードネームを理解し実践できる。
3. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いができる。
4. ピアノ演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り、豊かな表現ができる。

授業概要(教育目的)

1. ピアノを弾く姿勢、楽譜を読む能力、音楽用語、和声等を理解する。
2. バイエル、ブルクミュラー、ソナチネ等の基礎力を養う。
3.「うたってつくってあそぼう」の冊子から現場で活用できる曲を数多く身に付ける。
4. 弾き歌いは保育者にとって必要不可欠な技能であるので実習で活用できる様に学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度・前期・後期のピアノ試験によって評価する。

課題に対するフィードバック

レッスン担当教員より練習方法の指示を仰ぎ、レッスン進度票による振り返りを行う。

参考文献

1. うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
2. バイエル教則本
3. ブルクミューラー25の練習曲
4. ツェルニー100番練習曲
5. ツェルニー30番練習曲
6. ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

ピアノレッスンに慣れるまで時間がかかります。先生方の助言を良く聞いて、個人で練習した曲を見て頂く事。
ピアノの表現発表は、皆の前で演奏してもらいます。指導者になった時に困らないように基本的技術を学ぶ事。
レッスンを欠席しないこと。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	カノン・三度・六度の平行・コラール コードネームの活用	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
2	三連符・付点音符と和声の関係	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
3	アッチェルランド・リタルダンド奏法	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
4	夏:課題表現発表「歌詞が聞こえるように歌う」	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
5	楽譜を読み取る力を養う	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
6	内的表現を養う	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
7	音量表現・内的・外的表現(歌唱も含む)	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
8	拍子感と音の始まりと終わりの音色の工夫	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
9	ペタリング・ノンレガート・アクセント奏法	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
10	歌いながら伴奏付けをする	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:7, 8, 9月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
11	おはよう・おかえり・さよならのうた	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
12	冬:課題表現発表「歌詞が聞こえるように歌う」	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
13	ハ長調・ヘ長調・ト長調等音階上の副三和音	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
14	音楽表現における内的・外的演奏法を確認する	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
15	ピアノ表現発表	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:4, 5, 6月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007400 ピアノレッスンⅢ　A1クラス 【ナンバリング：210043】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅡで学んだ基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. 音楽を認知する知識や和音構成を理解し、旋律を表現できる。
2. 想像力、イメージを心と身体で豊かに表現し、保育実習Ⅱ、幼稚園実習に備える。
3. 童謡弾き歌いでは、①歌が伴奏よりも浮き出ている②途中で止まらず"になめらかに演奏する③表情豊かに演奏できることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表(童謡課題曲、自由曲)
受講態度(課題曲確認シート、ピアノレッスン進度票)

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ　幼稚園のマーチ・ピアノ曲集　　坂東貴余子・見角幾代共著　ドレミ楽譜出版社

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行います。レッスンを欠席しないこと。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をし、レッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	童謡弾き歌い(春の課題曲)① 自由曲	課題:春の童謡 自由曲	課題:春の童謡 自由曲
2	童謡弾き歌い(春の課題曲)② 自由曲	課題:春の童謡 自由曲	課題:春の童謡 自由曲
3	童謡弾き歌い課題曲表現発表	課題:春の童謡	課題:春の童謡 保育実習曲 自由曲
4	童謡弾き歌い(夏の課題曲)① 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
5	童謡弾き歌い(夏の課題曲)② 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
6	童謡弾き歌い(夏の課題曲)③ 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
7	童謡弾き歌い(夏の課題曲)④ 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
8	童謡弾き歌い(夏の課題曲)表現発表 保育実習曲(朝・帰りのうた)	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 自由曲
9	自由曲 幼稚園課題曲① 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
10	自由曲 幼稚園課題曲②	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
11	自由曲 幼稚園課題曲③	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲
12	自由曲表現発表	自由曲	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
13	幼稚園課題曲④ 童謡弾き歌い(秋の課題曲)	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
14	幼稚園課題曲⑤	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
15	幼稚園実習曲表現発表	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	童謡弾き歌い(秋の課題曲)

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007401	ピアノレッスンⅢ　A2クラス 【ナンバリング：210043】					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅡで学んだ基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. 音楽を認知する知識や和音構成を理解し、旋律を表現できる。
2. 想像力、イメージを心と身体で豊かに表現し、保育実習Ⅱ、幼稚園実習に備える。
3. 童謡弾き歌いでは、①歌が伴奏よりも浮き出ている②途中で止まらず"になめらかに演奏する③表情豊かに演奏できることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表(童謡課題曲、自由曲)
受講態度(課題曲確認シート、ピアノレッスン進度票)

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ　幼稚園のマーチ・ピアノ曲集　　坂東貴余子・見角幾代共著　ドレミ楽譜出版社

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行います。レッスンを欠席しないこと。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をし、レッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	童謡弾き歌い(春の課題曲)① 自由曲	課題:春の童謡 自由曲	課題:春の童謡 自由曲
2	童謡弾き歌い(春の課題曲)② 自由曲	課題:春の童謡 自由曲	課題:春の童謡 自由曲
3	童謡弾き歌い課題曲表現発表	課題:春の童謡	課題:春の童謡 保育実習曲 自由曲
4	童謡弾き歌い(夏の課題曲)① 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
5	童謡弾き歌い(夏の課題曲)② 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
6	童謡弾き歌い(夏の課題曲)③ 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
7	童謡弾き歌い(夏の課題曲)④ 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
8	童謡弾き歌い(夏の課題曲)表現発表 保育実習曲(朝・帰りのうた)	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 自由曲
9	自由曲 幼稚園課題曲① 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
10	自由曲 幼稚園課題曲②	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
11	自由曲 幼稚園課題曲③	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲
12	自由曲表現発表	自由曲	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
13	幼稚園課題曲④ 童謡弾き歌い(秋の課題曲)	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
14	幼稚園課題曲⑤	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
15	幼稚園実習曲表現発表	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	童謡弾き歌い(秋の課題曲)

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007402 ピアノレッスンⅢ　B1クラス 【ナンバリング：210043】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅡで学んだ基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. 音楽を認知する知識や和音構成を理解し、旋律を表現できる。
2. 想像力、イメージを心と身体で豊かに表現し、保育実習Ⅱ、幼稚園実習に備える。
3. 童謡弾き歌いでは、①歌が伴奏よりも浮き出ている②途中で止まらず"になめらかに演奏する③表情豊かに演奏できることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表(童謡課題曲、自由曲)
受講態度(課題曲確認シート、ピアノレッスン進度票)

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ　幼稚園のマーチ・ピアノ曲集　　坂東貴余子・見角幾代共著　ドレミ楽譜出版社

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行います。レッスンを欠席しないこと。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をし、レッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	童謡弾き歌い(春の課題曲)① 自由曲	課題:春の童謡 自由曲	課題:春の童謡 自由曲
2	童謡弾き歌い(春の課題曲)② 自由曲	課題:春の童謡 自由曲	課題:春の童謡 自由曲
3	童謡弾き歌い課題曲表現発表	課題:春の童謡	課題:春の童謡 保育実習曲 自由曲
4	童謡弾き歌い(夏の課題曲)① 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
5	童謡弾き歌い(夏の課題曲)② 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
6	童謡弾き歌い(夏の課題曲)③ 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
7	童謡弾き歌い(夏の課題曲)④ 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
8	童謡弾き歌い(夏の課題曲)表現発表 保育実習曲(朝・帰りのうた)	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 自由曲
9	自由曲 幼稚園課題曲① 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
10	自由曲 幼稚園課題曲②	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
11	自由曲 幼稚園課題曲③	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲
12	自由曲表現発表	自由曲	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
13	幼稚園課題曲④ 童謡弾き歌い(秋の課題曲)	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
14	幼稚園課題曲⑤	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
15	幼稚園実習曲表現発表	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	童謡弾き歌い(秋の課題曲)

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007403	ピアノレッスンⅢ　B2クラス 【ナンバリング：210043】					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅡで学んだ基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. 音楽を認知する知識や和音構成を理解し、旋律を表現できる。
2. 想像力、イメージを心と身体で豊かに表現し、保育実習Ⅱ、幼稚園実習に備える。
3. 童謡弾き歌いでは、①歌が伴奏よりも浮き出ている②途中で止まらず"になめらかに演奏する③表情豊かに演奏できることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

ピアノ表現発表(童謡課題曲、自由曲)
受講態度(課題曲確認シート、ピアノレッスン進度票)

課題に対するフィードバック

成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ　幼稚園のマーチ・ピアノ曲集　　坂東貴余子・見角幾代共著　ドレミ楽譜出版社

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行います。レッスンを欠席しないこと。先生方の助言を良く聞き、個人で毎日練習をし、レッスンに臨んで下さい。

爪が長いと挟まって痛いだけでなく爪が割れてしまうこともあります。鍵盤に当たってカチカチと音がしてしまい、雑音をし作り出し、耳障りだと感じてしまいます。爪は短く切り、受講して下さい。

指導者になった時に困らないように基本的技術を身につけましょう。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	童謡弾き歌い(春の課題曲)① 自由曲	課題:春の童謡 自由曲	課題:春の童謡 自由曲
2	童謡弾き歌い(春の課題曲)② 自由曲	課題:春の童謡 自由曲	課題:春の童謡 自由曲
3	童謡弾き歌い課題曲表現発表	課題:春の童謡	課題:春の童謡 保育実習曲 自由曲
4	童謡弾き歌い(夏の課題曲)① 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
5	童謡弾き歌い(夏の課題曲)② 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
6	童謡弾き歌い(夏の課題曲)③ 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
7	童謡弾き歌い(夏の課題曲)④ 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲
8	童謡弾き歌い(夏の課題曲)表現発表 保育実習曲(朝・帰りのうた)	課題:夏の童謡 保育実習曲(朝・帰りのうた) 自由曲	課題:夏の童謡 自由曲
9	自由曲 幼稚園課題曲① 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
10	自由曲 幼稚園課題曲②	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
11	自由曲 幼稚園課題曲③	自由曲 幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	自由曲
12	自由曲表現発表	自由曲	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
13	幼稚園課題曲④ 童謡弾き歌い(秋の課題曲)	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
14	幼稚園課題曲⑤	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡
15	幼稚園実習曲表現発表	幼稚園課題曲 朝・帰りのうた 童謡	童謡弾き歌い(秋の課題曲)

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007500 ピアノレッスンⅣ　A1クラス 【ナンバリング：210044】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅢで培った基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. コードネームを理解し音楽の流れを意識した表現の工夫。
2. 音楽表現の深さと詩情的表現演奏を培う。
3. 伴奏付けと非和声音の扱いの工夫。
4. 2年間の集大成における自由表現の向上を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度、ピアノ表現発表によって評価する。
課題表現発表(童謡)
滑らかに演奏する、歌が伴奏よりも浮き出ている、途中で止まらずになめらかに演奏する、表情豊かに演奏する

自由曲
アナリーゼが理解されている
曲の表情、テクニックが確かである

課題に対するフィードバック

表現発表ではレッスン担当全教員で評価し結果を開示する。

講義時使用テキスト

参考文献

うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ　幼稚園のマーチ・ピアノ曲集　　坂東貴余子・見角幾代共著　ドレミ楽譜出版社
バイエル教則本
ブルクミューラー25の練習曲
ツェルニー100番練習曲
ツェルニー30番練習曲
ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行う。レッスンを欠席しないこと。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コードネームの理解	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
2	駆け足・スキップ・ワルツ等音楽リズム反応にふさわしい曲を選び学習する(わらべ歌も同様)	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
3	春夏秋冬の季節の特色に合わせた選曲をし演奏する	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
4	秋課題表現発表	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
5	編曲の基礎練習とメロディーの変奏法 メロディーの装飾と変奏法	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
6	和声構成音を中心とした伴奏付けと非和声音の扱い	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
7	秋のさぐり弾きの定着化とメロディー感覚の育成課題発表	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
8	おかあさん、アイアイ表現発表	課題:おかあさん、アイアイ	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
9	ポリフォニックな楽曲の演奏法①	課題: 1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
10	ポリフォニックな楽曲の演奏法②	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習
11	冬の課題表現発表	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
12	両手における各指の均等性・タッチについて	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	個人の進度に合わせた曲の練習
13	音楽表現の深さと詩情的演奏について	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
14	手首の柔軟さ、主旋律としての響き(演奏の自由さと軽やかさ)	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
15	ピアノ表現発表	自由曲:表現発表練習	保育の現場で使うピアノ曲練習

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007501 ピアノレッスンⅣ　A2クラス 【ナンバリング：210044】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅢで培った基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. コードネームを理解し音楽の流れを意識した表現の工夫。
2. 音楽表現の深さと詩情的表現演奏を培う。
3. 伴奏付けと非和声音の扱いの工夫。
4. 2年間の集大成における自由表現の向上を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度、ピアノ表現発表によって評価する。
課題表現発表(童謡)
滑らかに演奏する、歌が伴奏よりも浮き出ている、途中で止まらずになめらかに演奏する、表情豊かに演奏する

自由曲
アナリーゼが理解されている
曲の表情、テクニックが確かである

課題に対するフィードバック

表現発表ではレッスン担当全教員で評価し結果を開示する。

講義時使用テキスト

参考文献

うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ　幼稚園のマーチ・ピアノ曲集　　坂東貴余子・見角幾代共著　ドレミ楽譜出版社
バイエル教則本
ブルクミューラー25の練習曲
ツェルニー100番練習曲
ツェルニー30番練習曲
ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行う。レッスンを欠席しないこと。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コードネームの理解	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
2	駆け足・スキップ・ワルツ等音楽リズム反応にふさわしい曲を選び学習する(わらべ歌も同様)	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
3	春夏秋冬の季節の特色に合わせた選曲をし演奏する	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
4	秋課題表現発表	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
5	編曲の基礎練習とメロディーの変奏法 メロディーの装飾と変奏法	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
6	和声構成音を中心とした伴奏付けと非和声音の扱い	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
7	秋のさぐり弾きの定着化とメロディー感覚の育成課題発表	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
8	おかあさん、アイアイ表現発表	課題:おかあさん、アイアイ	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
9	ポリフォニックな楽曲の演奏法①	課題: 1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
10	ポリフォニックな楽曲の演奏法②	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習
11	冬の課題表現発表	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
12	両手における各指の均等性・タッチについて	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	個人の進度に合わせた曲の練習
13	音楽表現の深さと詩情的演奏について	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
14	手首の柔軟さ、主旋律としての響き(演奏の自由さと軽やかさ)	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
15	ピアノ表現発表	自由曲:表現発表練習	保育の現場で使うピアノ曲練習

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007502 ピアノレッスンⅣ　B1クラス 【ナンバリング：210044】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅢで培った基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. コードネームを理解し音楽の流れを意識した表現の工夫。
2. 音楽表現の深さと詩情的表現演奏を培う。
3. 伴奏付けと非和声音の扱いの工夫。
4. 2年間の集大成における自由表現の向上を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度、ピアノ表現発表によって評価する。
課題表現発表(童謡)
滑らかに演奏する、歌が伴奏よりも浮き出ている、途中で止まらずになめらかに演奏する、表情豊かに演奏する

自由曲
アナリーゼが理解されている
曲の表情、テクニックが確かである

課題に対するフィードバック

表現発表ではレッスン担当全教員で評価し結果を開示する。

参考文献

絆の音楽性　つながりの基盤を求めて　　スティーブン・マロック、コルウィン・トレヴァーセン編　音楽之友社

講義時使用テキスト

うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ　幼稚園のマーチ・ピアノ曲集　　坂東貴余子・見角幾代共著 ドレミ楽譜出版社
バイエル教則本
ブルクミューラー25の練習曲
ツェルニー100番練習曲
ツェルニー30番練習曲
ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行う。レッスンを欠席しないこと。

実務との関連

48年に及ぶピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。
その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コードネームの理解	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
2	駆け足・スキップ・ワルツ等音楽リズム反応にふさわしい曲を選び学習する(わらべ歌も同様)	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
3	春夏秋冬の季節の特色に合わせた選曲をし演奏する	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
4	秋課題表現発表	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
5	編曲の基礎練習とメロディーの変奏法 メロディーの装飾と変奏法	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
6	和声構成音を中心とした伴奏付けと非和声音の扱い	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
7	秋のさぐり弾きの定着化とメロディー感覚の育成課題発表	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
8	おかあさん、アイアイ表現発表	課題:おかあさん、アイアイ	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
9	ポリフォニックな楽曲の演奏法①	課題: 1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
10	ポリフォニックな楽曲の演奏法②	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習
11	冬の課題表現発表	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
12	両手における各指の均等性・タッチについて	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	個人の進度に合わせた曲の練習
13	音楽表現の深さと詩情的演奏について	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
14	手首の柔軟さ、主旋律としての響き(演奏の自由さと軽やかさ)	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
15	ピアノ表現発表	自由曲:表現発表練習	保育の現場で使うピアノ曲練習

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007503 ピアノレッスンⅣ　B2クラス 【ナンバリング：210044】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	実技	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

1. ピアノレッスンⅢで培った基礎を活用して実践的表現ができる。
2. 保育士・幼稚園教諭にふさわしい基礎技能を高め、弾き歌いの向上に努め実践的表現ができる。
3. ピアノ演奏を通し、個の人格形成や美的音楽表現の向上を図り表現できる。

授業概要(教育目的)

1. コードネームを理解し音楽の流れを意識した表現の工夫。
2. 音楽表現の深さと詩情的表現演奏を培う。
3. 伴奏付けと非和声音の扱いの工夫。
4. 2年間の集大成における自由表現の向上を図る。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度、ピアノ表現発表によって評価する。
課題表現発表(童謡)
滑らかに演奏する、歌が伴奏よりも浮き出ている、途中で止まらずになめらかに演奏する、表情豊かに演奏する

自由曲
アナリーゼが理解されている
曲の表情、テクニックが確かである

課題に対するフィードバック

表現発表ではレッスン担当全教員で評価し結果を開示する。

講義時使用テキスト

参考文献

うたって・つくって・遊ぼう(幼児表現教育研究会、音楽之友社)
行事に役立つ　幼稚園のマーチ・ピアノ曲集　　坂東貴余子・見角幾代共著　ドレミ楽譜出版社
バイエル教則本
ブルクミューラー25の練習曲
ツェルニー100番練習曲
ツェルニー30番練習曲
ソナチネ、ソナタ、シューベルト、メンデルスゾーン、ショパン、ベートーヴェン、その他。

資格との関連

保育士資格選択必修科目

学生へのメッセージ

個人に合わせた指導を徹底して行う。レッスンを欠席しないこと。

実務との関連

ピアノ指導、声楽、ソルフェージュ、合唱の指導経験あり。その他、演奏活動多数。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	コードネームの理解	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
2	駆け足・スキップ・ワルツ等音楽リズム反応にふさわしい曲を選び学習する(わらべ歌も同様)	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
3	春夏秋冬の季節の特色に合わせた選曲をし演奏する	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
4	秋課題表現発表	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習	課題:10, 11. 12 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
5	編曲の基礎練習とメロディーの変奏法 メロディーの装飾と変奏法	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
6	和声構成音を中心とした伴奏付けと非和声音の扱い	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
7	秋のさぐり弾きの定着化とメロディー感覚の育成課題発表	課題:1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
8	おかあさん、アイアイ表現発表	課題:おかあさん、アイアイ	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
9	ポリフォニックな楽曲の演奏法①	課題: 1, 2, 3月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	課題:1, 2, 3 月のプログラム課題練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
10	ポリフォニックな楽曲の演奏法②	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習
11	冬の課題表現発表	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習	課題:1, 2, 3月のプログラム課題表現練習 自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
12	両手における各指の均等性・タッチについて	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	個人の進度に合わせた曲の練習
13	音楽表現の深さと詩情的演奏について	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
14	手首の柔軟さ、主旋律としての響き(演奏の自由さと軽やかさ)	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習	自由曲:個人の進度に合わせた曲の練習
15	ピアノ表現発表	自由曲:表現発表練習	保育の現場で使うピアノ曲練習

講義名	9013009000 総合表現 【ナンバリング：210045】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

・幼児の豊かな感性(喜び、楽しさ、美しさ、優しさ、悲しみ、憧れ、怒り、感動)
・表現する意欲(内的音楽表現、大小の表現、リズム知覚と反応、指遊び、手遊び)
・創造力を促す体験学習(イメージ即興表現、生活と自然の中の音、劇遊び、主体的自由表現)
これらから、音楽的感覚表現、造型表現、主体的身体表現などを統合させながら、基礎的知識、応用的技能、発達段階を促す幼児の教材研究の充実を図り、共感体験を音楽的、且つ総合的に表現する。

授業概要(教育目的)

2年間の学修で身につけた知識・技術を基に、オペレッタの共同制作を通して、以下の5つの観点から保育者としての資質の向上を図る。1)一つの目標に向かって協力しあう心、2)決めた目標を皆で膨らませる協調性と創造性、3)個性のぶつかりあいをプラスになるように工夫し、取り組む姿勢、4)積極性と、時には自分の考えを引く勇気、5)周りの人を思い遣る気持ち、忍耐と寛容。これらの目標を認識し、総合芸術表現を目指す。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

表現内容や発表、受講態度を総合的に判断して評価する。

課題に対するフィードバック

グループ活動中心の授業であるため、その都度、言葉がけや映像の確認によるフィードバックを行う。
また、リハーサルでは学生間での評価を行うものとする。

参考文献

必要に応じてプリントを配布する。

講義時使用テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

グループ活動となります。個人の独断での行動は控え、報告・連絡・相談を徹底させましょう。

実務との関連

ミニオペレッタにおいて、音楽・美術・体育を柱とした総合芸術となるプロデュースを手掛けています。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	造型表現① ・背景幕、大道具、小道具作成	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を活動表に記録し、次時の目標を立てる。
2	造型表現② ・照明選び	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を活動表に記録し、次時の目標を立てる。
3	造型表現③ ・衣装デッサン	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を活動表に記録し、次時の目標を立てる。
4	造型表現④ ・衣装制作	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を活動表に記録し、次時の目標を立てる。
5	身体表現① ・群舞のフォーメーションの確認	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を映像で確認する
6	身体表現② ・ソロと群舞の立ち位置の確認	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を映像で確認する
7	身体表現③ ・舞台での歩き方、走り方、所作の確認	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を映像で確認する
8	身体表現④ ・全体の流れの確認	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を映像で確認する
9	音楽表現① ・手遊びの役割分担	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を映像で確認する
10	音楽表現② ・手遊びのリハーサル	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を映像で確認する
11	音楽表現③ ・台詞の表現法	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を映像で確認する
12	音楽表現④ ・劇中の歌唱表現法	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を映像で確認する
13	造型表現・身体表現・音楽表現① ・衣装をつけて学内リハーサル	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を映像で確認する
14	造型表現・身体表現・音楽表現② ・会場でのリハーサル	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を映像で確認する
15	造型表現・身体表現・音楽表現③ ・会場でメイク、衣装をつけてリハーサル	次時に必要な教材を準備する	本時の活動を映像で確認する

講義名	9013002900 保育実習ＩＡ 【ナンバリング：202046】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	野口　和也			

学習目標(到達目標)

本科目は、保育士の資格取得を目指すにあたって、既習の教科の内容を踏まえて保育所での現場実習を経験することにより、知識や技術の修得を深めるとともに、保育者の業務や職業倫理について具体的に学ぶことを目的とする。到達目標は以下の5点である。
①保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解し、説明することができる
②観察や子どもとの関わりを通して子ども理解を深め、保育に役立たせる
③これまで学んできたことを踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に修得する。
④保育の計画、観察、記録及び自己評価等について理解し、実習日誌等に適切に記載できるようになる
⑤職業倫理に基づいた保育者の業務を学び、行動できるようになる

授業概要(教育目的)

近年、子どもを取り巻く生活環境は大きく変貌し、保護者の子育てに対する意識も変化してきている。それに伴い、保育の社会的ニーズは複雑化・多様化し、保育士に対する期待は増大している。したがって、保育士はより専門化された知識や技術を身につけることが求められ、さらには人間性や資質までも問われることとなっている。そのため、本科目では、そうした保育の現場を体験することにより、保育所の機能や役割、保育士の職務や専門性、地域福祉等について、講義で学んだものを発展させてより深く理解するとともに、これからの自身の課題を見出し、真摯に受け止める学びの姿勢を養うものとする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

保育施設からの実習評価および実習日誌を基に評価する。

課題に対するフィードバック

実習終了後の事後指導において個別にフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	＜保育所実習の内容＞ 1. 保育所の役割と機能 (1)保育所における子どもの生活と保育士の援助や関わり (2)保育所保育指針に基づく保育の展開 2. 子どもの理解 (1)子どもの観察とその記録による理解 (2)子どもの発達過程の理解 (3)子どもへの援助や関わり 3. 保育内容・保育環境 (1)保育の計画に基づく保育内容 (2)子どもの発達過程に応じた保育内容 (3)子どもの生活や遊びと保育環境 (4)子どもの健康と安全 4. 保育の計画・観察・記録 (1)全体的な計画と指導計画及び評価の理解 (2)記録に基づく省察・自己評価 5. 専門職としての保育士の役割と職業倫理 (1)保育士の業務内容 (2)職員間の役割分担や連携・協働 (3)保育士の役割と職業倫理	実習の手引きを読む	指導された内容を整理する

講義名	9013003000 保育実習ＩＢ 【ナンバリング：202047】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	天摩　雅和		

学習目標(到達目標)

本科目は、施設における実習を行うことにより、施設の機能及び構造、入所者の生活を理解するとともに、居住型児童福祉施設等における支援の基本的考え方、方法を体験を通して獲得していくことを目的としている。その上で、以下の7.点を到達目標とする。
1.児童福祉施設等の機能や役割を理解し説明することができる。
2.児童福祉施設等を利用している子ども(利用者)の特性を知り、一人ひとりの特性に合った関わりがもてるようになる。
3.児童福祉施設等の保育士に求められる資質・能力・技術に照らし合わせて、自己の課題を明確にすることができる。
4.子どもやそれを取り巻く環境に対する働きかけに触れ、職員が実践している個々のニーズに即した業務内容や対処方法を理解し、活用することができる。
5.子ども(または知的障害者等)の最善の利益を具体化する方法について理解し説明できる。
6.保育士としての価値及び倫理を職員から学び、説明したりそれを踏まえ実践できるようになる。
7.児童福祉施設等と保護者、地域との関係に触れ、実践の場で活用することができる。

授業概要(教育目的)

保育士は、幼児教育或いは幼稚園教諭と混合した見方をされがちであるが、本来福祉の専門職である。そのため、本科目では、居住型児童福祉施設等での実習を行うことにより、施設の機能や福祉専門職としての保育士の役割を明確にしながら、養護をより深く理解すると共に、実践を通して保育士として必要な資質・能力・技術を習得するものである。更に家庭と地域の実態に触れ、子ども家庭福祉ニーズに対する理解力と判断力、そして子育てを支援するために必要とされる組織力、ネットワークに触れ実践の場で活用できるよう指導、助言を受けながら、自ら確立していくものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

出勤状況、勤務態度、実習日誌の内容、実習評価(実習施設及び巡回担当教員)等から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

実習終了後の事後指導において個別にフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

保育実習学内指導で用いられるテキスト及び実習の手引

資格との関連

保育士資格(必修科目)

学生へのメッセージ

実習指導の手引きを熟読のうえ、実習に臨むこと。また、ボランティア活動等を積極的に行うこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育実習ＩＢ	実習指導で学んだことを整理し、「実習の手引き」を熟読する。	「施設実習を終えての反省と展望」を記載し、課題の解決方法を明確にする。

講義名	9013002800 保育実習指導Ⅰ【ナンバリング：202048】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	天摩　雅和			

学習目標(到達目標)

以下の5点を到達目標とする。
1. 保育実習(保育所・施設)の意義と目的を説明できる。
2. 実習施設における子どもの人権と利益を考慮し、守秘義務を守ることができる。
3. 正しい形式で実習の記録を作成することができる。
4. 実習の内容を理解し、自己の課題を明確にして学習に臨むことができる。
5. 実習の事後指導を通じて自己評価を行い、新たな課題や学習目標を見いだすことができる。

授業概要(教育目的)

本科目は、本学カリキュラムにおいて保育士資格取得の必修科目である「保育実習1A」(保育所)・「保育実習1B」(施設)の事前および事後指導として行うものである。したがって、実習の意義を理解し、実習を円滑に進めていくために事前に必要な準備を行うこと、実習体験を深化すること、実習後に反省を行い学習内容・課題を明確化することを目指した指導を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

平常点(授業態度)と課題(提出状況、内容)によって評価する。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文)は、次の授業て代表的なものをいくつかフィードバックする。
必要な学生には個別に学習指導を行う。
成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

『実習の手引き』及び『実習関係提出書類』(学内配布)を使用する。毎時間必ず持参すること。
保育実習1B(施設実習)の指導の際には、保育資料集を持参すること。

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習全体オリエンテーション(実習の目的、実習指導の内規説明及び誓約)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
2	施設実習概要説明、施設実習先発表	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
3	保育所実習選択説明①	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
4	施設見学オリエンテーション	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
5	施設見学実習	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
6	施設見学実習	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
7	保育所実習選択説明②	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
8	施設見学実習	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
9	施設見学実習	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
10	保育所実習内諾訪問指導(日程発表)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
11	保育実習ⅠA概要説明(ビデオ視聴)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
12	実習日誌の書き方指導①(裏面の書き方指導)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
13	実習日誌の書き方指導②(演習①)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
14	保育実習ⅠB事前学習①(実習施設、利用者、障がい等の調査)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
15	実習日誌書き方指導③(①の返却、演習②)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
16	保育実習ⅠB事前学習②(調査)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
17	保育実習ⅠA・ⅠBオリエンテーション(実習評価の説明等)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
18	保育実習事前学習③(発表)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
19	保育実習事前学習③(発表)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
20	保育実習Ⅱ反省会	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
21	保育実習ⅠA・ⅠBオリエンテーション②(実習目標・個人票の下書き・細菌検査の説明)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
22	園長講話	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
23	保育実習ⅠA・ⅠBオリエンテーション③(日誌配布、下書きの返却)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
24	卒業生講話	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
25	保育実習ⅠA・ⅠBオリエンテーション④(事前訪問指導)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
26	保育実習ⅠA・ⅠBオリエンテーション⑤(事前オリエンテーション)	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
27	保育実習ⅠAゼミナール反省会	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
28	保育実習ⅠA全体反省会	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
29	施設実習ⅠBグループ反省会	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する
30	施設実習ⅠB全体反省会	テキストの該当箇所を読み内容理解の準備を行う	要点を整理し期日までに課題を提出する

講義名	9013003100 保育実習Ⅱ 【ナンバリング：200049】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	加藤　康子			

学習目標(到達目標)

本科目では、既習の教科や保育実習ＩＡ(保育所)およびＩＢ(施設)において学んだ内容について深化を図るとともに、自身が先の実習において見出した課題に対して実践的に取り組み、保育士に必要な知識や技術、能力、資質の向上を図ることを目的とする。到達目標は以下の4点である。
①子どもの発達段階に応じた適切な関わりをもつことができる。
②子どもの言動や行動から心情を察し対応することができる。
③中心活動を立案し、環境構成及び保育の準備を行い実践することができる。
④保育所の役割や機能および保育士の業務や職業倫理について、具体的に理解し、保育実践につなげることができる。

授業概要(教育目的)

保育実習ＩＡ(保育所)においては観察実習が中心だったが、本科目では保育所における保育活動全般に参加することにより、保育所の持つ本来的な役割や求められる機能、地域子育て支援の実践基地としての保育所の働き、保育士の職務やその専門性について、より実践的に学ぶ。さらに、乳幼児の成長及び発達を明確な視点をもって観察し、一人ひとりの子どもと緊密な関わりをもち、クラスにおいて保育計画を作成し実践することが期待される。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

保育施設からの評価および実習日誌を基に評価する。

課題に対するフィードバック

実習終了後の事後指導において個別にフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

特に指定しない。必要に応じてプリントの配布、映像資料を用意する。

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1．保育所の役割や機能の具体的展開 (1)養護と教育が一体となって行われる保育 (2)保育所の社会的役割と責任 2．観察に基づく保育の理解 (1)子どもの心身の状態や活動の観察 (2)保育士等の援助や関わり (3)保育所の生活の流れや展開の把握 3．子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 (1)環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育 (2)入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援 (3)関係機関や地域社会との連携・協働 4．指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 (1)全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解 (2)作成した指導計画に基づく保育の実践と評価 5．保育士の業務と職業倫理 (1)多様な保育の展開と保育士の業務 (2)多様な保育の展開と保育士の職業倫理 6．自己の課題の明確化	実習の手引きを読む	指導された内容を整理する

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013003300 保育実習指導Ⅱ 【ナンバリング：200050】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	野口　和也			

学習目標(到達目標)

既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、実習に向けて保育実践力をより強化することを目的とする。
到達目標は以下の4点である。
1. 明確な視点をもって観察・記録し、考察することができる。
2. 適切な形式で保育計画を作成し、実践に臨むことができる。
3. 保育士の業務や職業倫理について説明することができる。
4. 実習の事後指導を通じて、実習の総括と自己評価を行い、自身の課題を具体的に述べることができる。

授業概要(教育目的)

本科目は本学カリキュラムにおいて保育士資格取得のために必須としている「保育実習Ⅱ」(保育所)の事前および事後指導として行うものである。しかし、保育実習のⅠAとⅡが単に同じ施設で行うというだけでなく、両者が連動して学びが発展することが期待されるように、保育実習指導のⅠとⅡも切り離されたものではない。本科目では保育実習指導Ⅰと合わせて、学生が実習を円滑に行い、保育士としての専門性と実践力を高めることを目指した指導を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

平常点(授業態度)と課題(提出状況、内容)によって評価する。

課題に対するフィードバック

提出された課題については、添削し、個別に指導をおこなう。

参考文献

講義時使用テキスト

『実習の手引き』及び『実習関係提出書類』(学内配布)を使用する。毎時間必ず持参すること。

資格との関連

保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習日誌書き方指導(1)	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
2	実習日誌書き方指導(2)	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
3	実習日誌書き方指導(3)	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
4	保育実習Ⅱオリエンテーション1(目標設定)	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
5	模擬保育オリエンテーション	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
6	模擬保育1	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
7	模擬保育2	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
8	模擬保育3	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
9	保育実習Ⅱオリエンテーション2(事前指導)	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
10	保育士登録説明	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
11	保育実習Ⅱ反省会(ゼミ)	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
12	保育実習Ⅱ反省会(全体)	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
13	実習評価個別指導1	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
14	実習評価個別指導2	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する
15	実習報告会	テキストの該当箇所を読み、内容理解の準備をおこなう	要点を整理し期日までに課題を提出する

講義名	9013003200 保育実習Ⅲ 【ナンバリング：200051】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	天摩　雅和		

学習目標(到達目標)

保育実習1B(施設)において学修してきた体験を生かし、自己のレベルアップを目指し広い知識と技術を習得するために履修されるものである。
1. 児童福祉施設等(保育所以外)等の役割や機能について説明することができる。
2. 保育士の業務内容や職業倫理を意識しながら実践に結び付けることができる。
3. 子ども(利用者)一人ひとりの特性を踏まえ、関係を築きながら保育士として適切な支援を(職員の指導の下)行うことができる。
4.子ども(利用者)の状況に応じた計画の立案と、その計画に基づいた支援を行うことができる。
5. 家庭と地域の生活実態にふれて、児童家庭福祉及び社会的養護に対する理解を深めるとともに、保護者支援や家庭支援のための知識、技術、判断力を身につける。

授業概要(教育目的)

保育士に必要な資質・能力・技術を習得し、活用することができる。また家庭と地域の生活実態に触れ、子ども家庭福祉ニーズに対する理解、判断力を養うとともに、子育て支援を統合していく機会とする。また保育士の職業倫理に基づいた施設における支援の実際を子ども(利用者)、家族、それを取り巻く地域社会と様々な視点を統合しながら支援の在り方を明確にしていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

出勤状況、勤務態度、実習日誌の内容、実習評価(実習施設及び巡回担当教員)等から総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

実習終了後の事後指導において個別にフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

実習の手引き

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

実習指導の手引きを熟読の上、実習に臨むこと。
積極的にボランティア活動を行うこと。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育実習Ⅲ	・実習指導で学んだことを整理する。 ・「実習の手びき」を熟読する。 ・実習先について調べる。	「施設実習を終えての反省と展望」に記載し、課題の解決方法を明確にする。

講義名	9013003400 保育実習指導Ⅲ 【ナンバリング：200052】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	天摩　雅和		

学習目標(到達目標)

本科目は、保育実習Ⅲの準備(事前学習)と事後学習のためのものである。保育実習Ⅲは、保育所以外の児童福祉施設等の実習であり、保育実習ⅠBを踏まえ、自己の課題や到達目標を明確にし、より専門的な視点に立って実習に取り組まなければならない。つまり保育実習を円滑に進めていく為の知識・技術を習得し、学習内容・課題を明確にするとともに、実習体験を深化させるものとする必要がある。
1.保育実習Ⅲの意義と目的を理解する。
2.保育実習Ⅰや既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培う。
3.保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえ、自身の保育実践における改善点を明確にする。
4.保育士の専門性と職業倫理に基づいた行動実践ができるよう、基本的な考え方を身につける。
5.実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題やら認識を明確にする。

授業概要(教育目的)

保育実習や既習の教科の内容やその関連性を踏まえ、保育実践力を培うことを目的とする。また、振り返りを前提とした保育の具体的実践について理解するとともに保育士の専門性の理解と専門的知識や技術の獲得を図るものとする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

見学実習の態度、授業態度やレポート課題の内容、その他関係書類の提出状況等で総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

『実習の手引き』を参照

資格との関連

保育士資格選択科目

学生へのメッセージ

なし

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育実習Ⅲオリエンテーション(保育実習の概略、日程、施設の選択説明)	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
2	見学実習オリエンテーション(見学施設の概要と行程について)	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
3	施設見学事前学習(対象施設の事前調査、レポート課題)	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
4	施設見学	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
5	施設見学	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
6	見学実習の反省と実習Ⅲにむけた課題抽出	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
7	実習施設の調整	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
8	実習先に関する事前学習 1(個別)	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
9	実習先に関する事前学習 2(全体)	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
10	援助計画の立案と実践	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
11	実習日誌の書き方指導	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
12	実習の目標設定	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
13	実習前オリエンテーション	実習の手引きの該当部分を読む	授業内容のポイントを整理する
14	保育実習Ⅲ反省会(全体)	発表内容の確認と発表の練習をする	他の実習生の発表内容を整理する
15	保育実習Ⅲ反省会(個別)	自己評価表を作成する	実習施設からの評価を見て省察する

講義名	9013006500	教職・保育実践演習　A1クラス 【ナンバリング：203053】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

以下の4点を科目の目的とする。
1. これまでの科目履修や実習を通しての学びを整理し、専門職として必要な事柄を整理する。
2. 教職と保育の専門性、社会的責任、倫理観を理解する。
3. 教職と保育の現代的課題、問題解決のための科目横断的な学習能力と判断力を高める。
4. 実習の反省と残された課題をつなげ、教職と保育の実践力を高める。

授業概要(教育目的)

4人の教員がオムニバスで担当する。授業の形態は講義、グループ討論、ロールプレイング、模擬保育などさまざまである。学生が主体的に演習課題に取り組むことで、学びを深めるとともに、自己課題を明確化し、卒業後の専門職者としての能力と態度を涵養する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

提出物、発表内容、授業態度等によって総合的に評価する。4人の担当者の評価の平均を科目の評価とする。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文など)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

参考文献は授業中に紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

第1回～第4回について、公立幼稚園教諭などとして勤務してきた差波が、実務経験をもとに、保育者としてキャリアをどのように積み上げていくか、またその方法などについて、自身の経験を踏まえて講義する。第5回～第7回については、保育園長、子育て支援の専門職を担ってきた今が、職場における同僚との関係性の大切さや教育相談におけるカウンセリング・マインドについての解説及び保護者とのコミュニケーションの重要性などについて、自身の経験を踏まえて講義する。第12回～第15回については、公立高校教諭・校長を務めてきた吹越が、教職員としての倫理観や、仕事に望む姿勢などについて、自身の経験を踏まえて講義する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	これまでの学修を振り返る～「自己評価シート」「自己学習課題」の作成	保育実習、教育実習を振り返るとともに、2年前期までの学習についての自己課題について考えておく。	自分なりに見出した課題の解決方法について考察する。
2	幼児教育の現代的課題	授業内容についてインターネットなどを活用し調べておく。	授業で使用した資料などを読む。
3	保育実践～見取りとカンファレンス	実習日誌を読み返す。	授業で使用した資料などを読む。
4	保育者のキャリアラダー～園内研修の体験	「キャリアラダー」という用語について調べ、まとめておく。	授業で使用した資料などを読む。
5	人間関係について、教育相談の意義と目的～講義とエクササイズ	授業テーマについて、自分なりに考えたり意見をまとめたりする。	授業で使用した資料などを読む。
6	保育者のコミュニケーション～講義とロールプレイ	授業テーマについて、グループで考えたりまとめたりする。	授業で使用した資料などを読む。
7	職業人の社会性と対人関係～講義とグループ討論	授業テーマについて、グループで討論し、発表する。	授業で使用した資料などを読む。
8	教職・保育の意義や保育者の役割	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
9	子どもの行動の変化に関する検討①DVD教材(変化が生じた場面)の分析	実習日誌を読み直す。	自分の事例について考察する。
10	子どもの行動の変化に関する検討②「変化を引き出せた」事例の発表	事例発表の資料を作成する。	授業で使用した資料を読み直す。
11	子どもの行動の変化に関する検討③DVD教材(変化が生じなかった場面)の分析	実習日誌を読み直す。	自分の事例について考察する。
12	子どもの行動の変化に関する検討④「変化を引き出せなかった」事例の発表	事例発表の資料を作成する。	授業で使用した資料を読み直す。
13	保育者としての使命感・倫理観	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
14	園の安全管理・危機管理	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
15	社会人としての心構えと対人関係能力	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。

講義名	9013006501	教職・保育実践演習　A2クラス 【ナンバリング：203053】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

以下の4点を科目の目的とする。
1. これまでの科目履修や実習を通しての学びを整理し、専門職として必要な事柄を整理する。
2. 教職と保育の専門性、社会的責任、倫理観を理解する。
3. 教職と保育の現代的課題、問題解決のための科目横断的な学習能力と判断力を高める。
4. 実習の反省と残された課題をつなげ、教職と保育の実践力を高める。

授業概要(教育目的)

4人の教員がオムニバスで担当する。授業の形態は講義、グループ討論、ロールプレイング、模擬保育などさまざまである。学生が主体的に演習課題に取り組むことで、学びを深めるとともに、自己課題を明確化し、卒業後の専門職者としての能力と態度を涵養する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

提出物、発表内容、授業態度等によって総合的に評価する。4人の担当者の評価の平均を科目の評価とする。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文など)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

参考文献は授業中に紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

第1回～第4回について、公立幼稚園教諭などとして勤務してきた差波が、実務経験をもとに、保育者としてキャリアをどのように積み上げていくか、またその方法などについて、自身の経験を踏まえて講義する。第5回～第7回については、保育園長、子育て支援の専門職を担ってきた今が、職場における同僚との関係性の大切さや教育相談におけるカウンセリング・マインドについての解説及び保護者とのコミュニケーションの重要性などについて、自身の経験を踏まえて講義する。第12回～第15回については、公立高校教諭・校長を務めてきた吹越が、教職員としての倫理観や、仕事に望む姿勢などについて、自身の経験を踏まえて講義する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	これまでの学修を振り返る～「自己評価シート」「自己学習課題」の作成	保育実習、教育実習を振り返るとともに、2年前期までの学習についての自己課題について考えておく。	自分なりに見出した課題の解決方法について考察する。
2	幼児教育の現代的課題	授業内容についてインターネットなどを活用し調べておく。	授業で使用した資料などを読む。
3	保育実践～見取りとカンファレンス	実習日誌を読み返す。	授業で使用した資料などを読む。
4	保育者のキャリアラダー～園内研修の体験	「キャリアラダー」という用語について調べ、まとめておく。	授業で使用した資料などを読む。
5	人間関係について、教育相談の意義と目的～講義とエクササイズ	授業テーマについて、自分なりに考えたり意見をまとめたりする。	授業で使用した資料などを読む。
6	保育者のコミュニケーション～講義とロールプレイ	授業テーマについて、グループで考えたりまとめたりする。	授業で使用した資料などを読む。
7	職業人の社会性と対人関係～講義とグループ討論	授業テーマについて、グループで討論し、発表する。	授業で使用した資料などを読む。
8	教職・保育の意義や保育者の役割	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
9	子どもの行動の変化に関する検討①DVD教材(変化が生じた場面)の分析	実習日誌を読み直す。	自分の事例について考察する。
10	子どもの行動の変化に関する検討②「変化を引き出せた」事例の発表	事例発表の資料を作成する。	授業で使用した資料を読み直す。
11	子どもの行動の変化に関する検討③DVD教材(変化が生じなかった場面)の分析	実習日誌を読み直す。	自分の事例について考察する。
12	子どもの行動の変化に関する検討④「変化を引き出せなかった」事例の発表	事例発表の資料を作成する。	授業で使用した資料を読み直す。
13	保育者としての使命感・倫理観	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
14	園の安全管理・危機管理	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
15	社会人としての心構えと対人関係能力	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。

講義名	9013006502	教職・保育実践演習　B1クラス 【ナンバリング：203053】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

以下の4点を科目の目的とする。
1. これまでの科目履修や実習を通しての学びを整理し、専門職として必要な事柄を整理する。
2. 教職と保育の専門性、社会的責任、倫理観を理解する。
3. 教職と保育の現代的課題、問題解決のための科目横断的な学習能力と判断力を高める。
4. 実習の反省と残された課題をつなげ、教職と保育の実践力を高める。

授業概要(教育目的)

4人の教員がオムニバスで担当する。授業の形態は講義、グループ討論、ロールプレイング、模擬保育などさまざまである。学生が主体的に演習課題に取り組むことで、学びを深めるとともに、自己課題を明確化し、卒業後の専門職者としての能力と態度を涵養する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

提出物、発表内容、授業態度等によって総合的に評価する。4人の担当者の評価の平均を科目の評価とする。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文など)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

参考文献は授業中に紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

第1回～第4回について、公立幼稚園教諭などとして勤務してきた差波が、実務経験をもとに、保育者としてキャリアをどのように積み上げていくか、またその方法などについて、自身の経験を踏まえて講義する。第5回～第7回については、保育園長、子育て支援の専門職を担ってきた今が、職場における同僚との関係性の大切さや教育相談におけるカウンセリング・マインドについての解説及び保護者とのコミュニケーションの重要性などについて、自身の経験を踏まえて講義する。第12回～第15回については、公立高校教諭・校長を務めてきた吹越が、教職員としての倫理観や、仕事に望む姿勢などについて、自身の経験を踏まえて講義する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	これまでの学修を振り返る～「自己評価シート」「自己学習課題」の作成	保育実習、教育実習を振り返るとともに、2年前期までの学習についての自己課題について考えておく。	自分なりに見出した課題の解決方法について考察する。
2	幼児教育の現代的課題	授業内容についてインターネットなどを活用し調べておく。	授業で使用した資料などを読む。
3	保育実践～見取りとカンファレンス	実習日誌を読み返す。	授業で使用した資料などを読む。
4	保育者のキャリアラダー～園内研修の体験	「キャリアラダー」という用語について調べ、まとめておく。	授業で使用した資料などを読む。
5	人間関係について、教育相談の意義と目的～講義とエクササイズ	授業テーマについて、自分なりに考えたり意見をまとめたりする。	授業で使用した資料などを読む。
6	保育者のコミュニケーション～講義とロールプレイ	授業テーマについて、グループで考えたりまとめたりする。	授業で使用した資料などを読む。
7	職業人の社会性と対人関係～講義とグループ討論	授業テーマについて、グループで討論し、発表する。	授業で使用した資料などを読む。
8	教職・保育の意義や保育者の役割	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
9	子どもの行動の変化に関する検討①DVD教材(変化が生じた場面)の分析	実習日誌を読み直す。	自分の事例について考察する。
10	子どもの行動の変化に関する検討②「変化を引き出せた」事例の発表	事例発表の資料を作成する。	授業で使用した資料を読み直す。
11	子どもの行動の変化に関する検討③DVD教材(変化が生じなかった場面)の分析	実習日誌を読み直す。	自分の事例について考察する。
12	子どもの行動の変化に関する検討④「変化を引き出せなかった」事例の発表	事例発表の資料を作成する。	授業で使用した資料を読み直す。
13	保育者としての使命感・倫理観	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
14	園の安全管理・危機管理	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
15	社会人としての心構えと対人関係能力	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。

講義名	9013006503	教職・保育実践演習　B2クラス 【ナンバリング：203053】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

以下の4点を科目の目的とする。
1. これまでの科目履修や実習を通しての学びを整理し、専門職として必要な事柄を整理する。
2. 教職と保育の専門性、社会的責任、倫理観を理解する。
3. 教職と保育の現代的課題、問題解決のための科目横断的な学習能力と判断力を高める。
4. 実習の反省と残された課題をつなげ、教職と保育の実践力を高める。

授業概要(教育目的)

4人の教員がオムニバスで担当する。授業の形態は講義、グループ討論、ロールプレイング、模擬保育などさまざまである。学生が主体的に演習課題に取り組むことで、学びを深めるとともに、自己課題を明確化し、卒業後の専門職者としての能力と態度を涵養する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

提出物、発表内容、授業態度等によって総合的に評価する。4人の担当者の評価の平均を科目の評価とする。

課題に対するフィードバック

課題(レポート、感想文など)は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。

参考文献

参考文献は授業中に紹介する。

講義時使用テキスト

使用しない。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目、保育士資格必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

第1回～第4回について、公立幼稚園教諭などとして勤務してきた差波が、実務経験をもとに、保育者としてキャリアをどのように積み上げていくか、またその方法などについて、自身の経験を踏まえて講義する。第5回～第7回については、保育園長、子育て支援の専門職を担ってきた今が、職場における同僚との関係性の大切さや教育相談におけるカウンセリング・マインドについての解説及び保護者とのコミュニケーションの重要性などについて、自身の経験を踏まえて講義する。第12回～第15回については、公立高校教諭・校長を務めてきた吹越が、教職員としての倫理観や、仕事に望む姿勢などについて、自身の経験を踏まえて講義する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	これまでの学修を振り返る～「自己評価シート」「自己学習課題」の作成	保育実習、教育実習を振り返るとともに、2年前期までの学習についての自己課題について考えておく。	自分なりに見出した課題の解決方法について考察する。
2	幼児教育の現代的課題	授業内容についてインターネットなどを活用し調べておく。	授業で使用した資料などを読む。
3	保育実践～見取りとカンファレンス	実習日誌を読み返す。	授業で使用した資料などを読む。
4	保育者のキャリアラダー～園内研修の体験	「キャリアラダー」という用語について調べ、まとめておく。	授業で使用した資料などを読む。
5	人間関係について、教育相談の意義と目的～講義とエクササイズ	授業テーマについて、自分なりに考えたり意見をまとめたりする。	授業で使用した資料などを読む。
6	保育者のコミュニケーション～講義とロールプレイ	授業テーマについて、グループで考えたりまとめたりする。	授業で使用した資料などを読む。
7	職業人の社会性と対人関係～講義とグループ討論	授業テーマについて、グループで討論し、発表する。	授業で使用した資料などを読む。
8	教職・保育の意義や保育者の役割	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
9	子どもの行動の変化に関する検討①DVD教材(変化が生じた場面)の分析	実習日誌を読み直す。	自分の事例について考察する。
10	子どもの行動の変化に関する検討②「変化を引き出せた」事例の発表	事例発表の資料を作成する。	授業で使用した資料を読み直す。
11	子どもの行動の変化に関する検討③DVD教材(変化が生じなかった場面)の分析	実習日誌を読み直す。	自分の事例について考察する。
12	子どもの行動の変化に関する検討④「変化を引き出せなかった」事例の発表	事例発表の資料を作成する。	授業で使用した資料を読み直す。
13	保育者としての使命感・倫理観	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
14	園の安全管理・危機管理	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。
15	社会人としての心構えと対人関係能力	授業テーマについて、自分なりに考えたり調査したりする。	レポートを作成し、提出する。

講義名	9013005000 教育方法論　Aクラス 【ナンバリング：201054】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

以下の2点を目標とする。
1. 保育者に必要な「子ども理解」「指導計画」「保育実践」「省察」の内容が説明できる。
2.「子ども理解」「指導計画」「省察」が実践できる。

授業概要(教育目的)

子どもとのかかわり方、子どもの育ちのための援助の方法を具体的に学ぶ。聴講と共に、グループに分かれての調査、グループ討議等も行い、自分たちなりに教育の方法を見出して検証することができるようにする。保育実習、教育実習で経験したことをもとに、より具体的に保育の方法や、援助の方法を身につける。
また、平成29年の幼稚園教育要領の改訂によって新たに加わった情報機器の幼児教育における活用について、保育実践例を参考にその活用の在り方について考察する機会ももつ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

遅刻や居眠り、私語や携帯電話の使用などのふさわしくない受講態度について(2割の範囲で減点)、講義内の演習への取り組み状況等(4割の範囲で加点)、本試験(4割の範囲で加点)の成績によって評価する。

課題に対するフィードバック

・課題(レポート、ポスター、発表など)については、次の授業において代表的なものをいくつかフィードバックする。
・試験の成績を知りたい学生について個別に開示し、説明する。

参考文献

文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館

講義時使用テキスト

使用しない。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

・幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。実務経験をもとに、主に幼児教育における「環境を通して行う教育」という基本と、教育全般のつながりを踏まえて講義を展開する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育者の専門性とは	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
2	記録の意義・方法・内容	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
3	省察とカンファレンス	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
4	発達の段階の理解	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
5	子どもの世界①(具体的事例を通して)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
6	子どもの世界②(具体的事例を通して)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
7	子ども理解とカンファレンス	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
8	教育計画と環境の構成	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
9	保育者の援助①(登降園における)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
10	保育者の援助②(遊びにおける)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
11	保育者の援助③(協同経験における)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
12	保育者の援助④(保護者に対する)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
13	家庭や地域社会との連携～情報発信の在り方	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
14	幼児教育におけるICT活用の基本的理解	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
15	幼児教育における方法とは	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。

講義名	9013005001 教育方法論　Bクラス【ナンバリング：201054】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

以下の2点を目標とする。
1. 保育者に必要な「子ども理解」「指導計画」「保育実践」「省察」の内容が説明できる。
2.「子ども理解」「指導計画」「省察」が実践できる。

授業概要(教育目的)

子どもとのかかわり方、子どもの育ちのための援助の方法を具体的に学ぶ。聴講と共に、グループに分かれての調査、グループ討議等も行い、自分たちなりに教育の方法を見出して検証することができるようにする。保育実習、教育実習で経験したことをもとに、より具体的に保育の方法や、援助の方法を身につける。
また、平成29年の幼稚園教育要領の改訂によって新たに加わった情報機器の幼児教育における活用について、保育実践例を参考にその活用の在り方について考察する機会ももつ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

遅刻や居眠り、私語や携帯電話の使用などのふさわしくない受講態度について(2割の範囲で減点)、講義内の演習への取り組み状況等(4割の範囲で加点)、本試験(4割の範囲で加点)の成績によって評価する。

課題に対するフィードバック

・課題(レポート、ポスター、発表など)については、次の授業において代表的なものをいくつかフィードバックする。
・試験の成績を知りたい学生について個別に開示し、説明する。

参考文献

文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館

講義時使用テキスト

使用しない。

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

・幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。実務経験をもとに、主に幼児教育における「環境を通して行う教育」という基本と、教育全般のつながりを踏まえて講義を展開する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	保育者の専門性とは	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
2	記録の意義・方法・内容	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
3	省察とカンファレンス	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
4	発達の段階の理解	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
5	子どもの世界①(具体的事例を通して)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
6	子どもの世界②(具体的事例を通して)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
7	子ども理解とカンファレンス	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
8	教育計画と環境の構成	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
9	保育者の援助①(登降園における)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
10	保育者の援助②(遊びにおける)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
11	保育者の援助③(協同経験における)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
12	保育者の援助④(保護者に対する)	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
13	家庭や地域社会との連携～情報発信の在り方	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
14	幼児教育におけるICT活用の基本的理解	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。
15	幼児教育における方法とは	授業テーマについて、自分なりに考察したり、文献やインターネッっとなどで調べたりする。	授業を通じて自分が考えたことや気づいたことなどを、ノートにまとめておく。

講義名	9013010700 教育課程論　Aクラス 【ナンバリング：201055】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

1. 教育課程・全体的な計画と長期・短期の指導計画の関係やその概要について説明できる。
2. 指導計画作成の意義や構造、作成手順、項目の詳細について理解し活用できる。
3. 一人ひとりの子どもの特性に合った、創造的な指導計画書の作成ができる。
4. 期間や対象範囲(個別・集団等)にあった計画書の作成ができる。

授業概要(教育目的)

保育は、「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」に基づいて編成された教育課程や全体的な計画のもと、組織的・計画的に行われる。保育者は、一人一人の子どもの実態を捉え、生涯にわたる人格形成の基礎を培うべく、保育を計画的に行わなければならない。その上で、自己の保育等を評価し、指導計画の改善を図ることも大切な責務である。

本科目は、そうした保育者の責務を踏まえ、まず、教育課程・全体的な計画の基本的な考え方や、それをもとにした長期・短期の指導計画の基本的な考え方を学ぶ。さらに、それらに基づいた保育の展開を構想したり、短期の指導計画作成の演習を行ったりし、そのスキルを高めていくことを主な目的とする。

そして、その指導計画をもとに、実際に保育を展開し、評価・省察する一連の流れを経験し、保育実習や教育実習に向けて、意識を高められるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

定期試験(4割)、課題提出状況・演習の評価(4割)、遅刻や居眠り、講義中に許可なくスマートフォンを使用する等の受講態度(2割)等により評価する。

課題に対するフィードバック

・定期試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

必要に応じて、講義時に紹介する。

講義時使用テキスト

「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」文部科学省編
チャイルド本社

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

公立幼稚園教諭として17年間勤務した経験を生かし、教育課程をはじめとした各指導計画の立案のポイントや、それらを活用した保育展開の意義について学生に伝える。特に、保育者が子どもを育てる際に、計画的に保育を展開する意識を、養成段階でしっかりと身に付けさせる。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	指導計画の種類と役割～月案、週日案について	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
2	指導計画作成にあたっての基本的な考え方	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
3	子どもの育ちの姿を捉える1(乳幼児の理解)	講義「乳児保育」の使用テキストや、配布資料、保育実習Ⅰの実習日誌などを読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
4	子どもの育ちの姿を捉える2(グループ発表)	講義「乳児保育」の使用テキストや、配布資料、保育実習Ⅰの実習日誌などを読む。	各グループの発表をまとめたものを読み直したり、加筆修正したりする。
5	指導計画の書き方1(発達の理解・ねらいと内容)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
6	指導計画の書き方2(援助と環境の構成)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
7	指導計画の作成(部分案　3、4、5歳児)	第6回までの講義の配布資料を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
8	模擬保育実施準備～説明と課題の提示	第6回までの講義の配布資料を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
9	指導計画の作成(部分案　0、1、2歳児)	模擬保育での活動を想定し、自分なりの構想を立てる。	模擬保育の指導計画の作成をする。
10	模擬保育実施準備～指導計画作成	テキストの該当箇所や、これまでの講義の配布資料を読む。	模擬保育の指導計画の作成をする。
11	模擬保育実施準備～指導計画の訂正、書き直し	テキストの該当箇所や、これまでの講義の配布資料を読む。	模擬保育の指導計画の作成をする。
12	個別の支援計画と保育	テキストの該当箇所や、これまでの講義の配布資料を読む。	模擬保育の指導計画の作成をする。
13	模擬保育実施準備～指導計画のグループごとの修正、リハーサルと備品の製作	テキストの該当箇所や、これまでの講義の配布資料を読む。	作成した指導計画をもとに、教材の準備や保育展開の事前練習を行う。
14	模擬保育振り返り 幼保小の架け橋プログラム、カリキュラムマネジメントの理解	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
15	要録と小学校への引き継ぎ	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。

講義名	9013010701	教育課程論　Bクラス 【ナンバリング：201055】					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

1. 教育課程・全体的な計画と長期・短期の指導計画の関係やその概要について説明できる。
2. 指導計画作成の意義や構造、作成手順、項目の詳細について理解し活用できる。
3. 一人ひとりの子どもの特性に合った、創造的な指導計画書の作成ができる。
4. 期間や対象範囲(個別・集団等)にあった計画書の作成ができる。

授業概要(教育目的)

保育は、「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」に基づいて編成された教育課程や全体的な計画のもと、組織的・計画的に行われる。保育者は、一人一人の子どもの実態を捉え、生涯にわたる人格形成の基礎を培うべく、保育を計画的に行わなければならない。その上で、自己の保育等を評価し、指導計画の改善を図ることも大切な責務である。

本科目は、そうした保育者の責務を踏まえ、まず、教育課程・全体的な計画の基本的な考え方や、それをもとにした長期・短期の指導計画の基本的な考え方を学ぶ。さらに、それらに基づいた保育の展開を構想したり、短期の指導計画作成の演習を行ったりし、そのスキルを高めていくことを主な目的とする。

そして、その指導計画をもとに、実際に保育を展開し、評価・省察する一連の流れを経験し、保育実習や教育実習に向けて、意識を高められるようにする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

評価方法

定期試験(4割)、課題提出状況・演習の評価(4割)、遅刻や居眠り、講義中に許可なくスマートフォンを使用する等の受講態度(2割)等により評価する。

課題に対するフィードバック

・定期試験の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

必要に応じて、講義時に紹介する。

講義時使用テキスト

「幼児の思いをつなぐ指導計画の作成と保育の展開」文部科学省編
チャイルド本社

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

公立幼稚園教諭として17年間勤務した経験を生かし、教育課程をはじめとした各指導計画の立案のポイントや、それらを活用した保育展開の意義について学生に伝える。特に、保育者が子どもを育てる際に、計画的に保育を展開する意識を、養成段階でしっかりと身に付けさせる。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	指導計画の種類と役割～月案、週日案について	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
2	指導計画作成にあたっての基本的な考え方	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
3	子どもの育ちの姿を捉える1(乳幼児の理解)	講義「乳児保育」の使用テキストや、配布資料、保育実習Ⅰの実習日誌などを読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
4	子どもの育ちの姿を捉える2(グループ発表)	講義「乳児保育」の使用テキストや、配布資料、保育実習Ⅰの実習日誌などを読む。	各グループの発表をまとめたものを読み直したり、加筆修正したりする。
5	指導計画の書き方1(発達の理解・ねらいと内容)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
6	指導計画の書き方2(援助と環境の構成)	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
7	指導計画の作成(部分案　3、4、5歳児)	第6回までの講義の配布資料を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
8	模擬保育実施準備～説明と課題の提示	第6回までの講義の配布資料を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
9	指導計画の作成(部分案　0、1、2歳児)	模擬保育での活動を想定し、自分なりの構想を立てる。	模擬保育の指導計画の作成をする。
10	模擬保育実施準備～指導計画作成	テキストの該当箇所や、これまでの講義の配布資料を読む。	模擬保育の指導計画の作成をする。
11	模擬保育実施準備～指導計画の訂正、書き直し	テキストの該当箇所や、これまでの講義の配布資料を読む。	模擬保育の指導計画の作成をする。
12	個別の支援計画と保育	テキストの該当箇所や、これまでの講義の配布資料を読む。	模擬保育の指導計画の作成をする。
13	模擬保育実施準備～指導計画のグループごとの修正、リハーサルと備品の製作	テキストの該当箇所や、これまでの講義の配布資料を読む。	作成した指導計画をもとに、教材の準備や保育展開の事前練習を行う。
14	模擬保育振り返り 幼保小の架け橋プログラム、カリキュラムマネジメントの理解	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。
15	要録と小学校への引き継ぎ	テキストの該当箇所を読む。	配布資料と、テキストの該当箇所を読み直す。

講義名	9013006100 教育実習 【ナンバリング：201056】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	実習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	差波　直樹		

学習目標(到達目標)

幼稚園教諭に求められる幼稚園の機能及び構造に関する知識、幼児教育の重要性や保育者として求められる人間性についての理解などを幼稚園での実習で深めることができる。

授業概要(教育目的)

幼稚園での現場実習を経験することにより、幼稚園の機能及び構造、幼児教育の重要性や保育者としての求められる人間性について理解することを目的としている。
実習において、幼児教育における内容や機能等を実践現場での体験を通して理解すると共に、既習教科全体の知識と技能を統合化しながら総合的に実践する応用力を養い、幼稚園教諭としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体化等について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。
保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

施設からの実習評価および実習日誌を基に評価する。

課題に対するフィードバック

実習園からの評価と自己評価、実習後の反省会(ゼミ・全体)、個別面談を通して、実習での課題を明確にする。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	実習において、幼児教育における内容や機能等を実践現場での体験を通して理解すると共に、既習教科全体の知識と技能を統合化しながら総合的に実践する応用力を養い、幼稚園教諭としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体化等について学ぶ。	教育実習事前指導で教育実習の内容を理解し、実習園でのオリエンテーションで実習園の教育目標や実習園について知る。	実習後の反省会、個別面談を通して自己の課題を明確化させる。

講義名	9013006200 教育実習学内指導 【ナンバリング：201057】						
年度	2023	開講時期	通年	講義区分	講義	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

実習がより実り豊かになることを目的とする
実習を円滑に進めていくために事前に必要な準備ができる
実習体験を深化できる
実習後に反省を行い学習内容・課題を明確化できる
実習後の適切な対応についての理解と実践ができる

授業概要(教育目的)

本科目は、本学カリキュラムにおいて幼稚園教諭二種免許状の必修科目であるところの「教育実習」における事前指導及び事後指導として一括して行うものである。従って本科目は幼稚園教諭二種免許状取得において必修科目となる。
実習は、幼稚園教諭二種免許取得を志望する学生が、短期大学で学んだ基礎的な理論・知識・技術を幼児教育の現場において実践してみる機会であり、それまで培われた児童観や教育観等に基づき、情熱を持って子どもに接する機会でもある。すなわち、幼児教育における内容・機能等を実践現場での体験を通して理解すると共に、既習の教科全体の知識・技能を統合化しながら総合的に実践する応用力を養い、幼稚園教諭としての職業倫理と子どもの最善の利益の具体化等についても学ぶものである。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育者としての責務を理解し、他の保育者や専門職者と協働して、子どもの最善の利益を追求することができる。

評価方法

書類提出状況、レポート内容等で評価する。

課題に対するフィードバック

個別指導、全体指導を通して課題を明確にし、実習に備える。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

幼稚園教諭二種免許状必修科目

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	1. 教育実習選択指導1	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、重要項目を再確認する。
2	2. 教育実習選択指導2	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
3	3. 見学実習オリエンテーション	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
4	4. 見学実習	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
5	5. 教育実習選択指導3	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
6	6. 教育実習VTR指導	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
7	7. 教育実習選択指導4／見学実習レポート添削指導・事後指導	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
8	8. 一日実習・内諾訪問オリエンテーション	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
9	9. 一日実習	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
10	10. 一日実習反省会(全体)	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
11	11. 園長講話	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
12	12. 教育実習オリエンテーション	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
13	13. 教育実習反省会(ゼミ毎)	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
14	14. 教育実習反省会(全体)	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。
15	15. 教育実習事後指導(個別)	実習の手引きの該当する項目、又は事前に配布された資料を読む。	配布資料を読み返し、チェックを受けた提出書類を再確認する。

講義名	9013007610 ゼミナールⅠ　池田ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		池田　拓馬		

学習目標(到達目標)

様々なワークショップを体験し、保育者として美術表現の知識向上を図る。
創作欲求と実践活動に重点を置き、作品が生まれる素晴らしさと、その社会的な影響力も同時に学ぶ。
幼児期の表現発達において、幼児が何を視て環境とどのように関わろうとしているかに気付く。
表現活動を通じ、環境を観察し変化を促す保育者となる。

授業概要(教育目的)

制作と鑑賞を相互に行い、視ること作ることの双方から美術の基礎を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

研究に対する積極性、提出物(期限と内容評価)、受講態度(制作評価と作品評価)を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

作品は一定期間ゼミで保管し、評価を添えて学生へ返却する
学生から年次計画設定以後も行いたい研究のアイデアがある場合は積極的に採用する

参考文献

1.世界素描体系(講談社 (1980/01))
2.モーリス・タックマン、キャロル・S.エリエル『パラレル・ヴィジョン―20世紀美術とアウトサイダー・アート』淡交社、1993年10月
3.北川東子ほか編訳『ジンメル・コレクション』ちくま学芸文庫、1999年
4.『パサージュ論』(岩波書店、1993年／岩波現代文庫、2003年)3巻「都市の遊歩者」
5.驚くべき学びの世界―レッジョ・エミリアの幼児教育 単行本 - 2013/4 佐藤 学 (監修), ワタリウム美術館 (編集)

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

美術を通じ「みること」の奥深さ「作ること」の豊かさを体験します。また、「上手い絵」ではなく「良い絵」とはなんなのかというキーワードを元に、絵画技法や作って遊べる工作の演習から保育者としての技術および知識向上を図ります。また取り上げる題材は学生の主体性を元に決定し研究活動を行います。活動に対する責任感と積極的に取り組む意志を持ち履修してください。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。
各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。
現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナール説明会	事前に配布された資料に目を通し各ゼミの特徴を把握する	教員の発表内容を振り返り適切なゼミ選択を行う
2	ゼミナール一斉選抜	どのゼミを希望するか事前のアンケートに記入する	選択したゼミナールで行う研究の展望や希望を研究ノートにまとめる
3	年次計画ミーティング(ディスカッション) ゼミナール活動計画を話し合う	実施希望の関連する研究を新聞・インターネット等で調べてくる。	決まったテーマに沿って研究計画を立て研究ノートにまとめる
4	風を利用して遊ぶ玩具の制作 風車等の風を利用して遊ぶ玩具を制作する	新聞・インターネット等でテーマにあった制作内容を調べてくる	その他の事例や方法等についても考察を深め研究ノートにまとめる
5	海岸でのフィールドワーク(グループワーク) 海岸に行きビーチコーミング等を行う	野外活動に適切な服装や道具を新聞・インターネット等で調べ準備する	画像や動画など記録に残し体験を振り返り研究ノートにまとめる
6	貝クラフトの制作 ビーチコーミングで採取した貝殻等を用いた造形を行う	採取した貝殻を洗浄しておく	その他の事例や方法等についても考察を深め研究ノートにまとめる
7	OHP映写機を用いた影絵遊びの研究(グループワーク) OHP映写機にクリップやプラスチックなどをのせて影絵遊びを行う	影絵遊びに使える材料を家庭で探し持参する	画像や動画など記録に残し体験を振り返り研究ノートにまとめる
8	シルクスクリーン等を用いたTシャツデザイン・制作1(グループワーク) 図柄のデザインを制作する	プリントする図柄のデザインアイデアを作成する	画像や動画など記録に残し体験を振り返り研究ノートにまとめる
9	シルクスクリーン等を用いたTシャツデザイン・制作2(グループワーク) Tシャツに図柄をプリントする	新聞・インターネット等でシルクスクリーンについて調べる	画像や動画など記録に残し体験を振り返り研究ノートにまとめる
10	バランス感覚を養う玩具制作 家庭から出る廃品や身近な素材で作る、運動遊び補助道具の制作	新聞・インターネット等でテーマにあった制作内容を調べてくる	その他の事例や方法等についても考察を深め研究ノートにまとめる
11	サイノアタイプ技法を用いた青写真技法の演習 青写真技法を用いて影を画用紙に定着させる	新聞・インターネット等で青写真技法について調べてくる	画像や動画など記録に残し体験を振り返り研究ノートにまとめる
12	砂浜彫刻プラン検討、マケット及びプラカード制作 行事、砂浜彫刻の際に作るアイデアを平面と立体で制作する(ディスカッション・グループワーク)	デザインアイデアを考え、アイデアスケッチを行う	その他の事例や方法等についても考察を深め研究ノートにまとめる
13	ゼミナール 中間発表会(プレゼンテーション) 前期のゼミナール活動の発表	パワーポイント等を使用し発表資料を整理し準備する	発表内容を振り返り反省点や改善点を研究ノートにまとめる
14	ガラス加工モザイク画制作1 ガラスやタイルを用いたモザイク画デザインの制作	モザイク画について調べ、デザインアイデアを作成する	その他の事例や方法等についても考察を深め研究ノートにまとめる
15	ガラス加工モザイク画制作2 ガラスやタイルを用いたモザイク画の制作	後期の研究計画を作成する	画像や動画など記録に残し体験を振り返り研究ノートにまとめる

講義名	9013007614 ゼミナールⅠ　天摩ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	天摩　雅和			

学習目標(到達目標)

学生自らが、発達障がい児の支援に関する研究テーマを設定し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成する。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成することができる。

授業概要(教育目的)

学生自らが、発達障がいに関する研究テーマを設定し、報告書を作成する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業での発表や発言、レポートなどにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は採点の上、返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミを通して人間的にも成長していただければと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナール活動の説明	本授業のシラバスを読む。	授業のポイントを整理する。
2	ゼミナールの選択・決定	ゼミナールを選択する	授業のポイントを整理する。
3	自閉症の特性について学習する	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する。
4	LDの特性について学習する	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する。
5	ADHDの特性について学習する	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する。
6	療育に関するDVDを視聴し事例検討を行う(自閉症)	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する。
7	療育に関するDVDを視聴し事例検討を行う(ADHD)	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する。
8	療育に関するDVDを視聴し事例検討を行う(LD)	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する。
9	発達障がいをもつ子どもへの接し方について学習する	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する。
10	発達障がいをもつ子どもへの接し方について事例検討する	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する。
11	発達障がいをもつ子どもの親への支援方法について学習する	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する。
12	発達障がいをもつ子どもの親への支援方法について事例検討する	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する。
13	発達障がい児療育センターを見学し、療育方法を学習する	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する。
14	中間発表準備(原稿作成等)	原稿作成のための準備をする。	原稿作成とチェックをする。
15	中間発表	発表の練習をする。	発表に関する省察をする。

講義名	9013007615 ゼミナールⅠ　差波ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	差波　直樹		

学習目標(到達目標)

以下の2点を目標とする。
1. 遊びを体験しながら、その中にある学びについて捉え、考察することができる。
2. 楽しさややりがいを感じながら、子どもと実際にかかわり、一緒に遊ぶことができる。

授業概要(教育目的)

保育の現場が養成校の学生に期待することとして、子どもと一緒に遊ぶことや、関わることの楽しさを保育実習などを通してしっかりと感じてほしい、という意見が少なからず聞こえる。
幼児教育や保育における理論ももちろん養成段階で学ぶべきことであるが、その前提として子どもたちと関わる姿勢や向き合い方を身につけることも求められている。

このゼミでは、「子どもの遊び」を実際に体験し、その中にある学びを体感的に捉えていく。また、保育園やプレーパークなどにおいて、子どもたちと積極的に関わり、その楽しさや面白さを体験しながら、幼児教育の役割や意義を学ぶことを主な目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業へ取り組む態度と、研究テーマに基づいた協議などでの積極性などの姿勢によって評価する。

課題に対するフィードバック

各回ごとに、本学授業支援システムを通して、気づきや評価、反省点や改善点などを個別に知らせる。

参考文献

講義内容に応じて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

特記事項なし。

学生へのメッセージ

実務との関連

・幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。実務経験をもとに、保育者の役割を体現しながら指導し、学生が体感的に学ぶことができるよう支援する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	・各ゼミナール体験。 ・本ゼミにおいては遊びの体験とその振り返り	・本ゼミナールの活動について知る。	・遊びにおいて経験したことを改めて振り返る。
2	・各ゼミナール体験。 ・本ゼミにおいては遊びの体験とその振り返り	・本ゼミナールの活動について知る。	・遊びにおいて経験したことを改めて振り返る。
3	・各ゼミナール体験。 ・本ゼミにおいては遊びの体験とその振り返り	・本ゼミナールの活動について知る。	・遊びにおいて経験したことを改めて振り返る。
4	・各ゼミナール体験。 ・本ゼミにおいては遊びの体験とその振り返り	・本ゼミナールの活動について知る。	・遊びにおいて経験したことを改めて振り返る。
5	・各ゼミナール体験。 ・本ゼミにおいては遊びの体験とその振り返り	・本ゼミナールの活動について知る。	・遊びにおいて経験したことを改めて振り返る。
6	・各ゼミナール体験。 ・本ゼミにおいては遊びの体験とその振り返り	・本ゼミナールの活動について知る。	・遊びにおいて経験したことを改めて振り返る。
7	自然遊びの実際①(泥団子作り)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。
8	自然遊びの実際②(オリエンテーリング・いろいろ鬼遊び)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	考えた遊びについて、その展開の仕方などを考えて整理する。
9	自然遊びの実際③(砂遊び①)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。
10	自然遊びの実際④(砂遊び②)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。
11	自然遊びの実際⑤(食べる)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。
12	自然遊びの実際⑥(草花を使った遊び)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。
13	自然遊びの実際⑦(木々を使った遊び)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。
14	自然遊びの実際⑧(泥んこ遊び)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。
15	自然遊びの実際⑨(水遊び)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。

講義名	9013007616 ゼミナールⅠ　中嶋ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

・楽譜・音符・リズムを理解し表現できる。
・音楽理論を理解し、基礎的な演奏技能を習得する。

授業概要(教育目的)

・ハンドベル演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り豊かな表現ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育に必要な専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな表現方法を構成することができる。

評価方法

受講態度、ハンドベル表現発表により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

演奏活動の様子を映像等でフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

音楽経験の有無に関わらず、楽譜が読めなくても演奏可能な楽器です。
イングリッシュハンドベルとハンドチャイムを通して音楽を楽しみ、自己を自然に表現するための技術と能力を身につけましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナール体験①	動生きやすい服装で参加 正面に金具のない服を着用	ゼミ活動の概要を確認する
2	ゼミナール体験②	動生きやすい服装で参加 正面に金具のない服を着用	ゼミ活動の概要を確認する
3	ゼミナール体験③	動生きやすい服装で参加 正面に金具のない服を着用	ゼミ活動の概要を確認する
4	ゼミナール体験④	動生きやすい服装で参加 正面に金具のない服を着用	ゼミ活動の概要を確認する
5	ハンドベルの基礎知識①(ハンドベルの変遷)ハンドベルの基礎知識②(構造と取り扱い方)	楽譜を読んでくる	音名とリズムの確認
6	ハンドベルの基礎知識③(アサイメントと楽譜の読み方)	音名とリズムの確認	演奏ポイントの確認
7	基本練習①(持ち方・基本の鳴らし方・基本の止め方) 基本練習②(コラール)	演奏ポイントの確認	ハーモニーを意識しながら、楽譜の確認
8	ベルの鳴らし方①(シェイク・トリル)	楽譜を読んでくる	腕と手首の遣い方の確認
9	ベルの鳴らし方②(レットビブラート・マレット)	楽譜を読んでくる	奏法の確認
10	実技練習(メロディーラインの作り方)①	楽譜を読んでくる	楽譜を見ながら、メロディーラインのイメージトレーニングをする
11	実技練習(メロディーラインの作り方)②	楽譜を見ながら、メロディーのイメージトレーニングをする	メロディーと伴奏の確認
12	実技練習(メロディーラインの作り方)③	楽譜を熟読してくる	映像を使って演奏を振り返る
13	実技練習(童謡・讃美歌)①	演奏ポイントの確認	アンサンブルを意識した演奏ポイントの確認
14	実技練習(童謡・讃美歌)②	楽譜をよく読んでくる	演奏マナーの確認
15	実技練習(童謡・讃美歌)③	演奏マナーの確認	表現発表の振り返り

講義名	9013007619 ゼミナールⅠ　加藤康子ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		加藤　康子		

学習目標(到達目標)

子どもの健康と食事のかかわり、保育における食事の位置を理解し、説明できる。
クッキング保育・食教育についての知識と技術を習得し、説明できる。
味覚と食べ方の発達を促すための専門的知識を習得し、説明できる。

授業概要(教育目的)

幼児の間食(おやつ)を通して食育を考える。手づくりおやつの試作とレシピの開発、食育に関わる情報を収集し、実践的な学びを体験する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

活動についての取り組み、積極性や計画性、参加姿勢などで評価する。

課題に対するフィードバック

試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション:ゼミの進め方	子どもの食について、知っていることをまとめておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
2	子どもの健康と食生活の意義	子どもの食に関する本を調べておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
3	栄養に関する基礎知識	栄養について調べておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
4	子どもの発育・発達と食生活	子どもの発育・発達について調べておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
5	食育の基本と内容	食育とは何か、調べておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
6	幼児にとっての間食(おやつ)	幼児のおやつの情報を集めておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
7	幼児のおやつ事情	幼児のおやつについての情報を集めておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
8	おやつマップ製作	市販おやつを調べて、子どもに適するものを考えておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
9	おやつレシピの開発	必要なものを確認しておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
10	食育情報の収集と食育コラムの作成	新聞・雑誌などを読み、情報を集めるとともに、レイアウトを考えておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
11	おやつの試作と親子クッキングの計画	必要なものを確認しておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
12	クッキング教室の実施について	器具・材料・レシピなど実施に当たって必要なものを準備する。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
13	手づくりおやつ広報活動1	レシピ・コラムなどを整理し、活動に関わる準備をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
14	手づくりおやつ広報活動2	レシピ・コラムなどを整理し、活動に関わる準備をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
15	手づくりおやつファイルの作成	ファイル作成に必要なレシピ等の資料の整理をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。

講義名	9013007621 ゼミナールⅠ　本吉ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	本吉　好			

学習目標(到達目標)

本ゼミの学習目標は、子どもたちの体力・運動能力向上のための方法を学び、実践する力を身につけるため、以下の目標を設定する。
1.幼児向け体操の創作、実践することができる
2.子どもの自発的な活動を促すことができる運動あそびの立案、実践することができる

授業概要(教育目的)

現在、子どもたちの体力・運動能力は低下傾向にあり、幼児期の運動経験が重要視されている。そこで本ゼミは、子どもたちの体力・運動能力を向上させるための運動あそびを様々な場面(屋内、屋外など)や道具(ボールや縄など)のテーマを設定し、テーマに合わせた運動あそびの立案から実践へつなげる。また、幼児の体操を創作、習得することにより。表現力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループ活動および課題に対する取り組み方や積極性等を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

資料や映像等を通してフィードバックを行う。

参考文献

授業内で適宜指示する。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

保育者になったときに、運動あそびを実行できる力を身に付けるための活動をします。
体を動かすことが好きな人、運動あそびの専門性を高めたい人、苦手だからこそ頑張りたい人はぜひお越しください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナール選択の説明	ゼミナールの情報を収集すること	配布資料を読む
2	ゼミナール選択決定	自分の専門を決めておくこと	活動内容をノートにまとめること
3	運動あそび①	図書館等で運動あそびの資料を読んでおくこと	活動内容をノートにまとめること
4	運動あそび②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
5	運動あそび③	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
6	運動あそび④	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
7	運動あそび⑤	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
8	運動あそびまとめ	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
9	体操①	体操の動画を確認すること	活動内容をノートにまとめること
10	体操②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
11	体操③	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
12	体操④	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
13	パラバルーン①	パラバルーンの振りを確認すること	活動内容をノートにまとめること
14	パラバルーン②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
15	パラバルーン③	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007622 ゼミナールⅠ　鈴木ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　康弘			

学習目標(到達目標)

1. 子どもから大人まで、参加者が、安心して参加できるような話し合いのルールづくりやミーティングの雰囲気作りの意義を理解することができる。
2.「子どものための哲学」や「哲学対話」に関する著作を読み解き、話し合うこと、学び合うこと、お互いを認め合うことの大切さを理解している。

授業概要(教育目的)

この授業では、私たちの周りにある身近で素朴な問いを探し、話し合うことを通じて、「保育者になるための哲学」を探求します。「いつから大人になるの？」「 学ぶってどういうこと？」「友達って誰のこと？ 」などのテーマをじっくりと話し合うワークショップは、「子どものための哲学」や「哲学対話」と呼ばれ、いま、注目を集めています。話し合いを踏まえ、保育者を目指すうえで大切なこととは何なのか、共に考えていきましょう。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

報告やディスカッション、レポート課題を通じて総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

授業全体を振り返るレポート課題は、最終回に受講者のみなさんと一緒に読み合う予定です。

参考文献

河野哲也『じぶんで考えじぶんで話せるこどもを育てる哲学レッスン 増補版』河出書房新社、2021年。
河野哲也ほか『考えることをはじめた君へ（子どもの哲学1）』毎日新聞出版、2015年。
河野哲也ほか『この世界のしくみ（子どもの哲学2）』毎日新聞出版、2018年。

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

学生へのメッセージ

哲学対話に関する議論に学びながら、子どもの見方や保育の語り方をアップデートしていきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション(自己紹介と報告者の決定)	シラバスで授業内容を確認されたうえで、ご出席ください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	「子どものための哲学」とは	「哲学」という言葉から連想・イメージされるものについて考え、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
3	話し合いのルールと雰囲気づくりの技法	話しやすい人の特徴について考えたことを、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
4	映画『ちいさな哲学者たち』の視聴とディスカッション(1)	映画の予告編を視聴し、配布資料に目を通したうえで、ご出席ください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
5	映画『ちいさな哲学者たち』の視聴とディスカッション(2)	映画やその後のディスカッションを踏まえて考えたことなどを、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
6	「大人／子ども」とは何か？	ディスカッションのテーマに関する自分の考えをまとめ、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
7	「自分／友達」とは何か？	ディスカッションのテーマに関する自分の考えをまとめ、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
8	「自由」とは何か？	ディスカッションのテーマに関する自分の考えをまとめ、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
9	「家族」とは何か？	ディスカッションのテーマに関する自分の考えをまとめ、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
10	「愛」とは何か？	ディスカッションのテーマに関する自分の考えをまとめ、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
11	「幸せ」とは何か？	ディスカッションのテーマに関する自分の考えをまとめ、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
12	「学校」とは何か？	ディスカッションのテーマに関する自分の考えをまとめ、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
13	「共に生きる」とは何か？	ディスカッションのテーマに関する自分の考えをまとめ、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
14	子どもたちのミーティングの実践の検討	幼稚園や保育園、小学校の頃、子どもたちで話し合った経験があれば、メモにまとめてきてください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
15	まとめ(受講者によるレポートの読み合い)	授業全体を通じた振り返りのレポートを、レジュメとしてご準備したうえで、ご出席ください。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。

講義名	9013007623 ゼミナールⅠ　橋本ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	橋本　知子			

学習目標(到達目標)

1. エミール・ジャック＝ダルクローズが提唱したリトミックの理念を理解する。
2. リトミック指導において、幼児の発達に沿った教材の展開が出来る。

授業概要(教育目的)

この講義では、オーストリアのウィーンで生まれスイスを中心に活躍した音楽教育家でリトミックの創案者エミール・ジャック＝ダルクローズ(1865～1950)の教育理念を基に幼児の発達に沿った教材の研究を考えています。欧米諸国のみならず、今日までに世界各国の教育者の賛同を得るに至った歴史から学び、保育においてのリトミックの位置付け及びリトミックを通して感性・想像力・思考力・集中力といった幼児期において形成される人間の礎となる能力の育成を目指す教材研究を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講意欲及び課題等において総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

講義全体を通して学んだ事を基に、保育の中のリトミックの位置付けに関して自身の考えを最終回に発表していただく予定です。

参考文献

ダルクローズシステムによるリトミック指導2 「4才児用」全音楽譜出版社
ダルクローズシステムによるリトミック指導3 「5才児用」全音楽譜出版社

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の中で活用出来る知識と技術を有し、子どもの発達に応じた指導が出来る。

学生へのメッセージ

エミール・ジャック＝ダルクローズの理念を基に、生まれながらにして持ち合わせている幼児の生き生きとしたリズム感を伸びやかに育む事を目的としたリトミック指導を共に研究していきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション(自己紹介やゼミナールリーダー等の決定)	シラバスで講義内容を確認する。	講義内容の再確認を行う。
2	エミール・ジャック＝ダルクローズについて	エミール・ジャック＝ダルクローズについて検索する。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
3	リトミックの教育的意義と効果について	リトミックが何を育む教育なのか自身の考えをまとめてくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
4	保育の中のリトミック	幼児教育におけるリトミックの位置付けを考えてくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
5	わらべうたを用いたリトミックの考察	リトミックにおいて適すると考えられるわらべうたをピックアップしてくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
6	ハンドサイン	両手及び身体で音階(ドレミファソラシド)を考えてくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
7	音楽とリズム運動	リズミカルな身体表現の指導に相応しいと考える曲を選んでくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
8	リトミックソルフェージュ	ハンドサインやリズム運動といったリトミックを取り入れたソルフェージュを考えてくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
9	リトミックにより育まれる力の考察	幼児期においての培われたい力について考えをまとめてくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
10	拍子の指導	2・3・4拍子における年齢に沿った指導方法を考えてくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
11	打楽器を使用してのリトミック	自身のレベルを考慮し打楽器を取り入れた指導が展開出来るであろう曲を選んでくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
12	3歳未満児のリトミック	3歳未満児の発達を調べてくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
13	4歳児のリトミック	4歳児の発達を調べてくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
14	5歳児のリトミック	5歳児の発達を調べてくる。	本講義で学んだ論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や辞書、インターネットなどを活用し調べておく。
15	まとめ(受講者によるレポート発表)	課題レポートを書き上げてくる。	ゼミナールⅠの講義で学んだ事項をまとめておく。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007624 ゼミナールⅠ　野口ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	野口　和也			

学習目標(到達目標)

1.メンタルヘルスに関する科学的な根拠に基づく予防と対応の知識及び技術を習得できる。
2.応用行動分析の視点、考え方を身につけることができる。
3.自分自身の言葉で考え、意見や感想を、聞き手に分かりやすく伝達することができる。

授業概要(教育目的)

保育所・幼稚園、認定こども園などの保育現場では、発達に心配があるお子さんの心理面や行動面の支援が課題のひとつになっている。本授業では、保育者がその専門活動に従事する中で関わりを持つ人々、他機関との連携や協働を念頭に置き、こころの健康に関する基礎的な知識、技術を科学的なエビデンスから学びを進めていきます。そして、精神疾患をはじめとするメンタルヘルスについて幅広く学ぶ機会を設け、健康を維持するために、どのようなことが必要なのか、どのような対応が周囲には求められるかについて、理解し実践できるようになることを目的とする。また、問題・課題を環境との相互作用から捉え、解決の糸口を導き出す応用行動分析の視点について学びを深めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

積極的な授業参加・活動(40%)、課題提出(60%)により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

提出物については、添削及びコメントを記載して、返却する。

参考文献

授業の中で適宜紹介します。

講義時使用テキスト

特になし(プリントを配布します)

資格との関連

学生へのメッセージ

こころの健康に関する問題は、特別なことではなく程度の差はあっても、誰もが抱える可能性があるものと言えます。また、自分自身は問題がなくても周囲の人がこころの健康を崩すこともあります。現代社会の中で保育の専門家として活動する際、精神保健の活動は重要な事柄になっていきます。ぜひとも、授業に真摯な姿勢で向き合い、子どもたちの精神保健だけでなく、養育者や周囲の人々の精神保健についても幅広く学びを深めていくことを期待しています。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナール オリエンテーション	シラバスに目を通して、科目全体の学びの内容のイメージを持つ	説明を受けて分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
2	ゼミナールの選択と決定	自分がどのようなことに興味・関心があるか考える	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
3	こころの健康とは何かについて考えてみる	自分が思うこころの健康について考えをまとめる	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
4	こころの健康問題　原因別にみたこころの健康問題の3つのタイプについて(1)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
5	こころの健康問題　原因別にみたこころの健康問題の3つのタイプについて(2)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
6	こころの健康問題　基本となる10の疾患について(1)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
7	こころの健康問題　基本となる10の疾患について(2)	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
8	精神症状を読み解く①　精神症状の6つのグループについて	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
9	精神症状を読み解く②　精神症状の6つのグループについて	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
10	母子の精神保健　子育て支援とこころの健康づくり	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
11	地域精神保健活動と保育　様々な診断方法と乳幼児健康診査	八戸市の乳幼児健康診査についてインターネットで調べる	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
12	地域精神保健活動における保育者の役割	前回の配布資料とノートを読み直す	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
13	応用行動分析学①　問題解決に向けた応用行動分析学の視点、考え方	リアクションペーパーに回答する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
14	ゼミナール内発表会の準備(発表原稿の作成など)	前回までの授業内容から、印象に残ったことを5つ考え、その理由を発表できるようにする	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
15	ゼミナール内発表会	ゼミナール内発表会の資料を作成する	自身の発表を振り返り、感想をまとめておく

講義名	9013007625 ゼミナールⅠ　坂本ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	坂本　利枝子			

学習目標(到達目標)

1. 幼児保育者として、自然で美しい発声法を習得する。
2. 歌唱、ヴォーカルアンサンブルを通して、豊かな演奏表現を目指す。

授業概要(教育目的)

1. 発声のメカニズムを学ぶことにより、幼児保育者、一社会人として好印象を与えるような発声、発音を習得する。
2. 歌唱、声の表現法を研究し、幼児の音楽や言葉への興味を促す。
3. 子どもの音楽への愛好心を育むための効果的な歌唱指導法を考え、実践する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育士資格および幼稚園教諭二種免許状取得のため、さらに自らの幼児音楽への研究関心に基づき、豊かな音楽表現を目指し、学びを深める。

評価方法

ゼミ活動への積極的な参加、歌唱、アンサンブル、表現の工夫、協調性を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

演奏発表、授業全体をふり返り、感想、自己評価を行う。

参考文献

フースラー「うたうこと一肉体的特質」
フォルナーリ「人体絵本」

講義時使用テキスト

資格との関連

幼児音楽の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな音楽表現を指導することができる。

学生へのメッセージ

幼児は家族や保育者の声や歌を聞き、真似をして覚え、歌う楽しさや喜びを感じ、成長していきます。幼児期に覚えた歌は生涯忘れず、そして自分の声で好きな歌を歌うことは、人生をとても豊かにします。歌は音楽の基本であり、私たちに喜びや慰め、勇気や希望を与えてくれるものだからです。
学生の皆さんと共に、幼児保育者として自然で美しい発声法と声の表現について研究したいと考えています。

実務との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。
幼児音楽の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな音楽表現を指導することができる。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション(自己紹介とゼミの活動内容の把握、声の意識調査)、輪唱・パートナーソング	シラバスで授業内容を確認されたうえで、ご出席ください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	発声(姿勢、呼吸法) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
3	発声(腹式呼吸と胸式呼吸) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
4	発声(口・喉の開け方) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
5	発声(音域調査)パート分け 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
6	発声(共鳴について) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
7	発声(声の当て場所について) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
8	発声(共鳴を意識して歌う) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
9	発声(母音の歌唱) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
10	発声(発声器官、声帯について) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
11	発声(胸声と頭声(1)) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
12	発声(胸声と頭声(2)) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
13	発声(息の使い方、ブレスコントロール) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
14	発声(これまでの復習) アンサンブル、音楽表現の工夫	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
15	発声(これまでのまとめ) アンサンブル、音楽表現の工夫 感想/自己評価	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。音楽表現の工夫を考える。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。

講義名	9013007626 ゼミナールⅠ　今ゼミ 【ナンバリング：210058】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	今　清孝			

学習目標(到達目標)

保護者が必要とする支援ついて、子どもの年齢ごとに検討し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成する。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成することができる。

授業概要(教育目的)

保護者支援は児童福祉法に規定された保育士の業務のひとつである。保護者支援を行う際に使う保育相談支援技術のひとつである「情報提供」は、保護者支援に活用できる情報を整理してしておくことが重要である。しかしながら保育現場では情報が未整理のままの施設が大半を占めているのが現状である。
この課題解決のために、このゼミナールでは、グループワークにより、保護者支援に必要な情報の整理の仕方を学び、実際に八戸市および近隣市町村の領域ごとの情報の整理を行い、報告書を作成しゼミナール内で発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業中のグループワークへの参加状況、分担した役割の達成度、報告書作成への貢献度を総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

毎時間のグループワークを見守りながら、授業の終わりにコメントする。

参考文献

必要に応じて紹介する。

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

このゼミナールは、子育て支援者としての保育者が施設で整備しなければならない子育てに関する情報(資源)台帳を、段階的に報告書にまとめることで作成していく。
卒業時には、完成させた「子育て支援資源台帳」を持って、保育現場に出ていくことができる。

実務との関連

保育園保父(6年間)と園長(18年間)の経験から、保護者支援、子育て支援を保育の視点から捉え授業を展開する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナール活動の説明	シラバスを読む。	授業内容を整理する。
2	ゼミナールの選択・決定	ゼミナールを選択する。	授業内容を整理する。
3	子育てに必要な情報について、保護者の立場になって考える① (情報のカテゴライズ)	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
4	子育てに必要な情報について、保護者の立場になって考える② (情報収集の方法の検討)	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
5	子育てに必要な情報について、保護者の立場になって考える③ (情報収集)	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
6	子育てに必要な情報について、保護者の立場になって考える④ (情報収集)	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
7	子育てに必要な情報について、保護者の立場になって考える⑤ (情報収集)	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
8	情報の整理①	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
9	情報の整理②	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
10	報告書原稿作成①	原稿作成の準備をする。	原稿のチェックをする。
11	報告書原稿作成②	原稿を作成する。	原稿のチェックをする。
12	報告書原稿作成③	原稿を作成する。	原稿のチェックをする。
13	子育て情報収集報告書2023　vol.1 原稿　最終チェック	原稿の推敲をする。	原稿のチェックをする。
14	子育て情報収集報告書2023　vol.1 原稿　印刷　幌合	印刷原稿、印刷用紙、幌合作業の準備をする。	印刷原稿、印刷用紙、幌合作業の確認をする。
15	子育て情報収集報告書2023　vol.1 完成報告会	報告会次第、進行役等、報告書等準備する。	報告書、報告会について省察する。

講義名	9013007710 ゼミナールⅡ　池田ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

様々なワークショップを体験し、保育者として美術表現の知識向上を図る。
創作欲求と実践活動に重点を置き、作品が生まれる素晴らしさと、その社会的な影響力も同時に学ぶ。
幼児期の表現発達において、幼児が何を視て環境とどのように関わろうとしているかに気付く。
表現活動を通じ、環境を観察し変化を促す保育者となる。

授業概要(教育目的)

制作と鑑賞を相互に行い、視ること作ることの双方から美術の基礎と豊かさを学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

研究に対する積極性、提出物(期限と内容評価)、受講態度(制作評価と作品評価)を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

作品は一定期間ゼミで保管し、評価を添えて学生へ返却する
学生から年次計画設定以後も行いたい研究のアイデアがある場合は積極的に採用する

講義時使用テキスト

参考文献

1.世界素描体系(講談社 (1980/01))
2.モーリス・タックマン、キャロル・S.エリエル『パラレル・ヴィジョン―20世紀美術とアウトサイダー・アート』淡交社、1993年10月
3.北川東子ほか編訳『ジンメル・コレクション』ちくま学芸文庫、1999年
4.『パサージュ論』(岩波書店、1993年／岩波現代文庫、2003年)3巻
「都市の遊歩者」
5.驚くべき学びの世界―レッジョ・エミリアの幼児教育 単行本 - 2013/4
佐藤 学 (監修), ワタリウム美術館 (編集)

資格との関連

学生へのメッセージ

「絵を描くのが苦手」
「もっと自由に描きたい」
そんな悩みを持つ人は、そのエネルギーを豊かな表現に変えていきましょう。
上手い絵ではなく良い絵とはなんなのか、美術を通じ創造や文化の豊かさを体感していきます。
課外授業等も行うので、講義日程外の出校もあります。
技術力ではなく活動に対する積極的性を重視します。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。
各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。
現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	LINEスタンプ制作イラスト(手描き)アイデアディスカッション	新聞・インターネット等で関連するイラストのデザインを調べる	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
2	LINEスタンプ制作イラスト(コンピューター描画ソフトAdobe Illustratorの演習)	インターネット等で該当ソフトの手順を事前に学習し基本的な操作を把握してくる	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
3	LINEスタンプ制作イラスト(コンピューター描画ソフトAdobe Photoshopの演習)	インターネット等で該当ソフトの手順を事前に学習し基本的な操作を把握してくる	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
4	デッサン①見えたものを自由に描こう	描きたいモチーフを事前に探し持参する	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
5	デッサン②自由な着彩の方法	指定した資料から参考となる作品を選び事前に決定する	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
6	油絵①素材研究	描きたいモチーフを事前に探し持参する	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
7	油絵②油絵の特性を生かした描写方法の研究	テーマにあった制作技法や内容の手順を事前に学習してくる	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
8	ダンボールを用いた椅子の制作1(グループワーク)	インターネット等で関連する事例を調べ把握しておく	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
9	ダンボールを用いた椅子の制作2(グループワーク)	制作の改善箇所などを事前に確認し把握しておくこと	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
10	消しゴムスタンプの制作	制作したいイラストやモチーフを事前に下書きする	画像や動画など記録に残し体験を振り返る
11	プラコップを利用したキャンドル制作	インターネット等で関連する事例を調べ把握しておく	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
12	チラシ・包装紙から作るクリスマスツリーの制作	インターネット等で関連する事例を調べ把握しておく	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
13	手作りスノードームの制作	スノードームに使用し効果的な材料を考察し事前に探し持参する	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
14	雪像彫刻の制作1(グループワーク)	インターネット等で関連する事例を調べテーマにあった制作技法や内容の手順を事前に把握しておく	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
15	雪像彫刻の制作2(グループワーク)	制作の改善箇所などを事前に確認し把握しておくこと	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる

講義名	9013007714 ゼミナールⅡ　天摩ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	天摩　雅和			

学習目標(到達目標)

学生自らが、発達障がい児の支援に関する研究テーマを設定し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成し発表できる能力を養う。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成し学生の前で発表することができる。

授業概要(教育目的)

学生自らが、発達障がいに関する研究テーマを設定し、子どもたちとの交流を通して学習したことを報告書にまとめ発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業での発表や発言、レポートなどにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は採点の上、返却する。

参考文献

なし

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミを通して人間的にも成長していただければと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	交流授業オリエンテーション「支援のイメージをもってみよう」	本授業のシラバスを読む	授業のポイントを整理する
2	前回の活動の振り返り	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する
3	交流授業「アセスメントの体験をしてみよう①」	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する
4	前回の活動の振り返り	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する
5	交流授業「アセスメントの体験をしてみよう②」	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する
6	前回の活動の振り返り	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する
7	交流授業「自立課題のプランを立ててみよう」	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する
8	前回の活動の振り返り	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する
9	交流授業「まとめ　グループごとに発表」	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する
10	子どもたちとの交流から学んだことについて報告	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する
11	発達障がいを持つ子どもへの支援方法についてのまとめ	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する
12	発達障がいを持つ子どもの親への支援方法について考える	授業内容についてインターネットで調べる。	授業のポイントを整理する
13	発表準備①原稿作成等	原稿作成の準備をする	原稿のチェックをする
14	発表準備②原稿作成等	原稿の作成と発表の準備をする	原稿と発表のチェックをする
15	発表(ゼミ内)	授業内容についてインターネットで調べる。	発表に関する省察をする

講義名	9013007715 ゼミナールⅡ　差波ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

以下の2点を目標とする。
1. 遊びを体験しながら、その中にある学びについて捉え、考察することができる。
2.1で得たことの、子どもとの実際の関わりの場面で活用方法を学ぶ。

授業概要(教育目的)

保育者は、子どもとの関わりの中で様々な役割を担う。前期の学習では、実際に子どもと関わることで体感的にその役割についても感じ取ってきた。
その学びを生かしながら、今の自分に必要な、保育者としての遊ぶスキル、子どもと関わるスキル、環境を構成するスキルを、遊びの実習やプレーパーク等での子どもたちとの実際の関わりを通して学ぶことを主な目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業へ取り組む態度と、研究テーマに基づいた協議などでの積極性などの姿勢によって評価する。

課題に対するフィードバック

各回ごとに、本学授業支援システムを通して、気づきや評価、反省点や改善点などを個別に知らせる。

参考文献

講義内容に応じて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

特記事項なし。

学生へのメッセージ

実務との関連

・幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。実務経験をもとに、保育者の役割を体現しながら指導し、学生が体感的に学ぶことができるよう支援する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナールⅡについての説明	前期の学びを振り返り、ゼミナールⅡで学びたいことを自分でイメージする。	ゼミナールⅡで学ぶことを明確にし、広義の内容を振り返る。
2	遊びの実際①(砂遊び)	遊びに必要な教材や用具などを考え、準備する。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
3	遊びの実際②(ピタゴラスイッチ作り①)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
4	遊びの実際③(ピタゴラスイッチ作り②)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
5	遊びの実際④(染物)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
6	遊びの実際⑤(シャボン玉・スライム作り)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
7	遊びの実際⑥(フェルトボール作り)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
8	遊びの実際⑦(手作りおもちゃ)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
9	遊びの実際⑧(焚き火・焼き芋)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
10	遊びの実際⑨(ボールを使った遊び)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
11	遊びの実際⑩(木工遊び・工作遊び)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
12	ゼミナール報告会に向けて①	これまでまとめたノートを読み返しておく。	発表する内容について、各自で吟味し直す。
13	ゼミナール報告会に向けて②	発表スライドの内容について、イメージをしておく。	発表する内容についての説明の練習をする。
14	摂理と輝石　原稿作成①	今年一年の学びを振り返り、整理しておく。	作成した原稿の推敲をする。
15	摂理と輝石　原稿作成②	自分自身の原稿の訂正箇所を把握しておく。	計画を振り返るとともに、遊びの準備などイメージしておく。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007716 ゼミナールⅡ　中嶋ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

・ゼミナールⅠで学んだ基礎を活用して、実践的な表現ができる。
・音楽用語を理解し基礎的な演奏技能を習得する。
・五感を研ぎすまし、ハンドベルとハンドチャイム演奏の表現方法を修得する。

授業概要(教育目的)

・ハンドベル演奏を通し、個の人格形成やモチベーションの向上を図り豊かな表現ができる。
・音楽的な刺激によって連帯のあり方を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育に必要な専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな表現方法を構成することができる。

評価方法

受講態度、ハンドベル表現発表により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

演奏活動の様子を映像等でフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じてプリントを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

ハンドベルではメロディーを奏でるのもハーモニーを創り出すのも複数のリンガーによって行われます。
一つの音楽目標に各自を調和させ、音楽表現の本質を学びましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	はちがくフェスについての話し合い 担当音の確認と音域毎の役割り	リングの確認	アサイメントの確認
2	音の止め方①(ブラック・タップブラック)	アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
3	音の止め方②(サムダンプ・リンクタッチ)	アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
4	クラッパーの調整法・メンテナンスについて	ハンドベルの構造の確認	ハンドベルとハンドチャイムの構造の確認
5	曲の出だしの表現法 強起・アウフタクトの違いについて	基礎奏法の確認	拍子のとり方の確認
6	曲の終わりの表現法	拍子とリズムの確認	呼吸とリズムの関係の確認
7	実技練習(讃美歌・クリスマスソング)①	アサイメントの確認	メロディーラインの確認
8	実技練習(讃美歌・クリスマスソング)②	アサイメントの確認	メリディーと伴奏部分の確認
9	実技練習(讃美歌・クリスマスソング)③	アサイメントの確認	音楽用語の確認
10	実技練習(讃美歌・クリスマスソング)④	アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
11	実技練習(讃美歌・クリスマスソング)⑤	アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
12	実技練習(讃美歌・クリスマスソング)⑥	アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
13	ゼミナール研究報告会準備① 実技練習(讃美歌・クリスマスソング)⑦	演奏マナーの確認 アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
14	ゼミナール研究報告会準備② 実技練習(讃美歌・クリスマスソング)⑧	アサイメントと表現法の確認	演奏ポイントの確認
15	ゼミナール研究報告会準備③ 練習(讃美歌・クリスマスソング)⑨	プログラムの確認 アサイメントの確認	ハンドベル音楽の成果について振り返りを行う

講義名	9013007719 ゼミナールⅡ　加藤康子ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	加藤　康子			

学習目標(到達目標)

子どもの健康と食事のかかわり、保育における食事の位置を理解し、説明できる。
クッキング保育・食教育についての知識と技術を習得し、説明できる。
味覚と食べ方の発達を促すための専門的知識を習得し、説明できる。

授業概要(教育目的)

幼児の間食(おやつ)を通して食育を考える。手づくりおやつの試作とレシピの開発、食育に関わる情報を収集し、実践的な学びを体験する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

活動についての取り組み、積極性や計画性、参加姿勢などで評価する。

課題に対するフィードバック

・試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地産地消と食育の関係について	新聞・雑誌などを読み、情報をあつめる。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
2	ベープサートとパネルシアターの活用について	材料を準備し、作り方の確認をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
3	食育ポスターの製作	材料を準備し、作り方の確認をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
4	ランチルームの環境について	ランチルームの現状と望ましい環境について考えておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
5	幼児の調理について	幼児の調理に必要な知識はなにかを調べておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
6	幼児のおやつ事情(2)	幼児のおやつについて、情報を収集しておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
7	おやつマップ製作(2)	市販おやつを調べて、子どもに適するものを考えておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
8	食育情報の収集と食育コラムの作成	新聞・雑誌から情報を収集し、レイアウトも考えておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
9	おやつの試作とレシピの開発	必要なものを用意し、作り方を確認しておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
10	おやつの試作とレシピの開発	必要なものを用意し、作り方を確認しておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
11	クッキング教室の実施について	実施可能な条件を探し、準備する。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
12	ゼミ発表会準備	発表に向けた準備をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
13	レシピ集の作成	必要な資料の整理をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
14	レシピ集の作成	必要な資料の整理をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
15	手づくりおやつファイルの作成	必要な資料を準備し、ファイル作成に向けた用意をしておく。	まとめの確認をする。

講義名	9013007721 ゼミナールⅡ　本吉ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	本吉　好			

学習目標(到達目標)

本ゼミの学習目標は、子どもたちの体力・運動能力向上のための方法を学び、実践する力を身につけるため、以下の目標を設定する。
1.幼児向け体操の創作、実践することができる
2.子どもの自発的な活動を促すことができる運動あそびの立案、実践することができる

授業概要(教育目的)

現在、子どもたちの体力・運動能力は低下傾向にあり、幼児期の運動経験が重要視されている。そこで本ゼミは、子どもたちの体力・運動能力を向上させるための運動あそびを様々な場面(屋内、屋外など)や道具(ボールや縄など)のテーマを設定し、テーマに合わせた運動あそびの立案から実践へつなげる。また、幼児の体操を創作、習得することにより。表現力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループ活動および課題に対する取り組み方や積極性等を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

資料や映像等を通してフィードバックを行う。

参考文献

授業内で適宜指示する。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

保育者になったときに、運動あそびを実行できる力を身に付けるための活動をします。
体を動かすことが好きな人、運動あそびの専門性を高めたい人、苦手だからこそ頑張りたい人はぜひお越しください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	幼児の体力・運動能力測定①	資料を読んでおくこと	活動内容をノートにまとめること
2	幼児の体力・運動能力測定②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
3	運動あそび①	図書館等で関連資料を読んでおくこと	活動内容をノートにまとめること
4	運動あそび②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
5	運動あそび③	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
6	体操①	動画を確認すること	活動内容をノートにまとめること
7	体操②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
8	体操③	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
9	体操④	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
10	体操⑤	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
11	運動あそび④	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
12	ゼミナール発表準備①	今までの活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
13	ゼミナール発表準備②	今までの活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
14	ゼミナール発表準備③	今までの活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
15	次年度の計画	今までの活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007722 ゼミナールⅡ　鈴木ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　康弘			

学習目標(到達目標)

1. 保育者の専門性がどのように語られているのかを学ぶことを通して、保育の質に関するの基礎的な知識を身につける。
2. 保育者の専門性に関する文献購読とディスカッションを通して、自分が理想とする保育のあり方を深めていく。
3. 図書館やインターネットの使い方、文献研究の方法論を含めた基本的なスタディ・スキルを習得する。

授業概要(教育目的)

この授業のテーマは、「保育の専門性について学ぶ」です。次の3つの活動を中心に取り組んでいきます。

①文献購読とディスカッション
中坪史典 編『テーマでみる保育実践の中にある保育者の専門性へのアプローチ』(ミネルヴァ書房、2018年)の文献購読とディスカッションを中心として、保育者の専門性について学びます。この本では、それぞれのテーマ・トピックから研究者が保育の専門性を論じているだけでなく、現場の先生方がそれをどのように捉えたかをコメントで寄せています。保育現場で何をどう観察すればよいのか、子どもを見る視点を深めるとともに、保育を語る言葉を磨いていきましょう。

②模擬保育の実践
授業のはじまりに、毎回、1人保育者役の担当を決めて、模擬保育を実施します。担当教員と相談しながら、遊びや活動の選択や教材準備を進めていきましょう。

③園見学・インタビュー
参加者の都合があえば、園見学や保育者へのインタビューを実施したいと考えています。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

文献に関する報告やディスカッション、模擬保育の取り組みなど、ゼミの学びに関する貢献度に応じて総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

毎回の文献に関する報告やディスカッション、模擬保育の取り組みについては、その都度、フィードバックを行う。

参考文献

中坪史典 編『テーマでみる保育実践の中にある保育者の専門性へのアプローチ』(ミネルヴァ書房、2018年)
二宮祐子『保育実践へのナラティヴ・アプローチー保育者の専門性を見いだす4つの方法』(新曜社、2022年)
古賀松香『保育者の身体的・状況的専門性: 保育実践のダイナミック・プロセスの中で発現する専門性とは』(萌文書林、2023年)
高山静子『保育内容　5領域の展開〝保育の専門性に基づいて』(郁洋舎、2022年)

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

学生へのメッセージ

授業コメントやアンケート、クイズの結果を共有したり、授業課題として写真や動画の提出をしてもらうために、Google Formsを活用したいと考えています。

担当教員と受講生の都合に合わせて、授業日や時間を変更し、園見学やインタビューを実施する予定です。受講希望者は、事前に相談しに来てください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	自己紹介、ゼミナール活動の説明、スケジュールの説明	シラバスで授業内容を確認されたうえで、出席してください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	1章 乳児の絆を結ぶ保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
3	2章 乳児の〈泣き〉と保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	図書館やインターネットを用いて、興味・関心のあるトピックについて調べてみてください。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
4	3章 登園場面を支える保育実践と保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
5	4章 食事場面を支える保育実践と保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
6	5章 乳児の遊びを支える保育実践と保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
7	6章 ごっこ遊びを支える保育実践と保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
8	7章 砂遊びを支える保育実践と保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
9	8章 子どもの運動遊びを支える保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
10	9章 いざこざ場面にみる保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
11	10章 片付け場面にみる保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
12	11章「見守る」ことで子どもの自律的問題解決を支える保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
13	12章 子どもの絵本との出会いと保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
14	13章 子どもの音楽的表現を支える保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
15	14章「演じること」「観てもらうこと」を支える保育者の専門性	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。

講義名	9013007723 ゼミナールⅡ　橋本ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	橋本　知子			

学習目標(到達目標)

1. 他の教育法と融合したリトミック指導の認識が出来る。
2. カラーボード・ゴムボール・スカーフといった教具を使用し幼児の発達に応じたリトミック指導が
　展開出来る。

授業概要(教育目的)

ゼミナールⅠでは主にエミール・ジャック＝ダルクローズの理念に基づく教育法を研究しましたが、ゼミナールⅡにおいてはリトミックの理念に賛同し共同研究の上、更に教育法を発展させた心理学者及び幼児教育家とで確立された指導法の研究を考えています。具体的にはモンテッソーリの教具を使用したリトミック指導の展開及び幼児の発達に応じた絵や絵本を用いたリトミック指導が展開出来る事を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度及び研究への意欲等、総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

ゼミナールⅡでは、グループワークに取り組み、教材の選択から指導への展開を考え実践する体験を通しゼミナール生全員でフィードバックを行います。

参考文献

岩崎光弘『リトミックってなあに』ドレミ楽譜出版社

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達に応じた保育指導が展開できる。

学生へのメッセージ

ゼミナールⅠで学んだ教材研究を基に、ゼミナールⅡにおいてはリトミック指導に相応しいと考える教材を選択し実践することへとつなぐ講義内容を考えています。様々なリトミック指導が展開出来る保育者を共に目指しましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナールⅠの振り返り及びゼミナールⅡでの講義概要説明	シラバスで講義内容を確認しておく。	講義内容の再確認を行う。
2	モンテッソーリとリトミック	モンテッソーリの功績を調べてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
3	人間教育としてのリトミック	音楽の基礎を学ぶ音楽教育としてのリトミックと人間教育としてのリトミックを対比してくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
4	カラーボードを活用したリトミック	リトミック指導において、カラーボードをどのような教育に活用出来るのかを考えてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
5	ゴムボールを活用したリトミック	リトミック指導において、ゴムボールをどのような教育に活用出来るのかを考えてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
6	スカーフを活用したリトミック	リトミック指導において、スカーフをどのような教育に活用出来るのかを考えてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
7	リズムカノン(1)	リズムカノンを調べてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
8	リズムカノン(2)	リトミックにおいて、リズムカノンの体験は幼児のどのような能力を育む事を目的としているのかを考えてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
9	ピアノを使用した即興演奏法(1)	自身の演奏レベルを考慮し、リトミック指導において即興演奏が展開出来ると思われる曲を選んでくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
10	ピアノを使用した即興演奏法(2)	リトミック指導において、即興演奏技術を持ち合わせている事が求められるのはどうしてなのかを考えてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
11	一枚絵を活用したリトミック	リトミックにおいて指導展開が出来ると思われる一枚絵を選んでくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
12	絵本を活用したリトミック(1)	5歳児のリトミック指導が展開出来ると思われる絵本を各自選んでくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
13	絵本を活用したリトミック(2)	各自が選んできた絵本の中からリトミック指導に相応しいと考える教材及びストーリーに沿った曲を選んでくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
14	絵本を活用したリトミック(3)	話し合いにて決定された各自の役割を練習してくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
15	発表とまとめ	ゼミナールⅠ・Ⅱにおいて学んだことを簡単なレポートにまとめてくる。	ゼミナールⅡで学んだ事項をまとめておく。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007724 ゼミナールⅡ　野口ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	野口　和也			

学習目標(到達目標)

1.メンタルヘルスに関する科学的な根拠に基づく予防と対応の知識及び技術を習得し実践に応用できる。
2.応用行動分析に基づく問題解決の手法に関する知識を習得できる。
3.研究テーマを設定し、文献収集、講読してその内容を要約できる。
4.研究について、文章や資料に見やすくまとめ、聞き手に伝わりやすい発表することができる。
5.自分自身の言葉で考え、意見や感想を、聞き手に分かりやすく伝達することができる。

授業概要(教育目的)

本授業では、子どもたちの気になる行動に向けた応用行動分析に基づく積極的行動支援、こころの健康へのアプローチについて保育者として実践できるように学びを深めいく。
学生各自の興味・関心を出発点として、発達に心配がある乳幼児に対する心理臨床的なアプローチや子育ての支援に関する文献講読を進め問題や課題を理解し、とくに探求したい研究テーマを設定する。授業では各自が選んだ文献の発表、ディスカッションを行いながら、研究の目的と方法を具体化できるように進めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

積極的な授業参加・活動(40%)、課題提出(60%)により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

提出物については、添削及びコメントを記載して、返却する。

参考文献

授業の中で適宜紹介します。

講義時使用テキスト

特になし(プリントを配布します)

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション	シラバスに目を通して、科目全体の学びの内容のイメージを持つ	授業内容と進行スケジュールの確認を行う
2	研究の進め方　研究をはじめる① 漠然とした思いや何となく気になっていることを文字にして、仲間と共有し研究のキーワードを見つける	前回の授業を受けて作成した資料を準備する(分からないこと、疑問点も質問できるようにしておく) 前回の配布資料とノートを読み直す	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
3	応用行動分析学②　積極的行動支援　機能分析	前回の配布資料とノートを読み直す	課題のレポートを作成する
4	研究の進め方　研究をはじめる② 研究で使うキーワードを探して、研究のテーマを書いてみる、設定する	前回の授業を受けて作成した資料を準備する(分からないこと、疑問点も質問できるようにしておく)	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
5	こころを護り支えるために　こころの手当てについて考える	こころにする手当てとは何か、自分の思う内容をまとめておく	課題のレポートを作成する
6	研究の進め方　研究のアイデアをかたちにする① 自分の研究に関連する論文、文献を探して、要約を読んでみる	文献を探して、要約を読む	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
7	研究の進め方　研究のアイデアをかたちにする②-1 読んだ論文、文献の内容を整理して仲間と伝え合い、理解を深めアイデアを広げる	講読した文献を説明する資料を作る	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
8	研究の進め方　研究のアイデアをかたちにする②-2 読んだ論文、文献の内容を整理して仲間と伝え合い、理解を深めアイデアを広げる	講読した文献を説明する資料を作る	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
9	研究の進め方　研究のアイデアをかたちにする②-3 読んだ論文、文献の内容を整理して仲間と伝え合い、理解を深めアイデアを広げる	講読した文献を説明する資料を作る	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
10	研究のアイデアをかたちにする③-1 読んだ論文・文献に出てくる図表から、結果を読み取る	講読した文献に出てくる図表を用意し、分からないことを質問できるようにする	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
11	研究のアイデアをかたちにする③-2 読んだ論文・文献に出てくる図表から、結果を読み取る	講読した文献に出てくる図表を用意し、分からないことを質問できるようにする	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
12	研究の進め方　研究のアイデアをかたちにする④ もう一度研究テーマを立てて、リサーチクエスチョンを書いてみる	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
13	研究の進め方　方法を選択して仮説を立てる① どのような研究の方法があるか考えて、リサーチクエスチョンを対応させる	前回の授業を受けて作成した資料を準備する(分からないこと、疑問点も質問できるようにしておく)	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
14	ゼミ内発表準備①(原稿作成等)	フォーマットに沿って、発表する内容をまとめておく	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
15	ゼミ内発表	ゼミ内発表の資料を作成し発表のリハーサルを行う	ゼミ内発表の振り返り、感想をまとめておく

講義名	9013007725 ゼミナールⅡ　坂本ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	坂本　利枝子			

学習目標(到達目標)

1. 幼児保育者として、自然で美しい発声法を習得する。
2. 歌唱、ヴォーカルアンサンブルを通して、豊かな演奏表現を目指す。

授業概要(教育目的)

1. 発声のメカニズムを学ぶことにより、幼児保育者、一社会人として好印象を与えるような発声、発音を習得する。
2. 歌唱、声の表現法を研究し、幼児の音楽や言葉への興味を促す。
3. 子どもの音楽への愛好心を育むための効果的な歌唱指導法を考え、実践する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育士資格および幼稚園教諭二種免許状取得のため、さらに自らの幼児音楽への研究関心に基づき、豊かな音楽表現を目指し、学びを深める。

評価方法

ゼミ活動への積極的な参加、歌唱、アンサンブル、表現の工夫、協調性を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

演奏発表、授業全体をふり返り、感想、自己評価を行う。

参考文献

フースラー「うたうこと一肉体的特質」
フォルナーリ「人体絵本」

講義時使用テキスト

資格との関連

幼児音楽の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな音楽表現を指導することができる。

学生へのメッセージ

幼児は家族や保育者の声や歌を聞き、真似をして覚え、歌う楽しさや喜びを感じ、成長していきます。幼児期に覚えた歌は生涯忘れず、そして自分の声で好きな歌を歌うことは、人生をとても豊かにします。歌は音楽の基本であり、私たちに喜びや慰め、勇気や希望を与えてくれるものだからです。
学生の皆さんと共に、幼児保育者として自然で美しい発声法と声の表現について研究したいと考えています。

実務との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。
幼児音楽の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな音楽表現を指導することができる。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション、ゼミの活動内容の把握、 声の意識調査	シラバスで授業内容を確認されたうえで、ご出席ください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	発声(呼吸法とブレスコントロール) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
3	発声(フレーズの歌い方) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
4	発声(幼児期の声域と発声) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
5	発声(幼児の発声) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
6	発声(声の使い過ぎと音声障害について) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
7	発声(アンサンブル、表現の工夫) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
8	発声(音楽表現の工夫) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
9	発声(歌唱指導の研究) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。歌唱指導法について、自分なりに曲や手順等を考える。	学んだ指導法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
10	発声(歌唱指導の研究) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。歌唱指導法について、自分なりに曲や手順等を考える。	学んだ指導法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
11	歌唱指導の実践 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱指導の曲や段取り等準備をする。歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
12	歌唱指導の実践 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱指導の曲や段取り等準備をする。歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
13	歌唱指導の実践 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱指導の曲や段取り等準備をする。歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
14	演奏発表 アンサンブル、音楽表現の工夫	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。音楽表現の工夫を考える。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
15	演奏・歌唱指導の研究のまとめ 感想/自己評価	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。音楽表現の工夫を考える。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。

講義名	9013007726 ゼミナールⅡ　今ゼミ 【ナンバリング：210059】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	今　清孝			

学習目標(到達目標)

保護者が必要とする支援ついて、子どもの年齢ごとに検討し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成し発表できる能力を養う。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成し学生の前で発表することができる。

授業概要(教育目的)

保護者支援は児童福祉法に規定された保育士の業務のひとつである。保護者支援を行う際に使う保育相談支援技術のひとつである「情報提供」は、保護者支援に活用できる情報を整理してしておくことが重要である。しかしながら保育現場では情報が未整理のままの施設が大半を占めているのが現状である。
この課題解決のために、このゼミナールでは、グループワークにより、保護者支援に必要な情報の整理の仕方を学び、実際に八戸市および近隣市町村の領域ごとの情報の整理を行い、報告書を作成しゼミナール内で発表する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業中のグループワークへの参加状況、分担した役割の達成度、報告書作成への貢献度を総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

毎時間のグループワークを見守りながら、授業の終わりにコメントする。

参考文献

必要に応じて紹介する。

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

このゼミナールは、子育て支援者としての保育者が施設で整備しなければならない子育てに関する情報(資源)台帳を、段階的に報告書にまとめることで作成していく。
卒業時には、完成させた「子育て支援資源台帳」を持って、保育現場に出ていくことができる。

実務との関連

保育園保父(6年間)と園長(18年間)の経験から、保護者支援、子育て支援を保育の視点から捉え授業を展開する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	子育て情報収集報告書2023　vol.1作成の反省と改善点を検討する。	シラバスを読む。 授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
2	子育てに必要な情報について、保護者の立場になって考える① (情報のカテゴライズ)	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
3	子育てに必要な情報について、保護者の立場になって考える② (情報収集の方法の検討)	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
4	子育てに必要な情報について、保護者の立場になって考える③ (情報収集)	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
5	子育てに必要な情報について、保護者の立場になって考える④ (情報収集)	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
6	子育てに必要な情報について、保護者の立場になって考える⑤ (情報収集)	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
7	情報の整理①	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
8	情報の整理②	授業内容について考えをまとめてくる。	授業内容を整理する。
9	報告書原稿作成①	原稿作成の準備をする。	原稿のチェックをする。
10	報告書原稿作成②	原稿を作成する。	原稿のチェックをする。
11	報告書原稿作成③	原稿を作成する。	原稿のチェックをする。
12	報告書原稿作成④	原稿を作成する。	原稿のチェックをする。
13	子育て情報収集報告書2023　vol.2 原稿　最終チェック	原稿の推敲をする。	原稿のチェックをする。
14	子育て情報収集報告書2023　vol.2 原稿　印刷　帳合	印刷原稿、印刷用紙、帳合作業の準備をする。	印刷原稿、印刷用紙、帳合作業の確認をする。
15	子育て情報収集報告書2023　vol.2 完成報告会	報告会次第、進行役等、報告書等準備する。	報告書、報告会について省察する。

講義名	9013007810 ゼミナールⅢ　池田ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

様々なワークショップを体験し、保育者として美術表現の知識向上を図る。
創作欲求と実践活動に重点を置き、作品が生まれる素晴らしさと、その社会的な影響力も同時に学ぶ。
幼児期の表現発達において、幼児が何を視て環境とどのように関わろうとしているかに気付く。
表現活動を通じ、環境を観察し変化を促す保育者となる。

授業概要(教育目的)

制作と鑑賞を相互に行い、視ること作ることの双方から美術の基礎と豊かさを学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

研究に対する積極性、提出物(期限と内容評価)、受講態度(制作評価と作品評価)を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

作品は一定期間ゼミで保管し、評価を添えて学生へ返却する
学生から年次計画設定以後も行いたい研究のアイデアがある場合は積極的に採用する

参考文献

1.世界素描体系(講談社 (1980/01))
2.モーリス・タックマン、キャロル・S.エリエル『パラレル・ヴィジョン―20世紀美術とアウトサイダー・アート』淡交社、1993年10月
3.北川東子ほか編訳『ジンメル・コレクション』ちくま学芸文庫、1999年
4.『パサージュ論』(岩波書店、1993年／岩波現代文庫、2003年)3巻「都市の遊歩者」
5.驚くべき学びの世界―レッジョ・エミリアの幼児教育 単行本 - 2013/4
佐藤 学 (監修), ワタリウム美術館 (編集)

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

「絵を描くのが苦手」
「もっと自由に描きたい」
そんな悩みを持つ人は、そのエネルギーを豊かな表現に変えていきましょう。
上手い絵ではなく良い絵とはなんなのか、美術を通じ創造や文化の豊かさを体感していきます。
課外授業等も行うので、講義日程外の出校もあります。
技術力ではなく活動に対する積極的性を重視します。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。
各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。
現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション・ディスカッション(1・2年交流会準備_役職決め・年次計画検討)	実施希望の関連する研究を新聞・インターネット等で調べてくる	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
2	視覚論(「視る」とはどのような事か)	事前に配布した資料を読み該当箇所を把握する	講義を資料やノートを元に振り返り研究ノートを整理する
3	描画基礎①(デッサン)	事前に配布した資料から技法について把握する	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
4	描画基礎②(具象表現)	事前に配布した資料から技法について把握する	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
5	描画基礎③(抽象表現)	事前に配布した資料から技法について把握する	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
6	材料による表現①(画材を使わない造形活動について)	インターネット等で関連する事例を調べ把握しておく	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
7	映像基礎講座①(アニメーション制作・グループワーク)	インターネット等で関連する事例を調べアイデアをノートに書き留める	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
8	材料による表現②(自然物を使った立体造形制作)	インターネット等で関連する事例を調べアイデアをノートに書き留める	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
9	材料による表現③(「ランドアート」環境と作品・グループワーク、フィールドワーク)	事前に配布した資料やインターネット等で関連する事例を調べアイデアをノートに書き留める	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
10	材料による表現④(「ゴミ」と美術の関係・ディスカッション)	インターネット等で関連するゴミの問題について調べ環境問題への意識を深めノートに書き留める	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる
11	美術史「ピカソの絵はなにが素晴らしいのか」(鑑賞①)	事前に配布した資料から該当箇所について把握する	講義を資料やノートを元に振り返り研究ノートを整理する
12	美術史「現代美術とは何か」(鑑賞②)	事前に配布した資料から該当箇所について把握する	講義を資料やノートを元に振り返り研究ノートを整理する
13	美術館・ギャラリーなどの施設の役割について(鑑賞③)	事前に配布した資料やインターネット等で全国や世界の美術館の事例を調べ、最低3館の特徴をノートに書き留める	講義を資料やノートを元に振り返り研究ノートを整理する
14	支持体と現代美術(形態と内容)	事前に配布した資料から該当箇所について把握し基本的な用語を理解する	講義を資料やノートを元に振り返り研究ノートを整理する
15	材料による表現⑤(紙(模造紙)を使った造形表現)	インターネット等で関連する事例を調べアイデアをノートに書き留める	活動を画像や動画を元に振り返り研究ノートにまとめる

講義名	9013007814 ゼミナールⅢ　天摩ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	天摩　雅和			

学習目標(到達目標)

学生自らが、発達障がい児の支援に関する研究テーマを設定し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成し発表できる能力を養う。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成しゼミナール研究発表会で発表することができる。

授業概要(教育目的)

学生自らが、発達障がいに関する研究テーマを設定し、報告書の作成と研究発表を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業での発表や発言、レポートなどにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は採点の上、返却する。

参考文献

なし

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミを通して人間的にも成長していただければと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナールオリエンテーション	シラバスを読む	授業のポイントを整理する
2	発達障がいについて復習する	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
3	自閉症の特性について復習する	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
4	LDの特性について復習する	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
5	ADHDの特性について復習する	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
6	構造化とは何か	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
7	物理的構造化とは	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
8	時間の構造化とは	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
9	ワークシステムとは	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
10	手順の構造化とは	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
11	発達障がいをもつ子どもへの接し方について事例検討する	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
12	発達障がいをもつ子どもの親への支援方法について事例検討する	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
13	交流授業の計画を立てる	昨年の活動について整理する	授業のポイントを整理する
14	中間発表準備(原稿作成等)	原稿の作成の準備	原稿のチェックと発表の練習をする
15	中間発表	原稿内容の確認と発表の準備をする	発表に関して省察する

講義名	9013007815 ゼミナールⅢ　差波ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

以下の3点を目標とする。
1. 子どもの遊びの意義や学びについて理解し、それらを保育者として保育の中に取り入れることができる。
2. プレーパークの活動について、計画し、展開し、考察し、発展させることができる。
3. 地域の子育てに関わる様々な団体と連携を取り、協働しながら、地域における自分たちの役割について考えることができる。

授業概要(教育目的)

自然環境を通した遊びの実際を体験しながら、「自分ならば保育でどのように展開するか。」を常に念頭におき、考察して行く。また、この体験をもとに、プレーパークを地域の中で展開し、実際に子どもと関わりながら「遊びを通して学ぶ」ことについて考察を深める。
また、八戸市や八戸圏の町村などで活動する、子育てに関わる様々な団体と連携を取り、地域の中で協働する姿勢と、連携の意義について体験を通して学ぶことを主な目的とする。
今年度は、以上のような地域の諸団体との関わりを通した学びについて、9月開催の全国保育士養成協議会の研究大会の分科会において発表するため、その準備にも随時取り組んでいくこととする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業へ取り組む態度と、研究テーマに基づいた協議などでの積極性などの姿勢によって評価する。

課題に対するフィードバック

各回ごとに、本学授業支援システムを通して、気づきや評価、反省点や改善点などを個別に知らせる。

参考文献

講義内容に応じて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

特記事項なし。

学生へのメッセージ

実務との関連

・幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。実務経験をもとに、保育者の役割を体現しながら指導し、学生が体感的に学ぶことができるよう支援する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	今年度の計画について	昨年度の経験を振り返り、また、2年生の活動をイメージして講義に臨む。	検討した計画を振り返り、今後の活動にイメージを持つ。
2	プレーパークの年間計画の立案	昨年度の実績を振り返り、今年度の計画のイメージを持っておく。	今年度の活動の具体をイメージし、環境の構成などについて考える。
3	プレーパークの準備①	遊びに必要な教材や環境をイメージしておく。	遊びの中での子どもへの関わり方などを想定する。
4	プレーパークの開催①	教材の扱い方や、子どもへの関わり方など、心構えを持って臨む。	実際に子どもと遊びの中で関わり、自分なりに気づいたことや考えたことを整理する。
5	プレーパークの開催②	教材の扱い方や、子どもへの関わり方など、心構えを持って臨む。	実際に子どもと遊びの中で関わり、自分なりに気づいたことや考えたことを整理する。
6	遊びの実際とその理解①	プレーパークや子育て支援活動の実際を振り返り、自分なりに考察する。	協議した内容を振り返り、自分の考えをさらにまとめる。
7	1年生との顔合わせ、プレーパーク開催に関わる打合せ	各自1年生に伝える内容をまとめておく。互いの顔と名前が一致するような取り組みを考えておく。	1年生に伝えたことをもとに、必要な準備等を構想する。
8	プレーパークの計画立案②	夏のプレーパークでしたいことを構想する。	考えた遊びについて、その展開の仕方などを考えて整理する。
9	プレーパークの準備②	遊びに必要な教材や環境をイメージしておく。	遊びの中での子どもへの関わり方などを想定する。
10	プレーパークの開催③	教材の扱い方や、子どもへの関わり方など、心構えを持って臨む。	実際に子どもと遊びの中で関わり、自分なりに気づいたことや考えたことを整理する。
11	プレーパークの開催④	教材の扱い方や、子どもへの関わり方など、心構えを持って臨む。	実際に子どもと遊びの中で関わり、自分なりに気づいたことや考えたことを整理する。
12	プレーパークの計画立案③	夏のプレーパークでしたいことを構想する。	考えた遊びについて、その展開の仕方などを考えて整理する。
13	プレーパークの準備③	遊びに必要な教材や環境をイメージしておく。	遊びの中での子どもへの関わり方などを想定する。
14	プレーパークの開催⑤	教材の扱い方や、子どもへの関わり方など、心構えを持って臨む。	実際に子どもと遊びの中で関わり、自分なりに気づいたことや考えたことを整理する。
15	プレーパークの開催⑥	教材の扱い方や、子どもへの関わり方など、心構えを持って臨む。	実際に子どもと遊びの中で関わり、自分なりに気づいたことや考えたことを整理する。

講義名	9013007816 ゼミナールⅢ　中嶋ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科			担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子		

学習目標(到達目標)

ハンドベルとハンドチャイムの音色による音楽の創造が出来る。
美しいものを美しいと感じ取り、演奏することの喜びを分かち合う事が出来る。

授業概要(教育目的)

演奏活動を通し、音の強弱のコントロール技術・技能を習得する。
積極的に関わり、協調・共感・思いやりの精神を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育に必要な専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな表現方法を構成することができる。

評価方法

受講態度、ハンドベル表現発表により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

演奏の映像、観客のアンケート結果によるフィードバック

参考文献

講義時使用テキスト

必要応じてプリントを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

イングリッシュハンドベルとハンドチャイムを通して音楽を楽しみ、自己を自然に表現するための技術と能力を身につけましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	演奏活動スケジュール決め(学園祭に向けて)	学事歴の確認	スケジュールの確認
2	ハンドベル音楽の鑑賞と作品研究	ハンドベル作品について調べる	ハンドベル作品の確認
3	演奏曲目の話し合い	既習曲の楽譜の準備	楽譜の準備
4	演奏曲目のアサイメント決め	楽譜を読む	アサイメントの確認
5	実技練習(奏法確認)	楽譜を読む	演奏ポイントの確認
6	実技練習(デュナーミク)	アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
7	音域毎の音の役割	アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
8	演奏会プログラムの話し合い	表現・演出法を考える	役割分担の確認
9	ハンドベル音楽におけるパフォーマンス	プログラムの確認	ハンドベル奏法の確認
10	実技練習①	アサイメントの確認	ハンドベル奏法の確認
11	実技練習②	アサイメントの確認	ハンドベル奏法の確認
12	実技練習③	アサイメントの確認	ハンドベル奏法の確認
13	実技練習④	アサイメントの確認	ハンドベルとハンドチャイムの奏法の確認
14	実技練習⑤	アサイメントの確認	ハンドベルとハンドチャイムの奏法の確認
15	表現発表	演奏マナーとアサイメントの確認	ハンドベルとハンドチャイム音楽の表現方法の振り返り

講義名	9013007819 ゼミナールⅢ　加藤康子ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		加藤　康子		

学習目標(到達目標)

子どもの健康と食事のかかわり、保育における食事の位置を理解し、説明できる。
クッキング保育・食教育についての知識と技術を習得し、説明できる。
味覚と食べ方の発達を促すための専門的知識を習得し、説明できる。

授業概要(教育目的)

幼児の間食(おやつ)を通して食育を考える。手づくりおやつの試作とレシピの開発、食育に関わる情報を収集し、実践的な学びを体験する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

活動についての取り組み、積極性や計画性、参加姿勢などで評価する。

課題に対するフィードバック

・試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション:ゼミの進め方	子どもの食について、知っていることをまとめておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
2	子どもの健康と食生活の意義	子どもの食に関する本を調べておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
3	栄養に関する基礎知識	栄養について調べておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
4	子どもの発育・発達と食生活	子どもの発育・発達について調べておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
5	食育の基本と内容	食育とは何か、調べておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
6	幼児にとっての間食(おやつ)	幼児のおやつの情報を集めておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
7	幼児のおやつ事情	幼児のおやつについての情報を集めておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
8	おやつマップ製作	市販おやつを調べて、子どもに適するものを考えておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
9	おやつレシピの開発	必要なものを確認しておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
10	食育情報の収集と食育コラムの作成	新聞・雑誌などを読み、情報を集めるとともに、レイアウトを考えておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
11	おやつの試作と親子クッキングの計画	必要なものを確認しておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
12	クッキング教室の実施について	器具・材料・レシピなど実施に当たって必要なものを準備する。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
13	手づくりおやつ広報活動1	レシピ・コラムなどを整理し、活動に関わる準備をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
14	手づくりおやつ広報活動2	レシピ・コラムなどを整理し、活動に関わる準備をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
15	手づくりおやつファイルの作成	ファイル作成に必要なレシピ等の資料の整理をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。

講義名	9013007820 ゼミナールⅢ　吹越ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	吹越　義博			

学習目標(到達目標)

1　日本現代文学の代表的な作品(小説)の中から親しみやすく興味関心のある作品を主体的に選定し　て読書し、定期的な読書会の開催や朗読(短編小説・童話)などの活動を通して作品世界の理解を深　めることができる。
2　テーマ本に関する情報収集・整理・分析を通じて得た研究内容を適正に説明・発表できる。

授業概要(教育目的)

1　テーマ本の選定は学生が主体的に決定し、作品理解のための資料収集を通して問題点を明確にしな　がら考察していく。作品研究については計画的かつ論理的に取り組む。
2　すぐれた文学作品に触れることで文学的感性を高めたり、人間理解を深め、豊かな人間性を養う。
3　読書会での感想・意見発表を通して表現力やコミュニケーション能力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

研究に対する意欲や取組状況、演習時の発表や発言、研究成果のレポート作成・プレゼンテーションなどにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(研究記録ノート)を提出させ、次の授業で記述内容に対するコメントを口頭でフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

情報収集のための文献は多岐にわたるものと考えられるので、特に指定しないで図書館やインターネットを最大限活用することとする。

資格との関連

学生へのメッセージ

読書は人間形成の基本です。多忙な現代社会ですが、心豊かな保育者になるために優れた文学作品に触れる機会を持ちましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナール活動概要説明 第1回テーマ本選定意見交換・選定	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
2	第1回テーマ本研究(作者・梗概・感想)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
3	第1回テーマ本研究(表現)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
4	第1回テーマ本研究(テーマ)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
5	第2回テーマ本選定意見交換・選定	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
6	第2回テーマ本研究(作者・梗概・感想)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
7	第2回テーマ本研究(テーマ・表現)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
8	第3回テーマ本選定意見交換・選定	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
9	第3回テーマ本研究(作者・梗概・感想)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
10	第3回テーマ本研究(テーマ・表現)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
11	第4回テーマ本選定意見交換・選定	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
12	ゼミナール研究発表中間報告準備	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
13	ゼミナール研究発表中間報告会	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
14	第4回テーマ本研究(作者・梗概・感想)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
15	第4回テーマ本研究(テーマ・表現)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する

講義名	9013007821 ゼミナールⅢ　本吉ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	本吉　好			

学習目標(到達目標)

本ゼミの学習目標は、子どもたちの体力・運動能力向上のための方法を学び、実践する力を身につけるため、以下の目標を設定する。
1.子どもの自発的な活動を促すことができる運動あそびの立案、実践および指導することができる
2.パラバルーンを使用したダンスを創作することができる

授業概要(教育目的)

現在、子どもたちの体力・運動能力は低下傾向にあり、幼児期の運動経験が重要視されている。そこで本ゼミは、子どもたちの体力・運動能力を向上させるための運動あそびを様々な場面(屋内、屋外など)や道具(ボールや縄など)のテーマを設定し、テーマに合わせた運動あそびの立案から実践へつなげ、指導法を習得する。また、運動会やお遊戯会で多く使用されているパラバルーンを使用し、ダンスを創作しひ、表現力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループ活動および課題に対する取り組み方や積極性等を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

資料や映像等を通してフィードバックを行う。

参考文献

授業内で適宜指示する。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

保育者になったときに、運動あそびを実行できる力を身に付けるための活動をします。
何事にも積極的に全力で参加できる学生はぜひお越しください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	運動あそび①	図書館等で関連資料を確認すること	活動内容をノートにまとめること
2	運動あそび②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
3	運動あそび③	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
4	運動あそび④	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
5	運動あそび⑤	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
6	パラバルーン①	図書館等でパラバルーンの資料を読んでおくこと	活動内容をノートにまとめること
7	パラバルーン②	使用したい曲を調べておくこと	活動内容をノートにまとめること
8	パラバルーン③	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
9	パラバルーン④	前回の活動内容を確認すること 使用したい技をまとめておくこと	活動内容をノートにまとめること
10	パラバルーン⑤	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
11	パラバルーン⑥	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
12	パラバルーン⑦	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
13	パラバルーン⑧	振り付けを確認すること	活動内容をノートにまとめること
14	パラバルーン⑨	振り付けを確認すること	活動内容をノートにまとめること
15	パラバルーン⑩	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること

講義名	9013007822 ゼミナールⅢ　鈴木ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　康弘			

学習目標(到達目標)

1. 絵本、ペープサートやパネルシアター、パペット等の保育教材に関する知識や考え方を理解し、伝えることができる。
2. 保育教材の特徴を分析し、自分たちで適切な文章とイラストを作成し、オリジナルの保育教材を製作することができる。
3. 図書館やインターネットの使い方、文献研究の方法論を含めた基本的なスタディ・スキルを習得する。

授業概要(教育目的)

「Play(遊び・演じる)」をテーマとして、保育につながる絵本、ペープサートやパネルシアター、パペットを用いた劇遊び、ICTを用いたオーディオドラマの作成に取り組む。保育者として、からだや声で楽しく演じる姿を見せることは、子どもたちの「自分たちもやってみたい」という気持ちを育むと同時に、子どもの遊びや表現のレパートリーを広げていくことにつながる。毎回のゼミの時間には、実習で見てきたそれぞれの子どもの姿を振り返り・共有しながら、教材づくり、シナリオ作成、ICTの活用といった作業に協働的に取り組むことで、ゼミの最終回や系列園の預かり保育の時間帯に、パフォーマンスを披露することを目標としたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループ単位で取り組むシナリオ作成や教材づくりの貢献度(文章やイラストの作成など)に応じて総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

保育教材の準備やそれを用いたパフォーマンスを行うためには、チームワークが求められる作業です。よい完成品を作り上げるためにも、毎回、フィードバックを共有したいと思います。

参考文献

浅野ななみ『0~5歳児の劇あそびおまかせブック(ナツメ社保育シリーズ)』(ナツメ社、2023年)
井上明美『みんなよろこぶ! 人気劇あそび特選集』(自由現代社、2017年)
小泉　令三・山田 洋平『こどものきもちを育む ♪ 紙芝居作成ブック』(世界文化社、2018年)

講義時使用テキスト

厚生労働省編『保育所保育指針解説』(フレーベル館、2018年)

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

学生へのメッセージ

保育教材の研究は、保育実習Ⅱ期や教育実習につながるだけでなく、現場で働き続けるために必要な経験です。一人では大変な作業も、仲間とともに楽しく取り組んでいきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	自己紹介、ゼミナール活動の説明	シラバスで授業内容を確認されたうえで、出席してください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	作業計画・スケジュールの策定	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	話し合った内容を踏まえて、スケジュールの確認と調整をする。
3	スタディ・スキルについて(図書館・インターネットの使い方など)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	図書館やインターネットを用いて、興味・関心のあるトピックについて調べてみてください。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
4	遊びにつながる絵本・紙芝居の研究(1)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
5	遊びにつながる絵本・紙芝居の研究(2)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
6	ペープサート遊び(1)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
7	ペープサート遊び(2)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
8	パペット劇遊び(1)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
9	パペット劇遊び(2)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
10	ラジオドラマ遊び(1)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
11	ラジオドラマ遊び(2)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
12	パネルシアター遊び(1)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
13	パネルシアター遊び(2)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
14	発表会準備	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
15	発表会	各自、これまでのゼミの活動を通じて学んだことを簡単なレポートにまとめ、印刷・共有する。関連する文献や雑誌があれば、図書館やインターネットなどを利用して情報収集する。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。

講義名	9013007823	ゼミナールⅢ　橋本ゼミ 【ナンバリング：210060】					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	橋本　知子			

学習目標(到達目標)

1. エミール・ジャック＝ダルクローズが提唱したリトミックの理念を理解する。
2. 幼児の発達に応じたリトミック指導を研究する。
3. 教育実習を意識した模擬保育を実践する。

授業概要(教育目的)

今日までに世界各国の教育者から賛同を得るに至ったリトミックが、我が国の保育において、どの様な位置付けとされまたどの様に指導が展開されているのかといった検証を考えています。本講義では、幼児期において形成される「感性・想像力・集中力・思考力」といった人間の礎となる能力を、リトミックを通して伸びやかに育む事が出来る教材の研究を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講意欲及び課題等において総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

講義で学んだ事を基に、保育におけるリトミックの位置付けに関して自身の考えを発表していただく予定です。

参考文献

1. ダルクローズシステムによるリトミック指導2 「4才児用」全音楽譜出版社
2. ダルクローズシステムによるリトミック指導3 「5才児用」全音楽譜出版社

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達に応じた指導の展開が出来る。

学生へのメッセージ

リトミック創案者エミール・ジャック＝ダルクローズの理念を基に、幼児期において形成される感性や想像力といった能力を伸びやかに育む事を目的とした教育の在り方を共に研究しましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナールⅠ・Ⅱの振り返り及びゼミナールⅢの講義内容説明	シラバスで講義内容を確認してくる。	講義内容の再確認を行う。
2	マリア・モンテッソーリについて	マリア・モンテッソーリの教育理念について調べてくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
3	リトミックの幼児教育における意義について	リトミックが幼児期においてどの様な役割を担っているか自身の考えをまとめてくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
4	保育の中のリトミック	保育におけるリトミックの位置付けを考えてくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
5	発達に応じた言葉とリズム	リズム指導において相応しいと考えられる言葉を年齢別にまとめてくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
6	音の身体表現	両手及び身体で音階(ドレミファソラシド)を考えてくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
7	リズム運動	リズミカルな身体表現に相応しいと考える曲を選んでくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
8	リトミックソルフェージュ	ハンドサイン及びリズム運動といったリトミックを取り入れたソルフェージュを考えてくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
9	即時反応力より育まれる力の考察	リトミックにおける即時反応力の育成について自身の考えをまとめてくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
10	拍子トレーニング ・身体の指揮 ・ステップ	2・3・4拍子の指揮及びステップをするにあたり年齢に応じた展開を考えてくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
11	ピアノを使用しての即興演奏	自身のレベルを考慮し即興演奏を取り入れたリトミック指導が展開出来るであろう曲を選んでくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
12	3歳未満児のリトミック	3歳未満児の発育を調べてくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
13	4歳児のリトミック	4歳児の発育を調べてくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
14	5歳児のリトミック	5歳児の発育を調べてくる。	本講義で学んだ事項をまとめておく。
15	実践発表	10分程度のリトミック指導案を考案し、実践発表の準備をしてくる。	ゼミナールⅢで学んだ事項をまとめておく。

講義名	9013007824 ゼミナールⅢ　野口ゼミ 【ナンバリング：210060】						
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	野口　和也			

学習目標(到達目標)

1.メンタルヘルスに関する科学的な根拠に基づく予防と対応の知識及び技術を習得することができる。
2.応用行動分析の視点、考え方を身につけることができる。
3.自分自身の言葉で考え、意見や感想を、聞き手に分かりやすく伝達することができる。
4.研究テーマを設定し、文献収集、講読してその内容を要約できる。
5.研究の仮説が実証できる研究の方法を考え、収集する準備ができる。

授業概要(教育目的)

保育所・幼稚園、認定こども園などの保育現場では、発達に心配があるお子さんの心理面や行動面の支援が課題のひとつになっている。本授業では、保育者がその専門活動に従事する中で関わりを持つ人々、他機関との連携や協働を念頭に置き、こころの健康に関する基礎的な知識、技術を科学的なエビデンスから学びを進める。そして、精神疾患をはじめとするメンタルヘルスについて幅広く学ぶ機会を設け、健康を維持するために、どのようなことが必要なのか、どのような対応が周囲には求められるかについて、理解し実践できるようになることを目的とする。また、問題・課題を環境との相互作用から捉え、解決の糸口を導き出す応用行動分析の視点について学びを深めていく。
1年次のゼミナール活動内容をふまえて、多面的に検討し研究テーマの決定から具体的な計画の立案を進めることを目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

積極的な授業参加・活動(40%)、課題提出(60%)により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

提出物については、添削及びコメントを記載して、返却する。

参考文献

授業の中で適宜紹介します。

講義時使用テキスト

特になし(プリントを配布します)

資格との関連

学生へのメッセージ

こころの健康に関する問題は、特別なことではなく程度の差はあっても、誰もが抱える可能性があるものと言えます。また、自分自身は問題がなくても周囲の人がこころの健康を崩すこともあります。現代社会の中で保育の専門家として活動する際、精神保健の活動は重要な事柄になっていきます。ぜひとも、授業に真摯な姿勢で向き合い、子どもたちの精神保健だけでなく、養育者や周囲の人々の精神保健についても幅広く学びを深めていくことを期待しています。また、研究成果報告に向けても、皆さんと一緒に、一歩ずつ進められればと思っています。研究を進める上で求められる課題にもしっかりと向き合ってくれることを期待しています。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション 自己紹介　1年次のゼミナールで進めてきたこと	シラバスに目を通して、科目全体の学びの内容のイメージを持つ	説明を受けたゼミナールの内容をまとめる
2	研究の進め方　研究をはじめる① 漠然とした思いや何となく気になっていることを文字にして、仲間と共有し研究のキーワードをみつける	心理臨床的支援の中で自身の興味・関心のある内容を複数考える	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
3	こころの健康とは何かについて考えてみる 研究の進め方　研究をはじめる② 研究で使うキーワードを探して、研究のテーマを書いてみる、設定する	前回の配布資料とノートを読み直す	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
4	こころの健康問題①　原因別にみたこころの健康問題の3つのタイプについて(1)	前回の授業を受けて作成した資料を準備する (分からないこと、疑問点も質問できるようにしておく)前回の配布資料とノートを見直す。	授業の内容を整理し、論点を整理する
5	こころの健康問題②　原因別にみたこころの健康問題の3つのタイプについて(2) 研究の進め方　研究のアイデアをかたちにする① 自分の研究に関連する論文、文献を探して、要約を読んでみる	文献を探して、要約を読む 前回の配布資料とノートを読み直す	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
6	こころの健康問題③　基本となる10の疾患について(1) 研究の進め方　研究のアイデアをかたちにする②-1 読んだ論文、文献の内容を整理して仲間と伝え合い、理解を深めアイデアを広げる	講読した文献を説明する資料を作る 前回の配布資料とノートを読み直す	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
7	こころの健康問題④　基本となる10の疾患について(2) 研究の進め方　研究のアイデアをかたちにする②-2 読んだ論文、文献の内容を整理して仲間と伝え合い、理解を深めアイデアを広げる	講読した文献を説明する資料を作る 前回の配布資料とノートを読み直す	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
8	精神症状を読み解く①　精神症状の6つのグループについて	前回の配布資料とノートを読み直す	授業の内容を整理し、論点を整理する
9	精神症状を読み解く②　精神症状の6つのグループについて 研究の進め方　研究のアイデアをかたちにする③ 読んだ論文・文献に出てくる図表から、結果を読み取る	講読した文献に出てくる図表を用意し、分からないことを質問できるようにする 前回の配布資料とノートを読み直す	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
10	母子の精神保健　子育て支援とこころの健康づくり 研究の進め方　研究のアイデアをかたちにする④ もう一度研究テーマを立てて、リサーチクエスチョンを書いてみる	研究テーマをもう一度考える	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
11	地域精神保健活動と保育　様々な診断方法と乳幼児健康診査 研究の進め方　方法を選択して仮説を立てる① どのような研究の方法があるか考えて、リサーチクエスチョンを対応させる 研究の進め方　方法を選択して仮説を立てる② 考えられる使うべき研究の方法を仲間と伝え合い、理解を深め方法を決定し仮説を立てるかどうか検討する	研究テーマをまとめ、どのような研究方法があるか考える	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
12	地域精神保健活動における保育者の役割 研究の進め方　研究データを集める準備をする① 研究倫理についても考えて、必要な書類や材料・道具の準備を検討する	研究データの収集の方法を考える 前回の配付資料とノートを読み直す	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
13	応用行動分析学①　問題解決に向けた応用行動分析学の視点、考え方	リアクションペーパーに回答する	配布資料とノートを読み直し、分からないところや疑問に思ったことを質問できるようまとめておく。
14	ゼミ内中間発表の準備(発表原稿の作成など)	ゼミ内中間発表の資料素案を考える	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
15	ゼミ内中間発表会	ゼミ内中間発表の資料を作成し発表のリハーサルを行う	自身の発表を振り返り、まとめておく

講義名	9013007825	ゼミナールⅢ　坂本ゼミ 【ナンバリング：210060】					
年度	2023	開講時期	前期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	坂本　利枝子			

学習目標(到達目標)

1. 幼児保育者として、自然で美しい発声法を習得する。
2. 歌唱、ヴォーカルアンサンブルを通して、豊かな演奏表現を目指す。

授業概要(教育目的)

1. 発声のメカニズムを学ぶことにより、幼児保育者、一社会人として好印象を与えるような発声、発音を習得する。
2. 歌唱、声の表現法を研究し、幼児の音楽や言葉への興味を促す。
3. 子どもの音楽への愛好心を育むための効果的な歌唱指導法を考え、実践する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育士資格および幼稚園教諭二種免許状取得のため、さらに自らの幼児音楽への研究関心に基づき、豊かな音楽表現を目指し、学びを深める。

評価方法

ゼミ活動への積極的な参加、歌唱、アンサンブル、表現の工夫、協調性を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

演奏発表、授業全体をふり返り、感想、自己評価を行う。

参考文献

フースラー「うたうこと一肉体的特質」
フォルナーリ「人体絵本」

講義時使用テキスト

資格との関連

幼児音楽の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな音楽表現を指導することができる。

学生へのメッセージ

幼児は家族や保育者の声や歌を聞き、真似をして覚え、歌う楽しさや喜びを感じ、成長していきます。幼児期に覚えた歌は生涯忘れず、そして自分の声で好きな歌を歌うことは、人生をとても豊かにします。歌は音楽の基本であり、私たちに喜びや慰め、勇気や希望を与えてくれるものだからです。
学生の皆さんと共に、幼児保育者として自然で美しい発声法と声の表現について研究したいと考えています。

実務との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。
幼児音楽の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな音楽表現を指導することができる。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション(自己紹介とゼミの活動内容の把握、声の意識調査)、輪唱・パートナーソング	シラバスで授業内容を確認されたうえで、ご出席ください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	発声(姿勢、呼吸法) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
3	発声(腹式呼吸と胸式呼吸) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
4	発声(口・喉の開け方) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
5	発声(音域調査)パート分け 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
6	発声(共鳴について) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
7	発声(声の当て場所について) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
8	発声(共鳴を意識して歌う) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
9	発声(母音の歌唱) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
10	発声(発声器官、声帯について) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
11	発声(胸声と頭声(1)) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
12	発声(胸声と頭声(2)) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
13	発声(息の使い方、ブレスコントロール) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
14	発声(これまでの復習) アンサンブル、音楽表現の工夫	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
15	発声(これまでのまとめ) アンサンブル、音楽表現の工夫 感想/自己評価	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。音楽表現の工夫を考える。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007910 ゼミナールⅣ　池田ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	池田　拓馬			

学習目標(到達目標)

様々なワークショップを体験し、保育者として美術表現の知識向上を図る。
創作欲求と実践活動に重点を置き、作品が生まれる素晴らしさと、その社会的な影響力も同時に学ぶ。
幼児期の表現発達において、幼児が何を視て環境とどのように関わろうとしているかに気付く。
表現活動を通じ、環境を観察し変化を促す保育者となる。

授業概要(教育目的)

制作と鑑賞を相互に行い、視ること作ることの双方から美術の基礎と豊かさを学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

研究に対する積極性、提出物(期限と内容評価)、受講態度(制作評価と作品評価)を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

作品は一定期間ゼミで保管し、評価を添えて学生へ返却する
学生から年次計画設定以後も行いたい研究のアイデアがある場合は積極的に採用する

参考文献

1.世界素描体系(講談社 (1980/01))
2.モーリス・タックマン、キャロル・S.エリエル『パラレル・ヴィジョン―20世紀美術とアウトサイダー・アート』淡交社、1993年10月
3.北川東子ほか編訳『ジンメル・コレクション』ちくま学芸文庫、1999年
4.『パサージュ論』(岩波書店、1993年／岩波現代文庫、2003年)3巻「都市の遊歩者」
5.驚くべき学びの世界―レッジョ・エミリアの幼児教育 単行本 - 2013/4 佐藤 学 (監修), ワタリウム美術館 (編集)

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

「絵を描くのが苦手」
「もっと自由に描きたい」
そんな悩みを持つ人は、そのエネルギーを豊かな表現に変えていきましょう。
上手い絵ではなく良い絵とはなんなのか、美術を通じ創造や文化の豊かさを体感していきます。
課外授業等も行うので、講義日程外の出校もあります。
技術力ではなく活動に対する積極的性を重視します。

実務との関連

図画工作非常勤講師として横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校に5年間勤務、初等教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。
各幼稚園等における造形教室、ワークショップ等の幼児教育機関での実務経験をもとに子どもの豊かな表現の育み方について伝えていきます。
現代美術家としての表現活動、ギャラリーや美術館、アートプロジェクト等での発表活動等の実務経験をもとに、美術の豊かさ、人に与える影響の大きさについて伝えていきます。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	都市デザイン論①(ヴァルター・ベンヤミン「パサージュ論」)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
2	都市デザイン論②(ゲオルグ・ジンメル「橋と扉」)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
3	舞台芸術と環境構成①(舞台美術デザインと制作1「人と場所(環境)について」)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
4	舞台芸術と環境構成②(舞台美術デザインと制作2「環境と照明について」)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
5	舞台芸術と環境構成③(舞台美術デザインと制作3「環境と音について」)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
6	材料による表現⑤(糸、縄を使った造形表現)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
7	写真基礎(写真史、白黒写真の原理)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
8	写真による表現①(ピンホールカメラ制作)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
9	写真による表現②(撮影と現像)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
10	現代美術と幼児美術(近・現代美術史について)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
11	食と芸術関係性(リクリット・ティラヴァニの事例について)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
12	遊具と芸術の関係性(イサムノグチ「play equipment」について)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
13	美術による道徳教育について(視点と観点より)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
14	アートワークショップ(ゲスト招聘、方法と展開、実演について)	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する
15	作品の制作とアーカイブについて	テーマにあった制作技法の手順や内容を事前に学習してくる	資料や記録をもとに講義を振り返り疑問点や興味のある点を整理する

講義名	9013007914 ゼミナールⅣ　天摩ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	天摩　雅和			

学習目標(到達目標)

学生自らが、発達障がい児の支援に関する研究テーマを設定し、調査及び文献や資料等の収集を行い、報告書を作成し発表できる能力を養う。

・調査及び文献や資料の収集を行い、報告書を作成しゼミナール研究発表会で発表することができる。

授業概要(教育目的)

学生自らが、発達障がいに関する研究テーマを設定し、報告書の作成と研究発表を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業での発表や発言、レポートなどにより総合的に判断する。

課題に対するフィードバック

レポート課題は採点の上、返却する。

参考文献

講義時使用テキスト

なし

資格との関連

学生へのメッセージ

ゼミを通して人間的にも成長していただければと思います。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	交流授業オリエンテーション「支援のイメージをもってみよう」	シラバスを読む	授業のポイントを整理する
2	前回の活動の振り返り	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
3	交流授業「本人のことを理解してみよう」	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
4	前回の活動の振り返り	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
5	交流授業「自立課題を作ってみよう」	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
6	前回の活動の振り返り	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
7	交流授業「ひとりでできるように工夫してみよう」	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
8	前回の活動の振り返り	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
9	交流授業「まとめ　グループごとに発表」	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
10	子どもたちとの交流から学んだことについて報告	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
11	発達障がいを持つ子どもへの支援方法についてのまとめ	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
12	発達障がいを持つ子どもの親への支援方法について考える	授業内容についてインターネットで調べる	授業のポイントを整理する
13	発表準備①原稿作成等	原稿を作成する	原稿のチェックをする
14	発表準備②原稿作成等	授業内容についてインターネットで調べる	原稿のチェックと発表の練習をする
15	発表(ゼミ内)	原稿のチェックと発表の準備をする	発表に関して省察をする

講義名	9013007915 ゼミナールⅣ　差波ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	差波　直樹			

学習目標(到達目標)

以下の3点を目標とする。
1. 子どもの遊びの意義や学びについて理解し、それらを保育者として保育の中に取り入れることができる。
2. プレーパークの活動について、計画し、展開し、考察し、発展させることができる。
3. 地域の子育てに関わる様々な団体と連携を取り、協働しながら、地域における自分たちの役割について考えることができる。

授業概要(教育目的)

保育実習と教育実習を通して学んできたことを生かしながら、より楽しい遊びのあり方や、プレーパークの活動などについて考え、実践する。また、学生同士でその構想について対話し、互いの役割を理解し合いながら子どもたちとの遊びを展開し、自信を持って活動する。
こうして実践してきたことを、幼児教育や保育とつなげながら自分たちなりに考察し、成果や課題について明らかにしていくことを主な目的とする。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

授業へ取り組む態度と、研究テーマに基づいた協議などでの積極性などの姿勢によって評価する。

課題に対するフィードバック

各回ごとに、はちキャンウェブ(本学授業支援システム)を通して、気づきや評価、反省点や改善点などを個別に知らせる。

参考文献

講義内容に応じて適宜紹介する。

講義時使用テキスト

なし。

資格との関連

特記事項なし。

学生へのメッセージ

実務との関連

・幼稚園教諭として、公立幼稚園に勤務した。実務経験をもとに、保育者の役割を体現しながら指導し、学生が体感的に学ぶことができるよう支援する。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	遊びの実際①(染物)	遊びに必要な教材や用具などを考え、準備する。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
2	遊びの実際②(ピタゴラスイッチ作り①)	遊びに必要な教材や用具などを考え、準備する。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
3	遊びの実際③(ピタゴラスイッチ作り②)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
4	遊びの実際④(フェルトボール作り)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
5	遊びの実際⑤(焚き火・焼き芋)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
6	遊びの実際⑥(ボールを使った遊び)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
7	遊びの実際⑦(木工遊び・工作遊び)	遊びに必要な教材や環境をイメージし、自分なりに準備をする。	遊びの中で、幼児が体験すると思われること、身につけられること、学びとして得られることについて整理する。また、保育者として何をすべきかを考える。
8	ゼミナール報告会に向けて①	2年間の学びを振り返り、発表したいことについてイメージをしておく。	スライドの配置や、説明する内容などを吟味する。
9	ゼミナール報告会に向けて②	発表の方法や、役割分担などについてイメージし、講義に臨む。	報告会当日までに必要なことについて整理する。
10	プレーパークの計画立案	冬のプレーパークでしたいことを構想する。	考えた遊びについて、その展開の仕方などを考えて整理する。
11	プレーパークの準備	遊びに必要な教材や環境をイメージしておく。	遊びの中での子どもへの関わり方などを想定する。
12	プレーパークの開催	教材の扱い方や、子どもへの関わり方など、心構えを持って臨む。	実際に子どもと遊びの中で関わり、自分なりに気づいたことや考えたことを整理する。
13	摂理と輝石　原稿作成①	今年一年の学びを振り返り、整理しておく。	作成した原稿の推敲をする。
14	摂理と輝石　原稿作成②	自分自身の原稿の訂正箇所を把握しておく。	作成した原稿の最終チェックをする。
15	遊びを通した学び～幼児教育の基本に立ち返る	幼稚園教育要領などの解説書を読んでおく。	実際に体験してきたことと、理論として学んだことを整合する。

講義名	9013007916	ゼミナールⅣ　中嶋ゼミ 【ナンバリング：210061】					
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	中嶋　栄子			

学習目標(到達目標)

ゼミナールⅢで培った音楽的な成果を基に、実践的な音楽表現の創造が出来る。
五感を研ぎ澄まし、美しいものを美しいと感じ取り、演奏することの喜びを分かち合う事が出来る。

授業概要(教育目的)

演奏活動を通し、音の強弱のコントロール技術・技能を習得する。
積極的に関わり、協調・共感・思いやりの精神を学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育に必要な専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな表現方法を構成することができる。

評価方法

受講態度、ハンドベル表現発表により総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

演奏の映像によるフィードバック。
演奏会アンケートによるフィードバック。

参考文献

講義時使用テキスト

必要に応じプリントを配布する。

資格との関連

学生へのメッセージ

イングリッシュハンドベルとハンドチャイムを通して音楽を楽しみ、自己を自然に表現するための技術と能力を身につけましょう。メロディーを奏でるのもハーモニーを創り出すのも複数のリンガーによって行われます。
一つの音楽目標に各自を調和させ、音楽表現の本質を学びましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	はちがくフェスについての話し合い	学事歴 既習曲の確認	ハンドベル作品の確認
2	司会進行の話し合い 実技練習①	過年度の資料を調べる	表現・演出法を考える
3	実技練習②	アサイメントの確認	楽譜の準備 アサイメントの確認 演奏ポイントの確認
4	クリスマスコンサート 　演奏曲目の話し合い	過年度の資料を調べる	表現・演出法を考える
5	演奏曲目のアサイメント決め	楽譜を読む	楽譜の準備 アサイメントの確認 演奏ポイントの確認
6	実技練習①	アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
7	実技練習②	アサイメントの確認	メロディー、伴奏の確認
8	ゼミ研究報告会準備 実技練習③	過年度の資料を調べる	表現・演出法を考える
9	実技練習(クリスマス)④	アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
10	実技練習(クリスマス)⑤	メロディー、伴奏の確認	担当音の表現法の確認
11	実技練習(クリスマス)⑥	アサイメントの確認	デゥナーミクの表現法
12	実技練習(こどもフェスタ)①	アサイメントの確認	表現・演出法を考える
13	実技練習(こどもフェスタ)②	アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
14	実技練習(こどもフェスタ)②	アサイメントの確認	演奏ポイントの確認
15	実技練習(こどもフェスタ)② ゼミナールⅣの振り返り	表現・演出法の確認	ハンドベル音楽による内なる感情について振り返る

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007919 ゼミナールⅣ　加藤康子ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	加藤　康子			

学習目標(到達目標)

子どもの健康と食事のかかわり、保育における食事の位置を理解し、説明できる。
クッキング保育・食教育についての知識と技術を習得し、説明できる。
味覚と食べ方の発達を促すための専門的知識を習得し、説明できる。

授業概要(教育目的)

幼児の間食(おやつ)を通して食育を考える。手づくりおやつの試作とレシピの開発、食育に関わる情報を収集し、実践的な学びを体験する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

活動についての取り組み、積極性や計画性、参加姿勢などで評価する。

課題に対するフィードバック

・試験(レポート、小テスト)の成績を知りたい学生には個別に開示する。

参考文献

講義時使用テキスト

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	地産地消と食育の関係について	新聞・雑誌などを読み、情報をあつめる。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
2	ベープサートとパネルシアターの活用について	材料を準備し、作り方の確認をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
3	食育ポスターの製作	材料を準備し、作り方の確認をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
4	ランチルームの環境について	ランチルームの現状と望ましい環境について考えておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
5	幼児の調理について	幼児の調理に必要な知識はなにかを調べておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
6	幼児のおやつ事情(2)	幼児のおやつについて、情報を収集しておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
7	おやつマップ製作(2)	市販おやつを調べて、子どもに適するものを考えておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
8	食育情報の収集と食育コラムの作成	新聞・雑誌から情報を収集し、レイアウトも考えておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
9	おやつの試作とレシピの開発	必要なものを用意し、作り方を確認しておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
10	おやつの試作とレシピの開発	必要なものを用意し、作り方を確認しておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
11	クッキング教室の実施について	実施可能な条件を探し、準備する。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
12	ゼミ発表会準備	発表に向けた準備をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
13	レシピ集の作成	必要な資料の整理をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
14	レシピ集の作成	必要な資料の整理をしておく。	本時の活動内容をまとめ、次の活動の目的を確認しておく。
15	手づくりおやつファイルの作成	必要な資料を準備し、ファイル作成に向けた用意をしておく。	まとめの確認をする。

講義名	9013007920 ゼミナールⅣ　吹越ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	吹越　義博			

学習目標(到達目標)

1　日本現代文学の代表的な作品(小説)の中から親しみやすく興味関心のある作品を主体的に選定し　て読書し、定期的な読書会の開催や朗読(短編小説・童話)などの活動を通して作品世界の理解を深　めることができる。
2　テーマ本に関する情報収集・整理・分析を通じて得た研究内容を適正に説明・発表できる。

授業概要(教育目的)

1　テーマ本の選定は学生が主体的に決定し、作品理解のための資料収集を通して問題点を明確にしな　がら考察していく。作品研究については計画的かつ論理的に取り組む。
2　すぐれた文学作品に触れることで文学的感性を高めたり、人間理解を深め、豊かな人間性を養う。
3　読書会での感想・意見発表を通して表現力やコミュニケーション能力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

研究に対する意欲や取組状況、演習時の発表や発言、研究成果のレポート作成・プレゼンテーションなどにより総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

課題(研究記録ノート)を提出させ、次の授業で記述内容に対するコメントを口頭でフィードバックする。

参考文献

講義時使用テキスト

情報収集のための文献は多岐にわたるものと考えられるので、特に指定しないで図書館やインターネットを最大限活用することとする。

資格との関連

学生へのメッセージ

読書は人間形成の基本です。多忙な現代社会ですが、心豊かな保育者になるために優れた文学作品に触れる機会を持ちましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	第5回テーマ本選定意見交換・選定	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
2	第5回テーマ本研究(作者・梗概・感想)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
3	第5回テーマ本研究(表現・テーマ)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
4	第6回テーマ本テーマ本選定意見交換・選定	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
5	第6回テーマ本研究(作者・梗概・感想)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
6	第6回テーマ本研究(テーマ・表現)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
7	第7回テーマ本選定意見交換・選定	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
8	第7回テーマ本研究(作者・梗概・感想)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
9	第7回テーマ本研究(テーマ・表現)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
10	ゼミナール研究報告会発表準備	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
11	ゼミナール研究報告会	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
12	第8回テーマ本選定意見交換・選定	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
13	第8回テーマ本研究(作者・梗概・感想)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
14	第8回テーマ本研究(テーマ・表現)	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する
15	研究内容の整理・まとめ	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をする	テーマ本を読む テーマ本の情報収集をするテーマ本の研究内容を整理する

講義名	9013007921 ゼミナールⅣ　本吉ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	2
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)		本吉　好		

学習目標(到達目標)

本ゼミの学習目標は、子どもたちの体力・運動能力向上のための方法を学び、実践する力を身につけるため、以下の目標を設定する。
1.子どもの自発的な活動を促すことができる運動あそびの立案、実践および指導することができる
2.パラバルーンを使用したダンスを創作することができる

授業概要(教育目的)

現在、子どもたちの体力・運動能力は低下傾向にあり、幼児期の運動経験が重要視されている。そこで本ゼミは、子どもたちの体力・運動能力を向上させるための運動あそびを様々な場面(屋内、屋外など)や道具(ボールや縄など)のテーマを設定し、テーマに合わせた運動あそびの立案から実践へつなげ、指導法を習得する。また、運動会やお遊戯会で多く使用されているパラバルーンを使用し、ダンスを創作しひ、表現力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

グループ活動および課題に対する取り組み方や積極性等を総合的に評価する。

課題に対するフィードバック

資料や映像等を通してフィードバックを行う。

参考文献

授業内で適宜指示する。

講義時使用テキスト

特に使用しない。
必要に応じて適宜提示する。

資格との関連

学生へのメッセージ

保育者になったときに、運動あそびを実行できる力を身に付けるための活動をします。
何事にも積極的に全力で参加できる学生はぜひお越しください。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	パラバルーン①	図書館等で関連資料を確認すること	活動内容をノートにまとめること
2	パラバルーン②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
3	パラバルーン③	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
4	パラバルーン④	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
5	パラバルーン⑤	入力方法について調べておくこと	活動内容をノートにまとめること
6	運動あそび①	図書館等で関連資料を確認すること	活動内容をノートにまとめること
7	運動あそび②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
8	運動あそび③	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
9	報告会発表準備①	今までの活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
10	報告会発表準備②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
11	報告会発表準備③	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
12	摂理と軌跡原稿作成①	今までの活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
13	摂理と軌跡原稿作成②	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
14	摂理と軌跡原稿作成③	前回の活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめること
15	運動あそびの総まとめ	今までの活動内容を確認すること	活動内容をノートにまとめ、1年間の振り返りを行うこと

講義名	9013007922 ゼミナールⅣ　鈴木ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	鈴木　康弘			

学習目標(到達目標)

1. 子どもの育ちにつながる玩具・遊具・教具等の基本的な知識について理解している。
2. 保育施設や子育て支援の現場で役立つ手作りおもちゃを個人やグループで作成することができる。
3. 図書館やインターネットの使い方、デザインなどの方法論を含めた基本的なスタディ・スキルを習得する。

授業概要(教育目的)

「おもちゃファクトリー」をテーマに、保育につながる教材研究と作製に取り組む。子どもの発達段階に合わせた玩具・遊具の配置や手作りおもちゃの作製は、保育にとって欠かせない環境構成である。子どもは、おもちゃの遊びを通して、素材の不思議さに気づいたり、想像力を掻き立てられるだけでなく、子ども同士のアイディアをつなげることで、協働的な関わりを深めていく。この授業では、おもちゃの教材研究と遊びにつなげる援助を研究することで、子どもたちが夢中になる時間を支える質の高い保育について、探求を深めていきたい。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

保育につながる遊具・教具の研究や手作りおもちゃの作成、ゼミナール研究成果報告会の準備・内容を通じて、全体的に評価します。

課題に対するフィードバック

各自で製作したおもちゃについては、受講者で感想を伝え合うほか、教員からもフィードバックを行います。

講義時使用テキスト

参考文献

高山静子『子育て支援の環境づくり』(エイデル研究所、2018年)／高山静子『改訂 環境構成の理論と実践:保育の専門性に基づいて』(郁洋舎、2021年)／瀧薫『新版 保育とおもちゃ ―発達の道すじにそったおもちゃの選び方』(エイデル研究所、2018年)／藤崎達宏・伊藤あづさ『子どもの才能を伸ばすモンテッソーリ教具100』(三笠書房、2021年)／あん『0～6歳まで遊んで学べる! 新しい手作りおもちゃ』(KADOKAWA、2022年)／むー『親子で楽しむ カンタン&ゆかいな手作りおもちゃ』(ワニブックス、2020年)／竹井史『かがくの芽を育てる しかけであそべる 手作りおもちゃ』(ひかりのくいん、2022年)／あそびとおもちゃラボ シーグラス『0・1・2歳児 育ちによりそう手作りおもちゃ70』(学研プラス、2022年)／ごーや『手指の発達を支援する手作り教材アイデア (特別支援教育サポートBOOKS)』(明治図書出版、2022年)／林大輔・諏訪利明『TEACCHプログラムに基づく 自閉症児・者のための自立課題アイデア集 ―身近な材料を活かす95例』(中央法規出版、2019年)

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

学生へのメッセージ

授業コメントやアンケート、クイズの結果を共有したり、授業課題として写真や動画の提出をしてもらうために、Google Formsを活用したいと考えています。
さまざまな手作りおもちゃやその活用法を模索しながら、保育者になるためのたくさんの学びをつくっていきましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	自己紹介、ゼミナール活動の説明	シラバスで授業内容を確認されたうえで、出席してください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	作業計画・スケジュールの策定	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	話し合った内容を踏まえて、スケジュールの確認と調整をする。
3	子育て支援につながるおもちゃ(1)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	図書館やインターネットを用いて、興味・関心のあるトピックについて調べてみてください。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
4	子育て支援につながるおもちゃ(2)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
5	国産の玩具・遊具に関する研究(1)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
6	国産の玩具・遊具に関する研究(2)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
7	海外の玩具・遊具に関する研究(1)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	担当テーマに関するインタビューを引き受けてくれそうな身近な人のリストアップに取り組む。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
8	海外の玩具・遊具に関する研究(2)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
9	特別支援につながる教材の研究(1)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
10	特別支援につながる教材の研究(2)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
11	モンテッソーリ教具の研究(1)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
12	モンテッソーリ教具の研究(2)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
13	保育につながる手作りおもちゃの研究(1)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
14	保育につながる手作りおもちゃの研究(2)	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。
15	振り返り	事前の配布資料に目を通しておく。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。	他の受講生のコメントや授業中のディスカッションの論点を整理する。わからないキーワードや語彙があれば、図書館の書籍や雑誌、辞書、インターネットなどを利用して調べておく。

講義名	9013007923 ゼミナールⅣ　橋本ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	橋本　知子			

学習目標(到達目標)

1. 他の音楽教育法との相違点また他の教育法と融合したリトミック指導の認識が出来る。
2. カラーボード・ゴムボール・スカーフ等の教具を使用したリトミック指導が展開出来る。
3. 一枚絵及び絵本を用いてのリトミック指導が展開出来る。

授業概要(教育目的)

ゼミナールⅢでは主にエミール・ジャック＝ダルクローズの理念に基づく教育法を研究しましたが、ゼミナールⅣにおいてはリトミックの理念に賛同し共同研究の上、更に教育法を発展させた心理学者及び幼児教育家とで確立された指導法の研究を考えています。具体的には、モンテッソーリの教具を使用したリトミック指導の展開及び幼児の発達に応じた絵や絵本を用いてリトミック指導が展開出来る事を目的とします。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

受講態度及び研究への意欲等、総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

ゼミナールⅣでは、グループワークに取り組み、教材の選択から指導への展開を考え実践する体験を通しその体験において何を感じたか等ゼミナール生全員でフィードバックを行います。

参考文献

岩崎光弘著『リトミックってなあに』ドレミ楽譜出版社

講義時使用テキスト

資格との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達に応じた保育指導が展開出来る。

学生へのメッセージ

ゼミナールⅢで研究した教材を基に、ゼミナールⅣにおいてはリトミック指導に相応しいと考える教材を選択し実践することへつなぐ講義内容を考えています。色々な教具を使用したリトミック指導が展開出来る保育者を共に目指しましょう。

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ゼミナールⅢの振り返り及びゼミナールⅣでの講義内容説明	シラバスで講義内容を確認してくる。	講義内容の再確認を行う。
2	モンテッソーリとリトミック	モンテッソーリの提唱した教育法及び功績を調べてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
3	人間教育としてのリトミック	音楽の基礎を学ぶ音楽教育としてのリトミックと人間教育としてのリトミックを対比してくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
4	カラーボードを活用したリトミック	リトミック指導において、カラーボードをどのような教育に活用出来るのかを考えてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
5	ゴムボールを活用したリトミック	リトミック指導において、ゴムボールをどのような教育に活用出来るのかを考えてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
6	スカーフを活用したリトミック	リトミック指導において、スカーフをどのような教育に活用出来るのかを考えてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
7	リズムカノン(1)	リズムカノンを調べてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
8	リズムカノン(2)	リトミックにおいて、リズムカノンの体験は幼児のどのような能力を育む事を目的としているのかを考えてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
9	ピアノを使用した即興演奏法(1)	自身の演奏レベルを考慮し、リトミック指導において即興演奏が展開出来ると思われる教材を選んでくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
10	ピアノを使用した即興演奏法(2)	リトミック指導において、即興演奏技術を持ち合わせている事が求められるのはどうしてなのかを考えてくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
11	一枚絵を活用したリトミック	リトミックにおいて指導展開が出来ると思われる一枚絵を選んでくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
12	絵本を活用したリトミック(1)	5歳児のリトミック指導展開が出来ると思われる絵本を各自選んでくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
13	絵本を活用したリトミック(2)	各自が選んできた絵本の中から、リトミック指導に相応しいと考える教材及びストーリーに沿った曲を選んでくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
14	絵本を活用したリトミック(3)	話し合いにて決定された各自の役割を練習してくる。	講義で学んだ事項をまとめておく。
15	発表とまとめ	ゼミナールⅢ・Ⅳにおいて学んだことを簡単なレポートにまとめてくる。	これまでの研究を基に、自身が考えるリトミックについてまとめておく。

印刷日：2023年09月26日

講義名	9013007924 ゼミナールⅣ　野口ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	野口　和也			

学習目標(到達目標)

1.メンタルヘルスに関する科学的な根拠に基づく予防と対応の知識及び技術を習得し実践に応用できる。
2.応用行動分析に基づく問題解決の手法に関する知識を習得し実践に応用できる。
3.自分自身の言葉で考えを論述し、第三者に分かりやすく伝達することができる。
4.研究成果を文章や資料に見やすくまとめ、聞き手に伝わりやすく発表できる。
5.実践・調査研究により収集したデータを分析・整理し、論理的に考察することができる。

授業概要(教育目的)

本授業では、子どもたちの気になる行動に向けた応用行動分析に基づく積極的行動支援、こころの健康へのアプローチについて保育者として実践できるように学びを深めいく。研究を実施する上での倫理学びながら、具体的な研究計画から実践・調査を実施し、研究の目的に沿ったデータの分析・整理した上で結果から考察可能な事象をまとめ、研究成果発表会で報告を行う。その研究のステップにおいて、各自が進捗等を発表し話し合いを行いながら進めていく。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな保育環境を構成することができる。

評価方法

積極的な授業参加・活動(40%)、課題提出(60%)により総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

提出物については、添削及びコメントを記載して、返却する。

参考文献

授業の中で適宜紹介します。

講義時使用テキスト

特になし(プリントを配布します)

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	ガイダンス(日程・課題など進め方)	シラバスに目を通して、科目全体の学びの内容のイメージを持つ	説明を受けたゼミナールの内容をまとめる
2	こころを護り支えるために こころの手当てについて考える	こころにする手当てとは何か、自分の思う内容をまとめておく	課題のレポートを作成する
3	応用行動分析② 積極的行動支援 機能分析	前回の配布資料とノートを読み直す	課題のレポートを作成する
4	応用行動分析③ 積極的行動支援 機能分析の実践	前回の授業の内容を整理し、論点を整理する	課題のレポートを作成する
5	研究の進め方 研究データを集める準備をする②-1 材料・道具を整理し手順や台本を考える	研究データの収集の方法について発表資料を作る	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
6	研究の進め方 研究データを集める準備をする②-2	研究データの収集の方法について発表資料を作る	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
7	研究の進め方 データを集める①-1 データの収集をスタートし、分析・整理の手順を確認して研究を進める	収集した研究データについて発表資料を作る	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
8	研究の進め方 データを集める①-2 データの収集をスタートし、分析・整理の手順を確認して研究を進める	収集した研究データについて発表資料を作る	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
9	研究の進め方 収集したデータを分析・整理し結果をまとめる①-1	収集した研究データを分析・整理について発表資料を作る	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
10	研究の進め方 収集したデータを分析・整理し結果をまとめる①-2	収集した研究データを分析・整理について発表資料を作る	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
11	研究の進め方 「問題と研究の目的」・「考察」を書く①-1 「考察」で全体として何が言えるか、重要な点をまとめ、文章にする	「問題と研究の目的」・「考察」について発表資料を作る	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
12	研究の進め方 「問題と研究の目的」・「考察」を書く①-2 「考察」で全体として何が言えるか、重要な点をまとめ、文章にする	「問題と研究の目的」・「考察」について発表資料を作る	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
13	ゼミナール研究成果発表会の準備	研究成果発表会の資料を作成する	配付資料とノートを見直し授業内でのアドバイスの内容を受けて、資料を作成する
14	ゼミナール研究成果発表会に向けた取り組み	ゼミナール研究成果発表の資料を作成し発表のリハーサルを行う	自身の発表へのコメントを受けて、発表資料の再検討を行う
15	ゼミナール研究成果発表会 振り返り	ゼミナール研究成果発表のリハーサルを行う	ゼミナール研究成果発表を振り返り、まとめておく

講義名	9013007925 ゼミナールⅣ　坂本ゼミ 【ナンバリング：210061】						
年度	2023	開講時期	後期	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	幼児保育学科		担当教員(単位認定者)	坂本　利枝子			

学習目標(到達目標)

1. 幼児保育者として、自然で美しい発声法を習得する。
2. 歌唱、ヴォーカルアンサンブルを通して、豊かな演奏表現を目指す。

授業概要(教育目的)

1. 発声のメカニズムを学ぶことにより、幼児保育者、一社会人として好印象を与えるような発声、発音を習得する。
2. 歌唱、声の表現法を研究し、幼児の音楽や言葉への興味を促す。
3. 子どもの音楽への愛好心を育むための効果的な歌唱指導法を考え、実践する。

卒業認定・学位授与の方針との関連

保育士資格および幼稚園教諭二種免許状取得のため、さらに自らの幼児音楽への研究関心に基づき、豊かな音楽表現を目指し、学びを深める。

評価方法

ゼミ活動への積極的な参加、歌唱、アンサンブル、表現の工夫、協調性を総合的に評価します。

課題に対するフィードバック

演奏発表、授業全体をふり返り、感想、自己評価を行う。

参考文献

フースラー「うたうこと一肉体的特質」
フォルナーリ「人体絵本」

講義時使用テキスト

資格との関連

幼児音楽の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな音楽表現を指導することができる。

学生へのメッセージ

幼児は家族や保育者の声や歌を聞き、真似をして覚え、歌う楽しさや喜びを感じ、成長していきます。幼児期に覚えた歌は生涯忘れず、そして自分の声で好きな歌を歌うことは、人生をとても豊かにします。歌は音楽の基本であり、私たちに喜びや慰め、勇気や希望を与えてくれるものだからです。
学生の皆さんと共に、幼児保育者として自然で美しい発声法と声の表現について研究したいと考えています。

実務との関連

健全で豊かな情操と、保育の基盤となる教養や総合的な判断力を身につけている。
幼児音楽の専門的知識と技術を有し、子どもの発達過程に応じて豊かな音楽表現を指導することができる。

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション、ゼミの活動内容の把握、 声の意識調査	シラバスで授業内容を確認されたうえで、ご出席ください。	授業内容とスケジュールの再確認を行う。
2	発声(呼吸法とブレスコントロール) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
3	発声(フレーズの歌い方) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
4	発声(幼児期の声域と発声) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
5	発声(幼児の発声) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
6	発声(声の使い過ぎと音声障害について) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
7	発声(アンサンブル、表現の工夫) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
8	発声(音楽表現の工夫) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
9	発声(歌唱指導の研究) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。歌唱指導法について、自分なりに曲や手順等を考える。	学んだ指導法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
10	発声(歌唱指導の研究) 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。歌唱指導法について、自分なりに曲や手順等を考える。	学んだ指導法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
11	歌唱指導の実践 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱指導の曲や段取り等準備をする。歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
12	歌唱指導の実践 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱指導の曲や段取り等準備をする。歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
13	歌唱指導の実践 歌唱曲の練習、アンサンブル	歌唱指導の曲や段取り等準備をする。歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。	学んだ事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
14	演奏発表 アンサンブル、音楽表現の工夫	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。音楽表現の工夫を考える。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。
15	演奏・歌唱指導の研究のまとめ 感想/自己評価	歌唱曲の歌詞や音程、リズムを確認する。音楽表現の工夫を考える。これまでのゼミ活動で学んだ事項を確認する。	学んだ発声法の事項を復習する。 歌唱曲の音程、リズムが不安定な箇所を練習する。